

令和3年5月20日

令和3年度第2回定例松本市教育委員会

会 議 議 案

松本市教育委員会

令和3年度第2回定例松本市教育委員会付議案件

[報告]

- 第1号 令和3年度教育部各課重点目標について
- 第2号 教育文化センター専門委員の委嘱について
- 第3号 松本市学校給食食品等選定委員会委員の委嘱について
- 第4号 令和2年度松本市出前講座の実績について
- 第5号 松本市図書館サービス基本計画の策定について
- 第6号 史跡松本城浚渫工法実証実験の結果について
- 第7号 第3次松本市教育振興基本計画策定に係る教育に関する市民アンケートについて

[その他]

教育委員会資料
3 . 5 . 2 0
教育政策課

報告第 1 号

令和 3 年度教育部各課重点目標について

1 趣旨

令和 3 年度における教育部各課重点目標について報告するものです。

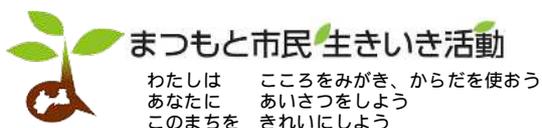
2 令和 3 年度教育部各課重点目標

別冊のとおり

3 今後の予定

各課が設定した重点目標は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第 26 条の規定に基づき、毎年市議会に提出する「教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価報告書」における主要点検項目に位置付けることとし、P D C A サイクルにより進捗管理を行うとともに、施策に反映させます。取組結果は、今年度末の教育委員会において報告します。

担当	教育政策課
課長	赤羽 志穂
電話	33 - 3980



「学都松本」

令和3年度 教育部各課重点目標

教育政策課	1
学校教育課	3
学校教育課学校支援センター	4
学校給食課	5
生涯学習課・中央公民館	7
中央図書館	10
文化財課	11
文化財課城郭整備担当	13
博物館	15

松本市教育委員会

教育政策課

1 教育政策課の概要

教育行政の総合的な企画・調整を行い、各課の連携を図ります。

そして、松本市教育振興基本計画が掲げる、学び続けるまち、共に学ぶまち、次代に引き継ぐまち「学都松本」をめざして、近隣市町村、長野県との連携や、広く市民と協働しながら事務事業を実施し、その成果を広く発信していきます。

2 令和3年度における重点目標

社会の変化に対応する、これからの教育のあり方の協議（継続）

ア 内容

超少子高齢型人口減少社会の進展や、ICTの技術革新などにより、大きく世の中が変容する中で、これからの時代を生きるため必要な力は何か等、社会の変化に対応したこれからの教育のあり方について、総合教育会議や旧第11通学区高等学校教育懇話会等で協議します。

イ 具体的な進め方等

(ア) 総合教育会議の運営

令和3年度中の第3次松本市教育振興基本計画の策定に向け、松本市の教育大綱の位置付けや内容等について協議します。また、時宜に応じたテーマを基に、教育行政の現状と課題についても懇談します。

(イ) 旧第11通学区高等学校教育懇話会の運営

高校改革について、中学生との対面ヒアリングやアンケートを実施し、年内に意見要望をまとめます。

(ウ) 特色ある学校づくりの研究

山間小規模校の今後のあり方について、庁内研究会での協議や、住民自治局と連携した地域住民との意見交換会、学習会の実施等により、研究を進めます。

情報発信力の強化（新規）

ア 内容

開かれた教育委員会を目指し、市民が教育行政の取組みに関心を持ち、理解を深めてもらえるよう情報をわかりやすく発信し、情報発信力の強化を図ります。

イ 具体的な進め方等

(ア) ホームページのコンテンツ内容の更新を行うとともに、ほしい情報がわかりやすく、検索しやすいようカテゴリーを整理し、サイト構造を見直します。

(イ) 動画コンテンツの充実に向け、各課と連携して取り組みます。

第3次松本市教育振興基本計画策定事業（継続）

ア 内容

現行の松本市教育振興基本計画（基本構想及び第2次基本計画）の計画期間が令和3年度に終了することに伴い、新たに本市の教育振興に関する施策の総合的、計画的な推進を図ることを目的とした基本構想及び基本計画を策定します。

イ 具体的な進め方等

(ア) 総合教育会議において、松本市教育大綱の策定について市長と教育委員とで協議します。

(イ) 教育委員会、学校関係者及び社会教育関係者で構成する策定委員会、関係部局で組織する庁内調整会議においてより具体的に協議を重ね、令和3年度末までに計画を策定します。

学都松本の推進（継続）

ア 内容

学都松本推進協議会等と連携し、「どこにでも 学びはある。」をテーマに、自ら興味をもって多様な学びに触れるきっかけとして、フォーラムや講演会などを開催し、学びによる生きがいづくりを進めます。

イ 具体的な進め方等

(ア) コロナ禍における「学都松本フォーラム」については、開催方法を見直し、「学都松本教育100年を語る会」のオンライン開催等の代替案も検討しながら、市民の学習機会の確保に努めます。

(イ) 学都松本の象徴とされる旧開智学校校舎が令和3年度から3年間休館となるため、改めて旧開智学校校舎を通した学都松本の歴史やこれからの学都松本のあり方について、博物館と連携しながら広く周知に努めます。

海洋教育パイオニアスクールプログラム事業（継続）

ア 内容

令和元年度から取組みを進めている海洋教育パイオニアスクール事業を継続します。今年度が最終となるプログラム事業の単元開発部門の助成金を活用し、昨年度に引き続き、モデル校5校で特色を生かした海洋教育に取り組みながら、松本らしい科学や学びを自ら探求していく子どもの育成を図ります。

イ 具体的な進め方等

(ア) モデル小学校5校（田川・鎌田・芳川・安曇・波田）で教科と体験を結び付け、海や環境のために自分の考えを持ち、実践につなげることができる力を育てる学習に取り組みます。

(イ) 各校の取組成果は、推進協議会において研修会や発表会など様々な機会を設けます。

(ウ) 助成金が終了する令和4年度以降の事業展開について、各校と検討します。

新科学館整備事業～子どもが主役の「知」の拠点～（継続）

ア 内容

「宇宙と科学」を中心として進めてきた施設整備方針から、「加速度的に進展する情報化」に対応していくため、子どもが自ら未来を創造する力を育むことができる「知」の拠点とする方針に改めたことを受けて、今年度中に整備計画を検討します。

イ 具体的な進め方等

整備方針にあった機能の実現に向け、実施計画第52号等で事業内容を検討し、設備やコンテンツを整備するなど、事業内容のブラッシュアップを行います。

学校教育課

1 学校教育課の概要

児童生徒がより良い環境の中で学校生活を送ることができるよう、老朽化した学校施設の長寿命化対策を計画的に進めるとともに、施設の適切な維持管理、ICT機器の増強を含む校用・教材備品の整備等により、教育施設の整備充実を進めます。

また、就学援助事業など子どもの就学全般にわたる事務事業を進めるとともに、児童生徒や教職員の適切な健康管理や学びを支援する学校図書館の充実に取り組みます。

2 令和3年度における重点目標

小中学校施設整備事業（継続）

ア 内容

教育環境の改善を図る長寿命化改良事業、利便性の向上や汚臭防止及び感染症対策の観点から行う学校トイレ整備事業、肢体不自由学級設置（拠点校化）に伴うエレベータ設置等の障害児等施設整備事業などを計画的に進めます。

イ 具体的な進め方等

- (ア) 長寿命化改良事業は、令和2年度に策定した学校施設長寿命化計画（個別施設計画）に基づき、菅野小学校及び梓川小学校の実施設計を行います。
- (イ) 学校トイレ整備事業では、開智小学校及び田川小学校の改修工事並びに令和4年度改修工事予定の小学校6校、中学校6校の実施設計を行います。
- (ウ) 障害児等施設整備事業では、清水中学校にエレベータの設置工事を行います。

学校教育情報化推進事業（継続）

ア 内容

国の掲げる「GIGAスクール構想」に基づき昨年度に構築整備を行い、令和3年度から児童生徒の1人1台端末の本格的な運用に取り組むものです。

イ 具体的な進め方等

- (ア) 市内全小中学校に配備した児童生徒の「1人1台端末」約1万8千台の管理運用に取り組むとともに、ICT支援員（4校に1名、計11名の配置）が、教職員研修、運用ヘルプデスク、授業支援（日々の授業や遠隔授業等）及び授業づくり支援（デジタル教材の作成補助）を行います。
- (イ) 校務（教職員）の情報化（統合型校務支援システムの運用）及びGIGAスクール構想下における情報化推進計画の見直しに取り組みます。

松本市 中原淑子奨学金制度の創設（新規）

ア 内容

子どもたちの教育に資するようにとの願いをもって寄付をされた故中原氏の遺志に基づき、寄付金を原資とした、教員を志す学生を支援する給付型奨学金制度を創設します。

イ 具体的な進め方等

- (ア) 新たな奨学金制度の詳細を定める規則、要領を制定し、高校やHP等を通じて、制度の周知を行います。
- (イ) 義務教育学校の教員を目指し、大学等にて教職課程の履修を希望する学生を対象に、奨学生の募集、選考を行います。

学校教育課学校支援センター

1 学校教育課学校支援センターの概要

めざす子ども像「たくましく未来を拓く心豊かな松本の子」に向け、「豊かな心の育成」、「健やかな体づくり」、「確かな学力の向上」を目指して、学校・教職員、児童生徒への支援に取り組みます。

2 令和3年度における重点目標

特別支援教育推進事業（インクルーシブ教育推進事業）（継続）

ア 内容

特別支援学校や特別支援学級で学ぶ多様な児童生徒のニーズに応じていくために、学校現場と共に考えながら、特別支援学校から小中学校特別支援学級へ、また特別支援学級から通常学級への学びの場の見直しを柔軟に進めます。

イ 具体的な進め方等

該当児童生徒の学びの実態を把握するために、指導主事の授業参観及び指導主事を交えた支援会議を実施します。

いじめ防止対策、不登校・引きこもり児童生徒への支援の促進（継続）

ア 内容

(ア) いじめ防止対策

教職員及び児童生徒の人権感覚の醸成、いじめ（SNS、スマホトラブルを含む。）や体罰のない学校づくりを進めます。

(イ) 不登校・引きこもり等の児童生徒に対する支援を進めます。

イ 具体的な進め方等

(ア) いじめ防止対策

「いじめ・体罰等の実態調査」アンケートに自由記述欄を設けることで、学校外で起きている虐待のような事案についても認知し、早期の対応を推進します。

(イ) 不登校・引きこもり等の児童生徒に対する支援

自立支援教員に関わる取組みとして、不登校傾向の児童生徒や引きこもっている児童生徒、保護者それぞれの状況に合った各機関への働きかけを実施します。

学力・体力向上事業（継続）

ア 内容

(ア) 学力向上

ICT等を活用しながら、新学習指導要領全面実施における「主体的・対話的で深い学び」の実現を意識した授業づくりにおける教職員の悩みや相談について助言、支援を継続的に行います。

(イ) 体力向上

地域や関係団体と中学校の運動部活動改革について検討し、地域でのスポーツ活動として取り組める環境の整備を進めます。

イ 具体的な進め方等

(ア) 学力向上

学力・授業改善担当指導主事とICT担当指導主事の連携した学校訪問等による、授業改善への助言、支援を実施します。

(イ) 体力向上

「松本市スポーツ・文化活動運営委員会連絡協議会」、「松本市運動部活動改革プラン検討委員会」を開催します。

学校給食課

1 学校給食課の概要

学校給食法に基づき、健康な体をつくるために大切な「食」について考える機会を設ける等、正しい食習慣が身につくように給食を通した食育に取り組みます。また、地産地消や季節を大切に食材の使用を進め、より安全で安心な給食の提供を目指します。
また、老朽化した施設・設備については早急に解消するよう取組みを進めます。

2 令和3年度における重点目標

学校給食センターの再整備事業（継続）

ア 内容

波田（昭和46年開設）及び梓川（昭和63年同）学校給食センターは老朽化が著しく建替えの必要があり、また、西部学校給食センターは建設から20年が経過し、大規模修繕が必要となっています。そのため、学校給食センター全体の再整備の方法について方針を決定し、基本計画を策定します。

イ 具体的な進め方等

- (ア) 再整備について、波田・梓川学校給食センターの現地建替えを含め、教育委員会や保護者等の意見も聞きながら、再整備の方針を決定します。
- (イ) 方針が決定後は速やかに、松本市学校給食センター再整備基本計画の策定に着手します。

食育・地産地消推進事業（継続（一部新規））

ア 内容

「食に関する指導の全体計画」（令和2年度改定）に沿って、計画的な食育に取り組みます。また、心身の調和のとれた発達、地元食に対する関心の高揚等を目的として「味覚教育」を新たに実施します。
主要野菜の地場産物食材使用割合を、令和7年度までに従量ベースで30%にすることを目指し、地産地消に取り組み、安全安心な食材を使用します。

イ 具体的な進め方等

- (ア) 栄養教諭や調理員が学校訪問し、食に関する指導を行い、学校と連携した食育事業を実施します。
 - (イ) 児童を対象に地域の食のプロ（シェフ等）や、市民の中から育成した講師による「味覚教育」を新たに実施します。
 - (ウ) 地産地消率向上のため、食材納入業者に地場産物の納入を促します。また、「松本の日」*1を継続して実施します。
 - (エ) 児童生徒が総合学習で生産した農産物を給食食材として受け入れ、使用します。
- *1「松本の日」：旬のものが市場に多く出回る6月から11月に月1回松本産の野菜や松本地域の地場産物を取り入れ、児童生徒に紹介するための献立を提供する日

アレルギー対応食提供事業（継続）

ア 内容

「食物アレルギー対応マニュアル」及び「アレルギー対応食提供事業実施要綱」に沿ってアレルギー対応食を提供するとともに、アレルギーに対する理解を深める情報を発信し、対応食解除についての取組みを進めます。

イ 具体的な進め方等

- (ア) 食物アレルギーを持つ児童生徒一人ひとりの症状に合った対応食を提供します。
- (イ) 成長期に必要な様々な食品（栄養素）を摂取できるよう、医師の指導のもと対応食解除に向けたアレルギーに対する情報発信を行います。
- (ウ) 校内アレルギー対応委員会へ働きかけ、誤食防止や校内体制の充実に努めます。

衛生管理・危機管理の徹底（継続）

ア 内容

衛生管理、危機管理を徹底し、ノロウイルス等の食中毒や異物混入等の事故を防止します。

増加傾向にある労働災害を防止するため、事故事例の活用等により職場点検の強化に努めます。

イ 具体的な進め方等

調理員を対象とした研修会等を実施し、意識の向上を図ります。

- ・「衛生管理研修会」 講師 栄養教諭 年3回実施
- ・「衛生管理講習会」 講師 外部講師 年1回実施
- ・「労働災害研修会」 講師 外部講師 年1回実施

学校給食費会計の適正運用（継続）

ア 内容

会計処理の透明性、保護者の利便性の向上及び学校職員の事務負担軽減を目的に令和2年度から公会計化した学校給食費会計について、私会計時同様の高い収納率を維持できるよう適正な運用を進めます。

イ 具体的な進め方等

(ア) 滞納者には児童手当からの納付等機会を捉え納付を促すとともに、引き続き口座振替の加入促進を行います。

(イ) 保護者の就労上の理由による滞納については、保護者に寄り添いながら粘り強く納付につなげます。

生涯学習課・中央公民館

1 生涯学習課・中央公民館の概要

生涯学習の施設整備や地域住民の主体的な学習活動の支援を行い、自治能力を高める学習活動の推進及び生涯学習による地域づくりを目指します。

地区公民館を総合的な地域づくりの拠点と位置づけ、地域課題と向き合い、地域住民が主体的に解決するための学習・実践を充実させ、松本らしい公民館活動を展開します。

2 令和3年度における重点目標

多世代参画型地域共生コミュニティづくりモデル事業（継続）

ア 内容

地域共生社会の実現に向け、東大牧野教授の研究室と3カ年の共同事業として、町内公民館を活用し、子どもから高齢者まで様々な人々が集い、気軽に共に楽しく学び、地域の中で生きていく場として、「多世代参画型地域共生コミュニティ（新たな社会システム）」の構築を目指します。

平成30年度は20地区58町会で職員や住民への聞き取りを、令和元年度はモデル3町会でワークショップを実施しました。

今後は、地域住民が「当事者意識」を持つための働きかけを継続し、行政依存ではない住民主体の地域参画や人材育成を進めます。

イ 具体的な進め方等

(ア) 東大研究室との共同事業の再開に向けた調整を行います。過去2カ年の取組みの成果・課題を踏まえ、次世代に受け継ぐ持続可能な地域共生社会の実現に向けて、東大、モデル町会等と意見交換及び実践を深めます。

(イ) 関係部局や学校との連携を深めるとともに、事業終了後の展開も考慮し、より小さな自治の単位である町会・町内公民館からの共生社会の実現及び地域を担う人材育成に向けた方策を提起します。

松本版コミュニティスクール事業（継続）

ア 内容

学校と地域が連携・協働し、地域全体で子どもたちを見守り育てる意識を高めるとともに、地域の中でしか体験できないことを学ぶ貴重な機会をつくり、子どもたちの「生きる力」を育みながら、学校を核とした地域づくりを進めます。

事業実施に当たっては、地区公民館が学校と地域を結ぶコーディネーター役となり、地域の特性を生かした活動を通じて、地域全体で子どもたちを見守り育てる取組みを支援します。

学校毎にコミュニティスクール運営委員会を設置し、町会長や育成会長、民生・児童委員、PTAが子どもたちの様子を共有し、地域でどのような子どもを育てるかを議論し、方向性を確認します。

イ 具体的な進め方等

(ア) 地区公民館がコーディネーターを務めながら、市内44のコミュニティスクール運営委員会での話し合いを通して、地域の特性を生かした事業を展開します。

(イ) 明善中学校区など、総合的な学習の時間を活用し、子どもたちが主体的に地域参画をしている好事例を市内関係者で共有する機会を設けます。

(ウ) これまで積み重ねてきた松本版コミュニティスクールの理念を大切にしながら、地教行法に基づく学校運営協議会の導入について検討を進めます。

若者の居場所づくりと社会参画事業（継続）

ア 内容

若者の多様なニーズに対応できる魅力ある居場所づくりと環境づくりを進め、ひきこもりの若者支援を含め、交流を通じて他者との関係性の構築や学び直し支援を進めることで、互いを尊重し、社会で生きていく力を培うことを支援します。

また、若者が成長し、社会で活躍できるきっかけ作りとして、積極的にまちづくりに取り組む場の提供など、若者の多様な社会参画を関係機関と連携し、推進します。

イ 具体的な進め方等

- (ア) コーディネーターと連携した参加し易い講座やイベント、青少年の将来の選択肢を広げる講座などを実施し、魅力ある居場所づくりにつなげます。
- (イ) 若者が自由に過ごし、交流できる若者カフェを活用した講座など、ひきこもりの若者も気軽に参加しやすい居場所づくりを進めます。
- (ウ) 地域づくり課ユースサポート担当と連携し、若者の様々な興味や疑問に対して学びや議論の場づくりを進めます。また、若者が主体となって松本若者会議を実施し、若者が住みたい松本のまちの魅力づくり活動を支援します。
- (エ) 若者が成長し、社会で活躍できるきっかけ作りを後押しできるように、成人式の開催方法の見直しに取り組みます。

町内公民館等施設整備の支援（継続）

ア 内容

町内公民館等の整備に対して補助金を交付し、施設の適切な維持管理を促進します。

イ 具体的な進め方等

- (ア) 補助金交付要綱等に基づき、本年度の申請書等を審査のうえ、補助金を交付します。

・補助事業の内容及び申請予定件数（R3.4月現在）

区分	補助率	限度額	予定件数	説明	
新築	未設置	2 / 3	1,000万円	0	公民館を所有していない町会の新規建設
	既設置	1 / 2	1,000万円	0	公民館を所有している町会の移転等建設
改築	1 / 2	1,000万円	2	既存公民館用地での公民館建替え	
増築	1 / 2	600万円	0	既存公民館の増し（床面積増加）	
改修	2 / 3	500万円	57	既存公民館一部の修繕または造り直し	
福祉・耐震	2 / 3	500万円	8	福祉：障がい者、高齢者等が利用しやすい整備 耐震：耐震診断に基づく建物の補強	
敷地取得	2 / 3	1,000万円	2	公民館用地の取得	
解体・除却	1 / 2	200万円	2	既存公民館の取壊し	
借地・借家	1 / 2	5万円	42	公民館用地・建物の借上げ	

- (イ) 本年度から、一般改修の補助率を現行の1 / 2から2 / 3へ引き上げ、解体補助を新設して、老朽化や生活様式の変化等に対する施設整備の支援を強化します。
- (ウ) 随時相談を受け付け、申請から補助金交付までの諸手続きをサポートします。
- (エ) 要望調査及び申請実績等を踏まえた、方向性を見直し検討を行います。

地区公民館整備事業（継続）

ア 内容

- (ア) 里山辺公民館整備事業

老朽化し、狭あいな里山辺公民館を、隣接地へ移転・整備します。地域づくりセンター及び福祉ひろばを集約して、地区の総合的な地域づくり拠点の充実を図ります。

- (イ) 重要文化財旧松本高等学校校舎耐震事業

平成28年度に策定した保存活用計画等を基に、平成30年度から6カ年の予定で、耐震補強工事を実施します。

イ 具体的な進め方等

(7) 里山辺公民館整備事業

- R 3 年 4 月 工事現場の仮囲い
- 5 月上旬 新築工事に着工
- 随時 工程会議を開催し、進捗状況及び課題を把握。工程見直し
- R 4 年 3 月 工事完了、竣工式、事務所移転
- 4 月 開館
- ・ 工程計画

内容	年度	R 3												R 4
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月
新築工事		■												
事務所移転													■	
開 館														■

(1) 重要文化財旧松本高等学校校舎耐震事業

国庫補助事業計画に基づき、次のとおり段階的に耐震補強工事を実施します。
 なお、講堂及び本館の一部は実施済みです。

- R 3 年度 ... 耐震補強工事（本館 期）
- R 4 年度 ... 耐震補強工事（本館 期）
- R 5 年度 ... 耐震補強工事（本館 期）

中央図書館

1 中央図書館の概要

図書館は、市民にとって単に本を借りる場所というだけではなく、乳幼児から高齢者まで、生涯を通じて健康で生きがいのある人生を過ごし、その中でそれぞれが自己実現を図ろうとする時に、さまざまな情報や学習機会を提供する生涯学習の拠点施設です。

社会の変化や市民ニーズを踏まえ、地域が抱える様々な課題の解決や暮らしに役立つ資料・情報の収集に努め、図書館自らが積極的に情報発信、提供を行い、学都松本に掲げる「学び続けるまち、共に学ぶまち、次代に引き継ぐまち」を実践する場として、市民に期待され、利用される図書館を目指します。

2 令和3年度における重点目標

中央図書館の大規模改修（継続）

ア 内容

中央図書館は平成3年の開館から29年が経過し、機械設備等の老朽化、書庫の狭隘化、開架書架の耐震強化、慢性的な駐車場の不足等のハード面での課題を抱えています。併せて、蔵書点検等の資料管理業務や貸出返却業務の効率化を可能とするICTタグの導入、適正な資料管理や蔵書の充実を図るための蔵書計画の策定、多様な利用に対応したゾーニング等の図書館サービスの充実に係る検討が必要です。安全安心で快適な環境の整備、市民の利便性向上のための大規模改修を行う時期を迎えています。

イ 具体的な進め方等

(ア) 外部の専門家を交えた今後の図書館のあり方に関する検討の結果をまとめた「松本市中央図書館あり方検討委員会報告書」や、令和2年度に実施した市民アンケート、団体貸出事業のあり方研究の結果を基に、図書館サービス基本計画を策定し、大規模改修のための基本計画とします。

(イ) 中央図書館におけるWi-Fi環境の整備を進めます。（分館は順次整備予定）

書庫の狭隘化対策（継続）

ア 内容

中央図書館の書庫の狭隘化について、中山文庫及び波田図書館の書庫を活用した資料の分担保存を検討します。

イ 具体的な進め方等

引き続き、中央図書館の資料の一部を中山文庫に移管します。

適正な除籍に併せて、ICTの利活用として、電子書籍の導入、データベースの増加の検討を進めます。

第2次学都松本子ども読書活動推進計画の推進（継続）

ア 内容

計画に基づき、子どもが読書に親しめる環境づくり、子ども読書活動を広め、支える人材の育成、環境整備を推進するための連携体制づくりを着実に推進します。

イ 具体的な進め方等

図書館を中心に、家庭、地域、団体、学校、施設等、本市の子ども読書活動を担う人材が情報を共有し、交流を深め、協働して活動を強化していくための連携・協力体制を作り、事業の検証・評価を行いながら計画を推進します。

令和3年度は、サードブック事業²など令和4年度開始予定の事業の具体的な検討を進めます。また、中・高校生に対し、豊かな心を育む、自由で自発的な読書や生きる糧になる素敵な本と出会うためのきっかけ作りとなる支援事業を始めます。

²サードブック事業：家庭における本に親しむ習慣を発達段階に応じて切れ目なく働きかけるために絵本をプレゼントするもの。ブックスタート（10カ月児健診時）、セカンドブック（3歳児健診時）事業に加えて6歳頃に実施するもの

文化財課

1 文化財課の概要

松本市文化財保存活用地域計画に位置付けた各種事業を積極的に進めるとともに、その成果を市民に分かりやすく伝える講座や学習会、SNS等による情報発信を積極的に行います。こうした取組みを通じ、行政と市民が地域社会のなかで連携して文化財の保存活用を図り、次世代へ引き継いでいきます。

さらに、歴史や文化を活かしたまちづくりを通じて、市民が地域に愛着や誇りを持ち、観光や産業といった経済振興にもつながるような、魅力ある地域づくりを目指していきます。

2 令和3年度における重点目標

文化財の魅力をも市民に周知し、理解を深めるための情報発信（新規）

ア 内容

市内の文化財の魅力や価値を幅広い世代の市民に周知するため、SNSやYouTube等を活用した情報発信を積極的に行うものです。

イ 具体的な進め方等

- (ア) SNS「まつもとの文化財」や市公式ホームページ等を活用し、市内の文化財の情報を幅広く発信します。
- (イ) 史跡弘法山古墳をはじめ市内の埋蔵文化財の発掘調査成果について、報告会の開催や動画配信等により広く周知を図ります。
- (ウ) 市公式ホームページを通じて閲覧が可能な発掘調査報告書について、引き続き登録の推進と周知を図ります。

まつもと文化遺産活用事業（継続）

ア 内容

「松本市歴史文化基本構想」及び「松本市文化財保存活用地域計画」に基づき、市民が主体となった地域の文化財の保存活用の取組みを支援するものです。

イ 具体的な進め方等

- (ア) 「まつもと文化遺産保存活用協議会」を開催し、「まつもと文化遺産」を認定するとともに、認定済みの5件に対し、引き続き補助金等の支援策を講じます。
- (イ) 市内の指定文化財を周知するための文化財マップを改訂します。

小笠原氏城館群史跡整備事業（継続）

ア 内容

中世に信濃守護を務めた小笠原氏の本拠として国史跡に指定された小笠原氏城跡（井川城跡・林城跡（大城・小城））の保存活用を図るものです。

イ 具体的な進め方等

- (ア) 今後の保存活用・整備の基本方針等を定める保存活用計画を令和3年度末までに策定します。
- (イ) 講演会の開催等により、史跡小笠原氏城跡の文化財的価値等について市民に周知します。
- (ウ) マップや公式ホームページ「松本の山城」等により、見学者への情報提供を図ります。

殿村遺跡史跡整備事業（継続）

ア 内容

殿村遺跡は、古来信仰の山である虚空蔵山と人々の関わりを示す中世の寺院遺跡と推定されることから、平成22年度から発掘調査や虚空蔵山周辺の総合調査を実施し、地域信仰の遺跡群として史跡指定を目指しています。

<p>イ 具体的な進め方等</p> <p>(ア) 総合調査により明らかとなった、中世の宗教空間を構成する遺跡群としての文化的な価値付けをふまえ、史跡指定に向けた調整を調査指導委員会及び文化庁と進めます。</p> <p>(イ) 講演会の開催等により、中世の寺社や信仰に関わる遺跡としての価値付けを地元住民や市民に周知し、地域の歴史資産に対する関心を高めます。</p>
<p>史跡弘法山古墳再整備事業（継続）</p>
<p>ア 内容</p> <p>3世紀末に築造された東日本最古級の古墳として知られる史跡弘法山古墳について、規模や形状等を確認する発掘調査や周辺古墳群の調査を行い、保存活用計画を策定します。</p>
<p>イ 具体的な進め方等</p> <p>調査委員会や県教委・文化庁の指導・助言を受けながら、古墳の外形や墳丘の規模を確認するための発掘調査を実施します。</p>
<p>白骨温泉の噴湯丘と球状石灰石保存整備事業（継続）</p>
<p>ア 内容</p> <p>令和元年度策定の保存活用計画及び2年度策定の整備計画に基づき、観察路・案内展示・境界柵などを整備し、文化財の保存と活用を図るものです。</p>
<p>イ 具体的な進め方等</p> <p>令和4年度の施設設計、5年度の工事に向けて次の事業に取り組みます</p> <p>(ア) 公開を予定する噴湯丘分布域のコケや草木を除去し、現況の把握に努めます。</p> <p>(イ) コケ除去による影響のモニタリングや支障木の伐採を行い、噴湯丘の保全に努めます。</p> <p>(ウ) 保存活用協議会を開催し、施設等設計の前段階として必要な事項を定める整備実施計画を作成します。</p> <p>(エ) 地元旅館従業員を対象にした見学会や地元小中学校向け学習会などを実施し、活用に向けた機運を高めます。</p>

文化財課城郭整備担当

1 文化財課城郭整備担当の概要

国宝松本城天守及び史跡松本城を確実に後世に守り伝えるため、歴史的遺構の復元・整備及び史跡内建造物の整備を進めます。
併せて、歴史的資料の収集・保存・研究を計画的に進めます。

2 令和3年度における重点目標

国宝松本城天守耐震対策事業（継続）

ア 内容

平成26年～28年度に実施した天守耐震診断の結果に基づき、松本城の文化財的価値を損なわない耐震補強案を検討したうえで、令和4年度中に耐震対策基本計画を策定し、国庫補助を取り込みながら令和8年度から耐震工事を行うものです。

イ 具体的な進め方等

- (ア) 令和2年度に実施した天守台内部の地盤や石垣の調査結果を集約し、石垣の耐震性能について解析を行います。
- (イ) (ア)の結果を踏まえ、国宝松本城天守耐震対策専門委員会で耐震補強案の検討を行い、天守耐震対策基本計画の策定を進めます。

松本城防災設備整備事業（継続）

ア 内容

フランスのノートルダム大聖堂や沖縄県首里城の火災を受け、令和2年度から国庫補助を活用し、松本城防災設備の見直しを行うものです。取組みにあたっては、天守耐震対策事業への影響を考慮し、令和6年度までに建造物等の防災設備の更新・新設を図ります。

イ 具体的な進め方等

- (ア) 令和2年度に行った実施設計に基づき、自動火災報知設備、自動消火設備、屋内外消火設備等の更新、新設工事を行います。
- (イ) 送水管設備の新設に伴う設置予定箇所の発掘調査を行います。

黒門・太鼓門耐震対策事業（継続）

ア 内容

平成30年度に実施した松本城黒門・太鼓門耐震診断結果を基に、令和元年度に着手した補強内容等の検討を踏まえた耐震対策基本計画を策定し、耐震工事に着手します。事業推進にあたっては、大地震動時の被害が大きい太鼓門が国庫補助対象となることから、令和4年度の耐震補強工事着手を目指し、先行して実施設計・工事に着手します。黒門は、天守耐震対策工事の時期との調整となることから、太鼓門耐震工事後、来城者等に不都合が生じないように留意しながら事業を進めることとします。

イ 具体的な進め方等

令和2年度に行った基本設計に基づき、太鼓門の実実施設計を行います。

堀浄化対策事業（継続）

ア 内容

歴史的な景観及び快適な環境の維持向上のため、松本城の堀に適した浚渫工法を確認するための実証実験、堀総合調査の結果を基に、令和3～4年度中に全面的な堀浚渫と浚渫工事後の堀の維持管理に向けた基本計画策定及び工事の実実施設計を行い、令和5年度から国庫補助を活用して松本城堀（内堀、外堀、総堀）の堆積物除去（浚渫）工事を実施するものです。また、日常的に堀の浄化を図るものです。

イ 具体的な進め方等

- (ア) 令和2年度に実施した実証実験の結果を、史跡の保護や管理、環境、土木技術などの観点から庁内関係課と検討のうえ、令和3年9月末までに工法の選定を行います。
- (イ) (ア)及び堀総合調査の結果を基に、松本城堀(内堀、外堀、総堀)の堆積物除去(浚渫)工事及び工事後の堀水の維持管理に係る基本計画を作成します。
- (ウ) 堀清掃業務や薬剤(酸化マグネシウム)の散布等、日常的な堀浄化業務を継続して実施します。

松本城南・西外堀復元事業(継続)

ア 内容

「松本城及びその周辺整備計画」及び「松本市歴史的風致維持向上計画」に基づき、国庫補助を取り込みながら、幕末維新期の姿に南・西外堀の復元を行うものです。なお、事業の実施に際しては、内環状北線整備事業と一体的に整備を行うものです。

イ 具体的な進め方等

- (ア) 令和4年度の用地取得完了を目指し、用地買収、家屋補償等の取組みを進めます。
- (イ) 南・西外堀の形状と範囲を確認するため、まず南外堀の試掘(発掘調査)に着手します。(南外堀：令和3～4年度、西外堀：令和5～6年度)
- (ウ) 令和3年度以降、松本城南・西外堀復元事業を主管するお城まちなみ創造本部と協力し、現在の事業方針である「平面整備」から「水をたたえた堀の復元」への転換に向けた調査・研究等を推進します。
- (I) これまでの取組成果を市議会や市民等に周知・報告し、意見を伺う場を設けます。

博物館

1 博物館の概要

博物館は、市域の歴史、民俗、産業、自然等の資料を収集保管し、市民の学習に供することにより松本市の発展に寄与することを目的とする社会教育機関です。平成12年に策定した「松本まるごと博物館構想」の理念のもと、市民が気軽に学習に利用できる環境を整えるため、新博物館の建設を進めるとともに、展覧会や講座等の事業により松本について学ぶ機会を提供し、学びの成果を地域の発展に活かす取組みを市民の皆さんとともに進めていきます。

2 令和3年度における重点目標

基幹博物館整備事業（継続）

ア 内容

昨年度に引き続き建築工事及び展示製作を進めます。また、令和5年秋の開館に向け、事前準備を進めます。

イ 具体的な進め方等

- (ア) 数年に一度の大規模公共事業であることから、建築工事の施工者と協力して、親子や次世代を担う技術者等を対象とした現場見学会を開催しPRに努めます。
- (イ) 展示製作は、造作・造形物の工場製作や、映像コンテンツの撮影に入ります。
- (ウ) 管理・運営について、指定管理者制度導入を軸に検討を進め、必要な条例改正を行います。

国宝旧開智学校校舎保存活用事業（継続）

ア 内容

- (ア) 「学都」の礎である国宝旧開智学校校舎を適切に保存活用するための保存活用計画を策定するとともに、校舎の耐震対策事業、防災設備更新事業を行います。
- (イ) 工事休館中は、隣接する旧司祭館のほか、県宝旧山辺学校校舎とも連携し、旧開智学校校舎の紹介展示や耐震工事に関する情報発信を行います。

イ 具体的な進め方等

- (ア) 年度末を目標に国宝旧開智学校校舎保存活用計画を作成します。
- (イ) 校舎の耐震対策工事に着手します。
- (ウ) 先行して作成した防災計画に基づき防災設備更新を計画し、補助事業申請等の準備をします。
- (エ) 旧司祭館等で、校舎の紹介展示、DVD放映、グッズ販売を行います。
- (オ) 耐震工事の進捗に応じ、見学会や速報展を開催するとともに、教育政策課と連携し、ホームページ等を活用して学都松本の象徴としての情報発信に努めます。

博物館施設の管理運営のあり方（継続）

ア 内容

- (ア) 多くの分館を博物館と文化財建造物に整理し、活動のあり方を見直すとともに、施設の管理運営のあり方を検討します。
- (イ) 学芸員に加え建築士の配置について検討し、計画的な採用及び人材育成の仕組みづくりを関係課と協議します。

イ 具体的な進め方等

- (ア) 分館を重要文化財等の文化財保護法等に基づく適切な保存活用が求められる建造物と博物館法に基づき運営する分館に再編することを検討します。
- (イ) 文化財建造物グループの管理・運営に当たっては、中核施設と分館に位置づけを整理して、学芸員に代えて建築士の配置を検討します。
- (ウ) 博物館本館と文化財建造物中核施設に職員を集中し、管理運営の効率化と利用者サービス向上のため、分館への指定管理制度の導入を検討します。

<p>(I) 博物館以外の文化財施設の管理運営について、文化財課と方針を共有すべく協議します。</p> <p>(オ) 学芸員及び建築士の採用並びに育成の方法について検討します。</p>		
<p>分館の博物館活動の充実（新規）</p> <table border="1"> <tr> <td data-bbox="279 338 1461 450"> <p>ア 内容</p> <p>新博物館の開館準備で本館が休館となるため、分館を拠点に市民の博物館活動を推進します。</p> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="279 456 1461 674"> <p>イ 具体的な進め方等</p> <p>(ア) 市民学芸員養成講座の会場を分館に移し、市民の博物館活動の推進に努めます。</p> <p>(イ) 市民の博物館活動等の成果を発表する場である博物館まつり(博物館関係団体による実行委員会形式で開催)を分館で継続開催します。</p> <p>(ウ) 博物館実習を分館で受け入れます。</p> <p>(エ) 市民学芸員との協働により分館の事業を拡大し、分館の活動のPRに努めます。</p> </td> </tr> </table>	<p>ア 内容</p> <p>新博物館の開館準備で本館が休館となるため、分館を拠点に市民の博物館活動を推進します。</p>	<p>イ 具体的な進め方等</p> <p>(ア) 市民学芸員養成講座の会場を分館に移し、市民の博物館活動の推進に努めます。</p> <p>(イ) 市民の博物館活動等の成果を発表する場である博物館まつり(博物館関係団体による実行委員会形式で開催)を分館で継続開催します。</p> <p>(ウ) 博物館実習を分館で受け入れます。</p> <p>(エ) 市民学芸員との協働により分館の事業を拡大し、分館の活動のPRに努めます。</p>
<p>ア 内容</p> <p>新博物館の開館準備で本館が休館となるため、分館を拠点に市民の博物館活動を推進します。</p>		
<p>イ 具体的な進め方等</p> <p>(ア) 市民学芸員養成講座の会場を分館に移し、市民の博物館活動の推進に努めます。</p> <p>(イ) 市民の博物館活動等の成果を発表する場である博物館まつり(博物館関係団体による実行委員会形式で開催)を分館で継続開催します。</p> <p>(ウ) 博物館実習を分館で受け入れます。</p> <p>(エ) 市民学芸員との協働により分館の事業を拡大し、分館の活動のPRに努めます。</p>		
<p>博物館資料の取扱内規に沿った資料整理の実施（継続）</p> <table border="1"> <tr> <td data-bbox="279 777 1461 956"> <p>ア 内容</p> <p>(ア) 新博物館への資料移転のため本館資料の整理を進めるとともに、用途廃止した合併地区施設の資料を移動し、不要となる施設を除却します。</p> <p>(イ) 城郭整備担当が所管する資料の活用について関係課と協議し、収蔵場所を決定するとともに、活用のための課題を整理します。</p> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="279 963 1461 1173"> <p>イ 具体的な進め方等</p> <p>(ア) 新博物館に収蔵する資料を精査し、対象外の資料及び合併地区所在資料を、旧錦部小学校に移動します。</p> <p>(イ) 資料移動後、旧梓川資料館を除却します。</p> <p>(ウ) 城郭整備担当所管資料及び旧奈川歴史民俗資料館の資料移転先については、新たな収蔵施設の確保も視野に入れながら検討します。</p> </td> </tr> </table>	<p>ア 内容</p> <p>(ア) 新博物館への資料移転のため本館資料の整理を進めるとともに、用途廃止した合併地区施設の資料を移動し、不要となる施設を除却します。</p> <p>(イ) 城郭整備担当が所管する資料の活用について関係課と協議し、収蔵場所を決定するとともに、活用のための課題を整理します。</p>	<p>イ 具体的な進め方等</p> <p>(ア) 新博物館に収蔵する資料を精査し、対象外の資料及び合併地区所在資料を、旧錦部小学校に移動します。</p> <p>(イ) 資料移動後、旧梓川資料館を除却します。</p> <p>(ウ) 城郭整備担当所管資料及び旧奈川歴史民俗資料館の資料移転先については、新たな収蔵施設の確保も視野に入れながら検討します。</p>
<p>ア 内容</p> <p>(ア) 新博物館への資料移転のため本館資料の整理を進めるとともに、用途廃止した合併地区施設の資料を移動し、不要となる施設を除却します。</p> <p>(イ) 城郭整備担当が所管する資料の活用について関係課と協議し、収蔵場所を決定するとともに、活用のための課題を整理します。</p>		
<p>イ 具体的な進め方等</p> <p>(ア) 新博物館に収蔵する資料を精査し、対象外の資料及び合併地区所在資料を、旧錦部小学校に移動します。</p> <p>(イ) 資料移動後、旧梓川資料館を除却します。</p> <p>(ウ) 城郭整備担当所管資料及び旧奈川歴史民俗資料館の資料移転先については、新たな収蔵施設の確保も視野に入れながら検討します。</p>		

報告第2号

教育文化センター専門委員の委嘱について

1 趣旨

松本市教育文化センター条例施行規則第7条の規定に基づき、教文学習を中心とした今後の学校連携のあり方について協議を進めるため、教育文化センター専門委員を委嘱することについて報告するものです。

2 委嘱者

別紙名簿のとおり

3 任期

令和3年5月1日から1年間

4 委嘱日

令和3年度より、5月1日からに見直しました（令和2年度までは第1回教文専門委員会の日）。

5 根拠規則（抜粋）

松本市教育文化センター条例施行規則
(専門委員会)

第7条 教育文化センターの事業の充実と円滑な運営をはかるため、教育文化センターに次に掲げる専門委員会(以下「委員会」という。)を置く。

研修委員会

視聴覚委員会

科学博物館委員会

2 委員会は、次の者をもって構成する。

小・中学校教職員

社会教育関係職員

その他特に教育委員会において必要と認めたる者

3 委員会の委員の定数は次に掲げるとおりとし、委員は教育委員会が委嘱する。

研修委員会 10人以内

視聴覚センター委員会 12人以内

科学博物館委員会 30人以内

4 委員の任期は1年とする。ただし、再任を妨げない。

5 委員会には必要に応じ部会を置くことができる。

担当 教育政策課 課長 赤羽 志穂

電話 33 - 3980

担当 教育文化センター 所長 加藤 政彦

電話 32 - 7600



まつもと市民生きいき活動

わたしは ころをみがき、からだを使おう
あなたに あいさつをしよう
このまちを きれいにしよう

令和3年度 教育文化センター専門委員名簿

委員会	氏名	職名	所属
研修委員会	松田 真理	校長	芳川小学校
	小松 尚志	教諭	筑摩小学校
	田代 栄子	教諭	旭町中学校
	合内 誠宣	指導主事	学校教育課学校支援センター
視聴覚委員会	藤松 輝州	校長	波田中学校
	重盛 究	教頭	女鳥羽中学校
	矢代 祐介	教諭	丸ノ内中学校
科学博物館委員会	徳武 由和	校長	四賀小学校
	大王 雅喜	教頭	山辺小学校
	倉科 ゆり	教諭	島立小学校
	一ノ瀬 浩子	科学博物館長	教育文化センター

事務局	加藤 政彦	所長	教育文化センター
	倉田 和昭	課長補佐	
	小林 直木	指導主事	
	上條 廣大	指導主事	
	望月 敬弥	主任	
	上條 直利	館長	旧山辺学校校舎

報告第3号

松本市学校給食食品等選定委員会委員の委嘱について

1 趣旨

松本市立小学校及び松本市立中学校における安全で良質な学校給食食品を確保し、円滑な学校給食の運営を図るため設置した、松本市学校給食食品等選定委員会の委員を設置要綱に基づき委嘱することについて報告するものです。

2 委員名簿

裏面のとおり

3 任期

令和3年5月17日から令和4年5月16日まで

4 根拠法令(抜粋)

松本市学校給食食品等選定委員会設置要綱

第3条 委員会は、委員11人以内をもって組織する。

2 委員は、次に掲げる者のうちから教育委員会が委嘱する。

学校長

P T A 関係者

松本市保健所関係者

学校給食課長

前各号に掲げるもののほか、教育委員会が必要と認める者

(任期)

第4条 委員の任期は、委嘱の日から1年とする。ただし、委員が欠けた場合における補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。



担当	学校給食課
課長	三代澤 昌秀
電話	86 - 1130

令和3年度松本市学校給食食品等選定委員会委員名簿

区 分	氏 名	役 職 名	備考
学 校 長	はら しゅうじ 原 修司	源池小学校 校長	
学 校 長	きかくち かつお 坂口 克夫	今井小学校 校長	
P T A 関係	たかぎ まもる 高木 守	松本市 P T A 連合会副会長	
教育委員会が必要と認める者	なるせ ゆうこ 成瀬 祐子	松本大学人間健康学部健康栄養学科専任講師	
松本市保健所関係者	かみじょう あきみ 上條 祥水	松本市保健所健康予防課管理栄養士	
学校給食課長	みよさわ まさひで 三代澤 昌秀		
教育委員会が必要と認める者	さいとう あゆみ 斉藤 歩	西部学校給食センター栄養教諭	
”	やまだ きょうこ 山田 恭子	東部学校給食センター栄養教諭	
”	あかた ひろのぶ 赤田 博信	西部学校給食センター係長（調理員）	
”	みやさか かずお 宮坂 一男	東部学校給食センター（調理員）	

報告第4号

令和2年度松本市出前講座の実績について

1 趣旨

令和2年度松本市出前講座「いい街つくろう！パートナーシップまつもと」の実績について報告するものです。

2 年間実績

実施回数及び参加者数

年 度	実施回数(回)	参加者数(人)
令和2年度	204	8,703
令和元年度	479	29,147
平成30年度	466	27,065

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響で、事業を約3カ月間中止するなどしたため、実績が大幅に減少しました。

実施の多い講座

下段括弧内は令和元年度実績

講 座 名	担当課	実施回数(回)	参加者数(人)
交通安全教室 (保育園・幼稚園、福祉 ひろば、町内公民館他)	交通安全・ 都市交通課	107 (229)	6,181 (18,816)
おでかけおはなし会	中央図書館	19 (38)	568 (1,547)
高めよ防災力～その時 に備えて	危機管理課	19 (28)	686 (1,243)

3 参加者の声(抜粋)

交通安全教室(保育園・幼稚園)

コロナ禍でも教室ができて良かった。シートベルトの大切さを改めて知った。

当たり前のことではあるが、駐車場で手をつなぐこと、チャイルドシートの着用など、市の講座をやってもらおうと保護者の受け止め方も違ってくるので良かった。

おでかけおはなし会

絵本や紙芝居など楽しいお話会などをしてもらい、参加の親子も関心を持ってよく聞くことができた。図書館や絵本に関心を持ち楽しさを知る良い機会になった。

高めよ防災力～その時に備えて～

水害に対する多角的な対処方法をビデオや豊富な資料を使って説明してもらい、改めて認識を新たにしました。

4 令和3年度出前講座

講座数 131講座

過去5年間で実施実績がない講座等を対象に見直しを行い、令和2年度の
165講座から131講座に精査
一覧表 別紙のとおり

5 今後の進め方

関係部局との連携を進め、出前講座の一層の充実を図るとともに、周知に努めます。
新型コロナウイルス感染症の状況を見ながら事業を実施します。

担当	生涯学習課・中央公民館
課長	高橋 伸光
電話	32 - 1132



まつもと市民 生きいき活動

わたしは こころをみがき、からだを使おう
あなたに あいさつをしよう
このまちを きれいにしよう

松本市出前講座

「いい街つくろう!パートナーシップまつもと」

出前講座は市民の皆様と職員とがパートナーとなり、学びを通して顔の見える関係をつくりながらいい街を目指すための講座です。市役所や公的機関などが行っている施策や仕事から、皆様の暮らしに密着したものなどを131講座をご用意いたしました。

いずれも職員等担当者が出向いてご説明させていただきます。
皆様の受講をお待ちしております。

- ◎ 受講者
 - ・市内に住所を有する人又は通勤若しくは通学する人10名以上で構成されたグループ等です。
- ◎ 受講日時
 - ・月曜日～金曜日 午前10:00～午後9:00（原則）
 - なお、休日・祝日の場合は、講座開催担当課等との調整により受講可能な場合もあります。
- ◎ お申込み方法
 - ・受講希望日の1か月前までに必要事項を所定の申請書に記入し、生涯学習課・中央公民館又はお近くの支所・出張所、地区公民館にご提出ください。
 - ・**受講予定人数は、予想される最大人数でお申込みください。（スタッフ等含む）**
 - ・「申請書」は表紙裏にもあります。ご利用ください。コピーしても、ご利用いただけます。
 - ・FAXでもお申込みいただけます。
- ◎ 会場
 - ・受講者側で確保、準備等をお願いします（会場は市内に限ります）。
- ◎ 料金
 - ・職員に関する費用は一切不要となります。
 - 会場の設営などの経費や有料の資料を使用する場合の購入代金は、受講者の負担となります。
- ◎ 講座メニュー及び受講申請書について
 - ・生涯学習課・中央公民館、お近くの支所・出張所、地区公民館に用意してあります。
 - ・市ホームページからもダウンロードできます。
 - トップページ → 子育て・教育 → 生涯学習・公民館
→ 生涯学習課・中央公民館の講座・学習会 → 松本市出前講座
- ◎ その他
 - ・講座内容等詳細につきましては、各担当課等と調整を行ってください。
 - ・受講後は、今後の講座運営の参考とさせていただきますので、**報告書の提出**を

令和3年4月改定

〒390-0811
松本市中央1-18-1 Mウイング2階
生涯学習課・中央公民館 社会教育推進担当
Tel. 32-1132 fax 37-1153
E-mail gakushu@city.matsumoto.lg.jp

様式第1号(第5条関係)

松本市出前講座「いい街つくろう！パートナーシップまつもと」受講申請書

令和 年 月 日

(あて先) 松 本 市 長

団 体 名
住 所 〒

氏 名
TEL
FAX

松本市出前講座「いい街つくろう！パートナーシップまつもと」を受講したいので、
次のとおり申請します。

希 望 日 時	年 月 日()	時 分 ~	時 分
会 場			
参 加 予 定 人 数	人		
希望講座No.		希望講座名	
希望する講座の内容 (受講する講座の内容に 希望があれば、具体的に 記入ください。)			
備 考			

No.	講座名	講座内容	時間	担当課等
1 市政				
1	松本市の行政改革について	松本市の行政改革の具体的な取り組みと今後の課題	60分	行政管理課
2	指定管理者制度について	制度の概要、松本市における制度導入状況等について	60分	行政管理課
3	松本市の情報公開及び個人情報保護制度について	情報公開条例及び個人情報保護条例に基づく本市の情報公開制度と利用方法について	60分	行政管理課
4	新たな松本のまちづくり(松本市総合計画)について	松本のまちづくりについて、総合計画に基づき説明します。	30分	総合戦略室
5	友好姉妹都市との国際交流	国際姉妹、友好都市との交流の概要を紹介し、市民レベルの国際交流について理解を深めます。	60分	人権共生課
6	スマートフォンを使って市の情報を入手	身近なスマートフォンから、いつでもどこでも簡単に市からの情報を入手できるさまざまな方法を紹介します。 1 市LINE公式アカウントを使って欲しい情報を入手してみよう 2 アプリを使って『広報まつもと』を読んでみよう 3 あると便利な市アプリとメール配信、SNSなどを紹介 ※令和3年7月から実施可能	30分	秘書広報室
7	松本市の財政状況について	松本市の財政についてわかりやすく解説します。	60分	財政課
8	選挙ミニ講座	選挙制度の仕組みと歴史。近年の投票率および選挙の仕組みについて	30分	選挙管理委員会
9	ようこそ松本市議会へ	・市議会の役割、仕組み ・議会運営 ・議会基本条例と議会改革 ・政務活動費 等についてわかりやすく説明します	90分	議会事務局
2 暮らし				
10	地縁団体の設立事務について	地縁団体設立によるメリットと、設立の手続きについて説明します。	60分	地域づくり課
11	働き方改革について	仕事と家庭の調和(ワーク・ライフ・バランス)や企業や従業員の健康づくりに取り組む「健康経営」など、働き方改革に向けた取り組みの概要や具体的な事例を説明します。	30分	労政課
12	高齢者の就労促進・支援について	高齢者の就労促進・支援を目的とした「生涯現役促進協議会」を設立しました。 働く意欲のある高齢者をスムーズに就労に繋げていくための各種サポートについて説明します。	30分	労政課
3 地域・コミュニティ				
13	人権て何だろう(暮らしの中の身近な人権問題)	私たちの身の回りにある差別や偏見に気づき、差別意識が解消できるよう人権の重要性について解説します。	30分	人権共生課
14	男女共同参画講座	「男性は仕事、女性は家事育児」など、性別によって役割分担を決めていたり、「男性は強くたくましく」「女性はやさしくおしとやかに」など、性別によってあるべき姿を固定的に考えてしまいがちです。性別に関係なく、ひとりひとりが能力や個性を發揮できる、男女共同参画社会の実現のために必要なことは何かをお話します。	60分	人権共生課
15	多文化共生をすすめるために	松本市の外国人住民は、約4,000人で県内トップクラスです。国籍や文化の違いを超え、共に支え合っていくために、何を考え、行動したらよいでしょうか。多文化共生について一緒に考えます。 ※要望に応じ、やさしい日本語、外国人と防災、外国人の生活オリエンテーションなどをテーマに講座をすることもできます。 ※なるべく10月下旬～11月末の実施を避けてお申込みください。	60分	人権共生課
16	松本市の地域づくりについて	現在、松本市が進めている地域づくりの方針や取り組み状況についてご説明し、各地区の地域づくりをどう進めていくか、参加される皆さまと一緒に考えます。	50分	地域づくり課

No.	講座名	講座内容	時間	担当課等
17	性の多様性を考える	性という「男性」と「女性」の二つに分けて考えがちですが、性のあり方(セクシャリティ)は多様で、単純に決めることはできません。100人いたら100通りの「性のあり方」があり、グラデーションのように無限です。 性的指向、性自認など私たちすべての人が持つセクシャリティは、個人の尊厳にかかわる大切な問題です。LGBTQ(性的マイノリティ)の方への理解も深めていただけるよう分かりやすく説明します。 ※なるべく10月下旬～11月末を避けてお申し込みください。	30分	人権共生課

4 税金

18	住民税のしくみ(計算のしかた)	所得の種類、控除の内容等の説明。具体例により計算方法を説明し、実際にやっていただきます。(1～6月は多忙期のためお受けできない場合があります) また、平成21年度より始まっている住民税の年金特徴(年金からの天引き)やふるさと納税(寄付金控除)についても説明します。	60分	市民税課
19	暮らしと税金 (所得税・個人住民税)	所得税および住民税の概要や、医療費・扶養控除等の問い合わせが多い身近な内容について、具体的に説明します。	60分	市民税課
20	固定資産税のしくみについて	土地・家屋の評価方法や税金の算出など固定資産税のしくみについてわかりやすく説明します。(11月～3月は多忙期の為、お受けできない場合があります)	60分	資産税課
21	租税教室	税の仕組みや国の財政状況についてご要望に応じて(紙芝居、税金クイズ、キャリア教育、税に関するDVD番組の視聴などもできます)わかりやすく説明します。 ※小学生から社会人まで対応できます。	30分 ～60分	松本税務署

5 国・県財務

22	財政融資制度について	財政投融资の仕組みと現状について、財務省作成の資料に沿って説明します。	60分	財務省長野財務事務所
23	国有財産についてのよもやま話	国有財産の歴史、県内の国有財産、市内の国有財産、ちょっと意外な国有財産のほか、財務省で取組んでいる国有財産の有効活用にかかる各取組についても説明します。	60分 ～90分	財務省長野財務事務所
24	[体験]財務省の仕事	日本の財政状況を学び、皆さんが考える予算を作ってみませんか。教材は小学校高学年～中学生向けのものになりますが、受講を希望する方はお気軽にお問い合わせください。 ※予算を作る体験はタブレット端末を使用します。数に限りがあるため、開講できない又はグループごとにご使用していただくこともあります。	30分 ～90分	財務省長野財務事務所総務課
25	長野県の経済の動き	最近の長野県の経済について、直近のデータや財務省の調査の結果を使い、その動向を説明します。	60分	財務省長野財務事務所

6 災害・防災

26	「高めよ 防災力」～その時に備えて～	・松本で予想される災害に関する基礎的知識及び事例について説明し、災害の恐ろしさ・防災の必要性を説明します。 ・災害対策全般及び「自助・共助・公助」について説明します。 ・地震、水害、土砂災害等地域ごとの特性に応じます。	60分	危機管理部
27	簡易図上訓練「DIG」(Disaster Imagination Game)	・地図に災害危険箇所を書き込むことなどを通して、地域の災害特性を共有し、いざというときの対応を参加者で考えます。「地域の現状を知る」と「自分たちで気づく」ことをねらいとしています。 ・実施要領はグループ毎実施します。地図を広げる机か台がグループ数必要です。	120分	危機管理部
28	避難所HUG (避難所運営ゲーム)	・避難所で起こる様々な出来事にどう対応していくかを模擬体験する講座です。もしあなたが避難所の運営をしなければならない立場になったとき、どのように対応すれば良いのでしょうか。参加者は、講座を通して避難所のレイアウトや部屋割りを考えたり、避難所で起こる様々な出来事に対して、思いのままに意見を出し合ったり、話し合ったりしながら、ゲーム感覚で避難所の運営を学習します。	120分	危機管理部

No.	講座名	講座内容	時間	担当課等
29	クロスロードゲーム	・クロスロードは、災害対応を自らの問題として考え、また、さまざまな意見や価値観を参加者同士共有することを目的とします。 ・災害対応は、ジレンマを伴う重大な決断の連続です。「それぞれの災害対応の場面で、誰もが誠実に考え対応すること、またそのためには災害が起こる前から考えておくことが重要であること」を気づくことをねらいとしています。	120分	危機管理部
30	[DVD]危険から身を守ろう！大きな地震が起きたとき(小学生の安全教育)	家の中・路上・学校の場面に分け、大きな地震が起きたときの正しい行動を示します。 事前に危険を取り除き、安全な環境を作ることの大切さに気づかせます。 ※防災学習につかえます。	15分	危機管理課
31	[DVD]地震だその時どうする？(自分を守り、みんなで助け合おう。)	1 地震は、なぜ起きるのか？ 2 地震時の行動 3 いろいろな自主防災訓練 4 どんな備えが必要か 5 地震の時、力になったことは 地震に関する一般的な知識及び対処要領をまとめたもので、一般市民の方々に向けた内容のDVDです。	18分	危機管理課
32	[DVD]地域が主役(避難所の開設と運営の仕方)	災害時の避難所について、過去の災害からどんな教訓が得られたか紹介します。 そして、地域で行われている避難所開設・運営訓練の事例を通して大切なポイントを解説し、避難所をより良いものにするためのヒントを提供します。 *地域住民の皆様と防災について考え、話し合うきっかけ作りなどにご活用ください。	24分	危機管理課
33	[DVD]避難所の開設・運営(その時、皆さんの力が必要です)	一般市民の方々に向け、地域の防災拠点としての避難所の役割、開設、運営の流れ、東日本大震災で得られた教訓などをわかりやすく解説しています。地域の共助力をより一層高めることを目的とした市民向けの防災・減災DVDです。 *地域住民の皆様と防災について考え、話し合うきっかけ作りなどにご活用ください。	17分	危機管理課
※	危機管理部の出前講座は、防災訓練準備等の都合によりお受けできない場合があります。また同一日に競合した場合は、過去の受講状況を確認して、未実施地域を優先します。 また、長野県地域防災推進協議会(以下、「協議会」と)との契約に基づき、協議会に所属する防災士等が講師を務める場合があります。			
52	災害時に支援を必要とする方への対応について ～災害時要援護者支援プランについて～	近年の災害では、高齢者や障害者などの要援護者の皆さんに特に被害が集中しています。いざ災害等が起きた時、少しでも被害を減らすために、日頃からの地域の支え合い・繋がりが大切です。松本市の災害時要援護者支援プランに基づく取組み、制度の内容について説明します。 <内容> ○避難行動要支援者名簿・災害時等要援護者登録制度について ○福祉避難所について	30分	福祉計画課
34	防災都市づくり計画	平成20年度に行った災害危険度判定調査の結果や、平成13年度に策定した松本市防災都市計画について説明し、地域で行う防災まちづくりについて考えます。	30分 ～60分	都市計画課
35	あなたの家は地震がきても大丈夫？	松本市が行っている木造住宅の耐震診断、耐震改修補助事業等の概念とその必要性について説明します。	30分	住宅課
36	住宅防火対策について	高齢者世帯を中心とした出火防止 ・放火されない環境づくり ・焚き火等の裸火による火災予防 ・コンロ(天ぷら鍋等)による火災予防 ・住宅用火災警報器設置促進、防火物品使用及び住宅火災の状況(出火原因等)	60分	松本広域 消防局 予防課
37	応急手当講習会	家族や同僚、友達などが万が一の時、救命の手助けができる講習会です。 90分 入門救命講習 参加証が交付されます 3時間 普通救命講習 修了証が交付されます 8時間 上級救命講習 修了証が交付されます	90分 又は3時間 又は8時間	松本広域 消防局 警防課

No.	講座名	講座内容	時間	担当課等
38	災害時や災害に備えて	災害時における身近な地域での助け合い活動や、災害ボランティアセンターの設置、炊き出し訓練等社協の取り組みや、命を守るための減災対策についてわかりやすく説明します。	30分	(社副)松本市社会福祉協議会
39	住まいの耐震性を考える	現在お住まいの住宅について、耐震性の向上を考えてみませんか？	50分	(一社)長野県建築士事務所協会松筑支部

7 消費生活

40	消費生活講座 「賢い消費者になるために」	最近の消費者相談の事例をもとに、対策について説明します。 ①悪質商法に遭わないためには ②契約ってなんだろう？ ③クーリング・オフは、どんな時にできるの？など (講座対応可能時間【平日午前9時～午後5時】でお願いします。) ※保育園、小中学校、児童センター等での講座も可能です。	30分 ～60分	市民相談課(松本市消費生活センター)
41	金融被害にあわないために	「おじいちゃん、おばあちゃんだまされないで！振り込め詐欺や悪質な業者による詐欺的な投資融資が急増中」 振り込めば詐欺、捏造・盗難キャッシュカード、未公開株・ファンド取引等の金融犯罪被害にあわないため、その現状、手口、実例及び対策について説明します。被害防止のため、民生委員など高齢者の見守りを行う方にもぜひ聞いていただきたい内容です。	60分	財務省長野財務事務所
42	基礎から学べる金融ガイド みにつけよう金融知識	「こんなとき金融知識が役立つ！」金融に関する基礎知識(預貯金、株式、債券、保険、クレジット・ローン)やトラブル対策について説明します。また、家計管理、生活設計、金融商品の利用選択など身に付けていただきたい金融リテラシーについて説明します。	60分	財務省長野財務事務所
43	子育て世代のための「ミニマネー講座」	①住宅・教育・老後といった人生の3大資金や資産形成の基本を学び、ご家庭のお財布を見直してみませんか？ ②「家庭」と比べて「国」のお財布事情がどのような状況かも最新資料を使い説明します。 ※①、②のいずれか一方のみでもお受けします。	20分 ～30分	財務省長野財務事務所理財課・総務課

8 ごみ・リサイクル

44	松本市の環境施策について(第4次松本市環境基本計画の概要)	市民や事業者と協力しながら推進していく必要がある市の環境施策について、環境分野の上位計画にあたる「第4次松本市環境基本計画」に沿って、わかりやすく説明します。	30分 ～60分	環境政策課
45	みんなで減らそう食品ロス!おうちで「残さず食べよう!30・10運動」	食べられるのに捨てられてしまう「食品ロス」が、世界的な問題になっています。国内で発生する食品ロスのおよそ45%は家庭から出ており、食品ロスを減らすためには、一人ひとりが「もったいない」という意識をもって行動することが不可欠です。松本市発祥の食品ロス削減の取組み「残さず食べよう!30・10(さんまる・いちまる)運動」を中心に、家庭でできる取組み等についてわかりやすく説明します。DVD利用。	10分 ～60分	環境・地域エネルギー課
46	災害廃棄物～大規模災害で発生する大量のごみ～の処理について	大規模災害時、大量に発生する災害廃棄物を円滑に処理することで、速やかに生活環境が復旧するよう、平時から気をつけたいこと、知っておきたいことについて説明します。 災害ごみと生活ごみの出し方の違いや、悪臭予防やスムーズなごみ回収のためのごみ分別の重要性についてなど	30分	環境・地域エネルギー課
47	循環型社会を目指して～ごみの減量とリサイクル～	松本市におけるごみ処理・リサイクルの現状と課題を説明します。また、ごみ減量のための方法や各種補助制度について説明します。	30分 ～60分	環境業務課

No.	講座名	講座内容	時間	担当課等
48	ごみと食べ残し、このあとどうなる？ (園児対象講座)	「ごみの分別と食べ残し」について、ダンス動画やスライドで、お子さんとやりとりを行いながら説明します。保護者の方もご参加いただけます。 幼少期から「もったいない」の気持ちを育み環境への意識や関心を高めていただくための講座です。 【対象】年長児童 【テーマ】ごみの分別と食べ残し 【プログラム構成】 ・捨てたものや食べ残したものはどうなる？ ・実際に分別してみよう！ ・踊ってみよう！	30分	環境・地域エネルギー課
49	食品ロスってなに？(小学生対象講座)	食品ロスをテーマに、スライドでお子さんとやりとりを行いながら説明します。保護者の方もご参加いただけます。幼少期から「もったいない」の気持ちを育み環境への意識や関心を高めていただくための講座です。 【対象】小学生 【テーマ】「食べものをすてしてしまうなんて “もったいない、～みんなでおいしくいただきます～” 【プログラム構成】 ・生きていくために食べ物が必要であること ・世界には食べたくても食べられない人がいること ・自給率が低いこと ・日本ではたくさんの食べ物を捨てていること	45分	環境・地域エネルギー課

9 福祉

50	松本市の「地区福祉ひろば」	「地区福祉ひろば」は、松本市が独自に設置している「地域福祉の拠点」です。地区福祉ひろばが果たす役割などについてお話します。	30分	福祉政策課
51	つながりと健康について	“お見舞いに来てくれる人の数で余命が変わる？”これまで健康とは「個人」の問題だと考えられていましたが、近年では「社会」が健康に影響することがわかってきました。この講座では、とりわけ「人間関係」が健康に及ぼす影響についてお話します。	50分	福祉計画課
52	災害時に支援を必要とする方への対応について ～災害時要援護者支援プランについて～	近年の災害では、高齢者や障害者などの要援護者の皆さんに特に被害が集中しています。いざ災害等が起きた時、少しでも被害を減らすために、日頃からの地域の支え合い・繋がりが大切です。松本市の災害時要援護者支援プランに基づく取組み、制度の内容について説明します。 〈内容〉 ○避難行動要支援者名簿・災害時等要援護者登録制度について ○福祉避難所について	30分	福祉計画課
53	障害者と共に生きるための福祉制度について	障害者差別解消法が施行されました。障害の種類と、障害者の抱えている状況を知っていただき、障害のある人もない人も共に歩み共に生きる社会づくりを目指します。そのために、「信州あいサポート活動」の紹介(DVD上映)をしながら障害者福祉の取組みと制度について説明します。	60分	障害福祉課
54	高齢者のための福祉サービスについて	・介護保険制度の仕組みと利用方法 ・高齢者の在宅生活を支える福祉サービス(介護保険サービス・介護保険以外のサービス)の利用の方法について説明します。	90分	高齢福祉課
55	認知症について(認知症サポーター養成講座)	認知症について、正しい知識を持ち、理解を深めましょう。小学生から高齢者まで、どの年齢層にも合わせて、また、学校、職場、地域の団体などに出向き、わかりやすくお伝えします。 【内容】 ・認知症とは ・病気の理解とその症状 ・認知症の診断、治療、予防 ・認知症の人と接する時の心がまえ ・認知症の人への支援、対応 ・松本市の取組み 等 DVD利用。	60分 ～120分	高齢福祉課
56	地域包括ケアシステムについて	・要介護状態となっても、住み慣れた地域で自分らしい生活を最後まで続けることができるよう、地域で助け合う体制づくりや、医療・介護・住まい・生活支援が一体的に提供される体制を目指す「地域包括ケアシステム」について説明いたします。 ・地域で受けられる医療・介護保険サービスや、人生会議とリビングウィル(事前指示書)について説明します。	20分 ～60分	高齢福祉課

No.	講座名	講座内容	時間	担当課等
57	暖かい気持ちのあなた！！つむぎちゃんサポートで地域福祉に参加しませんか。	市民が住み慣れた地域で安心して在宅生活をおくることが出来るように地域の中でお互いが支え合う制度です。有償生活支援事業「つむぎちゃんサポート」のしくみについて説明します。	30分	(社福)松本市社会福祉協議会
58	ふれあい・いきいきサロン	地域の様々な世代の方々の集いの場である「ふれあい・いきいきサロン」を知っていただくための講座です。	30分	(社福)松本市社会福祉協議会
59	誰もが安全・安心に暮らすことのできる福祉のまちづくり	見守り安心ネットワークの推進を通して、身近な支え合いや助け合いの仕組みづくりの必要性についてお話をします。	30分	(社福)松本市社会福祉協議会
60	老後の生き方・暮らし方について	今後の人生を住み慣れた地域で安心していきいきと生活するために、人生を振り返り、これからの生活を考える講座です。	30分	(社福)松本市社会福祉協議会
61	成年後見制度について	認知症になっても、障害があっても地域で安心して暮らせるように権利、財産を守るための成年後見制度について説明します。	45分～60分	(社福)松本市社会福祉協議会
62	あなたのシルバーライフを豊かに	・高齢者の豊かな知識や経験を、このまちに活かしてみませんか。 ・定年退職後のあなたのシルバーライフについて考えてみませんか。 ・シルバー人材センターの会員さんの活動を紹介します。	60分	(公社)松本地域シルバー人材センター

10 健康

63	～生活習慣病について～ (1) 自分の体を知りましょう	健診を受けると自分の体のどんなことがわかるのか。血液検査のデータの見方と、生活習慣病の予防・なりやすさについて説明します。	30分～60分	健康づくり課
64	～生活習慣病について～ (2) 脳の血管を守りましょう	脳の血管を若く保つことで脳卒中を予防できます。今からでも大丈夫、血管を若く保つ方法を説明します。	30分～60分	健康づくり課
65	～生活習慣病について～ (3) 認知症は予防できます	認知症には生活習慣病が原因となっているものがあります。今から「認知症予防」について考えてみませんか。	30分～60分	健康づくり課
66	「たばこ」と健康について	喫煙・受動喫煙が、健康に及ぼす影響についてお話しします。また、禁煙の方法、禁煙外来等をご紹介します。	30分～60分	健康づくり課
67	HIV感染・エイズ、性感染症について	全国のHIV感染者・エイズ患者(届け出数の累計)は増え続けており、長野県も同様の状況です。また、性感染症は若年層に患者が多く、不妊の原因にもなるといわれています。これらの感染症の正しい知識や予防方法について、受講者の年代に合わせた内容でお話します。	60分	健康づくり課
68	生涯を自分の歯で楽しくおいしく食べよう	それぞれの年代における口腔ケア・お口の機能について歯科衛生士がお話します。 ①乳幼児期…むし歯予防と咀嚼(そしゃく)について ②学童期…むし歯・歯肉炎予防と咀嚼(そしゃく)について ③成人期…歯周病予防について ④高齢期…口腔ケア(義歯の取り扱い等)ムセ予防(口腔機能向上)について ①～④のうち、どの年代の話をご希望か、必ず選んでください。	30分～60分	健康づくり課
69	生活習慣病予防のための食事について	生活習慣病予防のためには、まず生活の見直しが大切です。特に食生活は健康の基本です。生活習慣病予防のための栄養バランスや1日に摂る食事の組み合わせ、その量などについて管理栄養士が説明します。	30分～60分	健康づくり課
70	いきいき暮らすための食事	健康寿命の延伸に向けて、健康で自立して、高齢期を生きるための食生活について、管理栄養士がお話します。	30分～60分	健康づくり課

No.	講座名	講座内容	時間	担当課等
-----	-----	------	----	------

11 子育て

71	子育て支援講座	「子どもが急病になったときの対応法」「上手な病院のかかり方」等、具体的なケースを取り上げて講義を行い、日常的な乳幼児等の小児初期医療に関して説明します。講師日程の都合上、開催日2カ月前までに直接担当課(TEL34-3262)と希望日を調整のうえ、お申込みください。 講師…松本市小児科・内科夜間急病センター看護師 時間…午前10時～12時	60分	福祉政策課 (医務担当)
72	親子でできる料理教室 (食と健康応援事業)	毎日の食事をきちんと味わっておいしく食べることは、子どもの心と体の発達と健康のための第一歩です。親子で料理を作り、家族と一緒に囲む食卓は、家族間のコミュニケーションをはかり、絆を深めます。バランスの良い食べ方や食事のマナーのお話と、親子でできる簡単でバランスの良いメニューの調理実習、試食を行います。	60分 ～180分	健康づくり課
73	子どもの権利について	子どもにやさしいまちづくりを目指す子どもの権利の推進についてお話しします。	30分	こども育成課
74	松本市の子育て支援について	松本市の子育て支援施策の概要について、これまでの具体的な取組みをお話しします。	60分	こども育成課
75	子どもの権利出前学習会	子どもを対象に、紙芝居や寸劇を利用して子どもの権利についての学習会を行い、子どもの相談・救済窓口について紹介します。	90分	こども育成課
76	児童虐待防止について	児童虐待の現状を報告し、虐待の種類及び市民の責務と虐待を未然に防ぐための早期発見、早期対応についてお話をします。	60分	こども福祉課
77	松本市の子育て支援制度(給付関係)について	児童手当、児童扶養手当、特別児童扶養手当、障害児福祉手当、交通及び災害遺児等福祉金制度並びに福祉医療(医療費助成)制度について説明します。	30分	こども福祉課
78	発達障害の理解とその対応について	発達障害のとらえ方と、その対応についてお話しします。	60分	こども福祉課
79	子育て練習講座「どならない子育て」をめざして	本講座は、子育ての仲間といっしょに「しつけの練習」をする講座です。日常の子育ての場面を想定した実践的な対応を中心に、子どもにわかりやすい「つたえ方」「ほめ方」「しかり方」を2時間×3回で学びます。 ※対象 3～10歳の子どもがいる保護者 ※1グループ10名まででお申し込みください ※日時・場所・託児についてはご相談ください。	120分 ×3回	こども福祉課
80	子育て学習講座「どならない子育て」って何?	本講座は、「子育てのコツ」を学んでみたいという親向けの座学中心の講座です。子どもにわかりやすい「つたえ方」「ほめ方」「しかり方」を学び、子育てのイライラや悩みを減らしましょう。 ※対象 3～10歳の子どもがいる保護者 ※日時・場所・所要時間・対象人数についてはご相談ください。	60 ～120分	こども福祉課
81	子どもの育ちとあそび	3歳未満時向けの遊びを提供します。(手遊び、親子の触れ合い遊び、体操、絵本、紙芝居の読み聞かせ等) ※保育園の繁忙期4月5月1月2月3月の開講はできません。	60分	保育課

12 農業・自然

82	松本市の生物多様性について	「生物多様性」って何? 様々な生きものがいると何が良いの? 生物多様性の基本をはじめ、生物多様性が豊かな松本市の現状、保全活動等を説明します。	30分 ～60分	環境・地域エネルギー課
83	特定外来生物について	松本市内でも見かけることが多くなったアレチウリ、オオキンケイギク、オオカワヂシャなどの特定外来生物について、その見分け方、効果的な駆除方法を分かりやすく説明します。	30分 ～60分	環境政策課
84	地産地消について	・松本市の農業の現状について ・地産地消を推進する意義と松本市の行っている取組みについて ・松本市公設地方卸売市場の概要や域内流通の動き等について	40分	農政課

No.	講座名	講座内容	時間	担当課等
85	松本市の農産物マーケティングについて	<ul style="list-style-type: none"> 松本市の農業の現状について 農産物マーケティングの基本的な考え方について 松本市の農産物ブランド化の取組みについて 松本市の農産物販路拡大、農商工連携の取組みについて 	40分	農政課
86	野生鳥獣による農林業被害対策について	<ul style="list-style-type: none"> 野生鳥獣の生態について 被害防止対策について 	30分	農政課
87	松くい虫からみんなでマツを守りましょう！	平成25年度に松本市内で3,000本以上の松が枯れました。個人の庭の松でも被害が広がっています。被害に遭わないために、個人の庭の松は自分で守りましょう。松枯れ病のメカニズムと発見・予防・駆除方法について説明します。	30分	森林環境課

13 商業・産業

88	松本市の観光概要について	松本市の観光を取り巻く現状と課題、今後の観光政策等について、その概要を説明します。	45分 ～60分	観光温泉課
----	--------------	---	-------------	-------

14 まちづくり

89	松本市の都市計画	都市計画は、都市の健全な発展と秩序ある整備を図るため、土地利用などに関する計画を定めて、都市のあり方を決定するものです。都市計画や都市計画マスタープランについてわかりやすく説明し、将来のまちづくりについて考えます。	60分	都市計画課
90	地区計画 (みんなでつくるまちづくりのルール)	地区計画とは、地区にふさわしい建物の建て方や工作物の設置ルールを、地区の皆さんの参加と協力により決めていくものです。地区計画の概要や届け出の方法などについて、事例をもとにわかりやすく説明します。	30分	都市計画課
91	松本市の景観形成	平成19年度に策定した松本市景観計画と平成21年2月1日より施行した松本市屋外広告物条例を中心に景観形成への取り組みを紹介し、今後の景観づくりについて考えます。	30分 ～60分	都市計画課
34	防災都市づくり計画	平成20年度に行った災害危険度判定調査の結果や、平成13年度に策定した松本市防災都市計画について説明し、地域で行う防災まちづくりについて考えます。	30分 ～60分	都市計画課
92	松本城を中心としたまちづくり	R3年度策定予定の(仮)三の丸エリアビジョンをもとに、広く市民と協働で松本城を中心としたまちづくりを進めるため、ビジョンの内容や取り組み施策等を説明します。 ※令和3年度はビジョンの策定作業中であるため、令和4年度から実施	30分	お城まちなみ創造本部
93	いのち育む ころ育む 水と緑のまち松本	水と緑に恵まれた私たちのまちでは、人々が心地よいと感じる「質」を重視して、緑を大切にしてきました。さらに平成27年に策定した松本市緑の基本計画では、「いのちの大切さ」を見つめ直す新たな視点を加えています。これからの水と緑のまちづくりについて分かり易くお話しします。	応相談	都市計画課

15 交通・道路

94	みんなで考える公共交通	地域の実情に即した公共交通を皆様と一緒に考えます。 1 公共交通の現状 2 松本市地域主導型公共交通事業の紹介 3 地域の課題や要望を踏まえた公共交通のあり方	60分	公共交通課
95	《交通安全教室》 ～こども向け～	幼児・就学児童には、年齢に応じた教材を使い、交通安全の基本をわかりやすく説明し、実施指導等を行います。保護者には、こどもの注意点等を説明し、それぞれ交通安全の意識を高めてもらいます。(未満児から高校生対象)DVD利用。	20分 ～120分	自転車推進課
96	《交通安全教室》 ～おとな向け～	交通事故を未然に防ぐため、視聴覚教材等を使い、各種サークル・町会・団体・施設等、各年代・受講者の交通事情に合わせて、交通安全に関する正しい知識と交通習慣を身につけていただくための教室です。	20分 ～60分	自転車推進課
97	《交通安全教室》 ～シニア世代向け～	高齢者の集まる福祉ひろば(出張ふれあい健康講座)や各種行事等に合せて、警察・各団体等と協力して、視聴覚教材・寸劇・腹話術等による「楽しく学べる交通安全教室」を行います。DVD利用。	20分 ～60分	自転車推進課

No.	講座名	講座内容	時間	担当課等
-----	-----	------	----	------

16 水道

98	水道水が蛇口に届くまで	空気と同じように何気なく使っている水道。この水が蛇口に届くまでを、ビデオや上下水道局の中央管理室を見ながら学習することにより、上水道に対する認識を新たにさせていただきます。場所は上下水道局です。DVD利用	30分 ～60分	上水道課
99	応急給水体験	・会場に給水車(3t車)を配置し、給水車の蛇口から非常用給水袋(6ℓまたは10ℓ用)への給水を参加者に体験していただきます。 ・給水された給水袋の持ち運びや使用方法を体験していただきます。 ・最寄りの応急給水拠点の説明をします。	30分	上水道課
100	浄化センターの案内 汚水がきれいになるまで	毎日何気なく水洗トイレを使用していますが、家庭から排出される汚水がどのような工程を経て浄化されるのか、浄化センターの施設を見ながら学習することにより、下水道に対する認識を新たにさせていただきます。場所は宮渕浄化センターです。 (6～7月は小学校の社会見学が入るためお受けできない場合があります。)	60分 ～90分	下水道課

17 教育

101	学校給食について	・学校給食ができるまで(DVD説明)、献立の内容、家庭における食指導について説明します。給食実施日であれば、試食も可能です。(実費負担) ・20名までのグループで、希望日の2ヶ月前までにお申し込みください。 (場所:西部学校給食センター会議室・東部学校給食センター会議室、 時間:平日の午前12時～午後2時の間)DVD利用。	60分	学校給食課
102	知って納得 — 図書館利用講座 —	図書館とその利用方法について解説します。図書館内(書庫等)の見学をしながらの説明も可能です。学校の授業(公共施設の利用)にも対応します。内容と時間はご相談ください。 (蔵書点検等でお受けできない時期があります。)	30分	中央図書館
103	読み聞かせ講座	おはなし会や読み聞かせを行う人(保育を学ぶ学生、PTAの読み聞かせサークル、小中学校の先生等)向けに、絵本の持ち方、読み方、選び方等すぐ実践できる方法をご紹介します。時間は応相談です。 (蔵書点検等でお受けできない時期があります。)	30分	中央図書館
104	おでかけおはなし会	未就園児から小学生くらいまでの子ども、親子向けにおはなし会を行います。要望があれば本の紹介、選び方のご案内もします。時間は応相談です。 (蔵書点検等でお受けできない時期があります。)	40分	中央図書館

18 運動・体操

105	Let'S Enjoy スポーツ!	・自宅等で簡単にできるストレッチや筋力トレーニングの方法ウォーキングの基本を指導をします。 ・ニュースポーツやレクリエーションゲームなど、どなたでも楽しくできる運動、スポーツをご案内します。	60分 ～120分	スポーツ 推進課
106	まっもと元気アップ体操	・まっもと元気アップ体操をご紹介します。みんなで体を動かしましょう! ・一般向けのストレッチバージョン、児童生徒向けのダンスバージョン、高齢者向けの着座バージョンを紹介します。 ・元気な高齢者向けのシニアバージョンは、スポーツ推進課がご紹介します。DVD利用。	30分	学校教育課

No.	講座名	講座内容	時間	担当課等
19 芸術・文化・歴史				
107	セイジ・オザワ松本フェスティバルについて	フェスティバルの概要、これまでの経過、特徴等、セイジ・オザワ 松本フェスティバルについてと、関連事業として地元が開催している諸事業について説明します。	30分	国際音楽祭推進課
108	草間彌生の芸術	日本を代表する前衛芸術家として世界を舞台に活躍を続ける松本市出身の草間彌生。2000年に入り草間の評価はまさに不動のものとなりましたが、比類ないその才能は、今もお驚異的な創作意欲を傾注し輝き続けています。 稀有な才能は、天才と呼ぶに相応しいものですが、その成果は決して容易に得られたものではありません。草間芸術の軌跡をスライド映像を交えながらお話しします。 ※パワーポイントをプロジェクターで映しながらお話しします。会場にプロジェクター設備がない場合は持参します。館主催事業の都合により、お引き受けできない時期があります。お早めにご相談ください。	90分	美術館
109	展覧会を楽しむためのアートお届け講座	美術館で開催の企画展について、内容や見どころを学芸員が映像等でご紹介します。展覧会をご観覧いただく前の予備知識として学習いただくことで、より深く楽しんでご鑑賞いただけます。 ※企画展の内容や時期によりお引き受けできない場合があります。	30分	美術館
110	上條信山の人と書	松本市出身の偉大な書家・上條信山(1907～1997年)。89歳で亡くなるまで、書の創作と後進の育成に心を注ぎ、終生、芸術家としての書を追求しつつ、日本の書写書道教育を牽引しました。その人と作品を紹介し、難しいと思われがちな書の魅力や自由な鑑賞法についてお話しします。 ※館主催事業の都合により、お引き受けできない時期があります。お早めにご相談ください。	60分	美術館
111	洋画家・田村一男の世界に親しむ	信州の高原風景を愛した画家・田村一男(1904～1997年)。92歳で亡くなるまで、ただひたすらに絵と向き合い、厳冬期でも野外での山との対話を続けた田村の作品は、写実的な描写とはちがった独自の表現が魅力です。初期から晩年まで約70年に渡る田村の画業を紹介しながら、その魅力と絵画を鑑賞する手引きをレクチャーします。 ※館主催事業の都合により、お引き受けできない時期があります。お早目にご相談ください。	60分	美術館
112	池上百竹亭コレクション	松本市の文人・池上喜作(百竹亭)が生涯にわたって蒐集した、近代文芸資料を主とするコレクションをご紹介します。池上百竹亭とコレクションの概要、開講時に美術館で開催中の展示内容についてお話しします。 ※館主催事業の都合により、お引き受けできない時期があります。お早めにご相談ください。	30分	美術館
113	アートカードを使った美術鑑賞ゲームを楽しもう	松本市美術館の所蔵作品が1作品ずつ印刷されたアートカードを使って、トランプゲームやカルタのような美術鑑賞ゲームを行います。子どもから大人まで、遊びを通して美術に楽しく親しむことができます。 ※館主催事業の都合により、お引き受けできない時期があります。お早めにご相談ください。	40分	美術館
114	松本のたから～松本市の文化財の紹介～	松本市内に数多くある文化財の概要を説明するとともに、代表的なものを挙げて、その文化財の持つ歴史や特徴などの紹介をします。また、地域住民の方が行っている文化財の学習活動などの実例をもとに、身近な文化財の楽しみ方について考えていきます。※事前に「この文化財(分野)についてもっと知りたい」とリクエストがあれば、その文化財(分野)について、より詳しい解説の時間を設けたいと思います。	60分	文化財課
115	文化財の保護	文化財にはどのような種類があり、どのようなルール(制度)のもとで保護されているのでしょうか。松本市内にある文化財の保護の状況を見ながら、保護における国・県・市のそれぞれの役割やつながりなどについて解説します。	60分	文化財課
116	松本の古代(国府・東山道の話)	かつて奈良・平安時代には都から陸奥国(宮城県)多賀城まで続く東山道が整備され、松本を通過していました。そして10世紀前半には信濃国の国府があったと文献に記されていますが、現在までその場所は分かっていません。東山道はどこを通り、国府はどこにあったのか？松本の古代史の最も大きな謎を、これまでの松本市教育委員会の発掘調査成果から推察します。	60分	文化財課

No.	講座名	講座内容	時間	担当課等
117	殿村遺跡と虚空蔵山麓の歴史的景観	平成21年の保存決定以来、毎年継続的に発掘調査を実施している殿村遺跡の最新の調査成果と、遺跡をとりまく虚空蔵山麓の歴史的景観について、特に交通の要衝、宗教空間の広がり、会田氏と御厨の3つの特質について、調査担当者が解説します。	60分	文化財課
118	国史跡弘法山古墳と松本の古墳時代	3世紀後半に築造された弘法山古墳は、東日本でも最古級とされる前方後方墳であり、国史跡に指定されています。この古墳の調査成果を通じて、大和朝廷が成立する以前の弥生時代後期から古墳時代前期の信濃国そして松本地方の情勢を浮かび上がらせます。	60分	文化財課
119	松本城の考古学入門	近年、松本城の周辺では松本城南・西外堀復元事業などで、江戸時代の発掘調査件数が増えています。こうした発掘調査の成果からは、これまでわからなかった松本城の様相や、江戸時代の人々の生活が判明してきています。発掘調査事例をもとに、松本城の考古学の成果を、職員がわかりやすく解説します。	60分	文化財課
120	松本の伝統行事 ーぼんぼん・こと八日・あめ市などー	ぼんぼん・こと八日・あめ市といった、昔から伝わる松本の伝統行事について、その由来等を詳しく解説する講座です。時代による行事内容の変遷を絵図や写真を用いながら解説し、それらが現在の行事にどのように継承されているのか考えていきます。	60分	文化財課
121	松本高校生が愛した松本	日本アルプスに抱かれた静かな城下町・松本に、山と旧制高校生活にあこがれた若者が全国から集まり、新風を吹き込みました。北杜夫の『どくとるマンボウ青春記』などで描かれた旧制松本高校生の学生生活と当時の松本の様子を、懐かしい写真で振り返ります。	60分	博物館
122	松本まるごと博物館	博物館の仕事とは？なぜ、松本市で「松本まるごと博物館構想」が策定されたのか。そしてそれは、何をめざしているのか。松本市の博物館の歩みと、市内全域が「屋根のない博物館」であることについて解説し、市民の皆さんとの協働のあり方を探ります。	60分	博物館
123	道祖神と人々の暮らし	道祖神のふるさとは安曇野か？松本市域にもたくさんの道祖神があります。道祖神という人々に最も身近な神様に対する信仰の歩み、現代の道祖神についてわかりやすく解説します。	60分	博物館
124	学都松本の歩み	江戸時代から現在に至るまでの学びの歴史を、学芸員が映像で紹介しながらたどります。3ガク都のひとつー学都松本の歩みを知る講座です。	60分	博物館
125	松本の年中行事	正月の三九郎、月遅れの雛まつり・青山さまとぼんぼん・七夕まつりなど、松本地方独特の年中行事を、行事写真や博物館資料の映像で紹介しながら学芸員が解説します。	60分	博物館
126	松本城世界遺産登録に向けて	松本市では、国宝松本城を世界遺産に登録しようと活動を進めています。この講座では、そもそも「世界遺産とは何か」から最新の取組みについてまで、お話します。なお、繁忙期等の都合によりお断りすることもありますので、ご承知置きください。	60分	文化振興課
127	松本城の歴史	松本市のシンボルの一つである松本城について、その歴史・構造をわかりやすく解説します。また、担当する講師によって様々な角度から松本城の特徴についてもお話します。この講座をきっかけに、多くの市民の方の来城をお待ちしております。	60分	文化財課
128	松本城下町の成り立ち	松本市の中心市街地一帯は、近世松本城下町の伝統を引き継いでいます。この講座では、松本城下町の成立と発展の歴史や、構造などの特徴についてお話します。中心市街に一方通行やクランクが多い理由が見えてきます。	60分	文化財課

No.	講座名	講座内容	時間	担当課等
-----	-----	------	----	------

20 動画学習

129	食品ロスの削減の取り組み 園児・小学生を対象とした環境教育事業	<p>松本市内の保育園・幼稚園・こども園等の年長児を対象に、食べものを作ってくれた人への感謝の気持ちや資源の大切さを忘れない心を育み、食べ残しをなくして食品ロスを減らすための参加型の環境教育を行っています。</p> <p>その中でみんなで踊る「おいしくのんでリサイクル！」の動画は、まつもと子ども未来委員会の協力のもと、松本市内で撮影しました。動画は下記リンクからご覧になれます。</p> <p>https://www.city.matsumoto.nagano.jp/smph/shisei/kankyojoho/haikibutu/syokuhin_loss/enji_kankyo.html</p> 	約2分 30秒	環境・地域エネルギー課
130	まつもと元気アップ体操	<p>・まつもと元気アップ体操をご紹介します。みんなで体を動かしましょう！</p> <p>・一般向けのストレッチバージョン、児童生徒向けのダンスバージョン、高齢者向けの着座バージョンを紹介します。</p> <p>・DVDの貸出もあります。</p> <p>https://www.city.matsumoto.nagano.jp/kodomo/kyoikuiinkai/genki_up/genki_up_taisou.s.html</p> 	約4分 30秒	学校教育課
131	国宝松本城ものがたり ～城を救い守り続ける人々～	<p>市民の宝である国宝松本城の有難さを知り、次代まで守り引き継いでいくための一助として活用いただくために制作したものです。</p> <p>明治期に松本城を守った市川量造と小林有也(うなり)の逸話や、今もお城を守り続ける多くの方のさまざまな奉仕活動を紹介しています。</p> <p>ぜひ、ご覧ください。DVDの貸出もあります。</p> <p>https://www.city.matsumoto.nagano.jp/smph/miryoku/siro/osirase/matsumotojo_DVD.html</p> 	約20分 19秒	総合戦略課

※講座の注意事項

この出前講座は、皆様の生涯学習支援のための講座です。

説明に関する質疑やご意見はお受けしますが、苦情を言う場にならないようにご協力ください。

※下記の場合はお引き受けできませんのでご了承ください。

- ・ 公の秩序を乱し、又は善良な風俗を阻害するおそれのある場合
- ・ 政治、宗教又は営利団体等がその目的達成のために行う集会及び催しに係るもの
- ・ 行政等に対する苦情、陳情又は批評に係るもの
- ・ 出前講座の目的に反すると認められるもの



まつもと市民生きいき活動

■わたしは ころをみがき、からだを健おう
■あなたに おいさつをしよう
■このまちを されいにしよう



一人ひとりが あたりまえのことをこつこつと続けて かけがえのないいのち 生きいきとかがやくように…

報告第 5 号

松本市図書館サービス基本計画の策定について

1 趣旨

図書館サービスのさらなる充実を図るため、図書館の現状と課題を明らかにするとともに、目指すべき将来像、その実現のための具体的な取組み、取組別指標を定めた松本市図書館サービス基本計画を策定することについて、報告するものです。

2 計画策定の背景

図書館法の改正により、平成 24 年に告示された「公立図書館の設置及び運営上の望ましい基準」(文部科学省告示第 172 号)において、基本的な運営方針の策定、それを踏まえた適切な指標・目標の設定、事業計画の策定と公表に努めることが示されました。

松本市図書館は、これまで図書館サービス基本計画を策定せず、「松本市総合計画」及び「松本市教育振興基本計画」等に基づき、サービスの提供を行ってきました。

しかし、少子高齢化、高度情報化が進むなど社会状況の変化に伴い、市民ニーズも多様化、複雑化し、これまで担ってきた役割や機能の維持向上に加えて、新たな視点を取り入れ、計画的にサービスの充実を図る必要性が生じています。

3 計画の位置付け

「松本市総合計画」とその教育分野計画でもある「松本市教育振興基本計画」を上位計画とし、後者の社会教育機関別計画として位置付けるものです。

4 今後の予定について

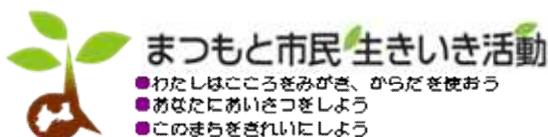
R 3 .	6 月 ~ 1 0 月	図書館協議会及び庁内関係各課と計画案の協議
	1 1 月	松本市図書館サービス基本計画(案)策定
	1 2 月	パブリックコメントの実施
R 4 .	3 月	松本市図書館サービス基本計画策定

5 その他

令和 3 年 2 月に「松本市中央図書館あり方検討委員会」から提出された報告書の意見を計画に反映します。

計画の実現に必要な建物・設備等の改修を、中央図書館の大規模改修等に反映させます。

次期開催の庁議及び市議会経済文教委員協議会に報告します。



担当	中央図書館
館長	小西 えみ
電話	3 2 - 0 0 9 9

報告第6号

史跡松本城浚渫工法実証実験の結果について

1 趣旨

史跡松本城の堀の堆積物除去と水質浄化を図ることを目的とし、松本城の堀に適した浚渫方法を選択するための実証実験を実施しましたので、その結果について報告するものです。

2 経過

- 2 . 9 . 2 5 公募型プロポーザルによるプレゼンテーション審査を実施
1 0 . 2 3 業者指名審査委員会にて受託候補者について協議決定
1 2 ~ 3 . 3 浚渫工法の実証実験（3工法：3社で実施）

3 実施方法

実証実験は、1工法（1社）あたり300平方メートルを目途に実施しました。

実施時期 令和2年12月から令和3年3月までのうち、それぞれ1カ月程度

実施場所 松本城内堀の3カ所（別紙のとおり）

4 結果

工法別の利点と課題

ア 泥土吸引圧送工法（小柳建設㈱）

堆積土の巻き上げを抑制し、的確な浚渫を実施しましたが、大型の浚渫船を用いるためインパクトが大きく、浚渫船の移動に伴う汚泥の巻き上げに課題がありました。

イ 水底土砂ポンプ浚渫工法（あおみ建設㈱）

小型でインパクトが小さく、浚渫装置内から堆積土の巻き上げが発生しませんでした。脱水处理の騒音対策や汚泥の処理方法に課題がありました。

ウ 水中排砂ロボットを用いたサブマード工法（㈱鴻池組）

浚渫時の機械騒音はありませんでしたが、堀底の起伏等により水中ロボットのみによる施工に課題があり、補助台船を用いて浚渫を実施しました。

全体の課題

ア 浚渫した堆積土の処理に伴い発生する臭いや騒音、また堆積土に含まれる砒素の対応などについて、課題が明らかになりました。

イ 準備や片付け、施工中における公園内の安全管理や景観など、市民や観光客への影響についても検討すべき課題が生じました。

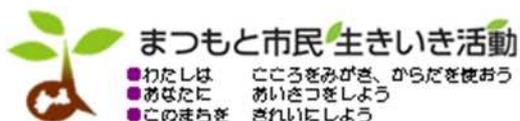
ウ 浚渫方法と堆積土処理方法を分けて評価する必要があることがわかりました。

5 今後の対応

次期開催の経済文教委員協議会及び庁議において、実証実験の結果を報告します。

今回の実証実験の結果を踏まえ、史跡の保護や管理、環境、土木技術などの観点から松本城管理課、環境保全課、建設課、文化財課等の関係課で検討し、令和3年9月末までに工法の選定を行います。

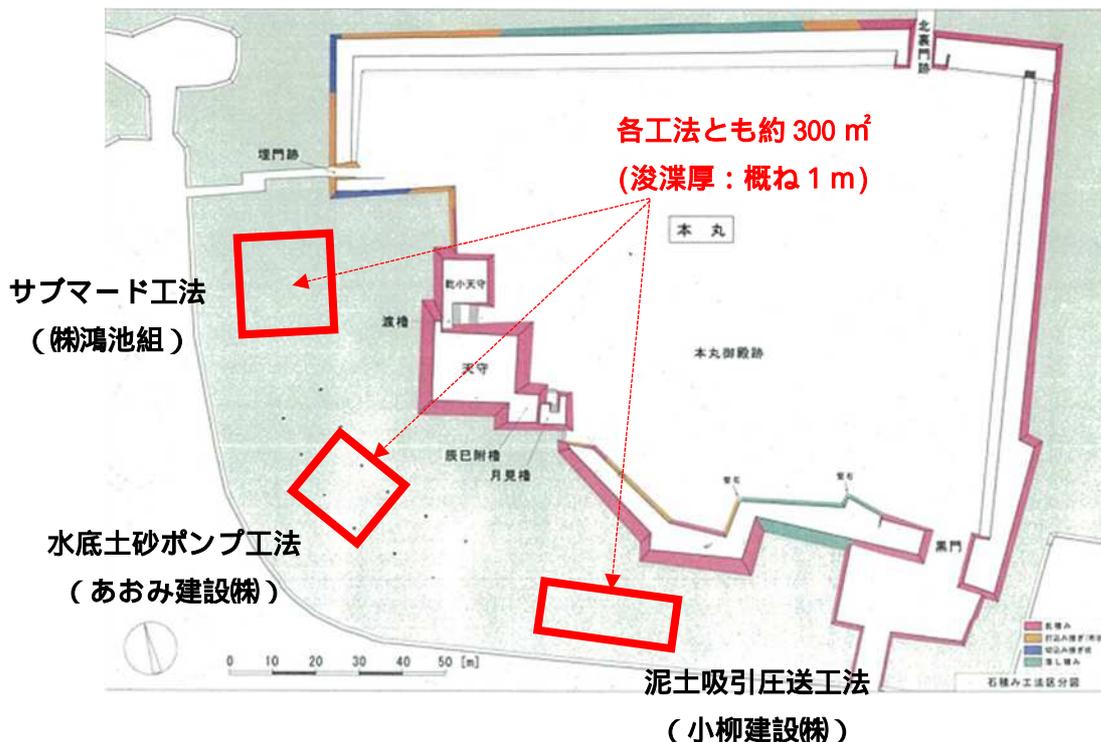
令和3年度中に堀全体の浚渫及び浚渫後の堀の管理に係わる基本計画を策定したうえで、令和4年度に実施設計を行い、令和5年度から浚渫工事に着手する予定です。



担	当	文化財課
		城郭整備担当
課	長	竹内 靖長
電	話	32 - 2902

実証実験の結果

1 実施場所について



2 実験結果（利点と課題）について

		泥土吸引圧送工法	水底土砂ポンプ浚渫工法 (原位置分級ポンプ浚渫工法)	サブマード工法
浚渫方法（汚泥を吸いとる作業）				
	景観	大型の浚渫船を用いるためインパクト大	小型でインパクト小。観光客配慮も有。	水上構造物が少なく、インパクト小
	濁り	浚渫船の移動時に濁り発生	濁りの発生なし	移動時に若干の濁りが発生
	臭気	浚渫船の移動時に微かな下水臭発生	臭気の発生なし	臭気の発生なし
	騒音	特に問題なし	特に問題なし	装置が水中のため騒音無し
堆積土処理方法（吸いとった汚泥を処理する作業）				
固液 (土砂) 分離	装置	サイクロン+振動ふるい	なし	サイクロン+振動ふるい
	臭気	臭気の発生なし	臭気の発生なし	臭気の発生なし
	騒音	振動ふるい作動音あり	騒音の発生なし	振動ふるい作動音あり
濁水 処理	装置	凝集沈殿処理(ヒ素不溶化処理)	凝集沈殿処理	凝集沈殿処理(ヒ素不溶化処理)
	臭気	臭気の発生なし	臭気の発生なし	臭気の発生なし
	騒音	騒音の発生なし	騒音の発生なし	騒音の発生なし
脱 水 処理	装置	フィルタープレス	遠心分離	フィルタープレス
	臭気	臭気の発生なし	臭気の発生なし	臭気の発生なし
	騒音	作動音あり	遠心分離機作動音大	作動音あり
残土 処分	方法	不溶化(残土処分)	産廃処理(セメント工場)	不溶化(残土処分)
	評価	建設発生土として処理	産業廃棄物として処理	建設発生土として処理
その他		<ul style="list-style-type: none"> 浚渫船の移動に伴う巻き上げに対処が必要 外堀や総堀での運用方法が検討事項 	<ul style="list-style-type: none"> 脱水処理工法の騒音対策に対処が必要 汚泥中のヒ素不溶化に検討が必要 	<ul style="list-style-type: none"> 水中排砂ロボット運用方法が課題

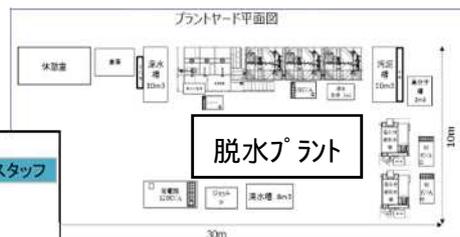
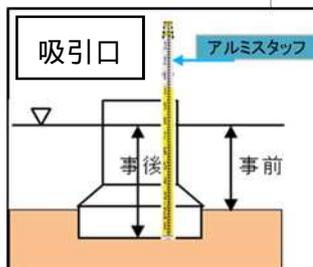
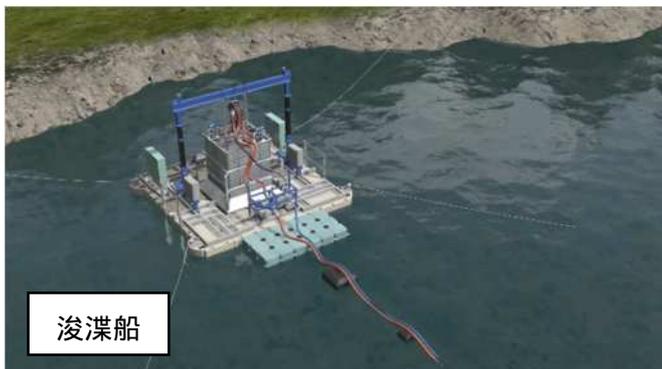
泥土吸引圧送工法 (真空吸引(高濃度浚渫法) 圧縮空気で圧送)

堆積土の巻き上げを抑制し、的確な施工が可能



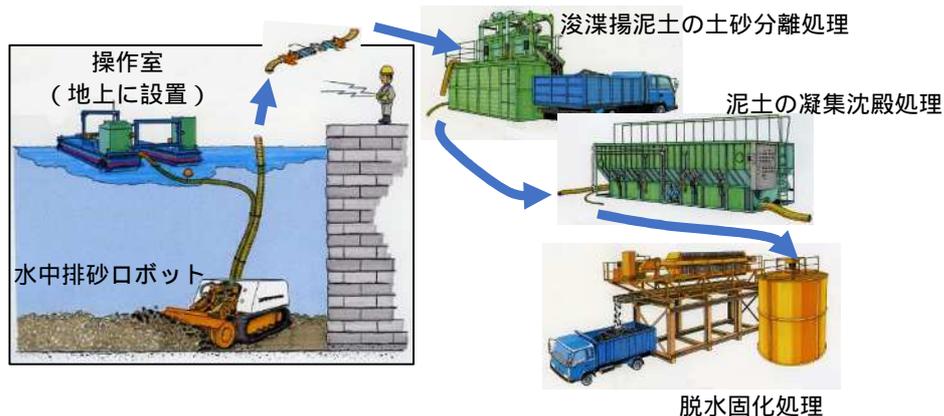
水底土砂ポンプ浚渫工法 (原位置分級、ポンプで圧送)

装置内から泥水(汚泥)巻き上げが発生せず、環境への影響がほとんどない



水中排砂ロボットを用いたサブマード工法 (ロボット浚渫し、ポンプで圧送)

水上設備が不要となるため、美観を損なわず、浚渫時の機械騒音を低減



報告第7号

第3次松本市教育振興基本計画の策定に係る教育に関する
市民アンケートについて

1 趣旨

第3次松本市教育振興基本計画（以下「第3次計画」という。）の策定に当たり、教育に関する市民アンケート（以下「アンケート」という。）を実施しましたので、その結果等について報告するものです。

2 アンケート調査の概要

目的

第3次計画を策定するに当たり、松本市民の教育に関する意識を把握するもの
対象

1 児童・生徒 小学校：3年生、6年生 中学校：3年生 任意の1又は2クラス	【小学校】 鎌田・清水・島内・寿・岡田・今井・明善・四賀・安曇・奈川・ 13校 梓川・才教学園・信大附属松本 【中学校】 高綱・菅野・筑摩野・山辺・開成・信明・安曇・波田・才教学 10校 園・信大附属松本
2 保護者 「1.児童・生徒」の掲載校に係る保護者に加え、右の一覧校・園の保護者	松本養護学校の保護者（小学部3年生、小学部6年生、中学部3年生） 【保育園】 さくら・渚・のぼら・今井・寿・みつば・梓川西・松本 【幼稚園・認定こども園】松本・信州大学附属・松本青い鳥・ささべ 12園の年長クラス保護者
3 教職員等 「1.児童・生徒」、「2.保護者」の掲載校・園に係る教職員等に加え、右の一覧校の教職員等	【高等学校】 松本蟻ヶ崎・松本深志・松本工業・松本筑摩・松商学園 7校 エクセラン・信濃むつみ
4 一般	市内に住民登録のある18歳以上の方から1,500名を無作為抽出（外国籍の方を含む。）

1から3までの学校及び園は、平成28年度に実施した前回調査と同一の学校及び園とすることで、経年変化を調査できるようにしました。

期間

令和2年10月30日～11月30日

方法

ア 対象 1 から 3 までは、学校を通じて調査用紙を配布し、回収

イ 対象 4 は、調査用紙を郵送し、返信用封筒で回収

3 アンケート回答状況

区分	配布数（通）	有効回答数（通）	有効回答率（％）
幼稚園・保育園・ 養護学校保護者	1,641（1,172）	1,266（1,035）	77.1（88.3）
小中学生保護者			
小 中 学 生	1,299（881）	1,020（836）	78.5（94.9）
教 職 員	1,479（1,513）	1,101（981）	74.4（64.8）
一 般	1,500（2,188）	653（776）	43.5（35.5）
合 計	5,919（5,754）	4,040（3,628）	68.3（63.1）

（ ）内は前回数値（平成 28 年度調査時）

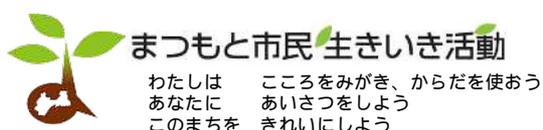
4 配布資料

「松本市の教育に関するアンケート調査」に関する主な調査結果 別紙
松本市の教育に関するアンケート調査 調査結果報告書 別冊 1
松本市の教育に関するアンケート調査 自由記述に関する分析 別冊 2

5 今後の予定

今回の調査で得られた結果を踏まえ、引き続き第 3 次計画の策定を進めます。

担当 教育政策課
課長 赤羽 志穂
電話 33 - 3980



「学都松本」

「松本市の教育に関するアンケート調査」に関する主な調査結果

《 家庭 》

《 子ども本人 》

《 学校・地域 》

(1) 幼稚園・保育園・養護学校保護者

問7 学校等に対して望むことは、「学校等での出来事など情報を提供してほしい」が31.3%と最も高い。
問9 子どもの教育について、関心のあることは、「主体的に学ぶ力」が32.5%と最も高い。

問10 松本市の子どもたちに、どのような子どもになってほしいと思うかは、「思いやりやさしさを持った子ども」が39.1%と最も高い。【図参照】

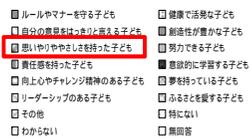
問12 子どもの教育に関して課題は、「いじめ問題」の割合が51.0%と最も高い。

問15 地域の行事にお子さんと一緒に参加しているかは、「よく参加している」と「時々参加している」をあわせた「参加している」の割合が49.8%。

問17 子育てで大切にしていることは、「ほめるときはほめ、しかるときはきちんとしかること」の割合が25.1%と最も高い。

問19 家庭での教育力向上にどのような取組みが必要だと思うかは、「子どもと保護者が一緒に体験できる機会の充実」の割合が25.9%と最も高い。

【どのような子どもになってほしいと思うか】



(2) 小中学生保護者

問7 お子さんが通っている学校等に対して望むことは、「授業を充実してほしい」が50.8%と最も高い。

問9 子どもの教育について、あなたが関心のあることは、「主体的に学ぶ力」が34.9%と最も高い。【図参照】

問10 松本市の子どもたちに、どのような子どもになってほしいと思うかは、「思いやりやさしさを持った子ども」が34.0%と最も高い。

問12 子どもの教育に関して課題は、「基礎学力の低下」が36.5%と最も高い。

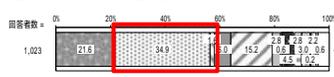
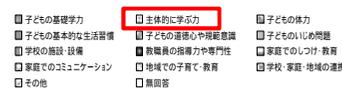
問13 松本市の教育について、【現在の状況】は、「ICTを活用した学び」「英語教育」で「十分と感じない」が約4割。また、「読書活動」「安全・安心な学校施設」「学校から地域・家庭への情報発信」で「十分と感じる」が約3割。【今後の重要度】は、すべての項目で「重要」が高く、特に「英語教育」で8割半ば。

問15 地域の行事にお子さんと一緒に参加しているかは、「よく参加している」と「時々参加している」をあわせた「参加している」が62.2%。

問17 子育てで大切にしていることは、「スキップや会話をたくさんすること」が23.7%と最も高い。

問19 家庭での教育力向上にどのような取組みが必要だと思うかは、「大人が自ら見本となる意識の向上」が23.7%と最も高い。

【教育について、あなたが関心のあること】



(3) 小中学生

問3 自身について、すべての項目で、学年が下がるにつれ「そう思う」が高い。また、子どもの回答で「学校が楽しい」「勉強が好き」と回答している子どもが「そう思う」を回答している割合が高い。【図参照】

問19 心配ごとがあるかについて、「ある」と「ときどきある」をあわせた「ある」が36.2%。学年別で見ると、学年が上がるにつれ「ある」の割合が高くなっており、中学校3年生で約5割。

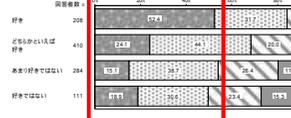
問26 将来なりたい職業があるかについて、「何となくある」が38.1%と最も高い。

問27 将来、松本市に住みたいと思うかは、「できれば住みたい」が27.6%と最も高い。また、学年別で見ると、学年が下がるにつれ「ずっと住み続けたい」が高くなっており、小学校3年生で約3割。

【いろいろなことに積極的に挑戦することができる×学校が楽しいですか】



【いろいろなことに積極的に挑戦することができる×勉強が好きですか】



(4) 教職員

問3 ご自身の職務に「生きがい」「やりがい」を感じるかについて、「感じる」と「どちらかといえば感じる」をあわせた「感じる」が91.8%。「あまり感じない」と「感じない」をあわせた「感じない」の割合が7.1%。平成28年度調査と比較すると、「感じる」の割合が減少。

問4 ご自身の職務について忙しいと感じているかは、「感じている」と「どちらかというと感じている」をあわせた「感じている」が89.7%。

問5 仕事をするうえで、あなたが、時間をかけている業務は、「保育・授業の準備」が60.2%と最も高い。

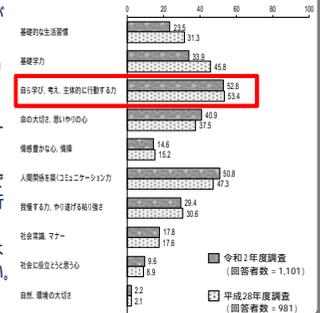
負担感を感じている業務は、「事務処理」が37.8%と最も高い。

問6 多忙を解消するために必要なことは、「調査や事務関係の書類の提出を少なくする」が21.0%と最も高い。

問11 学校教育等で特に子どもたちに学んでほしいことは、「自ら学び、考え、主体的に行動する力」が52.8%と最も高い。【図参照】

問12 子ども教育に関して課題は、「基本的な生活習慣の乱れ」が55.7%と最も高い。

【子どもたちに学んでほしいこと】



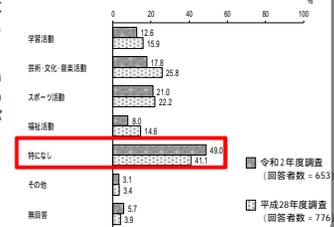
(5) 一般

問12 地域で子どもを育てるためにはどのような取組みが必要だと思うかは、「地域の大人が地域の子どもに関心を持ち、ほめたり、注意したり、声をかける」が34.0%と最も高い。問16 どんな生涯学習活動をしているかは、「特になし」が49.0%と最も高い。【図参照】

問18 学習情報やサークル情報をどのように知るかは、「広報まつもと」が55.1%と最も高い。平成28年度調査と比較すると、「インターネット」が増加。

問24 松本市が「学都松本」をめざしていることを知っているかについて、「内容はわからないが聞いたことはある」の割合が66.6%と最も高い。

【実施している生涯学習活動内容】



【まとめ】

- ・子どもの教育の関心は、「主体的に学ぶ力」が最も高い。
- ・子どもになってほしい姿は、「思いやりやさしさを持った子ども」が最も高い。
- ・松本市の教育について、「読書活動」「学校施設」「学校からの情報発信」の評価が高い。一方で、「ICTを活用した学び」や「英語教育」で評価が低い。
- ・子育てで大切にしていることは、「スキップや会話」、「ほめるときはほめ、しかるときはしかること」が高い。

【まとめ】

- ・子どもの自己肯定感に関する質問は、学年があがるにつれ低くなる。学校が好き、勉強が好きと回答した子どもほど自己肯定感が高くなっている。
- ・子どもの心配事は学年があがるにつれ高く、中学3年生で約5割。
- ・将来なりたい職業で「何となくある」が最も高い。
- ・松本市に住み続けたい意向は、学年があがるにつれ低くなる。

【まとめ】

- ・教員の職務について、約9割が忙しいと回答している。また、負担を感じながら、時間をかけているのは、「事務処理」が最も高い。
- ・教員が学校教育で特に学んでほしいことは、「主体的に学び、考え行動する力」と「コミュニケーション力」が最も高い。
- ・一般市民で、生涯学習活動をしていない方が約半数。5年前に比べ増加。
- ・一般市民で、学習情報やサークル情報について、「広報まつもと」の割合が最も高いが、5年前と比べ、「インターネット」の割合が増加している。

松本市の
教育に関するアンケート調査
調査結果報告書

令和3年5月

松本市教育委員会

目次

I	調査の概要	1
1	調査の目的	1
2	調査対象	1
3	調査期間	1
4	調査方法	1
5	回答状況	2
6	調査結果の表示方法	2
II	調査結果	3
1	幼稚園・保育園・養護学校保護者	3
	(1) 回答者属性	3
	(2) 学校等（保育園・幼稚園を含む）とのかかわりについて	4
	(3) 子どもの教育について	5
	(4) 家庭や地域での教育について	10
	(5) その他	14
2	小学生・中学生保護者	15
	(1) 回答者属性	15
	(2) 学校等（保育園・幼稚園を含む）とのかかわりについて	17
	(3) 子どもの教育について	20
	(4) 家庭や地域での教育について	46
	(5) その他	53
3	小学生・中学生	54
	(1) 回答者属性	54
	(2) 学校生活について	58
	(3) 普段の生活について	75
	(4) 家庭や地域のことについて	86
	(5) 将来やその他のことについて	92

4	教職員・保育士・幼稚園教諭	95
	(1) 回答者属性	95
	(2) 子どもの教育について	105
	(3) 家庭や地域の教育について	134
	(4) その他	138
5	一般調査	143
	(1) 回答者属性	143
	(2) 子どもの教育について	144
	(3) 家庭や地域での教育について	150
	(4) 生涯学習について	158
	(5) その他	166

I 調査の概要

1 調査の目的

本調査は、教育に関する市民の意見を把握し、今後の教育行政推進の参考にするとともに、「第3次松本市教育振興基本計画」を策定していく上での基礎資料とすることを目的として実施したものです。

2 調査対象

1 児童・生徒 小学校：3年生、6年生 中学校：3年生 任意の1又は2クラス	【小学校】鎌田・清水・島内・寿・岡田・今井・明善・四賀・安曇・ 13校 奈川・梓川・才教学園・信大附属松本 【中学校】高綱・菅野・筑摩野・山辺・開成・信明・安曇・波田・ 10校 才教学園・信大附属松本
2 保護者 「1 児童・生徒」の掲載校に係る保護者に加え、右の一覧校・園の保護者	松本養護学校の保護者（小学校3年、6年、中学校3年） 【保育園】さくら・渚・のぼら・今井・寿・みつば・梓川西・松本 【幼稚園・認定こども園】松本・信大附属・松本青い鳥・ささべ 12園の年長クラス保護者
3 教職員等 「1 児童・生徒」、「2 保護者」の掲載校・園に係る教職員等に加え、右の一覧校の教職員等	【高等学校】松本蟻ヶ崎・松本深志・松本工業・松本筑摩・ 7校 松商学園・エクセラン・信濃むつみ
4 一般	市内に住民登録のある18歳以上の方から1,500名を無作為抽出（外国籍の方を含む。）

3 調査期間

令和2年10月30日から令和2年11月30日

4 調査方法

- ・ 市内保育園、幼稚園・認定こども園、小学校、中学校、養護学校、高等学校は前回調査との経年比較のため、同じ学校を抽出しています。
- ・ 児童生徒の調査対象数は市内学校の地理的な偏りに考慮して母集団の構成比に近づくように各校1クラスまたは2クラスを選定して調査しています。また、学校を通じて児童・生徒及び保護者の調査票を配布し、1つの封筒で回収することで児童・生徒と保護者の関係性を調査できるようにしています。
- ・ 一般アンケートは郵送郵送で調査用紙を送付し、回答後、同封した返信用封筒で回収しました。

5 回収状況

	配布数 (通)	有効回答数 (通)	有効回答率 (%)
幼稚園・保育園・ 養護学校保護者	1,641 (1,172)	1,266 (1,035)	77.1 (88.3)
小中学生保護者			
小 中 学 生	1,299 (881)	1,020 (836)	78.5 (94.9)
教 職 員	1,479 (1,513)	1,101 (981)	74.4 (64.8)
一 般	1,500 (2,188)	653 (776)	43.5 (35.5)
合 計	5,919 (5,754)	4,040 (3,628)	68.3 (63.1)

※ () 内は前回数値 (平成28年度調査時)

6 調査結果の表示方法

- ・回答は各質問の回答者数 (N) を基数とした百分率 (%) で示してあります。また、小数点以下第2位を四捨五入しているため、内訳の合計が 100.0%にならない場合があります。
- ・複数回答が可能な設問の場合、回答者が全体に対してどのくらいの比率であるかという見方になるため、回答比率の合計が 100.0%を超える場合があります。
- ・クロス集計の場合、無回答を排除しているため、クロス集計の有効回答数の合計と単純集計 (全体) の有効回答数が合致しないことがあります。なお、クロス集計とは、複数項目の組み合わせで分類した集計のことで、複数の質問項目を交差して並べ、表やグラフを作成することにより、その相互の関係を明らかにするための集計方法です。
- ・調査結果を図表にて表示していますが、グラフ以外の表は、最も高い割合のものを  で網かけをしています。(無回答を除く)
- ・クロス集計のコメントは、有意水準 5% で比率検定を行い、差が認められたものについてコメントしています。

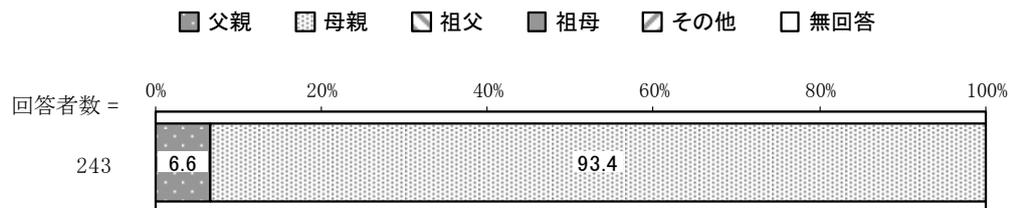
II 調査結果

1 幼稚園・保育園・養護学校保護者

(1) 回答者属性

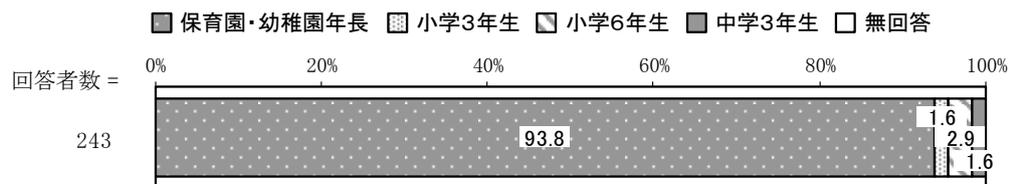
問1 お子さんとの続柄は何ですか。

回答結果は、以下の通りとなっています。



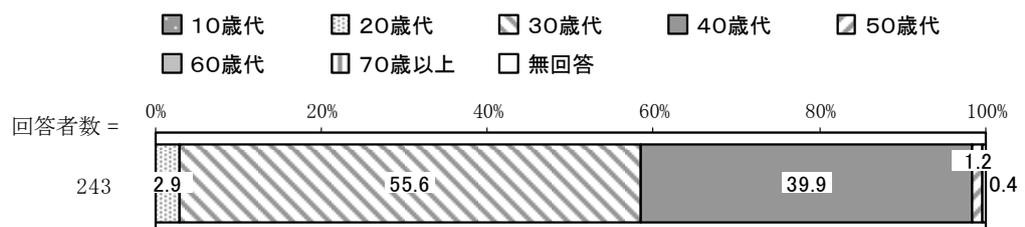
問2 お子さんは、何年生ですか。

回答結果は、以下の通りとなっています。



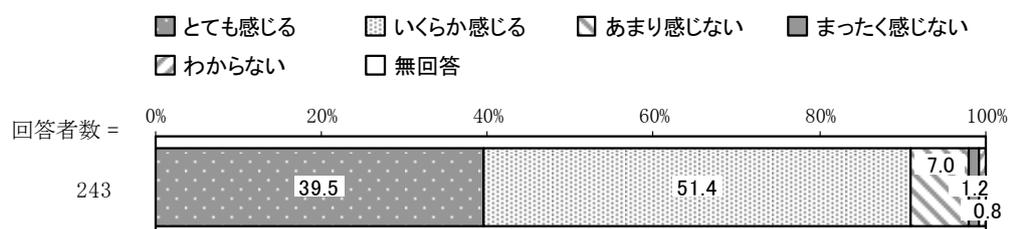
問3 あなたは何歳ですか。

回答結果は、以下の通りとなっています。



問4 あなたは松本市に親しみや愛着を感じますか。

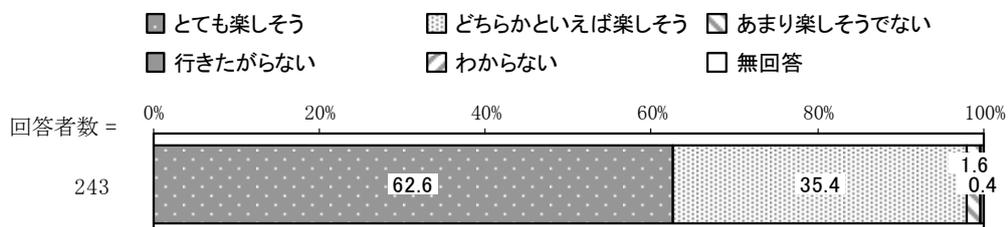
「とても感じる」と「いくらか感じる」をあわせた“愛着を感じる”の割合が90.9%、「あまり感じない」と「まったく感じない」をあわせた“愛着を感じない”の割合が8.2%となっています。



(2) 学校等（保育園・幼稚園を含む）とのかかわりについて

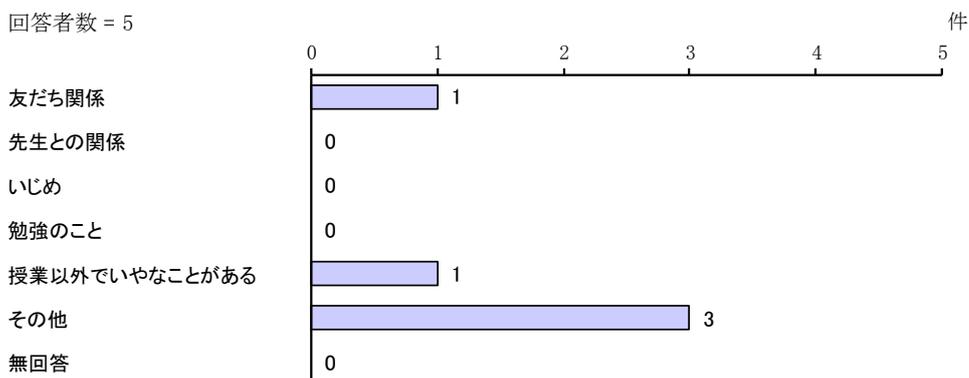
問5 あなたのお子さんは、学校等に楽しく通っていますか。

「とても楽しそう」と「どちらかといえば楽しそう」をあわせた“楽しそう”の割合が98.0%、「あまり楽しそうでない」の割合が1.6%、「行きたがらない」の割合が0.4%となっています。



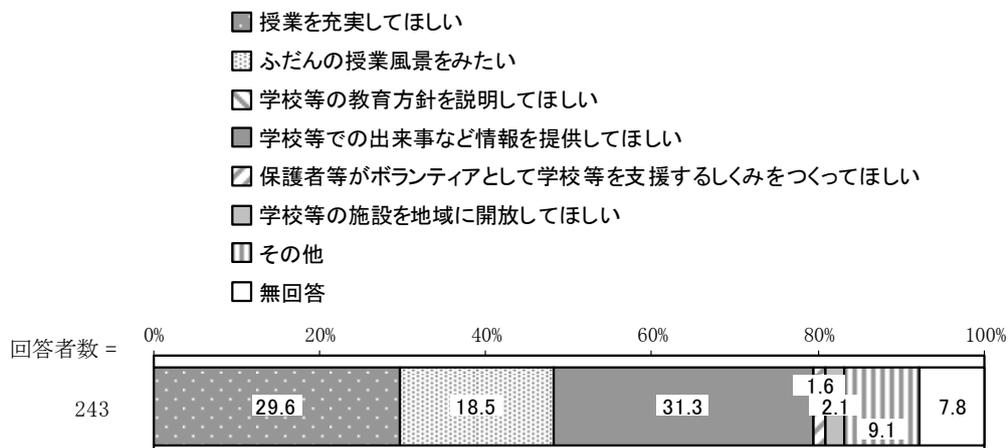
問6 問5で「あまり楽しそうでない」、「行きたがらない」、「わからない」と回答した方にお聞きします。 その理由は、何だと思えますか。（最もあてはまるもの1つに○）

「友だち関係」、「授業以外でいやなことがある」が1件となっています。



問7 あなたは、お子さんが通っている学校等に対して何を望みますか。 （最もあてはまるもの1つに○）

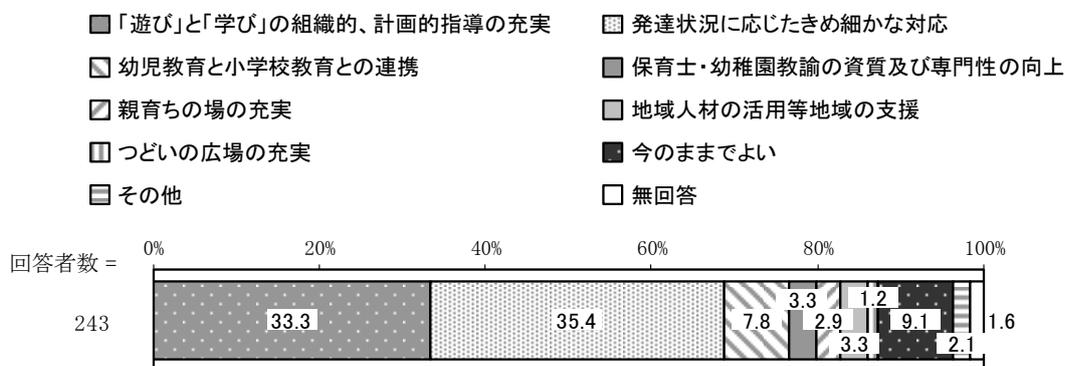
「学校等での出来事など情報を提供してほしい」の割合が31.3%と最も高く、次いで「授業を充実してほしい」の割合が29.6%、「ふだんの授業風景をみたい」の割合が18.5%となっています。



(3) 子どもの教育について

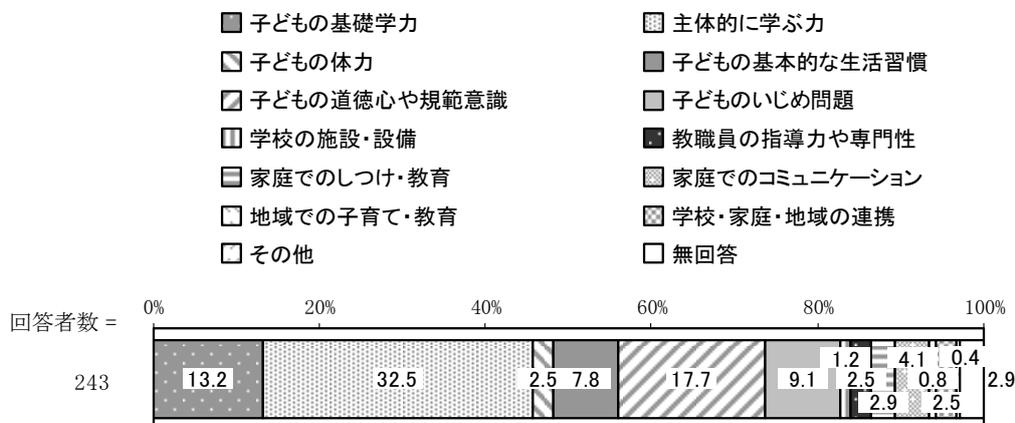
問8 幼児教育の充実には、どのような取り組みが必要だと思いますか。
(最もあてはまるもの1つに○)

「発達状況に応じたきめ細かな対応」の割合が35.4%と最も高く、次いで「遊び」と「学び」の組織的、計画的指導の充実」の割合が33.3%となっています。



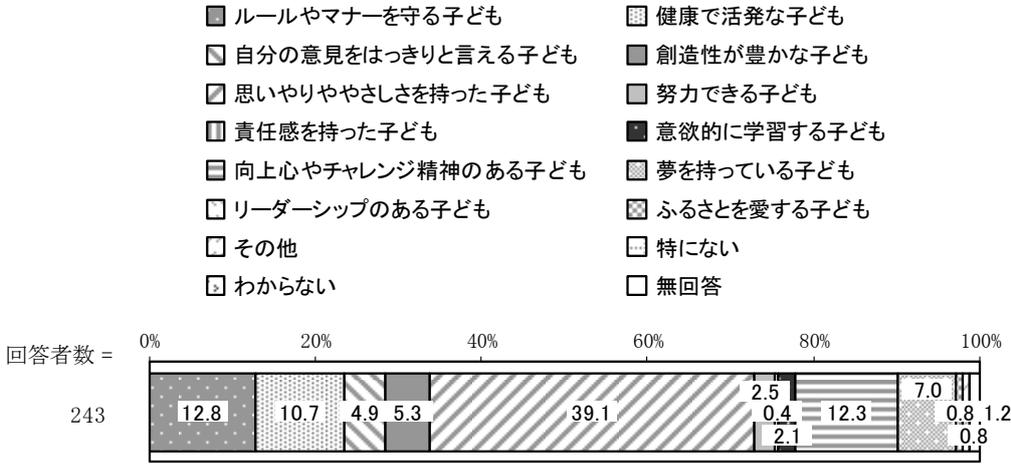
問9 子どもの教育について、あなたが関心のあることは何ですか。
(最もあてはまるもの1つに○)

「主体的に学ぶ力」の割合が32.5%と最も高く、次いで「子どもの道徳心や規範意識」の割合が17.7%、「子どもの基礎学力」の割合が13.2%となっています。



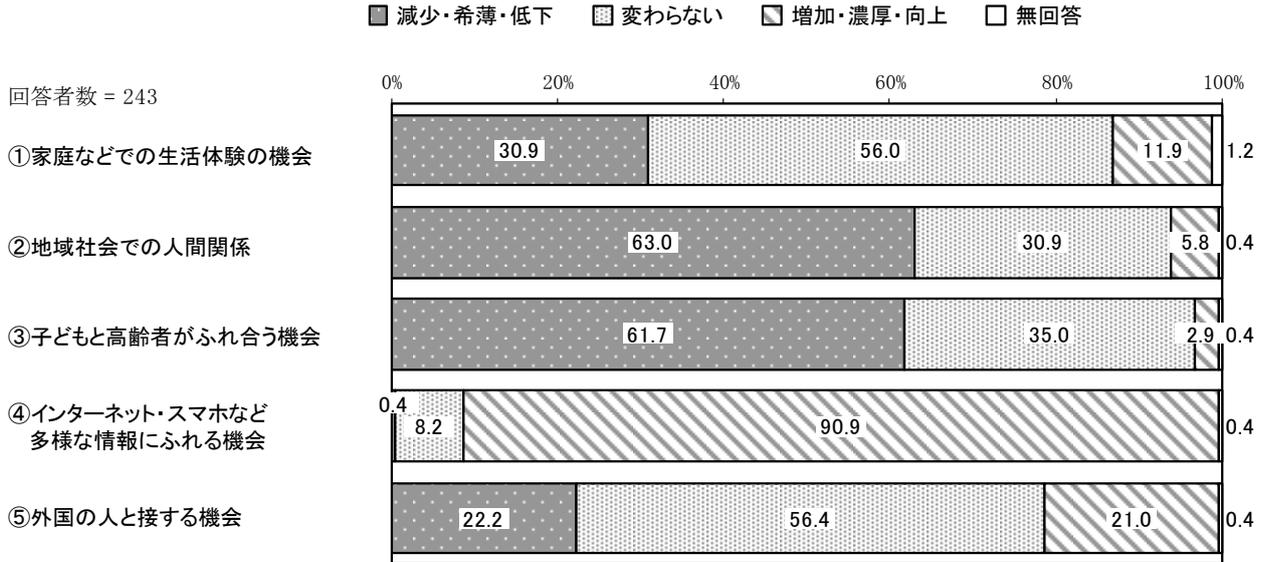
問 10 あなたは、松本市の子どもたちに、どのような子どもになってほしいと思いますか。

「思いやりやさしさを持った子ども」の割合が 39.1%と最も高く、次いで「ルールやマナーを守る子ども」の割合が 12.8%、「向上心やチャレンジ精神のある子ども」の割合が 12.3%となっています。



問 11 子どもたちを取り巻く環境は、この数年、どのように変化してきたと思いますか。(〇は①～⑤ごとに1つ)

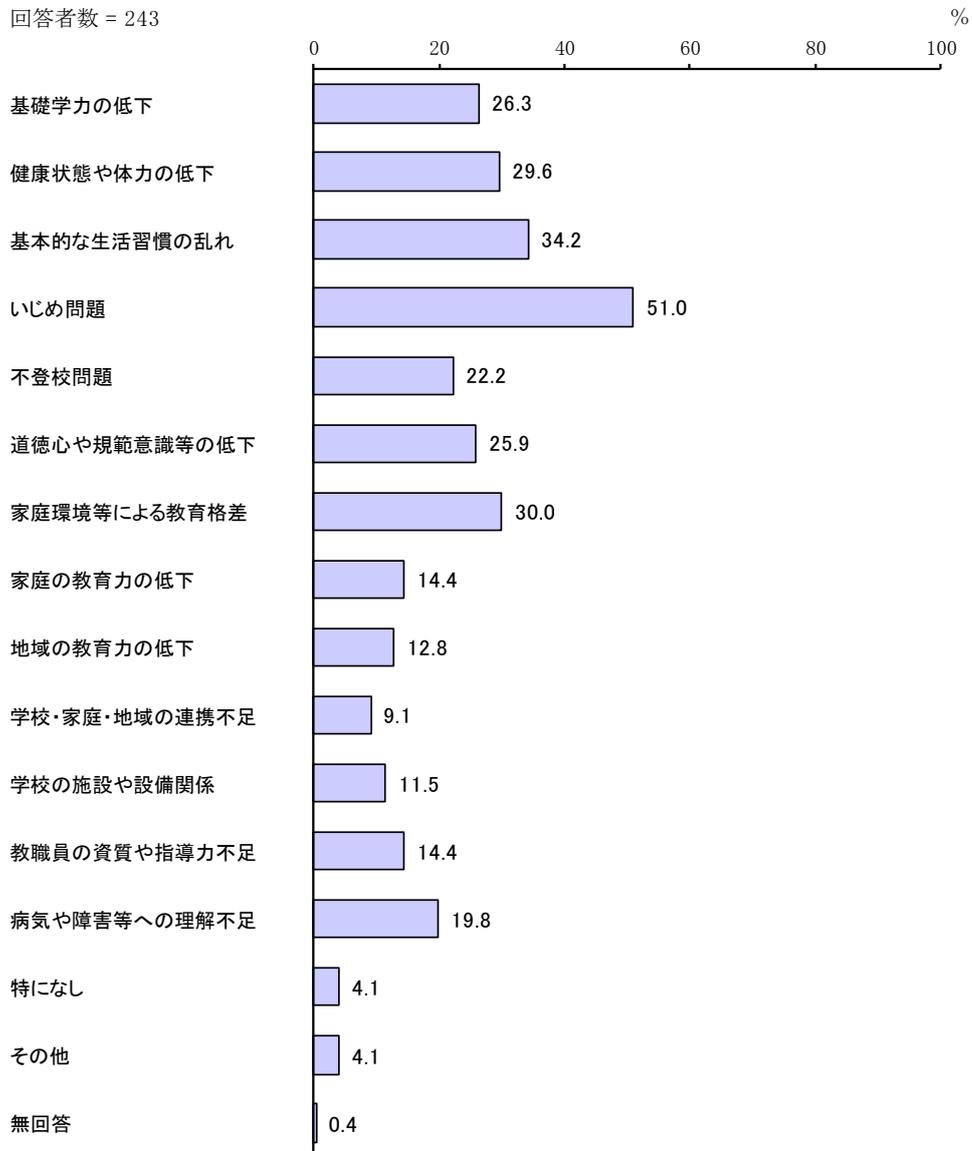
『②地域社会での人間関係』『③子どもと高齢者がふれ合う機会』で「減少・希薄・低下」の割合が高く、約6割となっています。また、『④インターネット・スマホなど多様な情報にふれる機会』で「増加・濃厚・向上」の割合が高く、約9割となっています。



問12 子どもの教育に関して課題は何だと思えますか。(あてはまるものすべてに○)

「いじめ問題」の割合が51.0%と最も高く、次いで「基本的な生活習慣の乱れ」の割合が34.2%、「家庭環境等による教育格差」の割合が30.0%となっています。

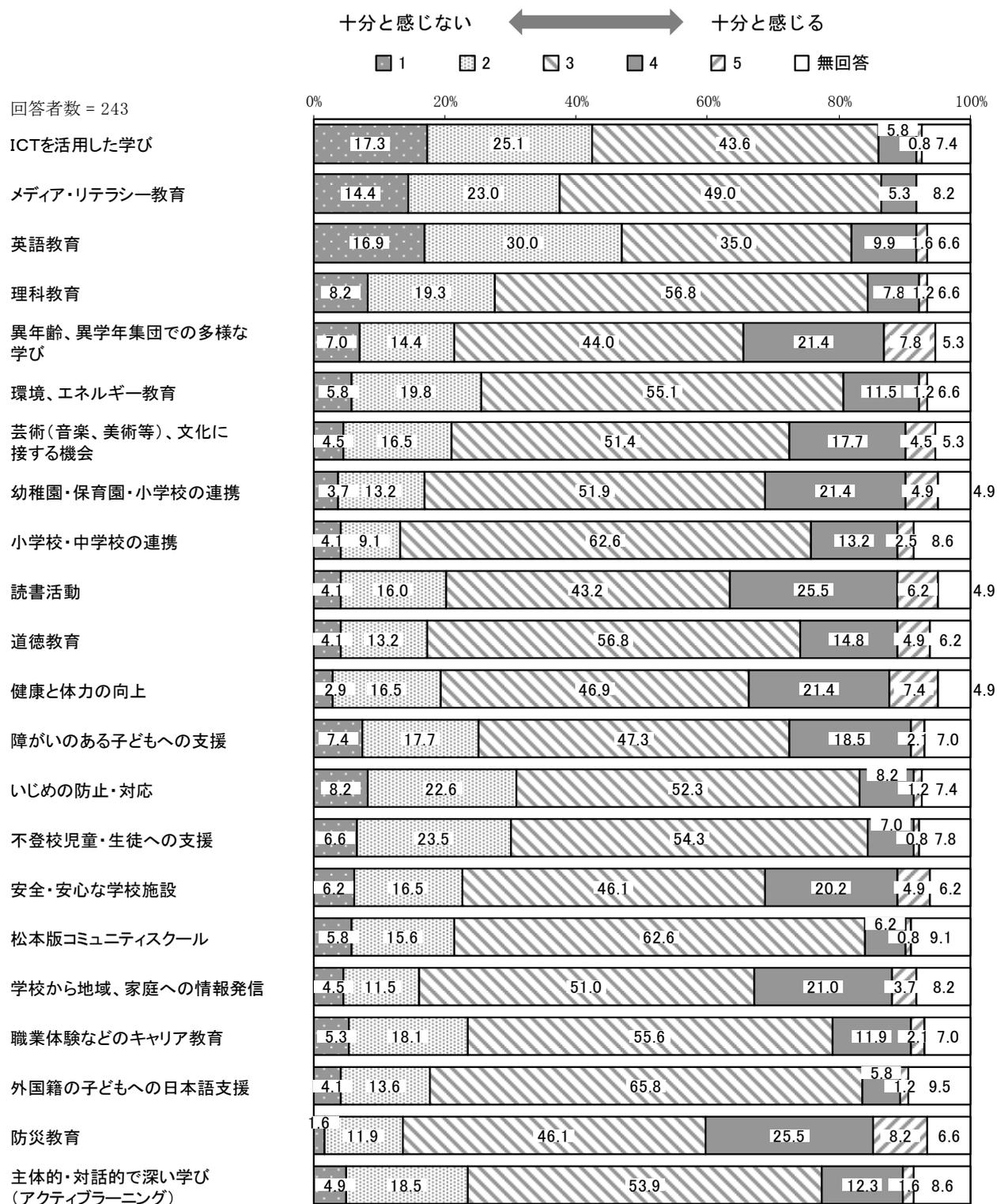
回答者数 = 243



問 13 松本市の教育について「現在の状況」と「今後の重要度」について、それぞれ5段階であなたの考えに最も近い番号を1つずつ選んで○をつけてください。

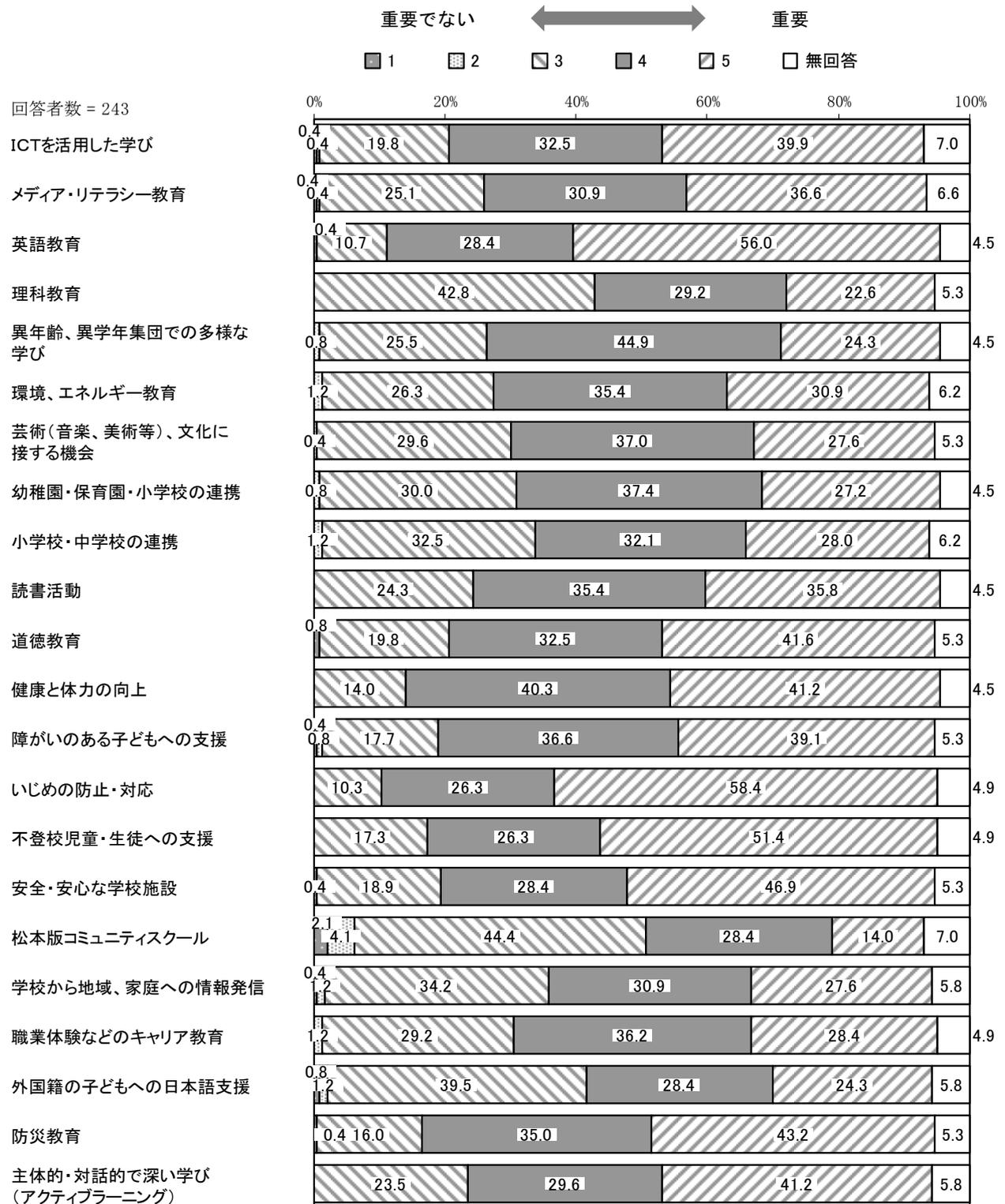
1. 現在の状況

『ICTを活用した学び』『英語教育』で「1」と「2」をあわせた“十分と感じない”の割合が高く、4割を超えています。また、『異年齢、異学年集団での多様な学び』『読書活動』『健康と体力の向上』『防災教育』で「4」と「5」をあわせた“十分と感じる”の割合が高く、約3割となっています。



2. 今後の重要度

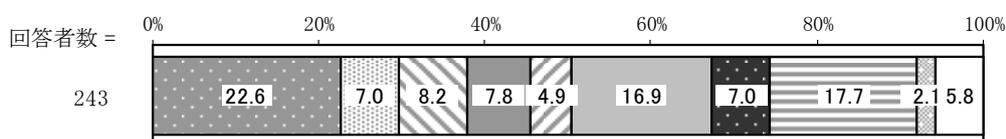
すべての項目で「4」と「5」をあわせた“重要”の割合が5割を超えています。特に『英語教育』『健康と体力の向上』『いじめの防止・対応』では“重要”の割合が高く、8割を超えています。



問 14 新型コロナウイルス感染症が今後も子どもたちの教育に大きな影響を及ぼす可能性があります。現在の状況下における松本市の子どもたちの教育について不安を感じていることは何ですか。（最もあてはまるもの1つに○）

「学習保障に関すること」の割合が22.6%と最も高く、次いで「対面によるコミュニケーションの機会減少に関すること」の割合が17.7%、「学校行事に関すること」の割合が16.9%となっています。

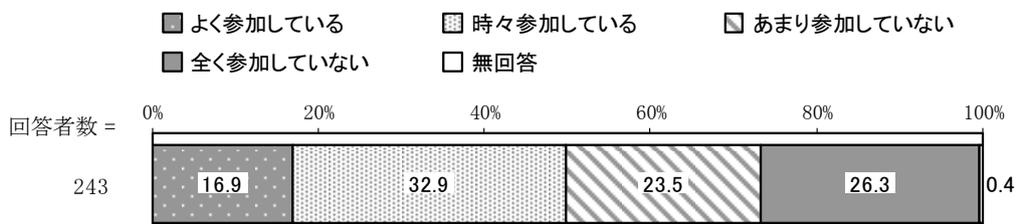
- 学習保障に関すること
- 心のケアに関すること
- 生活習慣のみだれに関すること
- 部活動に関すること
- 対面によるコミュニケーションの機会減少に関すること
- 無回答
- 学校での感染症対策に関すること
- 運動不足・体力の低下に関すること
- 学校行事に関すること
- ICT環境整備・オンライン指導に関すること
- その他



(4) 家庭や地域での教育について

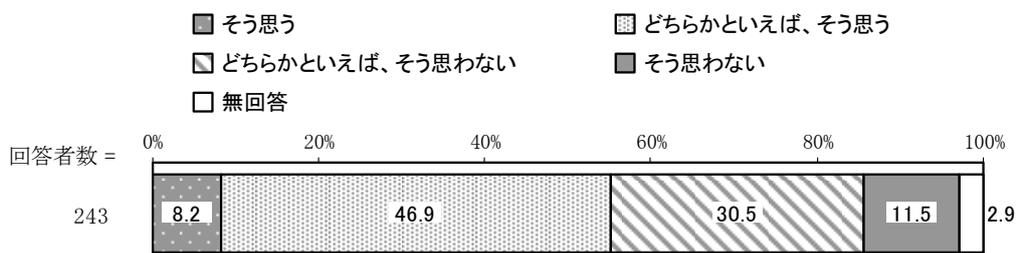
問 15 昨年1年間で、地域の行事にお子さんと一緒に参加していますか。

「よく参加している」と「時々参加している」をあわせた“参加している”の割合が49.8%、「あまり参加していない」と「全く参加していない」をあわせた“参加していない”の割合が49.8%となっています。



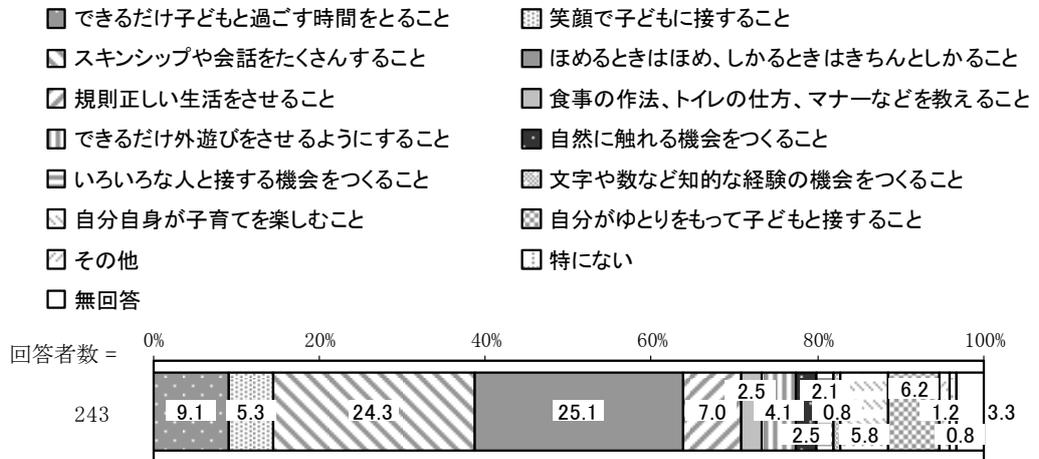
問 16 地域には、ボランティアで学校を支援するなど、地域の子どもの教育に関わってくれる人が多いと思いますか。

「そう思う」と「どちらかといえば、そう思う」をあわせた“そう思う”の割合が55.1%、「どちらかといえば、そう思わない」と「そう思わない」をあわせた“そう思わない”の割合が42.0%となっています。



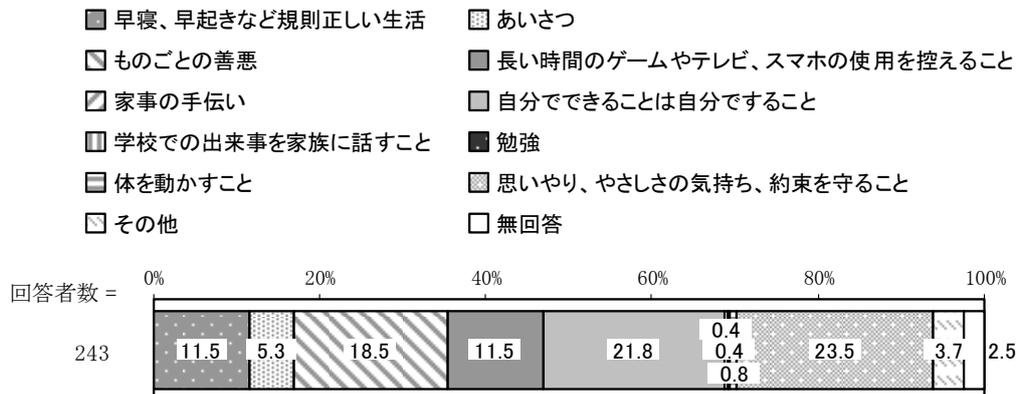
**問 17 あなたが子育てで大切にしていることはどんなことですか。
(最もあてはまるもの1つに○)**

「ほめるときはほめ、しかるときはきちんとしかること」の割合が25.1%と最も高く、次いで「スキンシップや会話をたくさんすること」の割合が24.3%となっています。



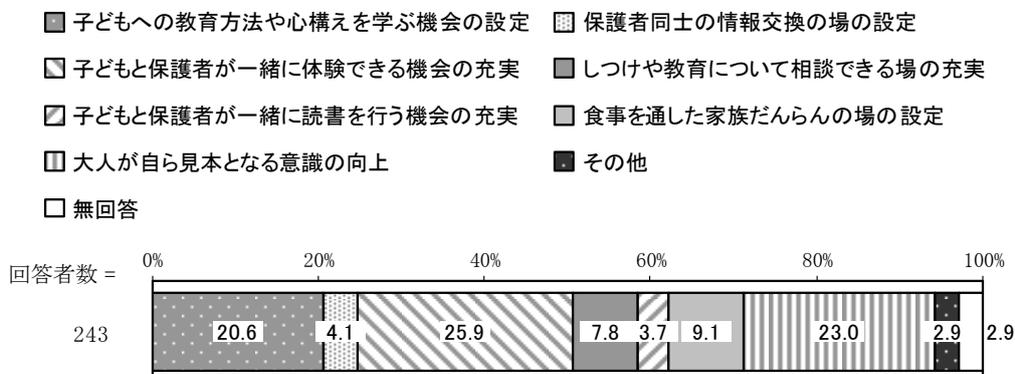
**問 18 あなたが、自分のお子さんによく注意することは何ですか。
(最もあてはまるもの1つに○)**

「思いやり、やさしさの気持ち、約束を守ること」の割合が23.5%と最も高く、次いで「自分でできることは自分ですること」の割合が21.8%、「ものごとの善悪」の割合が18.5%となっています。



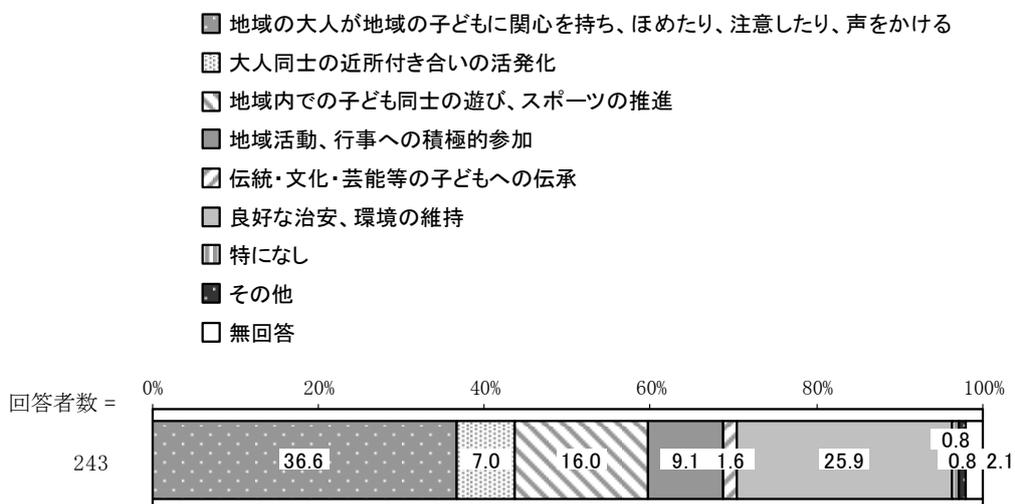
**問 19 あなたは、家庭での教育力向上にどのような取組みが必要だと思いますか。
(最もあてはまるもの1つに○)**

「子どもと保護者が一緒に体験できる機会の充実」の割合が 25.9%と最も高く、次いで「大人が自ら見本となる意識の向上」の割合が 23.0%、「子どもへの教育方法や心構えを学ぶ機会の設定」の割合が 20.6%となっています。



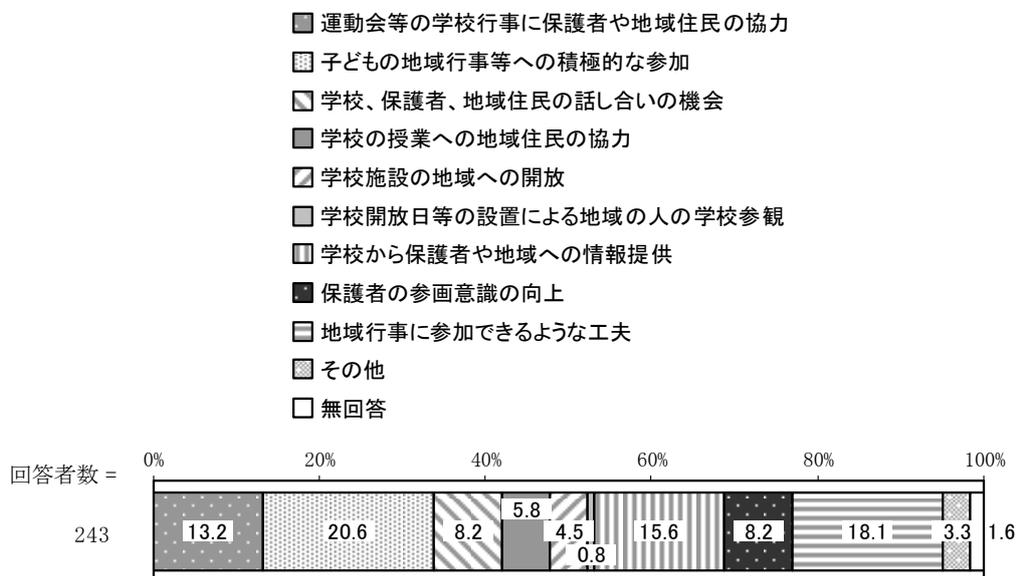
問 20 あなたは、地域で子どもを育てるためにはどのような取組みが必要だと思いますか。(最もあてはまるもの1つに○)

「地域の大人が地域の子どもの関心を持ち、ほめたり、注意したり、声をかける」の割合が 36.6%と最も高く、次いで「良好な治安、環境の維持」の割合が 25.9%、「地域内での子ども同士の遊び、スポーツの推進」の割合が 16.0%となっています。



問 21 あなたは、学校、家庭、地域が連携協力するためには何が重要だと思いますか。
 (最もあてはまるもの1つに○)

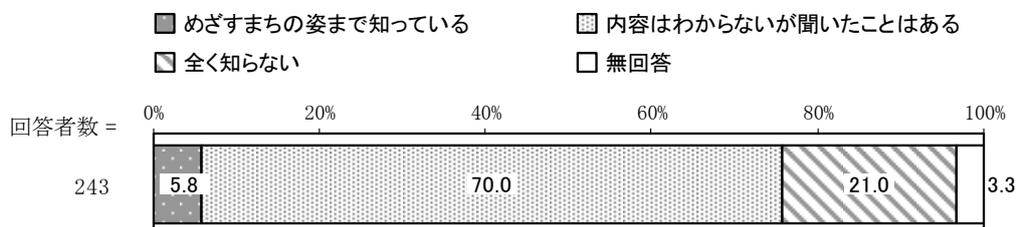
「子どもの地域行事等への積極的な参加」の割合が20.6%と最も高く、次いで「地域行事に参加できるような工夫」の割合が18.1%、「学校から保護者や地域への情報提供」の割合が15.6%となっています。



(5) その他

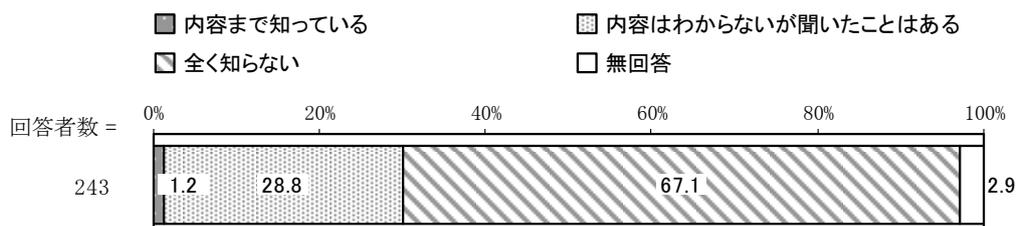
問 22 松本市が「学都松本」をめざしていることを知っていますか。

「内容はわからないが聞いたことはある」の割合が70.0%と最も高く、次いで「全く知らない」の割合が21.0%となっています。



問 23 あなたは、「まつもと市民生きいき活動」を知っていますか。

「全く知らない」の割合が67.1%と最も高く、次いで「内容はわからないが聞いたことはある」の割合が28.8%となっています。

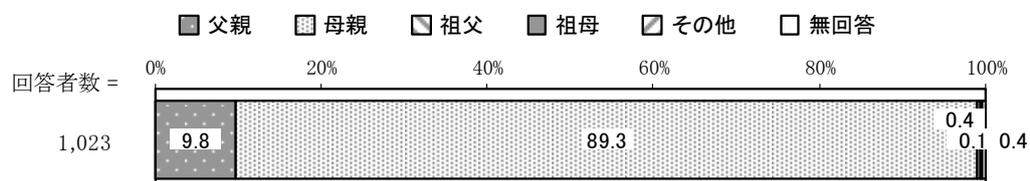


2 小学生・中学生保護者

(1) 回答者属性

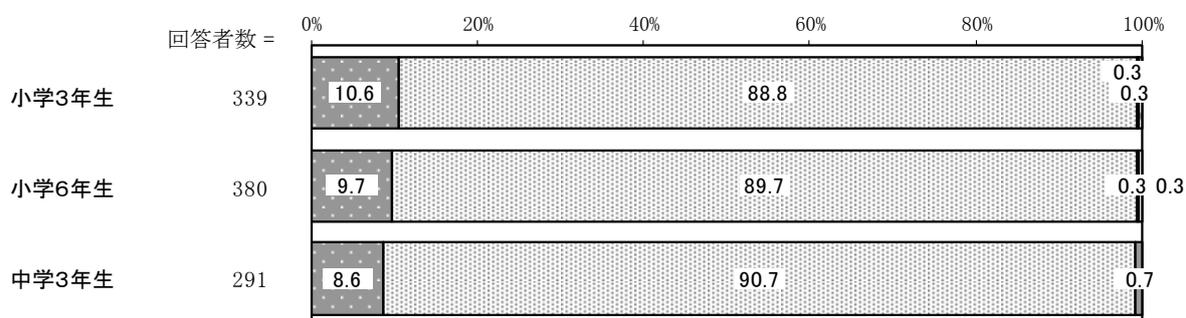
問1 お子さんとの続柄は何ですか。

回答結果は、以下の通りとなっています。



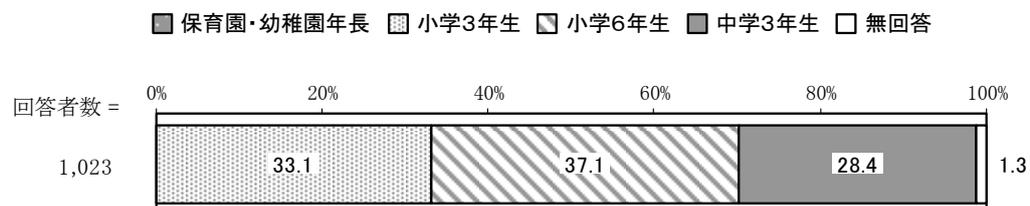
【子どもの学年別】

回答結果は、以下の通りとなっています。



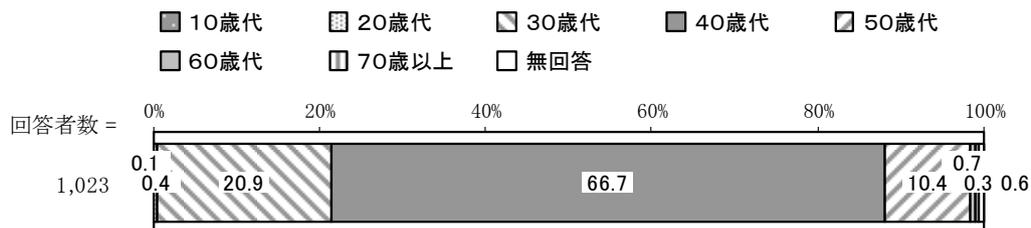
問2 お子さんは、何年生ですか。

回答結果は、以下の通りとなっています。



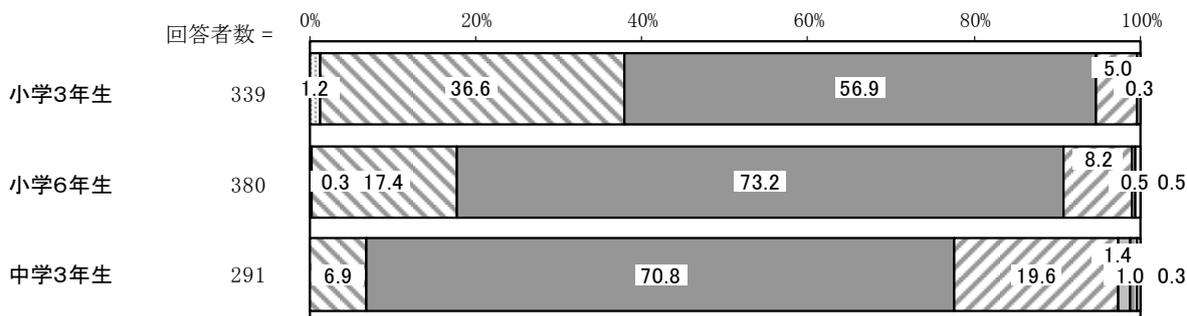
問3 あなたは何歳ですか。

回答結果は、以下の通りとなっています。



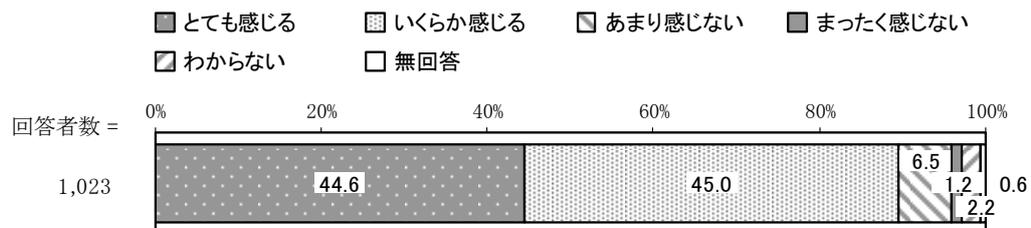
【子どもの学年別】

回答結果は、以下の通りとなっています。



問4 あなたは松本市に親しみや愛着を感じますか。

「とても感じる」と「いくらか感じる」をあわせた“愛着を感じる”の割合が 89.6%、「あまり感じない」と「まったく感じない」をあわせた“愛着を感じない”の割合が 7.7%となっています。



【子どもの学年別】

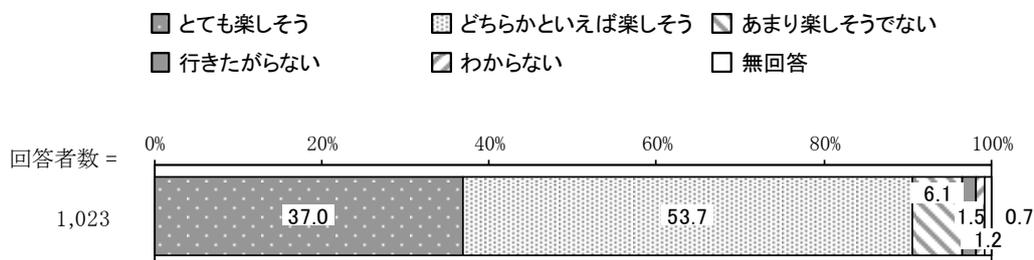
子どもの学年別でみると、大きな差異はみられません。



(2) 学校等（保育園・幼稚園を含む）とのかかわりについて

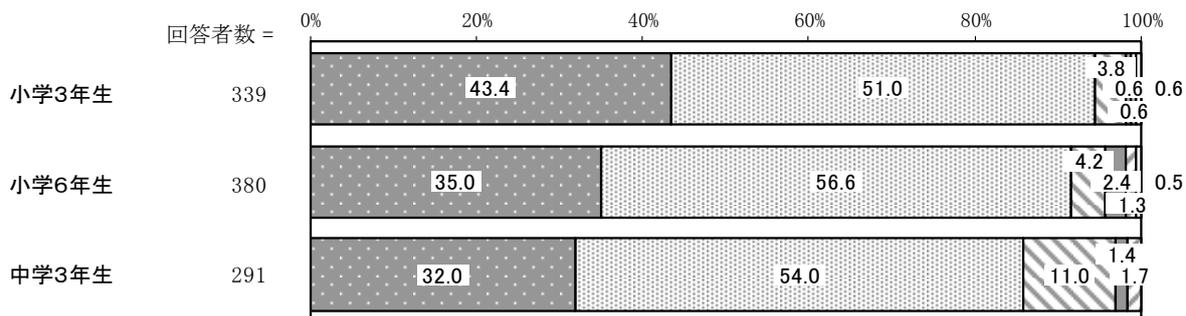
問5 あなたのお子さんは、学校等に楽しく通っていますか。

「とても楽しそう」と「どちらかといえば楽しそう」をあわせた“楽しそう”の割合が 90.7%、「あまり楽しそうでない」の割合が 6.1%、「行きたがらない」の割合が 1.5%となっています。



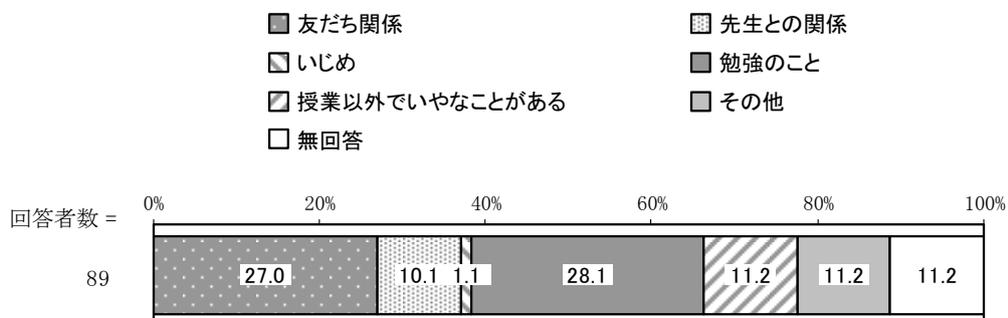
【子どもの学年別】

子どもの学年別でみると、学年が下がるにつれ“楽しそう”の割合が高くなっており、小学3年生で9割半ばとなっています。また、他に比べ、中学3年生で「あまり楽しそうでない」の割合が高く、約1割となっています。



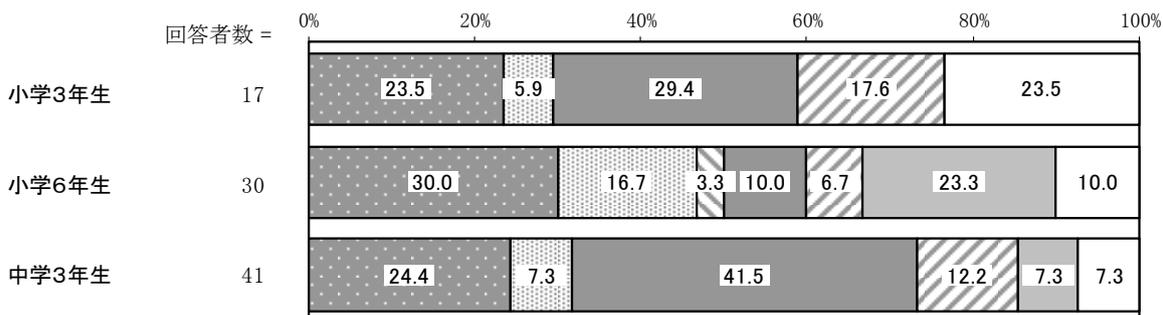
問6 問5で「あまり楽しそうでない」、「行きたがらない」、「わからない」と回答した方にお聞きします。
その理由は、何だと思えますか。(最もあてはまるもの1つに○)

「勉強のこと」の割合が28.1%と最も高く、次いで「友だち関係」の割合が27.0%、「授業以外でいやなことがある」の割合が11.2%となっています。



【子どもの学年別】

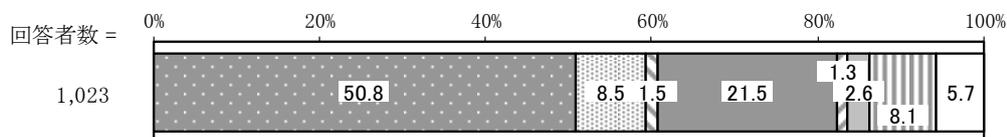
子どもの学年別で見ると、他に比べ、小学6年生で「勉強のこと」の割合が低く、1割となっています。



**問7 あなたは、お子さんが通っている学校等に対して何を望みますか。
(最もあてはまるもの1つに○)**

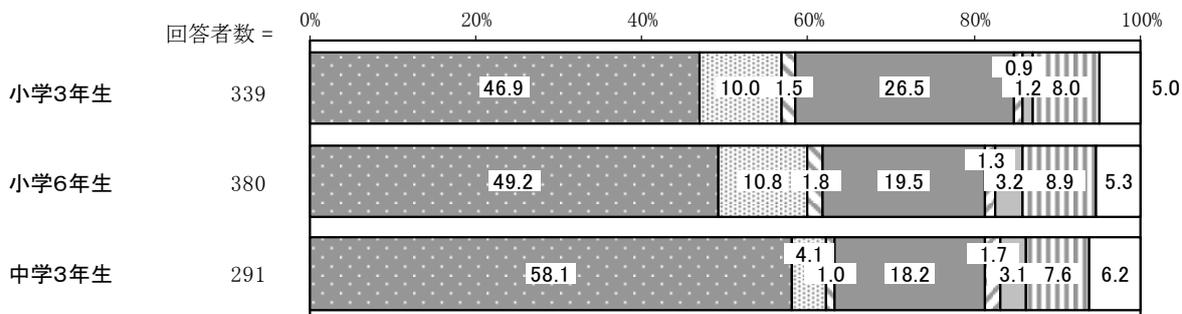
「授業を充実してほしい」の割合が50.8%と最も高く、次いで「学校等での出来事など情報を提供してほしい」の割合が21.5%となっています。

- 授業を充実してほしい
- ふだんの授業風景をみたい
- 学校等の教育方針を説明してほしい
- 学校等での出来事など情報を提供してほしい
- 保護者等がボランティアとして学校等を支援するしくみをつくってほしい
- 学校等の施設を地域に開放してほしい
- その他
- 無回答



【子どもの学年別】

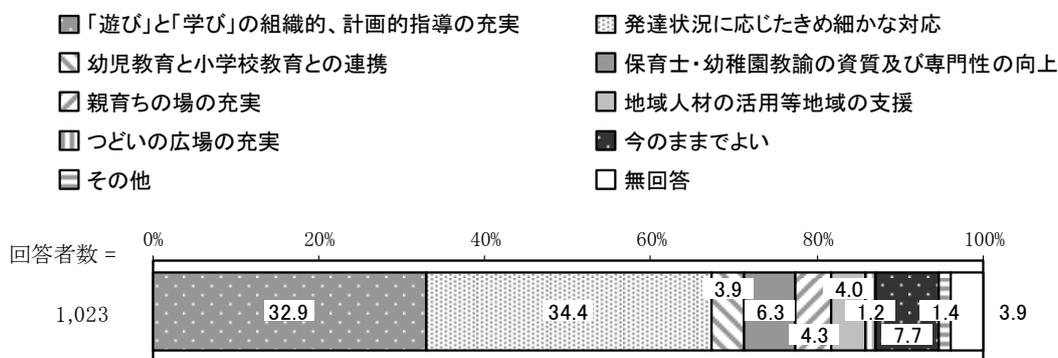
子どもの学年別で見ると、他に比べ、中学3年生で「授業を充実してほしい」の割合が高く、約6割となっています。また、小学3年生で「学校等での出来事など情報を提供してほしい」の割合が高く、2割半ばとなっています。一方、他に比べ、中学3年生で「ふだんの授業風景をみたい」の割合が低くなっています。



(3) 子どもの教育について

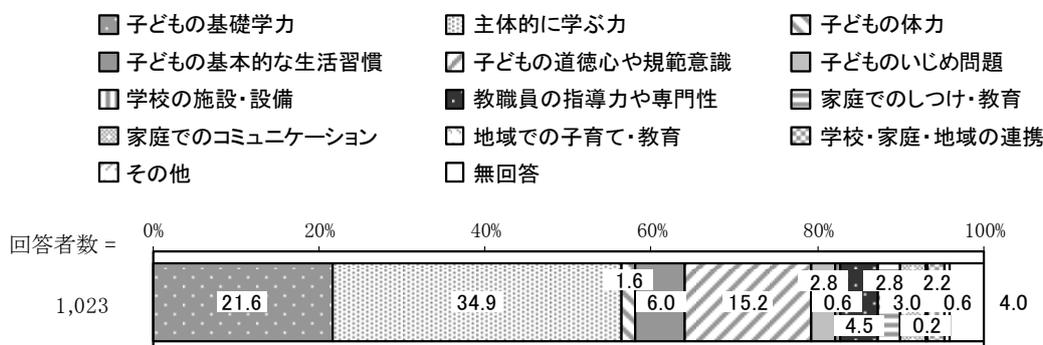
問8 幼児教育の充実には、どのような取り組みが必要だと思いますか。
(最もあてはまるもの1つに○)

「発達状況に応じたきめ細かな対応」の割合が34.4%と最も高く、次いで「遊び」と「学び」の組織的、計画的指導の充実」の割合が32.9%となっています。



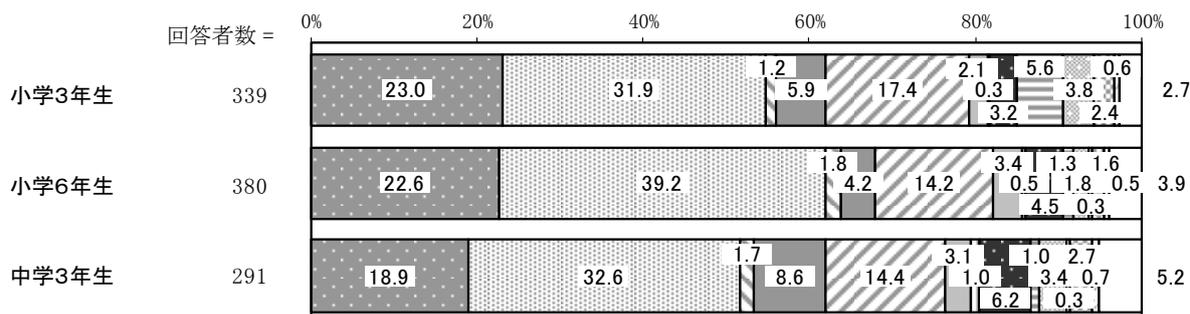
問9 子どもの教育について、あなたが関心のあることは何ですか。
(最もあてはまるもの1つに○)

「主体的に学ぶ力」の割合が34.9%と最も高く、次いで「子どもの基礎学力」の割合が21.6%、「子どもの道徳心や規範意識」の割合が15.2%となっています。



【子どもの学年別】

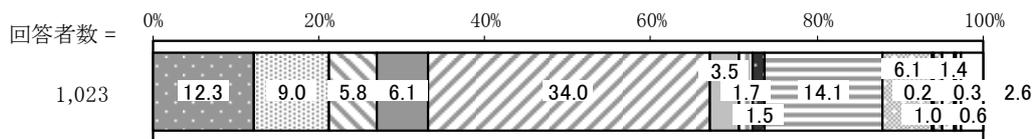
子どもの学年別で見ると、他に比べ、小学6年生で「家庭でのしつけ・教育」の割合が高くなっています。



問 10 あなたは、松本市の子どもたちに、どのような子どもになってほしいと思いますか。(最もあてはまるもの1つに○)

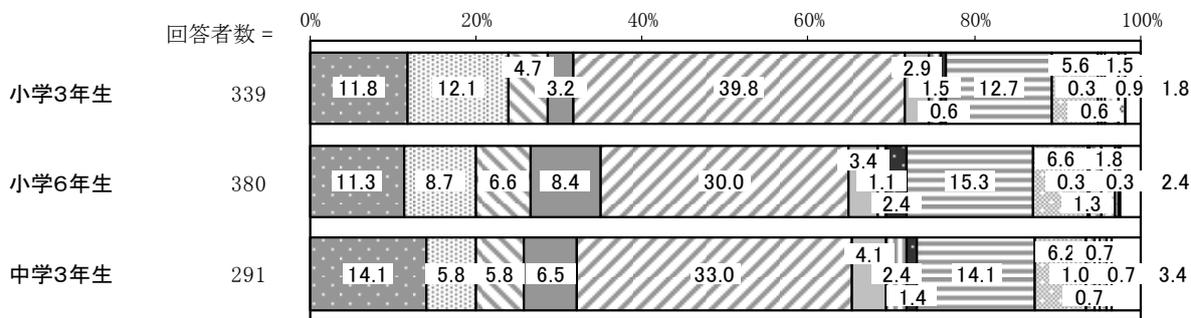
「思いやりやさしさを持った子ども」の割合が34.0%と最も高く、次いで「向上心やチャレンジ精神のある子ども」の割合が14.1%、「ルールやマナーを守る子ども」の割合が12.3%となっています。

- ルールやマナーを守る子ども
- 健康で活発な子ども
- 自分の意見をはっきりと言える子ども
- 創造性が豊かな子ども
- 思いやりやさしさを持った子ども
- 努力できる子ども
- 責任感を持った子ども
- 意欲的に学習する子ども
- 向上心やチャレンジ精神のある子ども
- 夢を持っている子ども
- リーダーシップのある子ども
- ふるさとを愛する子ども
- その他
- 特にない
- わからない



【子どもの学年別】

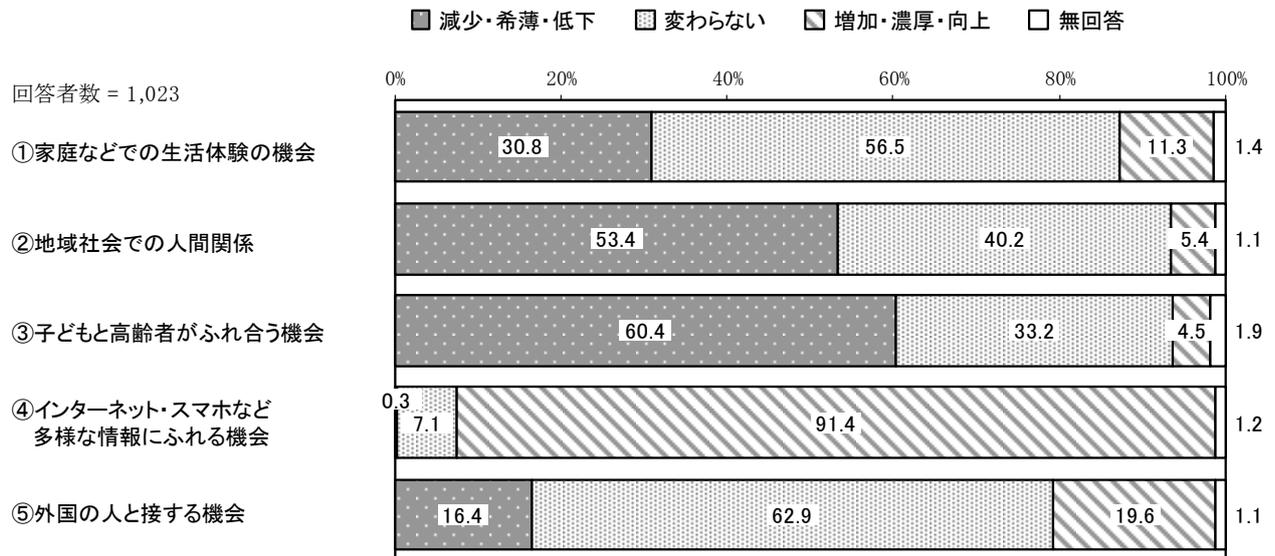
子どもの学年別でみると、他に比べ、小学3年生で「思いやりやさしさを持った子ども」「健康で活発な子ども」の割合が高くなっています。一方、他に比べ、小学3年生で「創造性が豊かな子ども」の割合が低くなっています。



問 11 子どもたちを取り巻く環境は、この数年、どのように変化してきたと思いますか。(〇は①～⑤ごとに1つ)

『②地域社会での人間関係』『③子どもと高齢者がふれ合う機会』で「減少・希薄・低下」の割合が高く、特に『③子どもと高齢者がふれ合う機会』で約6割となっています。

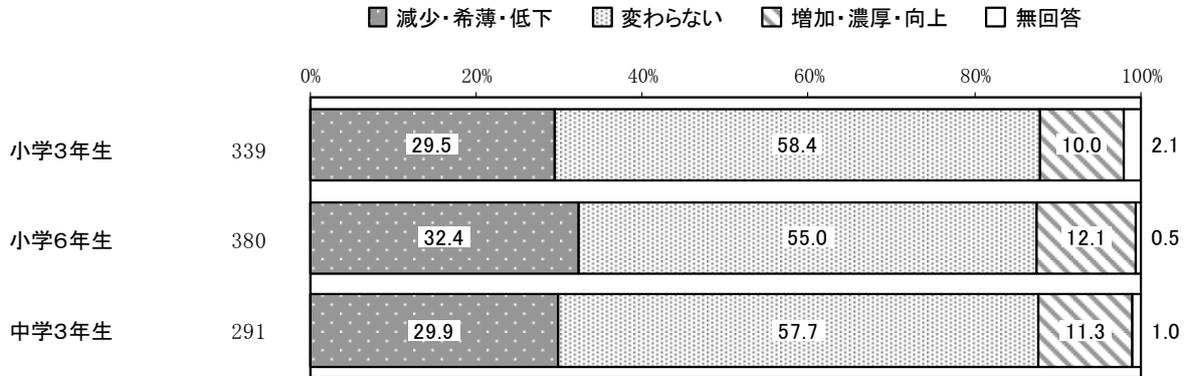
また、『④インターネット・スマホなど多様な情報にふれる機会』で「増加・濃厚・向上」の割合が高く、約9割となっています。



【子どもの学年別】

①家庭などでの生活体験の機会

子どもの学年別でみると、大きな差異はみられません。



②地域社会での人間関係

子どもの学年別でみると、大きな差異はみられません。



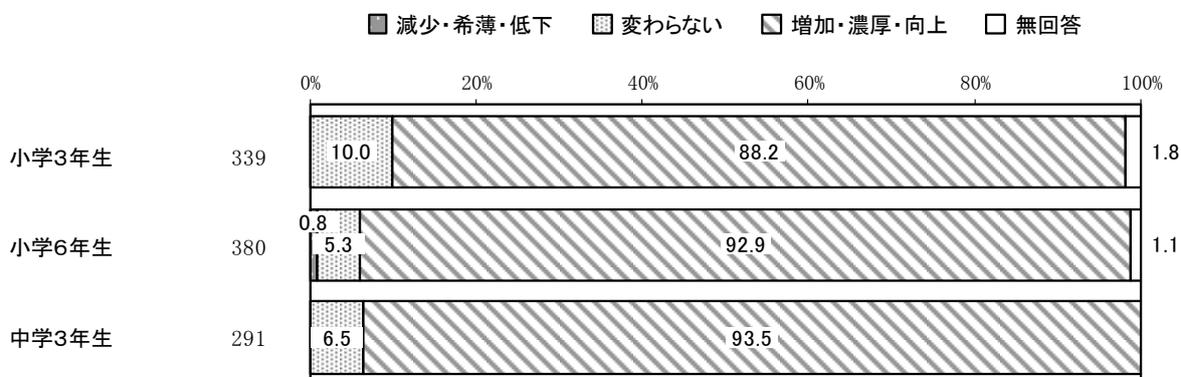
③子どもと高齢者がふれ合う機会

子どもの学年別でみると、大きな差異はみられません。



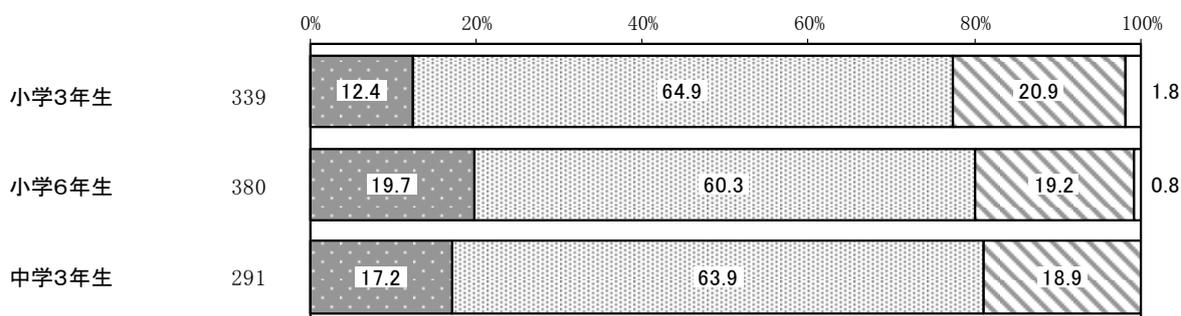
④インターネット・スマホなど多様な情報にふれる機会

子どもの学年別で見ると、他に比べ、小学3年生で「変わらない」の割合が高く、1割となっています。一方、他に比べ、小学3年生で「増加・濃厚・向上」の割合が低くなっています。



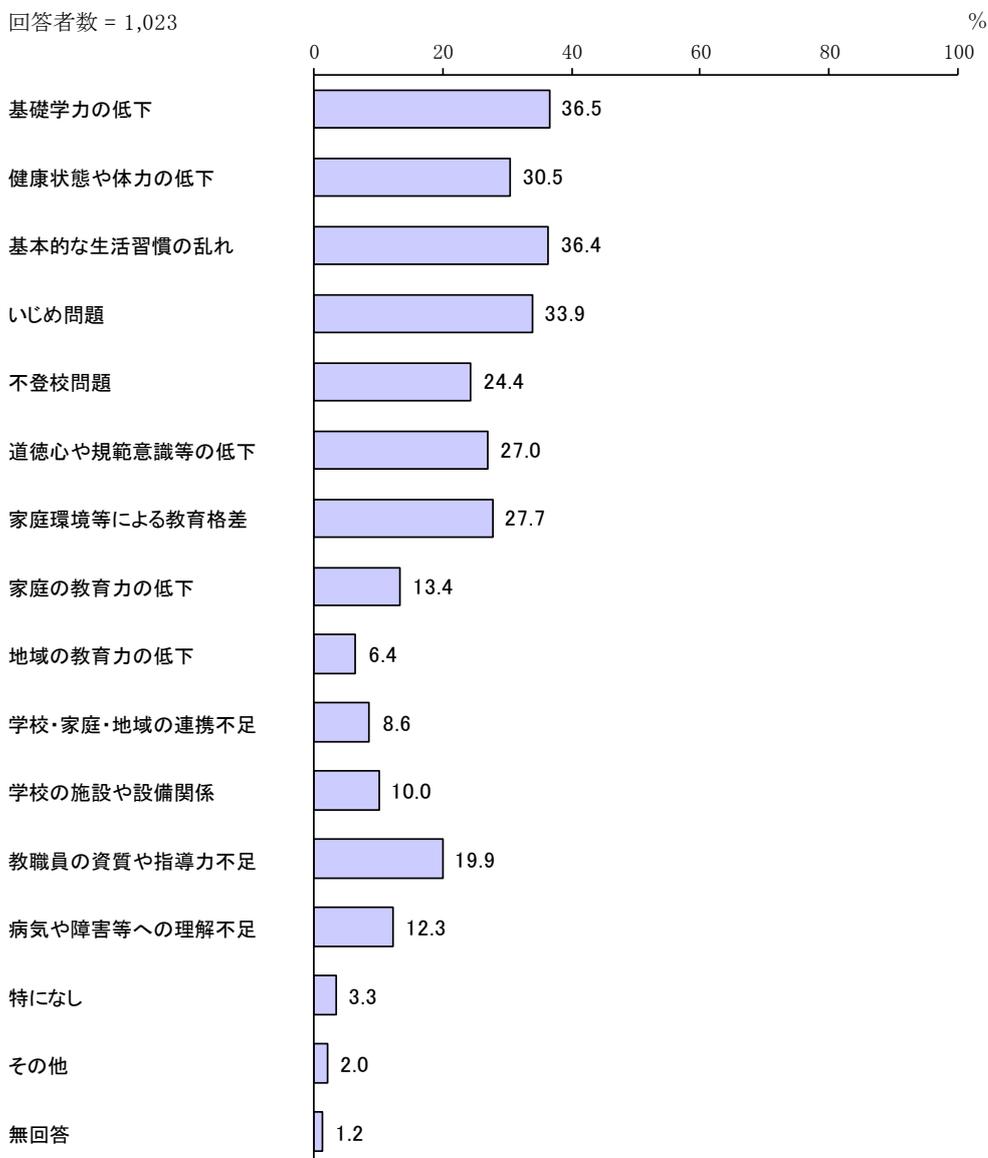
⑤外国の人と接する機会

子どもの学年別で見ると、小学3年生に比べ、小学6年生、中学3年生で「減少・希薄・低下」の割合が高く、約2割となっています。



問 12 子どもの教育に関して課題は何だと思えますか。(あてはまるものすべてに○)

「基礎学力の低下」の割合が 36.5%と最も高く、次いで「基本的な生活習慣の乱れ」の割合が 36.4%、「いじめ問題」の割合が 33.9%となっています。



【子どもの学年別】

子どもの学年別でみると、他に比べ、中学3年生で「基礎学力の低下」の割合が高く、4割半ばとなっています。

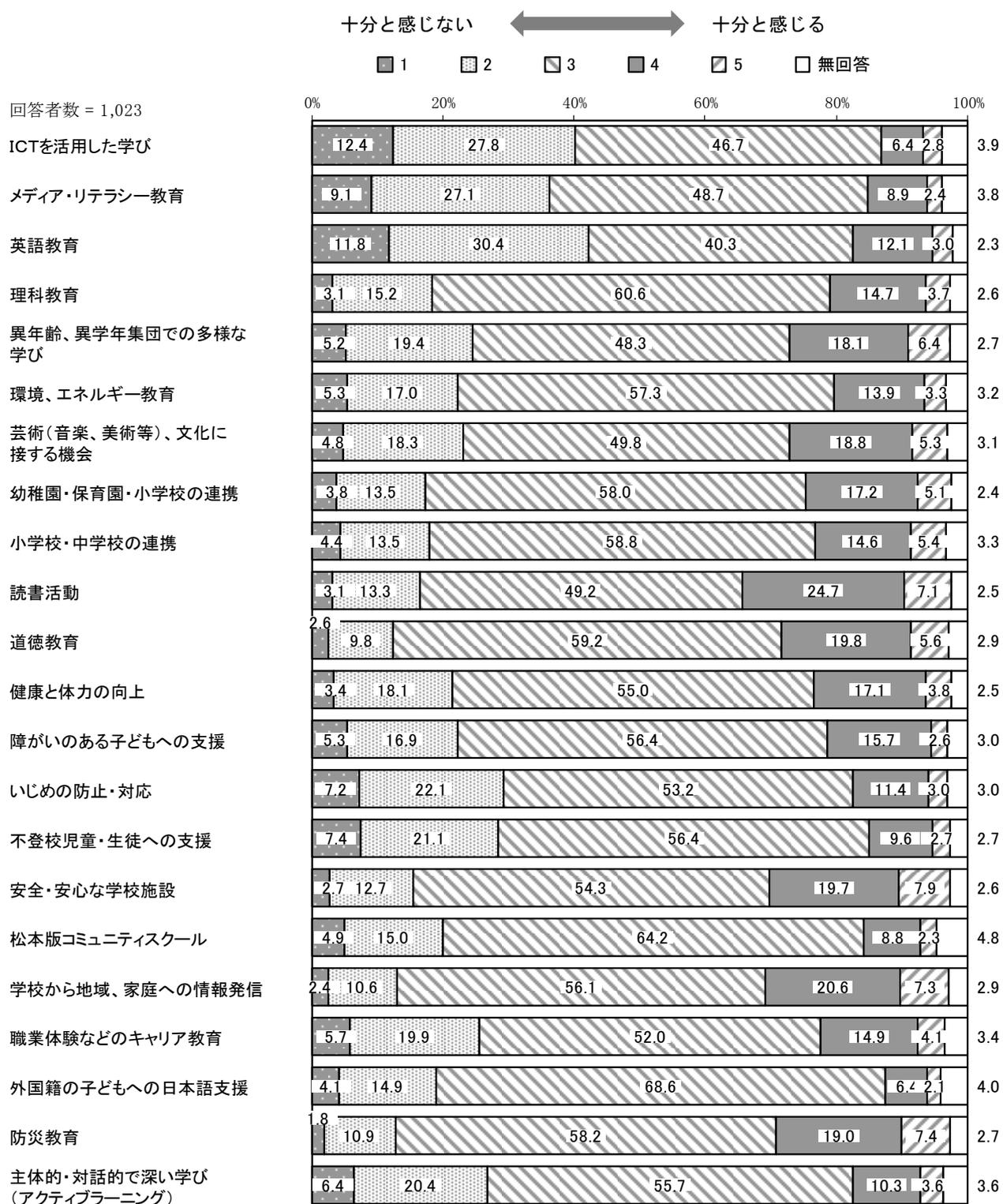
単位：％

区分	回答者数 (件)	基礎学力の低下	健康状態や体力の低下	基本的な生活習慣の乱れ	いじめ問題	不登校問題	道徳心や規範意識等の低下	家庭環境等による教育格差	家庭教育力の低下	地域の教育力の低下	学校・家庭・地域の連携不足	学校の施設や設備関係	教職員の資質や指導力不足	病気や障害等への理解不足	特になし	その他	無回答
小学校3年生	339	32.7	30.7	35.7	38.1	22.4	28.9	24.5	11.8	6.5	8.6	7.1	18.9	13.3	4.1	1.5	0.9
小学校6年生	380	33.4	32.6	34.5	31.3	22.1	24.7	27.4	14.5	6.1	10.0	10.5	19.7	11.6	3.4	1.6	1.8
中学校3年生	291	44.3	27.5	39.2	32.6	29.2	28.2	31.3	13.7	6.5	7.2	12.7	21.6	12.4	2.4	2.7	—

問 13 松本市の教育について「現在の状況」と「今後の重要度」について、それぞれ5段階であなたの考えに最も近い番号を1つずつ選んで○をつけてください。

1. 現在の状況

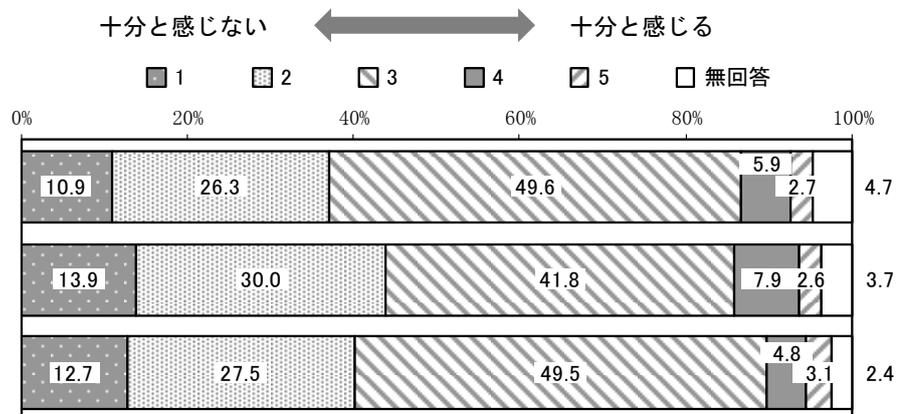
『ICTを活用した学び』『英語教育』で「1」と「2」をあわせた“十分と感じない”の割合が高く、約4割となっています。また、『読書活動』『安全・安心な学校施設』『学校から地域、家庭への情報発信』で「4」と「5」をあわせた“十分と感じる”の割合が高く、約3割となっています。



【子どもの学年別】

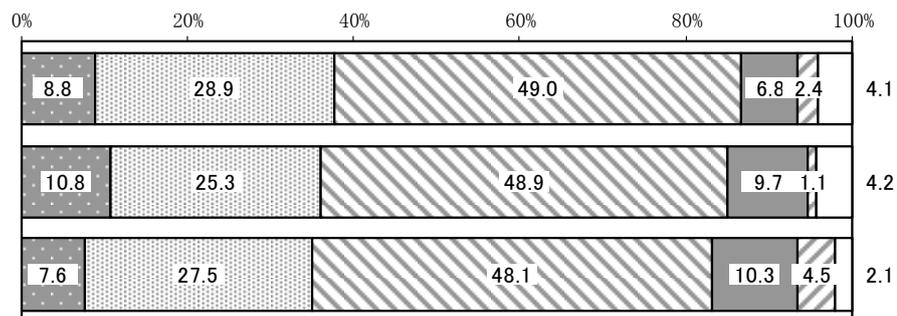
① ICTを活用した学び

子どもの学年別でみると、大きな差異はみられません。



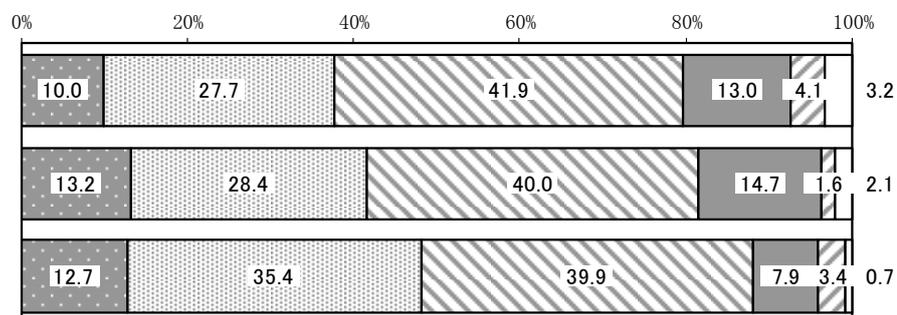
② メディア・リテラシー教育

子どもの学年別でみると、大きな差異はみられません。



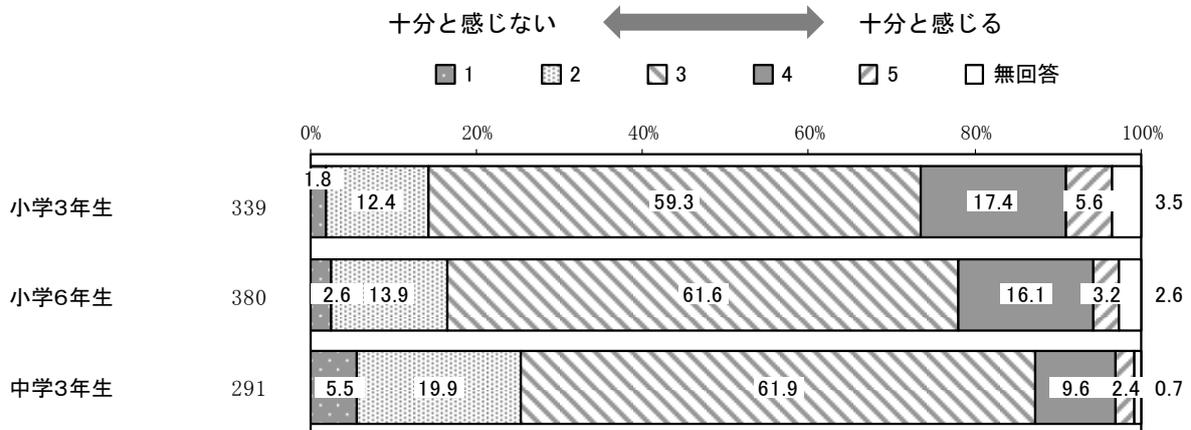
③ 英語教育

子どもの学年別でみると、学年が上がるにつれ“十分と感じない”の割合が高くなっており、中学3年生で約5割となっています。



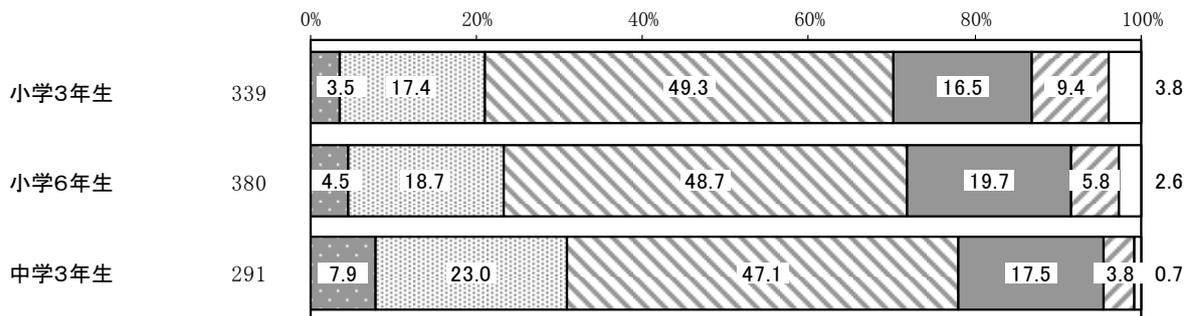
④理科教育

子どもの学年別で見ると、学年が上がるにつれ“十分と感じない”の割合が高くなっており、中学3年生で2割半ばとなっています。



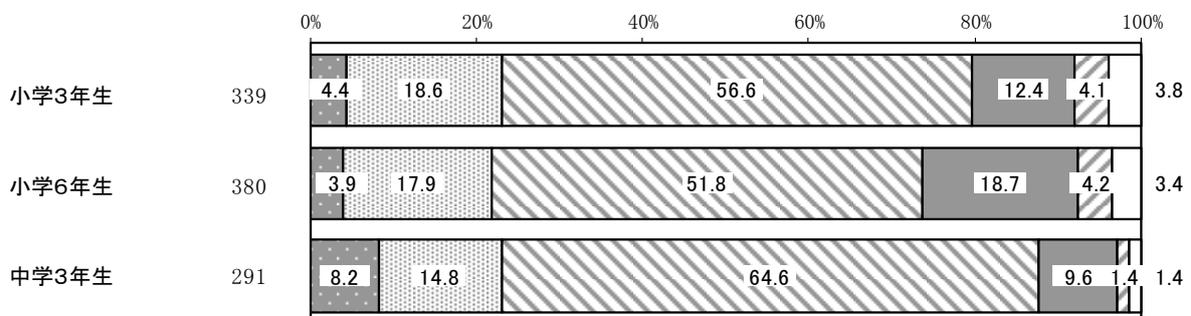
⑤異年齢、異学年集団での多様な学び

子どもの学年別で見ると、学年が上がるにつれ“十分と感じない”の割合が高くなっており、中学3年生で約3割となっています。



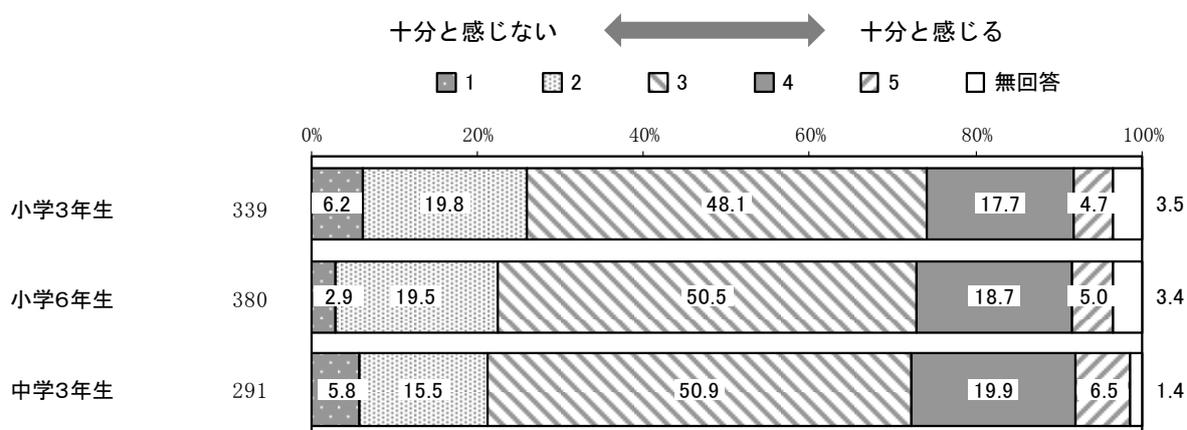
⑥環境、エネルギー教育

子どもの学年別で見ると、他に比べ、小学6年生で“十分と感じる”の割合が高く、約2割となっています。



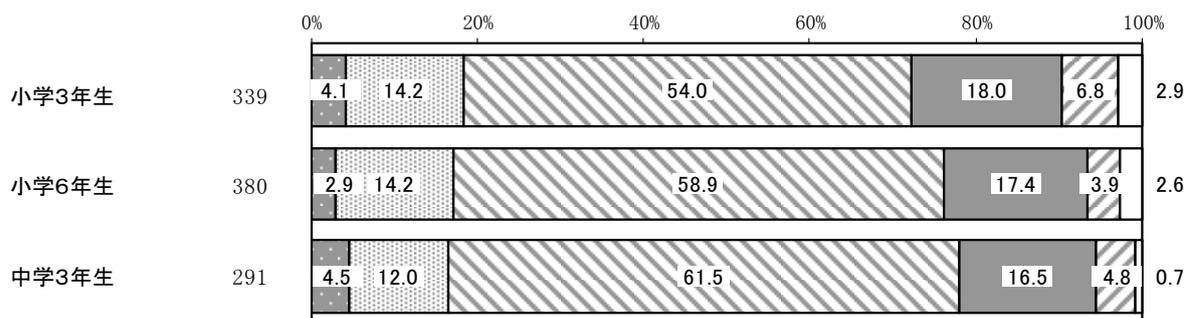
⑦芸術（音楽、美術等）、文化に接する機会

子どもの学年別でみると、大きな差異はみられません。



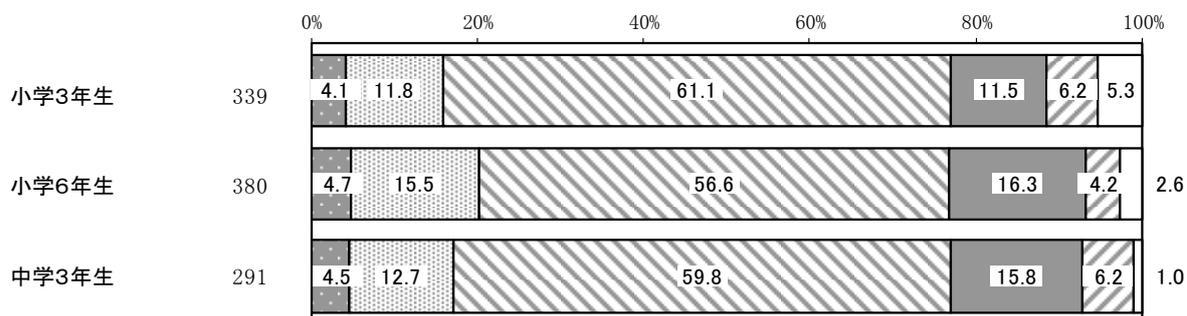
⑧幼稚園・保育園・小学校の連携

子どもの学年別でみると、大きな差異はみられません。



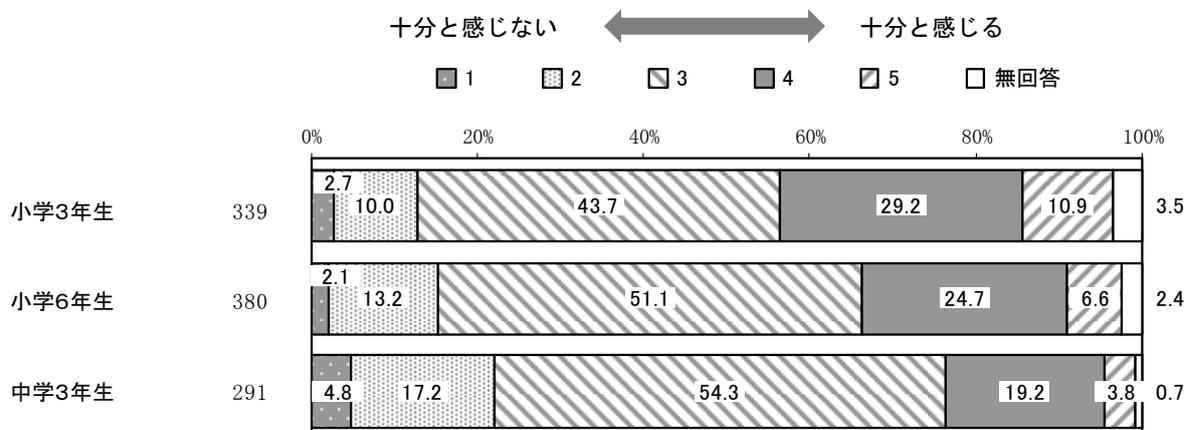
⑨小学校・中学校の連携

子どもの学年別でみると、大きな差異はみられません。



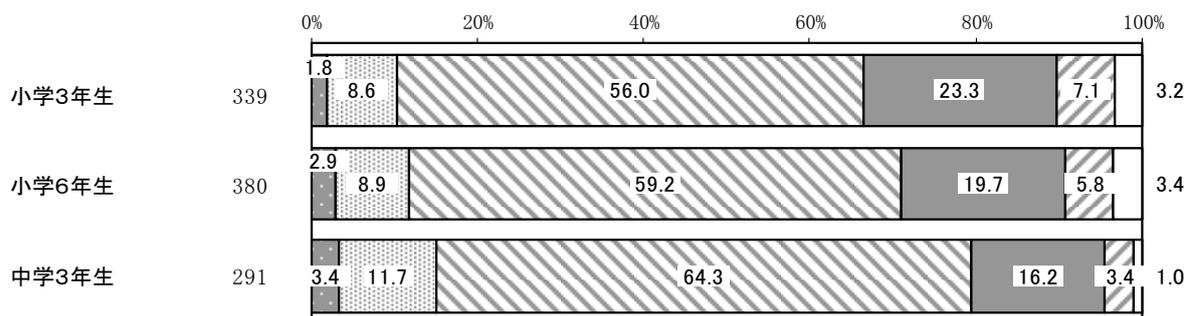
⑩読書活動

子どもの学年別で見ると、学年が下がるにつれ“十分と感じる”の割合が高くなっており、小学3年生で約4割となっています。



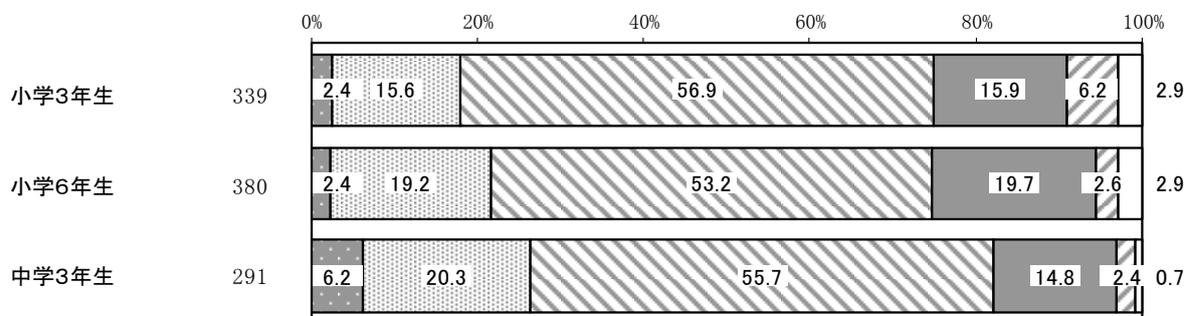
⑪道徳教育

子どもの学年別で見ると、学年が下がるにつれ“十分と感じる”の割合が高くなっており、小学3年生で約3割となっています。



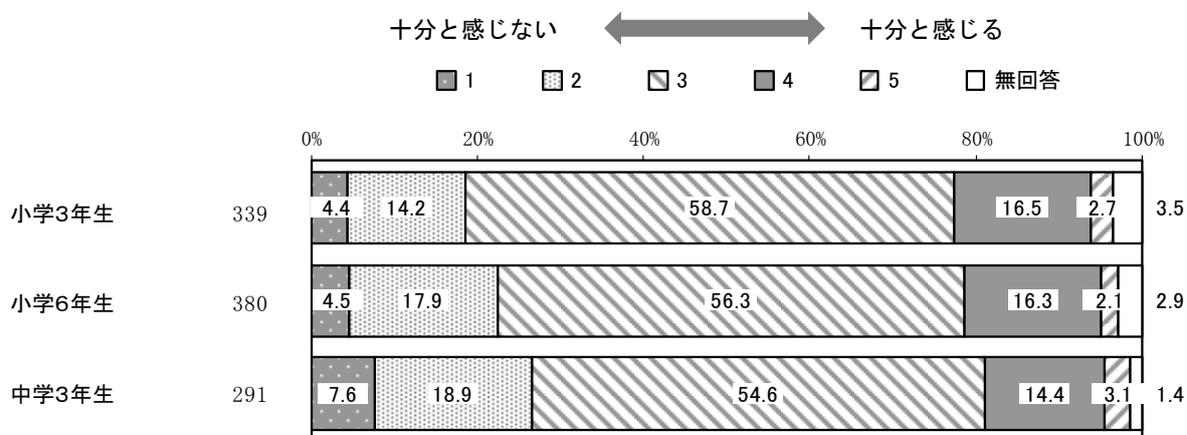
⑫健康と体力の向上

子どもの学年別で見ると、学年が上がるにつれ“十分と感じない”の割合が高くなっており、中学3年生で2割半ばとなっています。



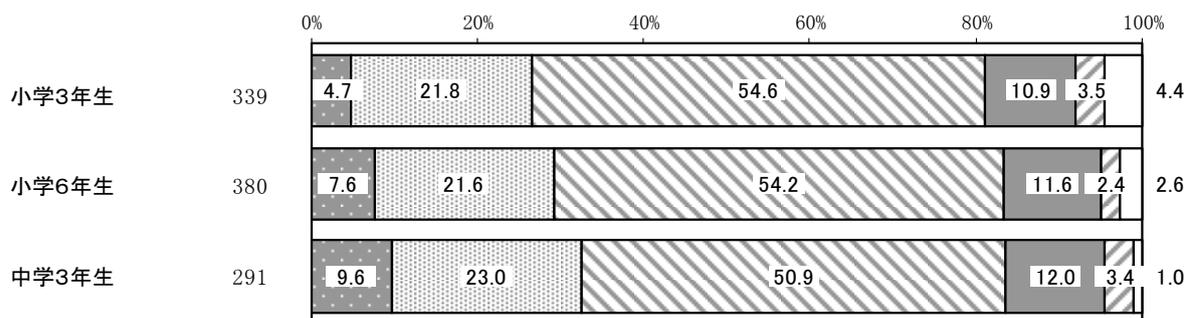
⑬障がいのある子どもへの支援

子どもの学年別で見ると、大きな差異はみられません。



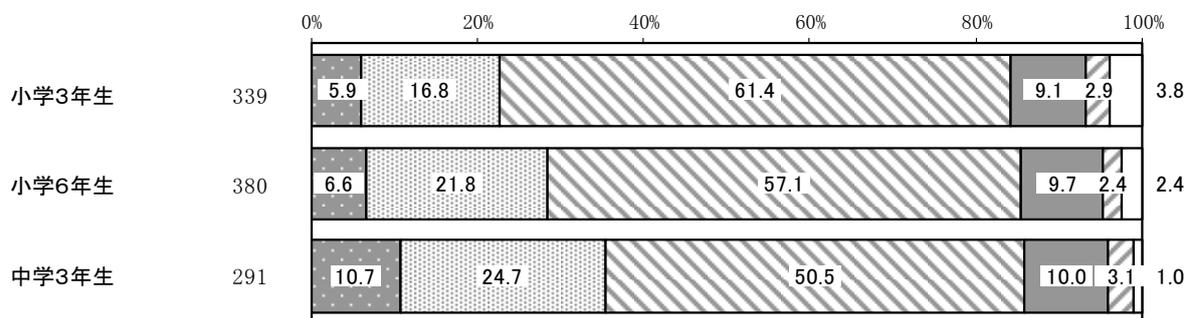
⑭いじめの防止・対応

子どもの学年別で見ると、大きな差異はみられません。



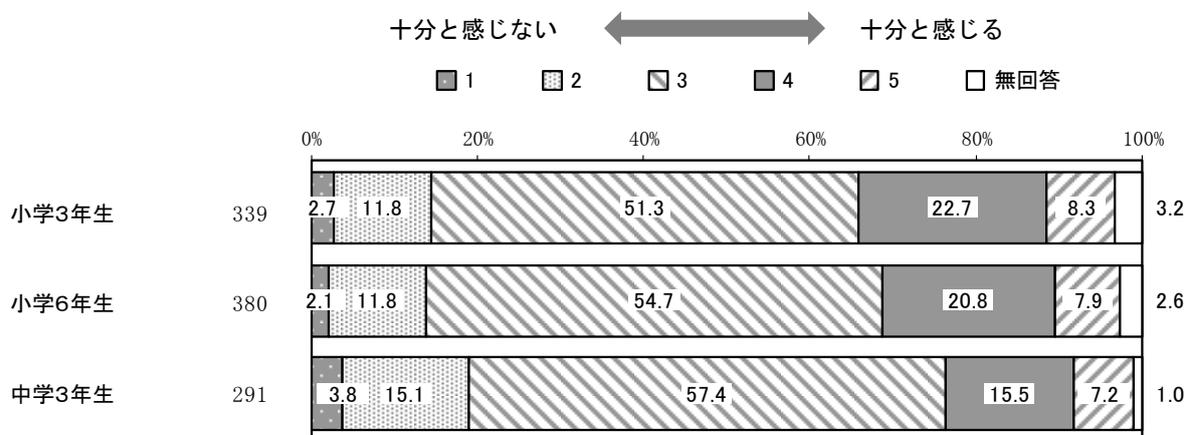
⑮不登校児童・生徒への支援

子どもの学年別で見ると、学年が上がるにつれ“十分と感じない”の割合が高くなっており、中学3年生で3割半ばとなっています。



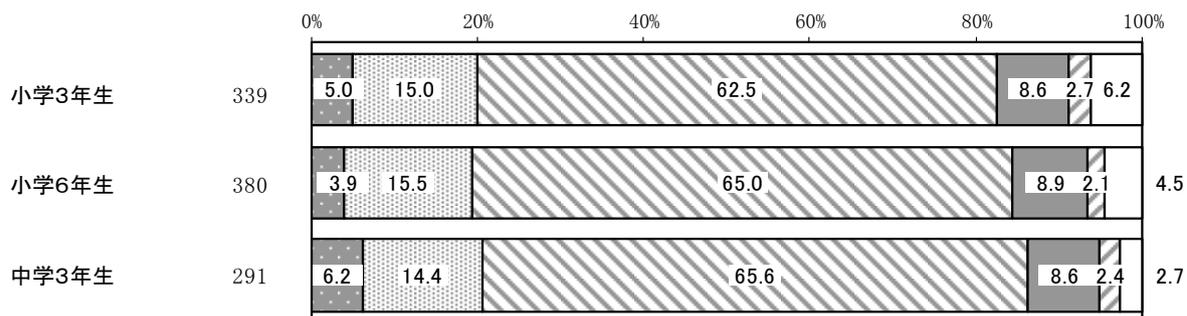
⑩安全・安心な学校施設

子どもの学年別でみると、大きな差異はみられません。



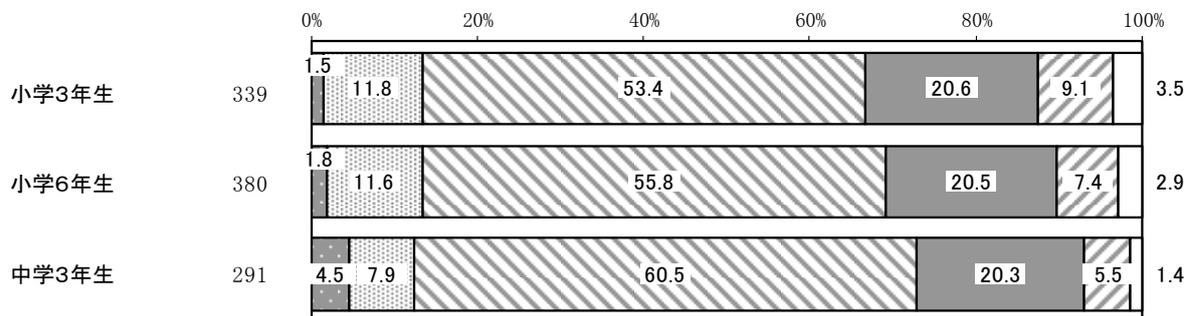
⑪松本版コミュニティスクール

子どもの学年別でみると、大きな差異はみられません。



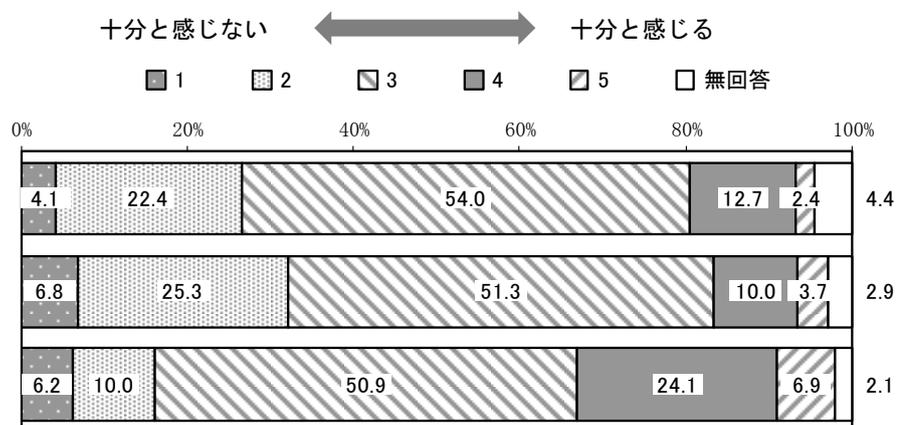
⑫学校から地域、家庭への情報発信

子どもの学年別でみると、大きな差異はみられません。



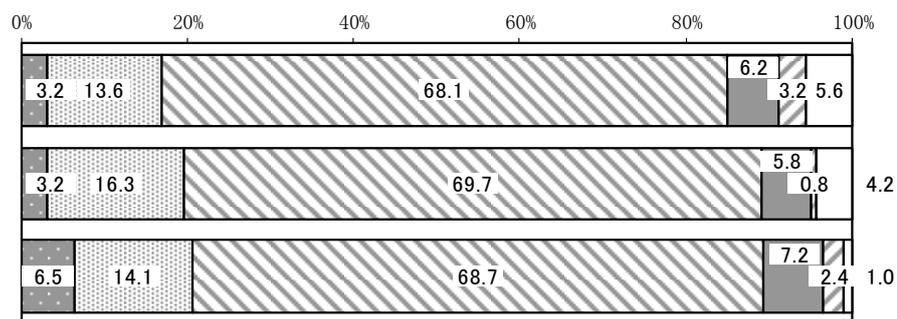
⑱職業体験などのキャリア教育

子どもの学年別で見ると、他に比べ、中学3年生で“十分と感じる”の割合が高く、約3割となっています。また、他に比べ、小学6年生で“十分と感じない”の割合が高く、約3割となっています。



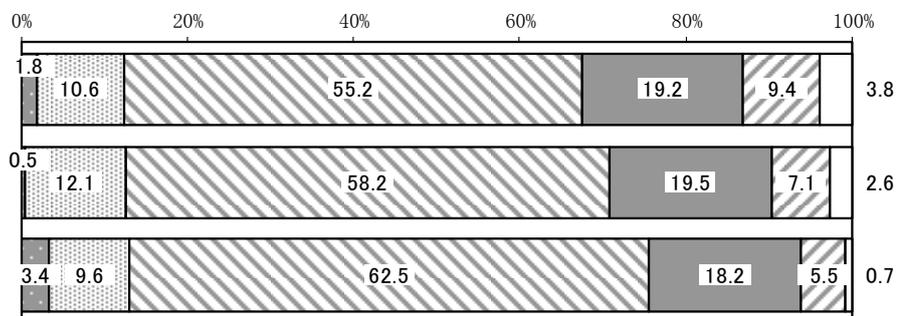
⑳外国籍の子どもへの日本語支援

子どもの学年別で見ると、大きな差異はみられません。



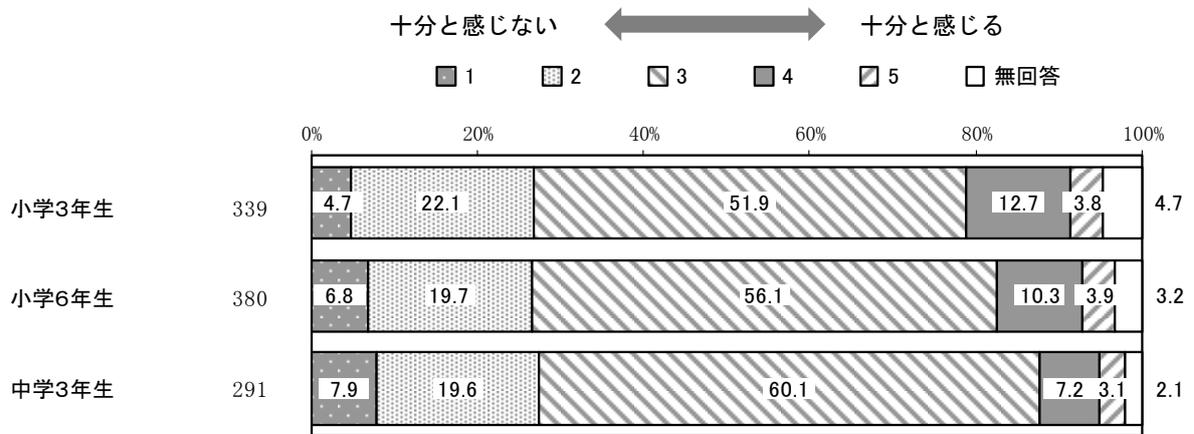
㉑防災教育

子どもの学年別で見ると、大きな差異はみられません。



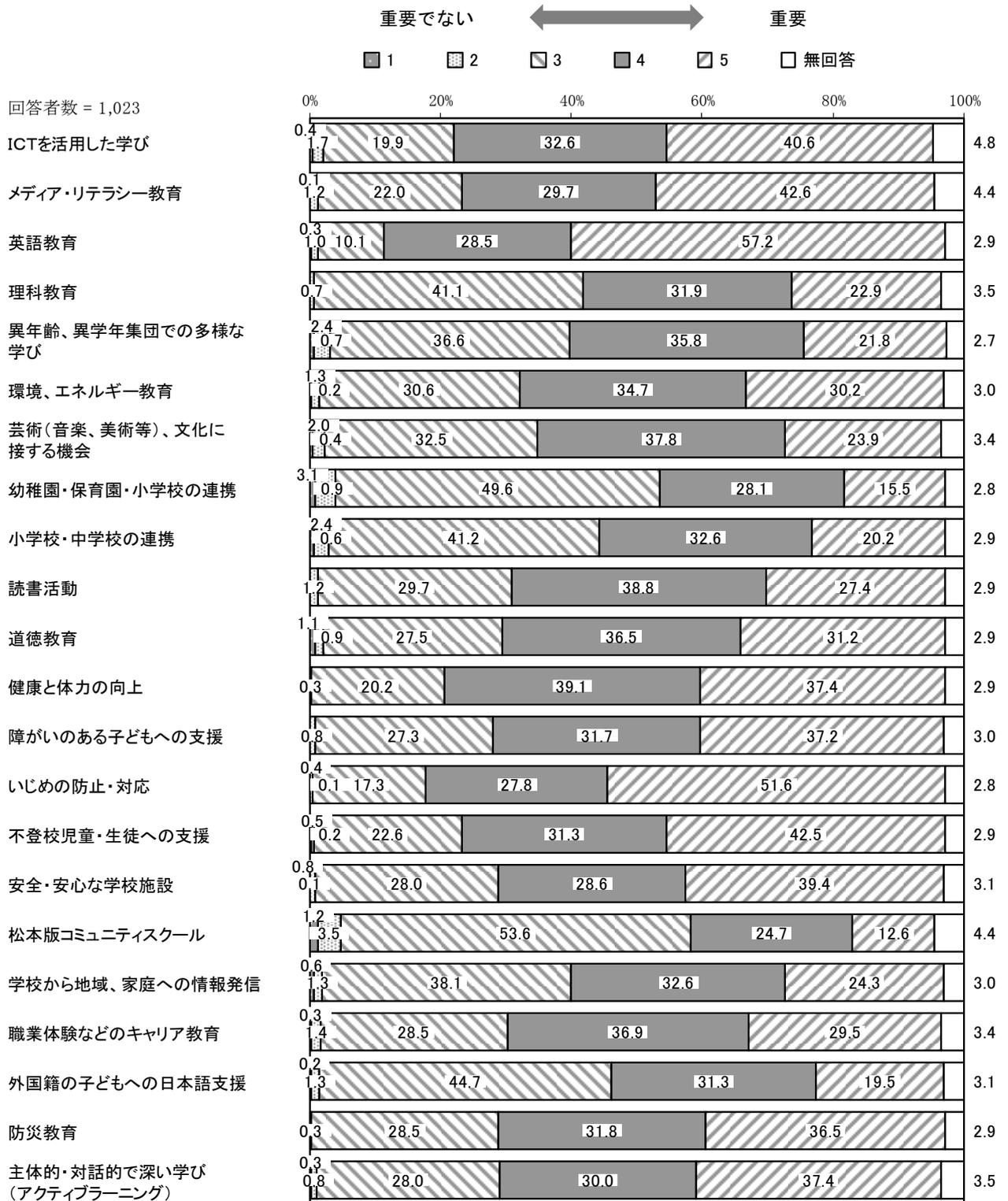
②主体的・対話的で深い学び（アクティブラーニング）

子どもの学年別で見ると、大きな差異はみられません。



2. 今後の重要度

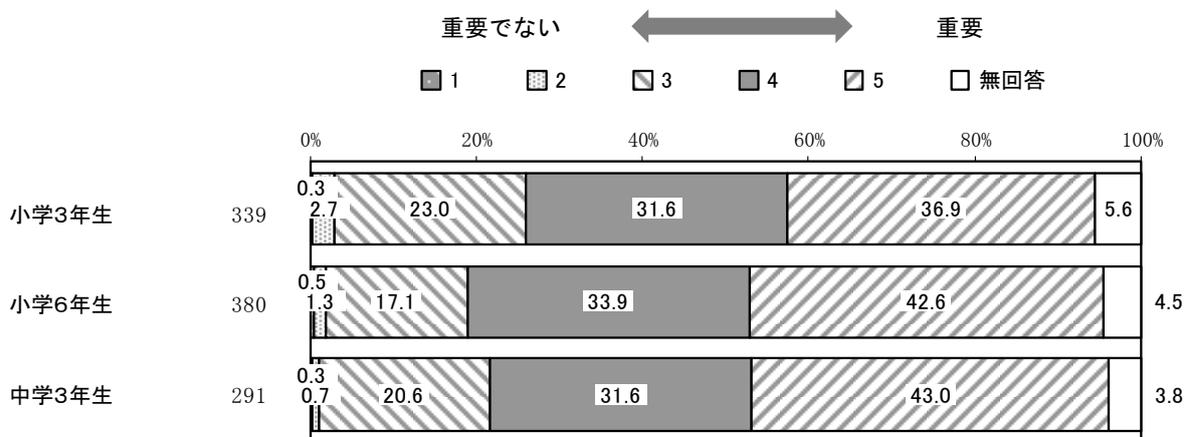
すべての項目で「4」と「5」をあわせた“重要”の割合が高く、特に『英語教育』で8割半ばとなっています。



【子どもの学年別】

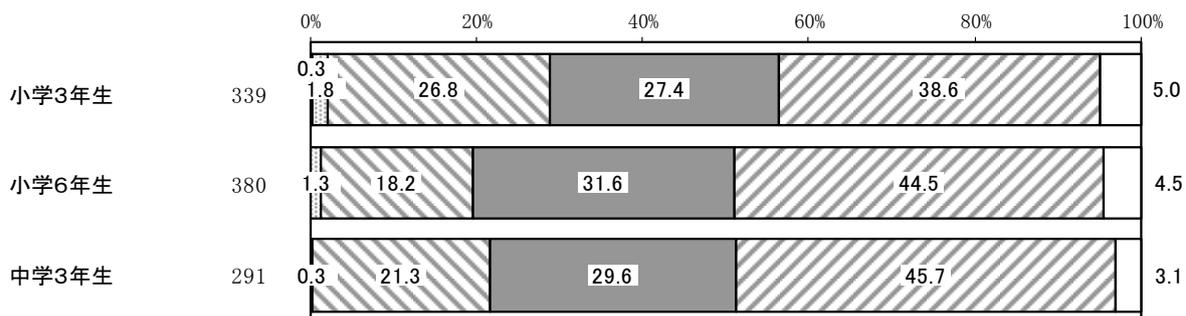
① ICTを活用した学び

子どもの学年別でみると、大きな差異はみられません。



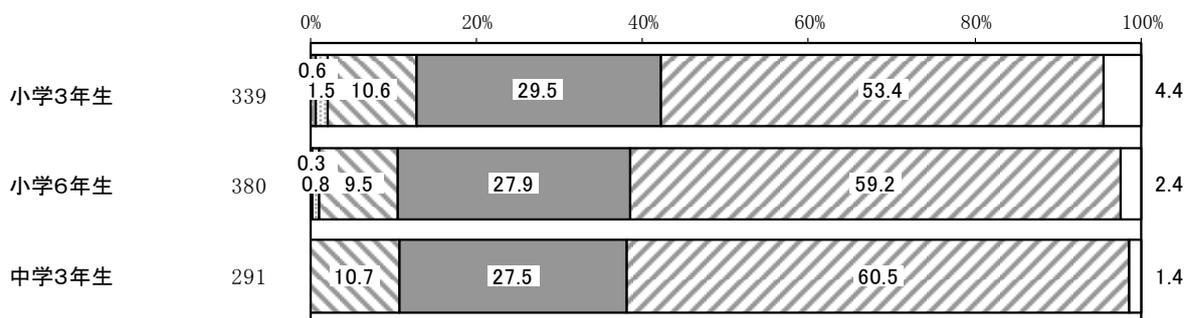
② メディア・リテラシー教育

子どもの学年別でみると、小学3年生に比べ、小学6年生、中学3年生で“重要”の割合が高く、7割半ばとなっています。



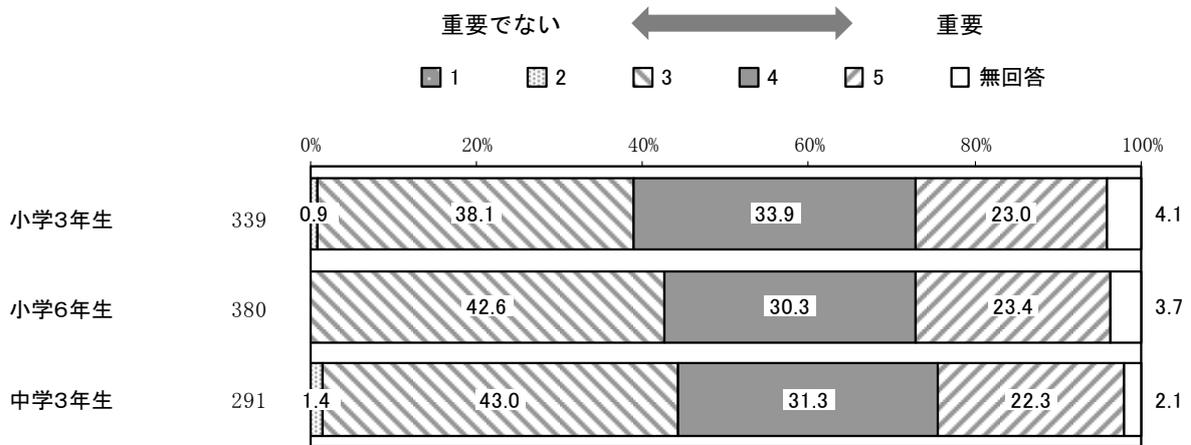
③ 英語教育

子どもの学年別でみると、大きな差異はみられません。



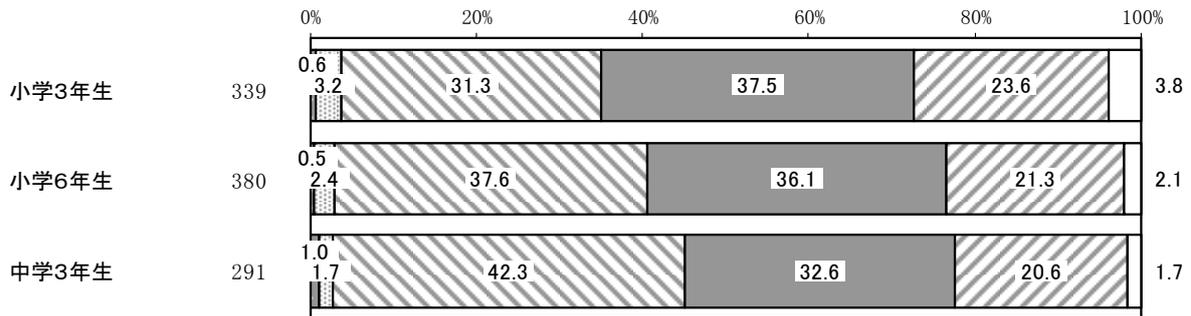
④理科教育

子どもの学年別でみると、大きな差異はみられません。



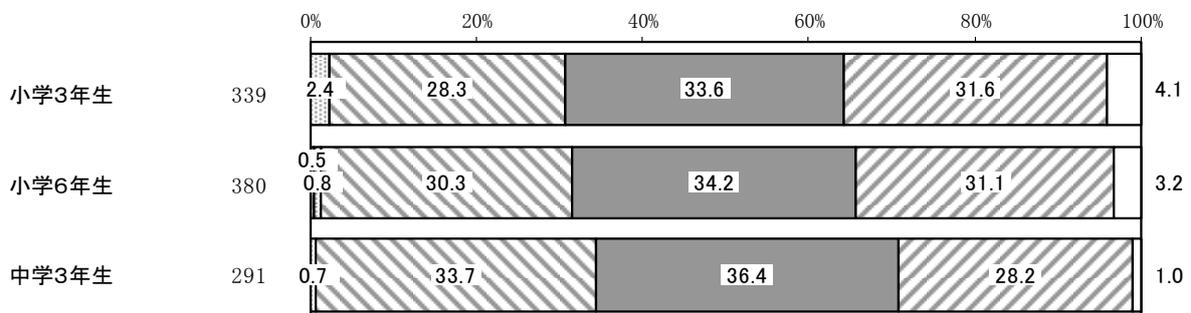
⑤異年齢、異学年集団での多様な学び

子どもの学年別でみると、学年が下がるにつれ「3」の“どちらともいえない”の割合が高くなっており、中学3年生で4割を超えています。



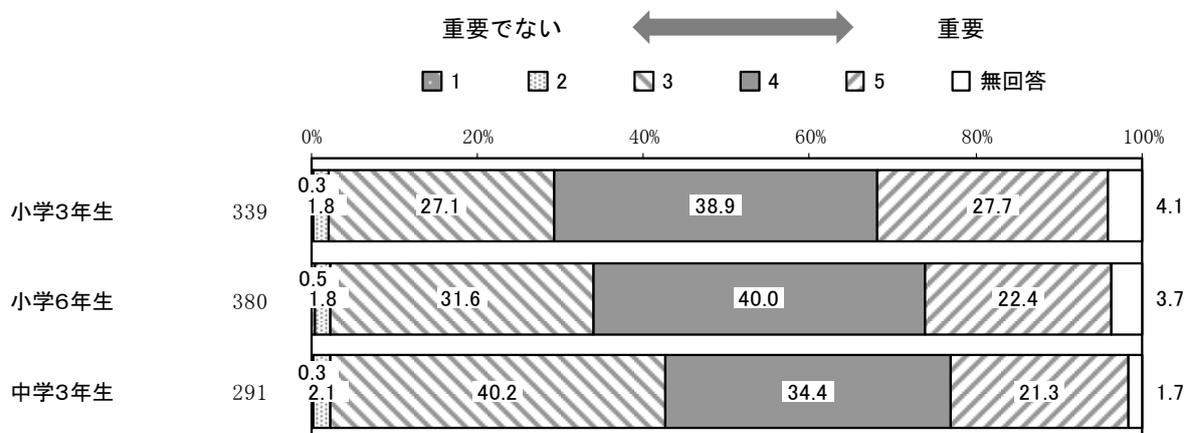
⑥環境、エネルギー教育

子どもの学年別でみると、大きな差異はみられません。



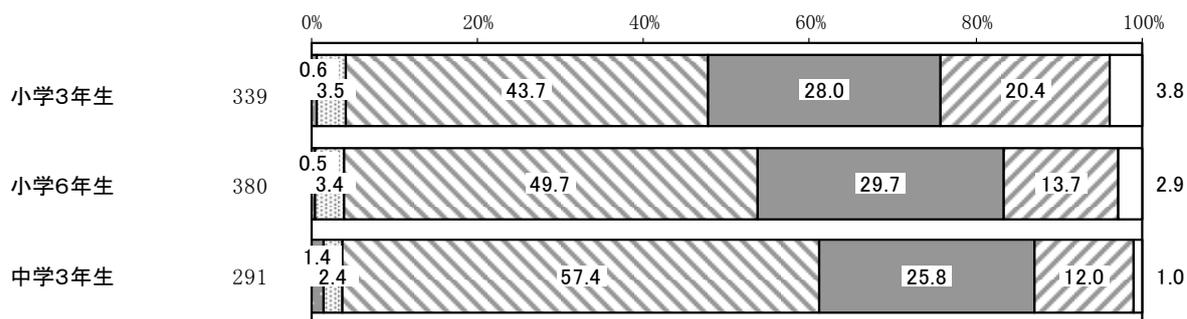
⑦芸術（音楽、美術等）、文化に接する機会

子どもの学年別で見ると、学年が上がるにつれ“どちらともいえない”の割合が高く、“重要”の割合が低くなっています。



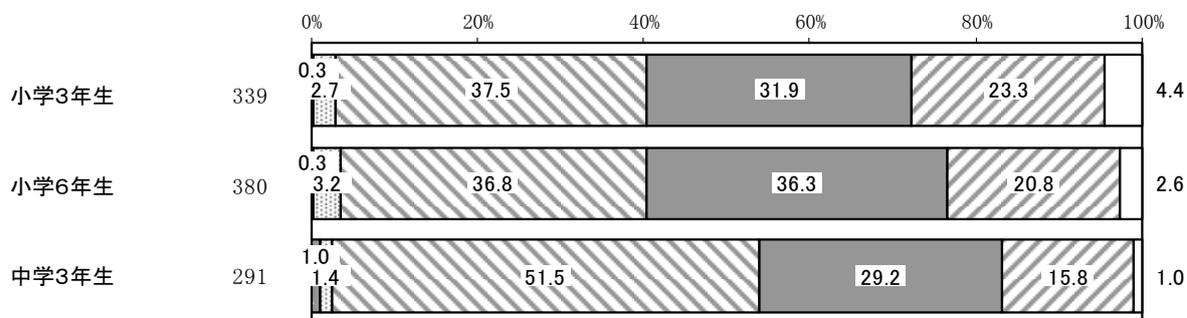
⑧幼稚園・保育園・小学の連携

子どもの学年別で見ると、学年が上がるにつれ“どちらともいえない”の割合が高く、“重要”の割合が低くなっています。



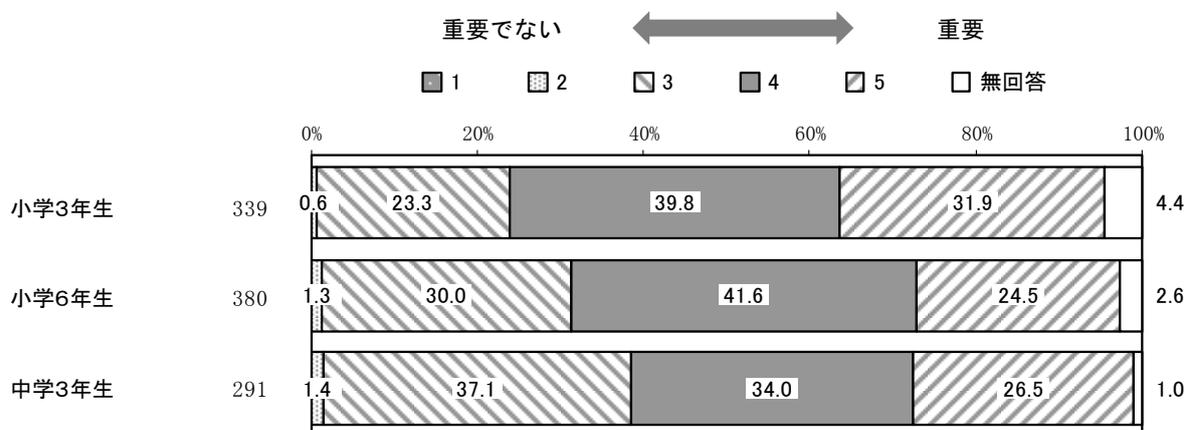
⑨小学・中学の連携

子どもの学年別で見ると、学年が上がるにつれ“どちらともいえない”の割合が高く、“重要”の割合が低くなる傾向がみられます。



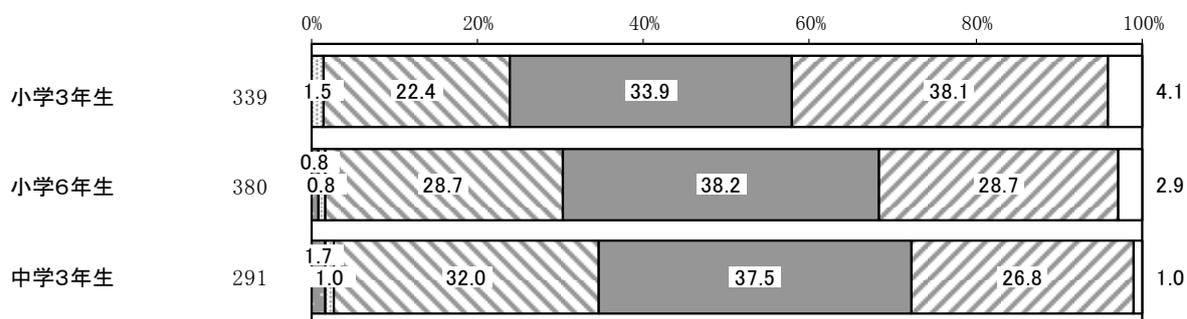
⑩読書活動

子どもの学年別で見ると、学年が上がるにつれ“どちらともいえない”の割合が高く、中学3年生で3割半ばとなっています。また、学年が下がるにつれ“重要”の割合が高くなっており、小学3年生で約7割となっています。



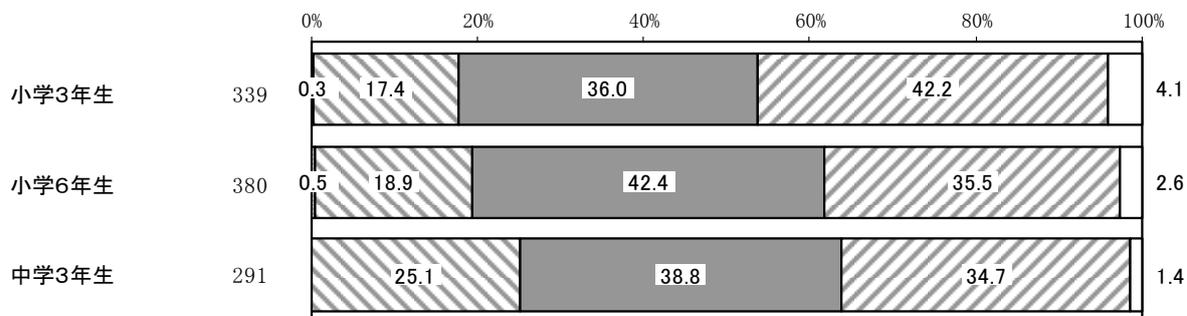
⑪道徳教育

子どもの学年別で見ると、学年が下がるにつれ“どちらともいえない”の割合が低くなっており、小学3年生で約2割となっています。



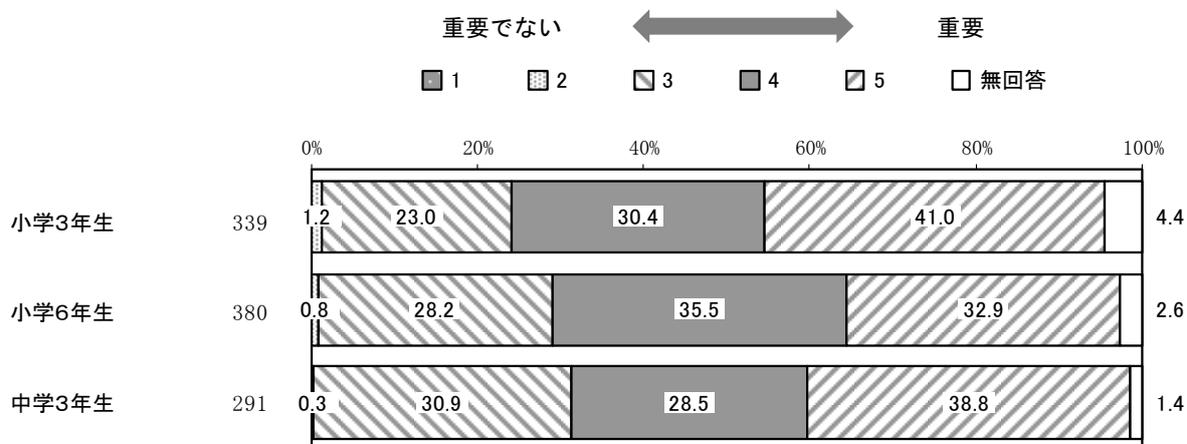
⑫健康と体力の向上

子どもの学年別で見ると、他に比べ、中学3年生で“どちらともいえない”の割合が高く、2割半ばとなっています。



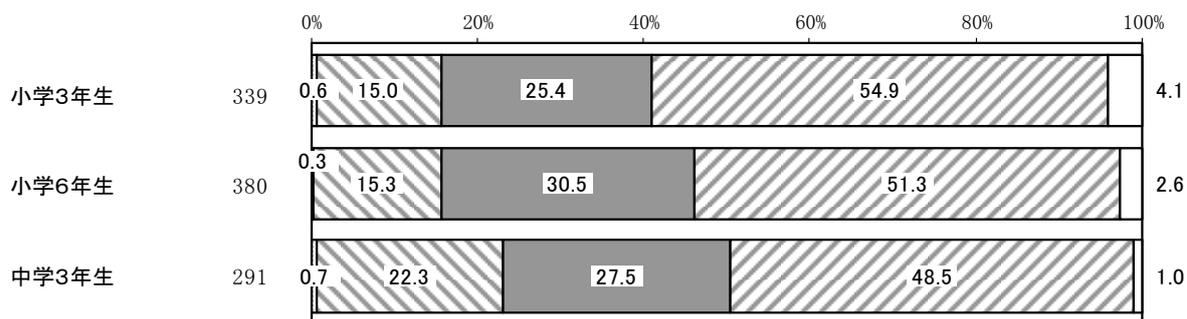
⑬障がいのある子どもへの支援

子どもの学年別でみると、大きな差異はみられません。



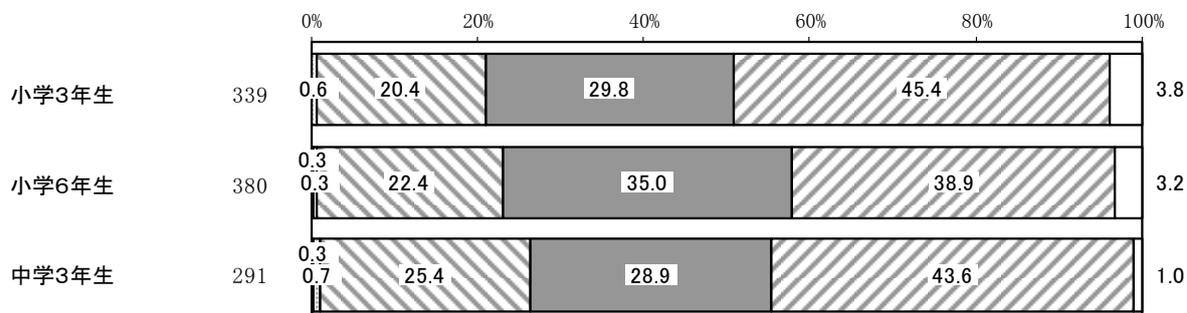
⑭いじめの防止・対応

子どもの学年別でみると、他に比べ、中学3年生で“どちらともいえない”の割合が高く、約2割となっています。



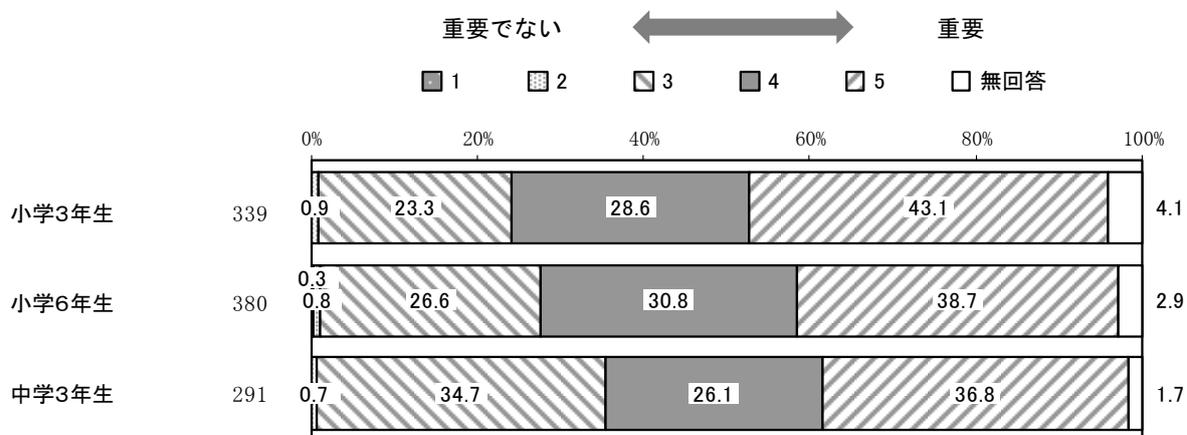
⑮不登校児童・生徒への支援

子どもの学年別でみると、大きな差異はみられません。



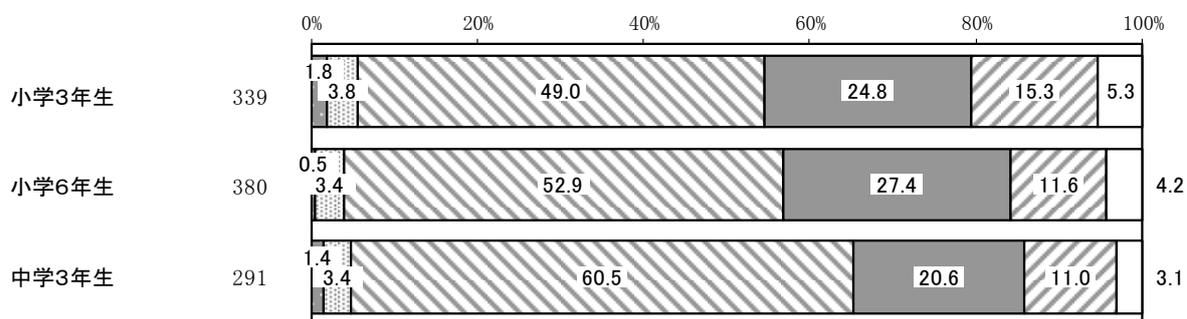
⑩安全・安心な学校施設

子どもの学年別で見ると、他に比べ、中学3年生で“どちらともいえない”の割合が高く、3割半ばとなっています。



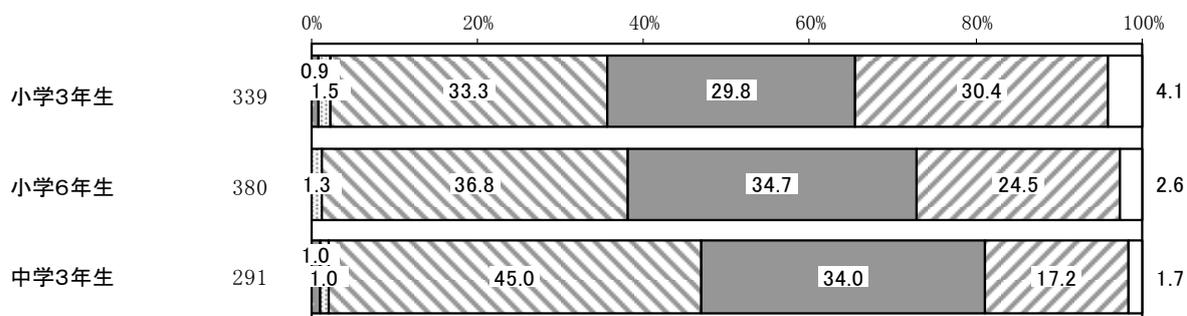
⑪松本版コミュニティスクール

子どもの学年別で見ると、中学3年生に比べ、小学3年生、小学6年生で“重要”の割合が高く、約7割となっています。また、他に比べ、中学3年生で“どちらともいえない”の割合が高く、約6割となっています。



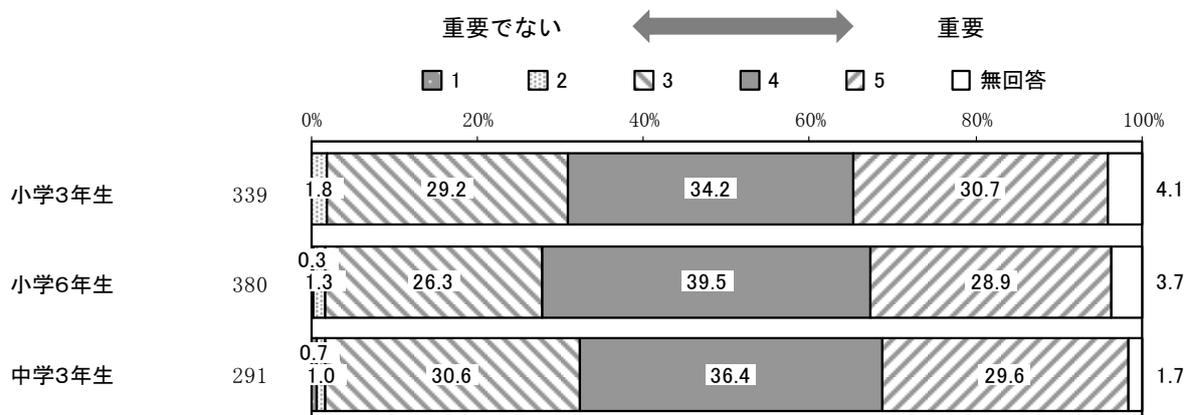
⑫学校から地域、家庭への情報発信

子どもの学年別で見ると、他に比べ、中学3年生で“どちらともいえない”の割合が高く、4割半ばとなっています。



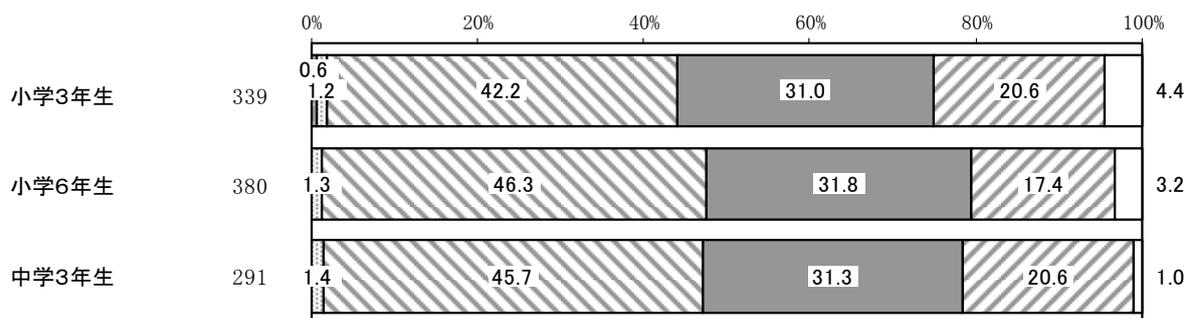
⑱職業体験などのキャリア教育

子どもの学年別で見ると、大きな差異はみられません。



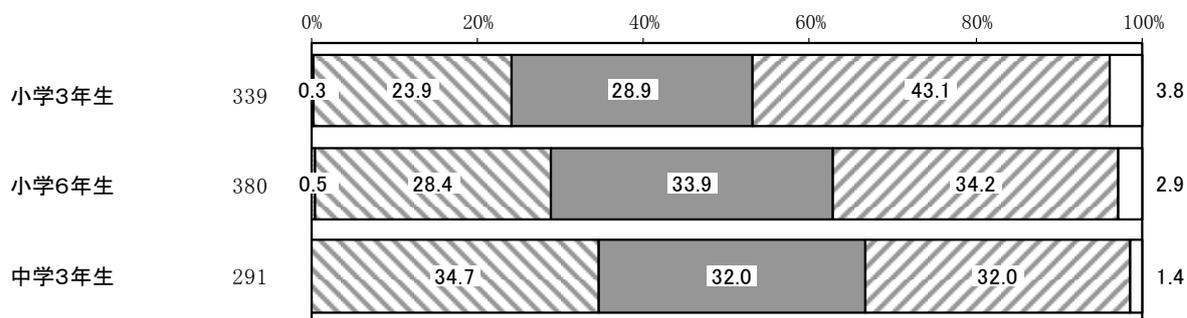
⑳外国籍の子どもへの日本語支援

子どもの学年別で見ると、大きな差異はみられません。



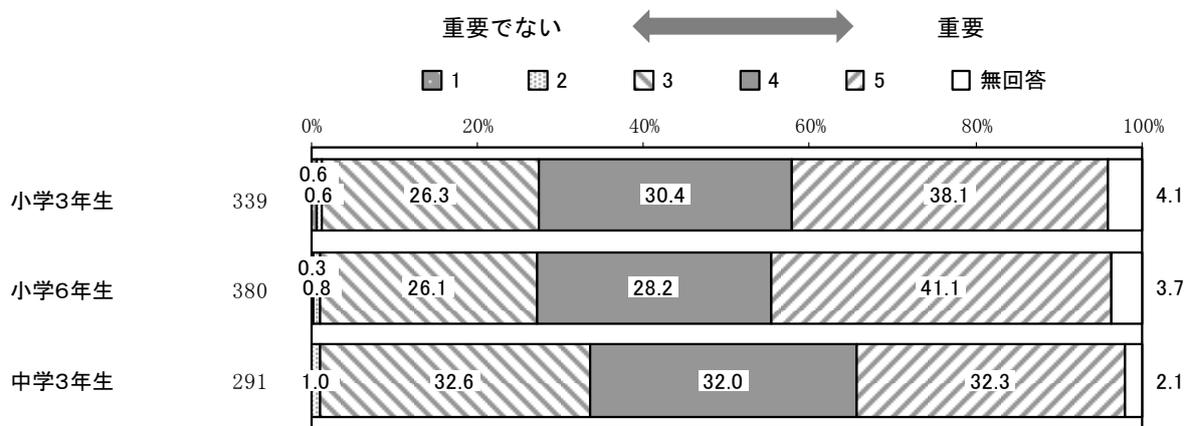
㉑防災教育

子どもの学年別で見ると、他に比べ、中学3年生で“どちらともいえない”の割合が高く、3割半ばとなっています。



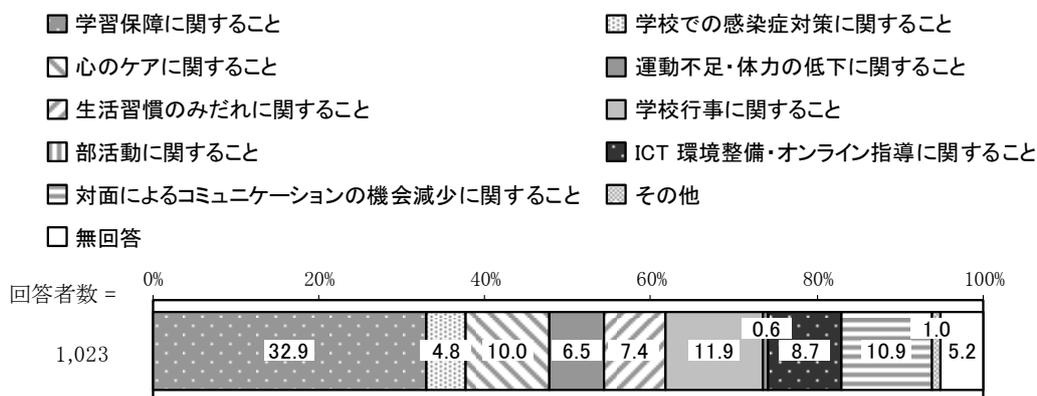
②主体的・対話的で深い学び（アクティブラーニング）

子どもの学年別でみると、大きな差異はみられません。



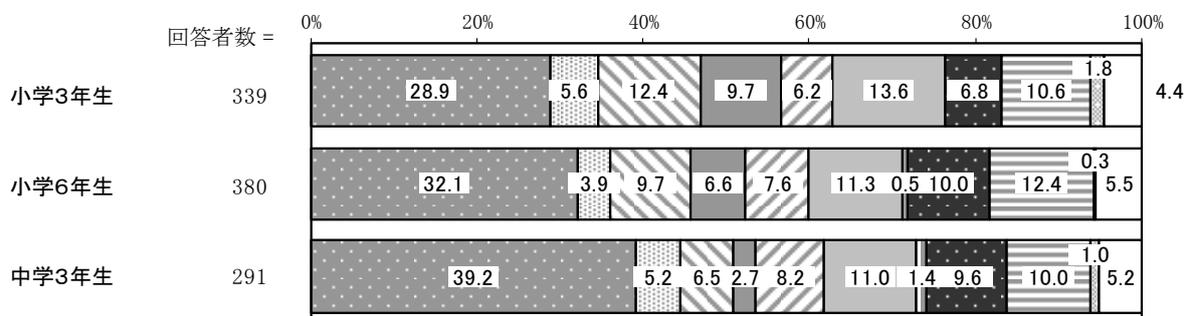
問 14 新型コロナウイルス感染症が今後も子どもたちの教育に大きな影響を及ぼす可能性があります。現在の状況下における松本市の子どもたちの教育について不安を感じていることは何ですか。（最もあてはまるもの1つに○）

「学習保障に関すること」の割合が32.9%と最も高く、次いで「学校行事に関すること」の割合が11.9%、「対面によるコミュニケーションの機会減少に関すること」の割合が10.9%となっています。



【子どもの学年別】

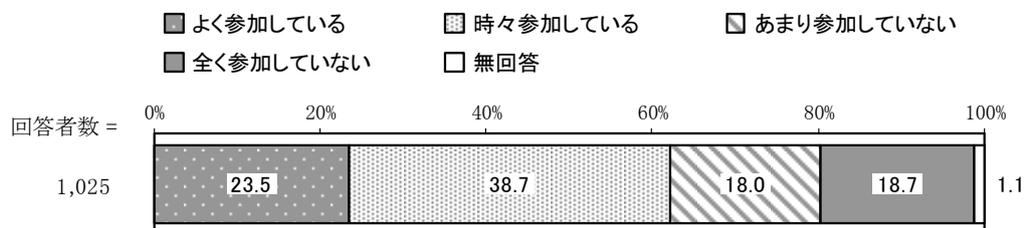
子どもの学年別で見ると、学年が上がるにつれ「学習保障に関すること」の割合が高くなっており、中学3年生で約4割となっています。また、他に比べ、小学3年生で「運動不足・体力の低下に関すること」の割合が高く、約1割となっています。



(4) 家庭や地域での教育について

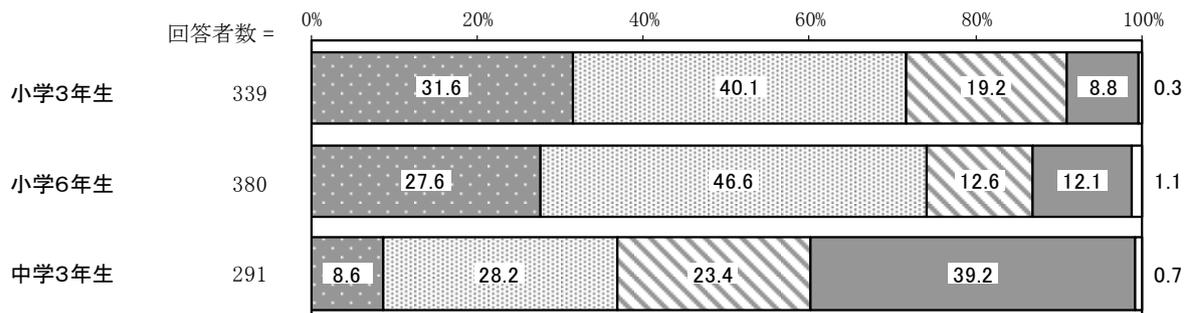
問 15 昨年1年間で、地域の行事にお子さんと一緒に参加していますか。

「よく参加している」と「時々参加している」をあわせた“参加している”の割合が 62.2%、「あまり参加していない」と「全く参加していない」をあわせた“参加していない”の割合が 36.7%となっています。



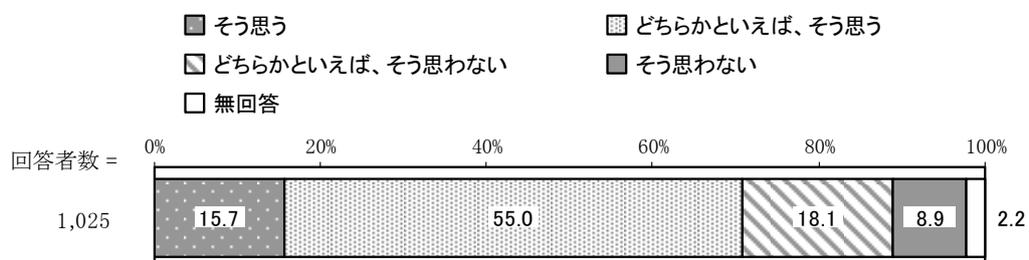
【子どもの学年別】

子どもの学年別でみると、中学3年生に比べ、小学3年生、小学6年生で“参加している”の割合が高く、7割半ばとなっています。



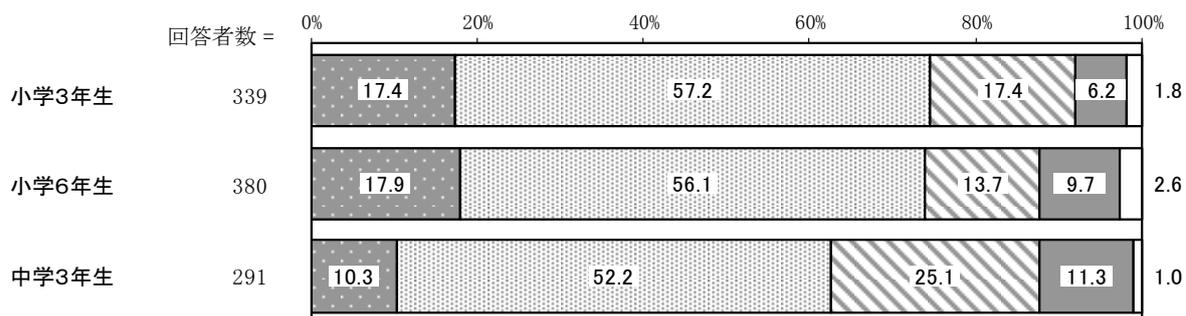
問 16 地域には、ボランティアで学校を支援するなど、地域の子どものための教育に関わってくれる人が多いと思いますか。

「そう思う」と「どちらかといえば、そう思う」をあわせた“そう思う”の割合が70.7%、「どちらかといえば、そう思わない」と「そう思わない」をあわせた“そう思わない”の割合が27.0%となっています。



【子どもの学年別】

子どもの学年別で見ると、中学3年生に比べ、小学3年生、小学6年生で“参加している”の割合が高く、7割半ばとなっています。



**問 17 あなたが子育てで大切にしていることはどんなことですか。
(最もあてはまるもの1つに○)**

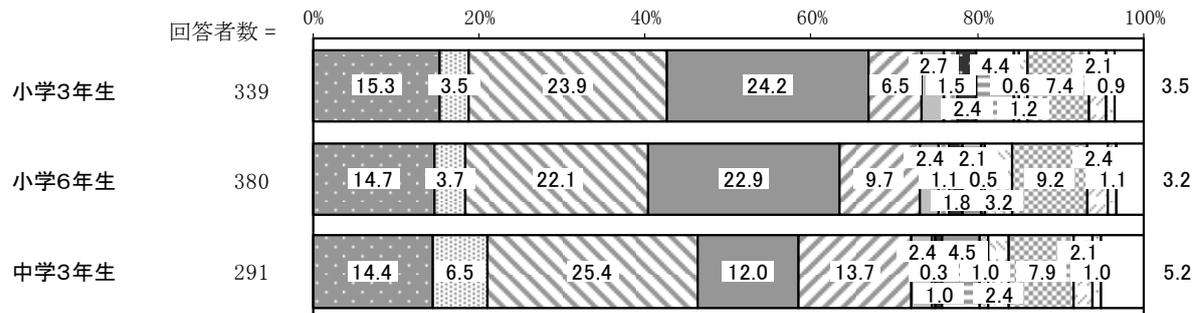
「スキンシップや会話をたくさんすること」の割合が23.7%と最も高く、次いで「ほめるときはほめ、しかるときはきちんとしかること」の割合が20.1%、「できるだけ子どもと過ごす時間をとること」の割合が14.7%となっています。

- できるだけ子どもと過ごす時間をとること
- 笑顔で子どもに接すること
- スキンシップや会話をたくさんすること
- ほめるときはほめ、しかるときはきちんとしかること
- 規則正しい生活をさせること
- 食事の作法、トイレの仕方、マナーなどを教えること
- できるだけ外遊びをさせるようにすること
- 自然に触れる機会をつくること
- いろいろな人と接する機会をつくること
- 文字や数など知的な経験の機会をつくること
- 自分自身が子育てを楽しむこと
- 自分がゆとりをもって子どもと接すること
- その他
- 特にない
- 無回答



【子どもの学年別】

子どもの学年別でみると、中学3年生に比べ、小学3年生、小学6年生で「ほめるときはほめ、しかるときはきちんとしかること」の割合が高く、2割半ばとなっています。また、他に比べ、中学3年生で「規則正しい生活をさせること」の割合が高く、1割半ばとなっています。



**問 18 あなたが、自分のお子さんによく注意することは何ですか。
(最もあてはまるもの1つに○)**

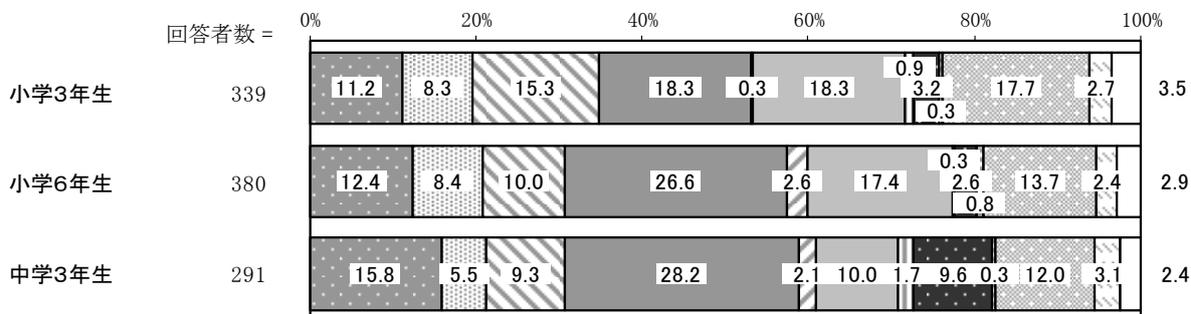
「長い時間のゲームやテレビ、スマホの使用を控えること」の割合が24.0%と最も高く、次いで「自分でできることは自分ですること」の割合が15.4%、「思いやり、やさしさの気持ち、約束を守ること」の割合が14.3%となっています。

- 早寝、早起きなど規則正しい生活
- あいさつ
- ものごとの善悪
- 長い時間のゲームやテレビ、スマホの使用を控えること
- 家事の手伝い
- 自分でできることは自分ですること
- 学校での出来事を家族に話すこと
- 勉強
- 体を動かすこと
- 思いやり、やさしさの気持ち、約束を守ること
- その他
- 無回答



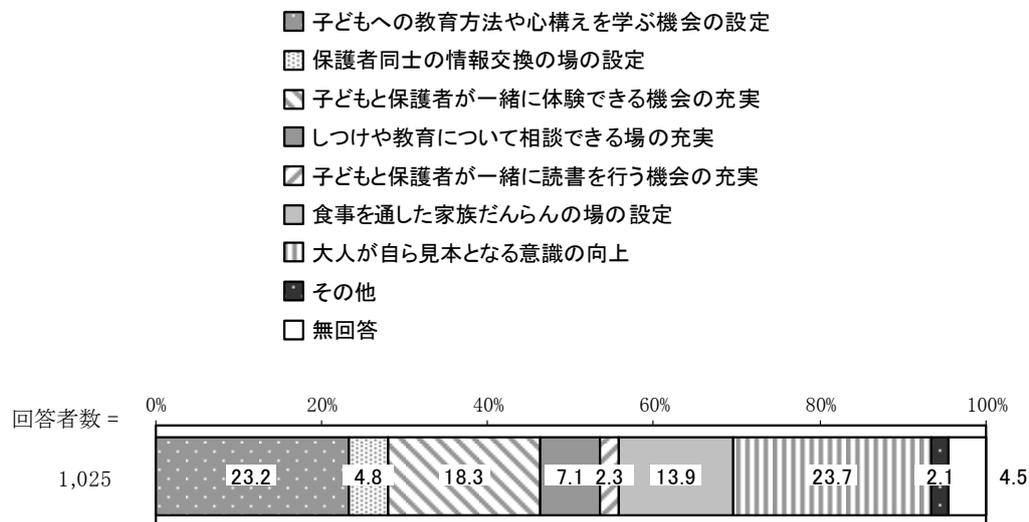
【子どもの学年別】

子どもの学年別でみると、学年が上がるにつれ「長い時間のゲームやテレビ、スマホの使用を控えること」「勉強」の割合が高くなる傾向がみられます。また、中学3年生に比べ、小学3年生、小学6年生で「自分でできることは自分ですること」の割合が高く、約2割となっています。



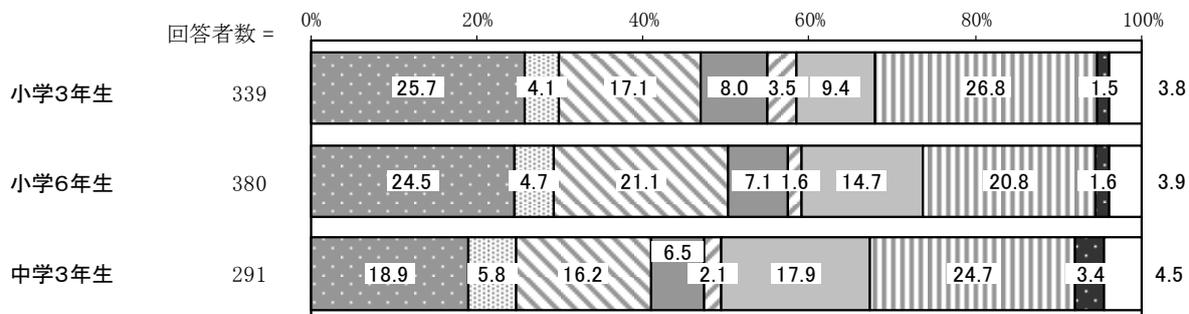
**問 19 あなたは、家庭での教育力向上にどのような取り組みが必要だと思いますか。
(最もあてはまるもの1つに○)**

「大人が自ら見本となる意識の向上」の割合が23.7%と最も高く、次いで「子どもへの教育方法や心構えを学ぶ機会の設定」の割合が23.2%、「子どもと保護者が一緒に体験できる機会の充実」の割合が18.3%となっています。



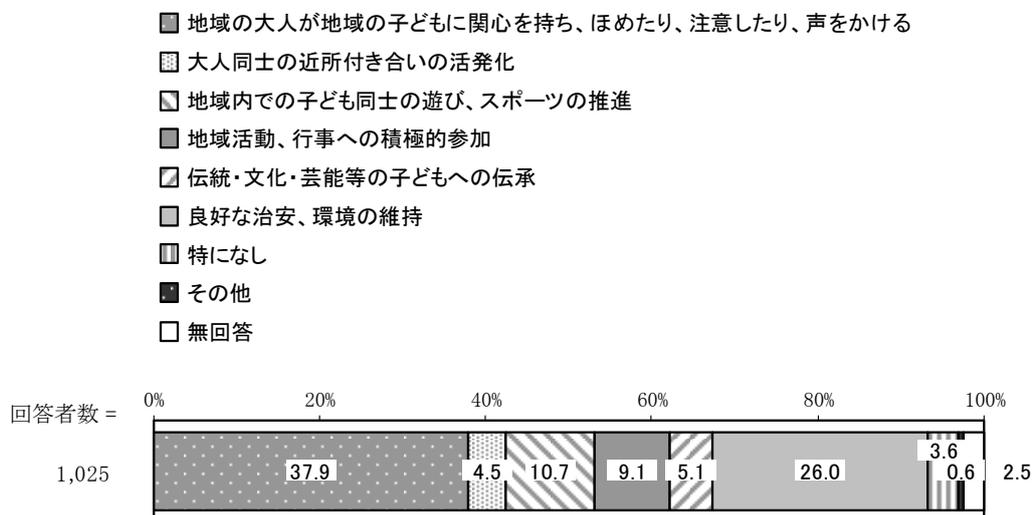
【子どもの学年別】

子どもの学年別でみると、学年が上がるにつれ「食事を通した家族だんらんの場の設定」の割合が高くなっており、中学3年生で約2割となっています。



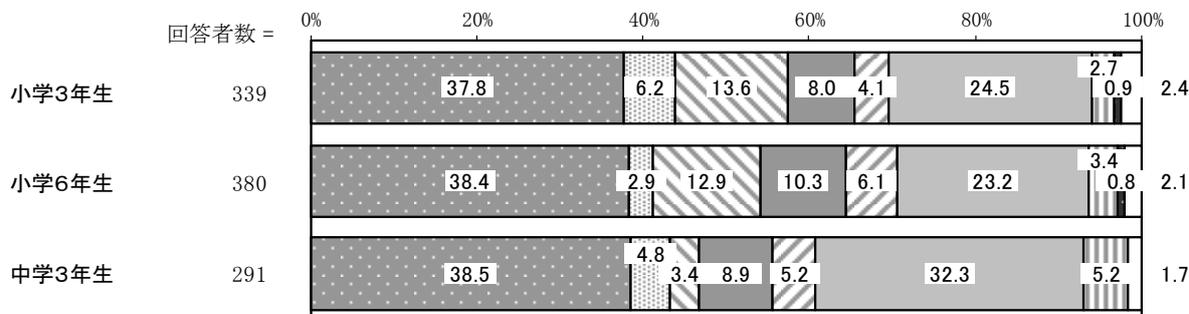
問 20 あなたは、地域で子どもを育てるためにはどのような取り組みが必要だと思いますか。(最もあてはまるもの1つに○)

「地域の大人が地域の子どもの関心を持ち、ほめたり、注意したり、声をかける」の割合が37.9%と最も高く、次いで「良好な治安、環境の維持」の割合が26.0%、「地域内での子ども同士の遊び、スポーツの推進」の割合が10.7%となっています。



【子どもの学年別】

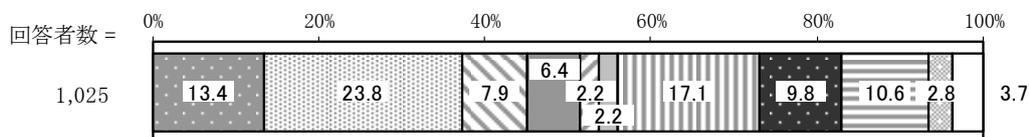
子どもの学年別で見ると、他に比べ、中学3年生で「良好な治安、環境の維持」の割合が高く、約3割となっています。一方、他に比べ、中学3年生で「地域内での子ども同士の遊び、スポーツの推進」の割合が低くなっています。



問 21 あなたは、学校、家庭、地域が連携協力するためには何が重要だと思いますか。
 (最もあてはまるもの1つに○)

「子どもの地域行事等への積極的な参加」の割合が23.8%と最も高く、次いで「学校から保護者や地域への情報提供」の割合が17.1%、「運動会等の学校行事に保護者や地域住民の協力」の割合が13.4%となっています。

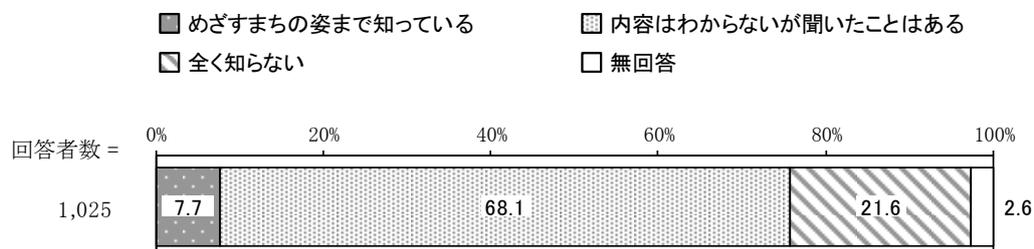
- 運動会等の学校行事に保護者や地域住民の協力
- 子どもの地域行事等への積極的な参加
- 学校、保護者、地域住民の話し合いの機会
- 学校の授業への地域住民の協力
- 学校施設の地域への開放
- 学校開放日等の設置による地域の人々の学校参観
- 学校から保護者や地域への情報提供
- 保護者の参画意識の向上
- 地域行事に参加できるような工夫
- その他
- 無回答



(5) その他

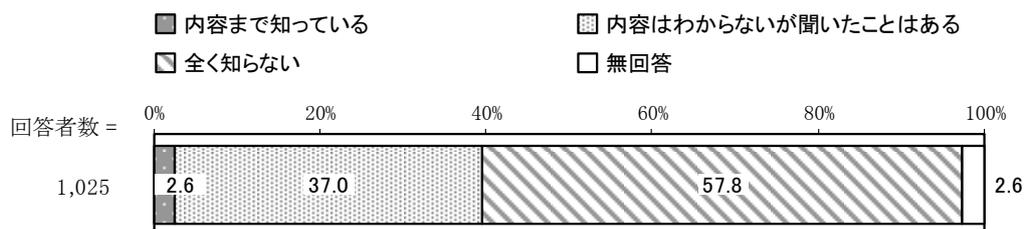
問 22 松本市が「学都松本」をめざしていることを知っていますか。

「内容はわからないが聞いたことはある」の割合が 68.1%と最も高く、次いで「全く知らない」の割合が 21.6%となっています。



問 23 あなたは、「まつもと市民生きいき活動」を知っていますか。

「全く知らない」の割合が 57.8%と最も高く、次いで「内容はわからないが聞いたことはある」の割合が 37.0%となっています。

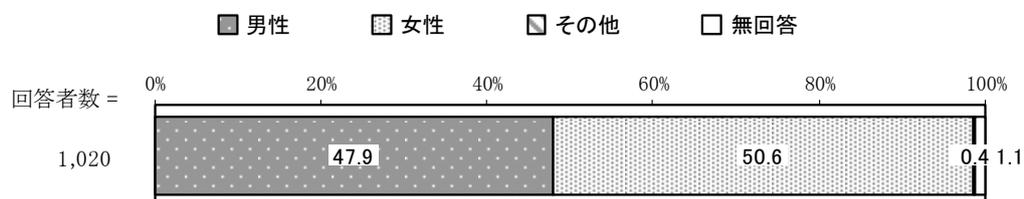


3 小学生・中学生

(1) 回答者属性

問1 あなたの性別をお答えください。

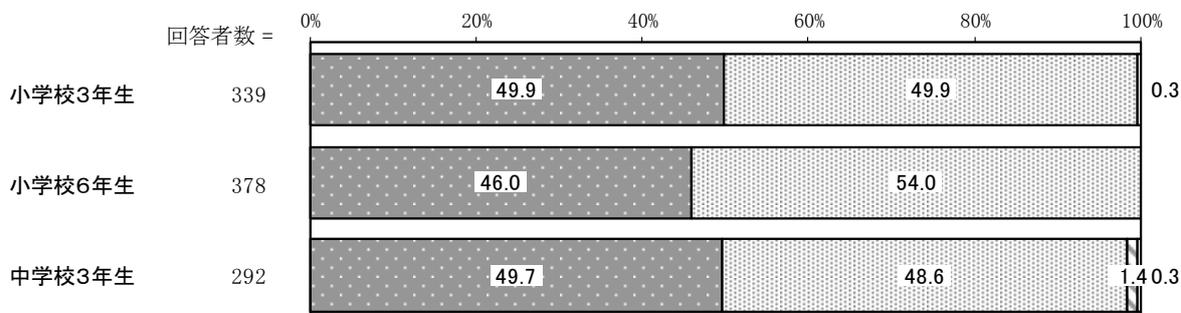
回答結果は、以下の通りとなっています。



【学年別】

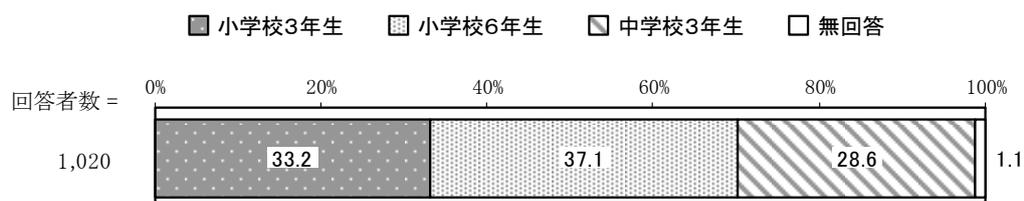
回答結果は、以下の通りとなっています。

中学校3年生の“その他・無回答”の標本誤差は0.3%~3.1%となり、中学生以上では性的マイノリティが存在する可能性があります。



問2 あなたは何年生ですか。

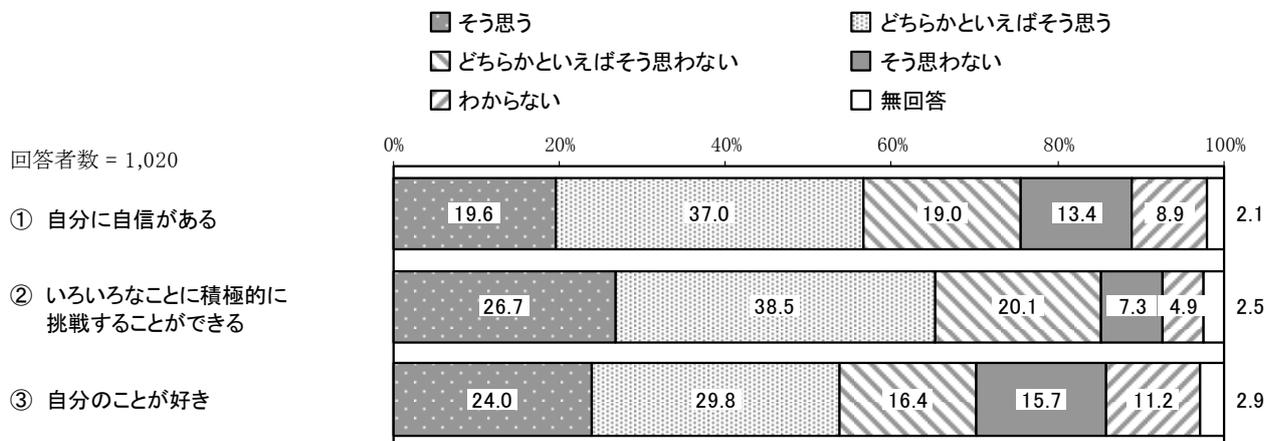
回答結果は、以下の通りとなっています。



問3 あなた自身についてお聞きします。

(①～③の各項目について、あてはまるものに、それぞれひとつだけに○)

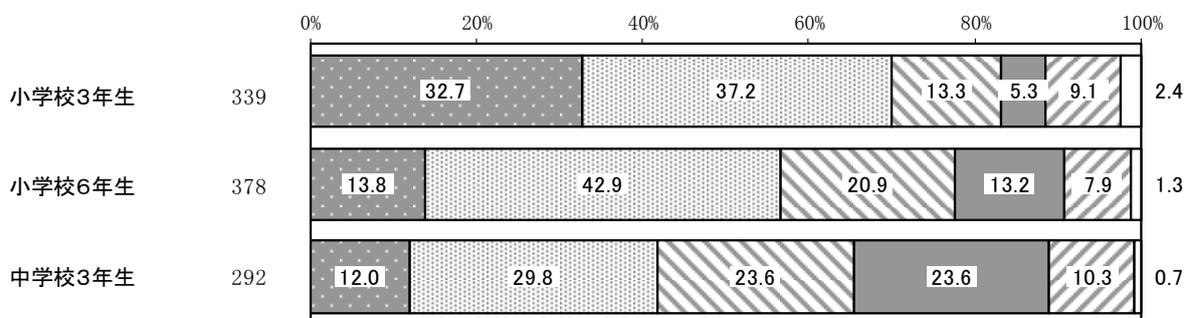
『② いろいろなことに積極的に挑戦することができる』で「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」をあわせた“そう思う”の割合が高く、6割半ばとなっています。



【学年別】

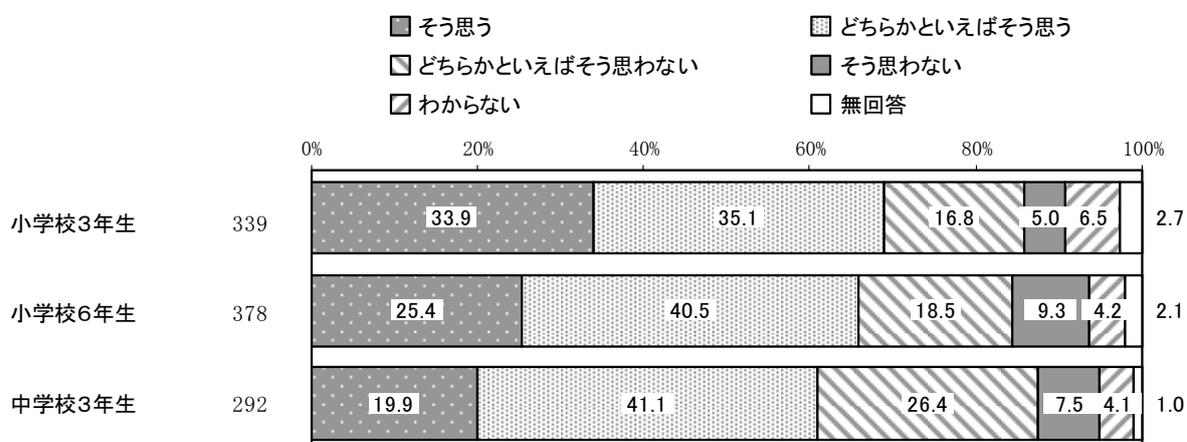
①自分に自信がある

学年別でみると、学年が下がるにつれ“そう思う”の割合が高くなっており、小学校3年生で約7割となっています。



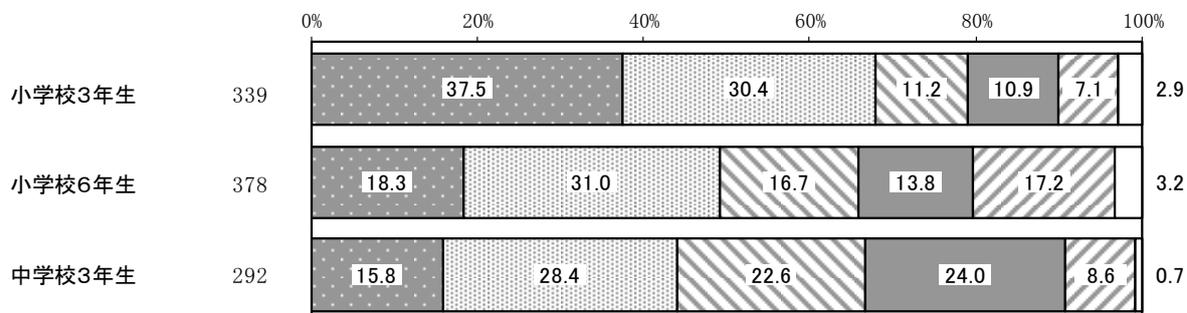
②いろいろなことに積極的に挑戦することができる

学年別でみると、学年が下がるにつれ“そう思う”の割合が高くなっており、小学校3年生で約7割となっています。



③自分のことが好き

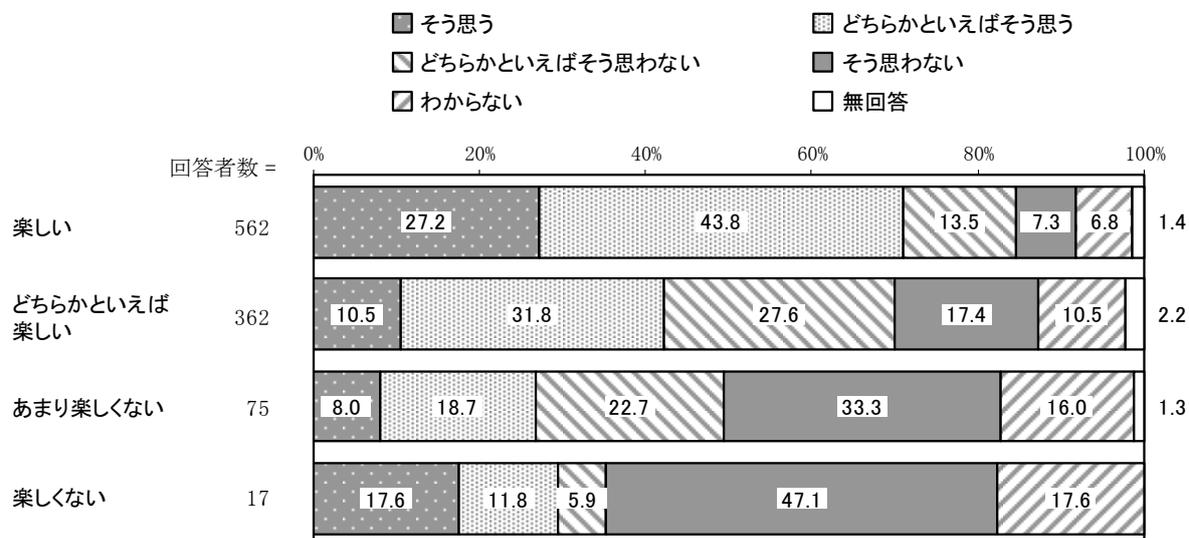
学年別でみると、学年が下がるにつれ“そう思う”の割合が高くなっており、小学校3年生で約7割となっています。



【学校が楽しいか別】

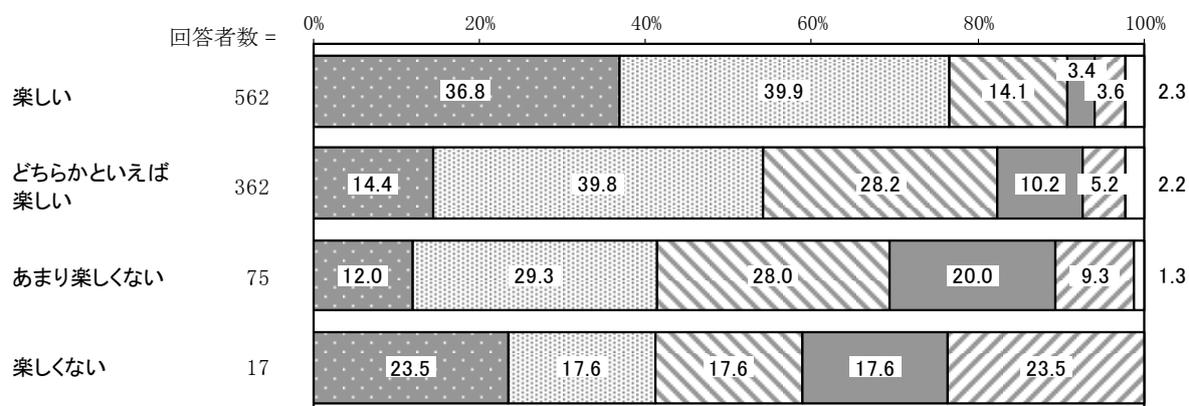
①自分に自信がある

学校が楽しいか別でみると、他に比べ、楽しいで“そう思う”の割合が高くなっています。



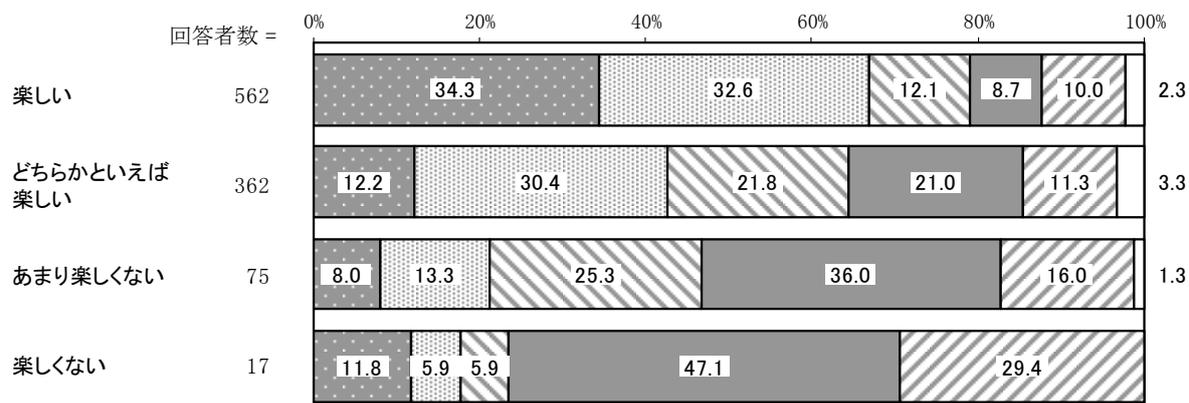
②いろいろなことに積極的に挑戦することができる

学校が楽しいか別でみると、他に比べ、楽しいで“そう思う”の割合が高くなっています。



③自分のことが好き

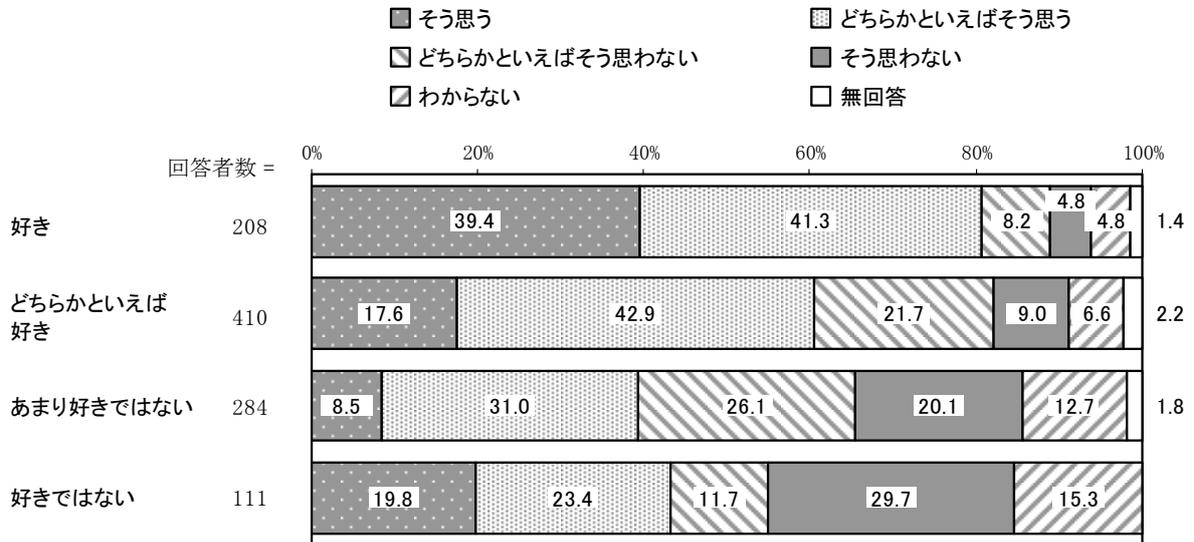
学校が楽しいか別でみると、他に比べ、楽しいで“そう思う”の割合が高くなっています。



【勉強の好き・嫌い別】

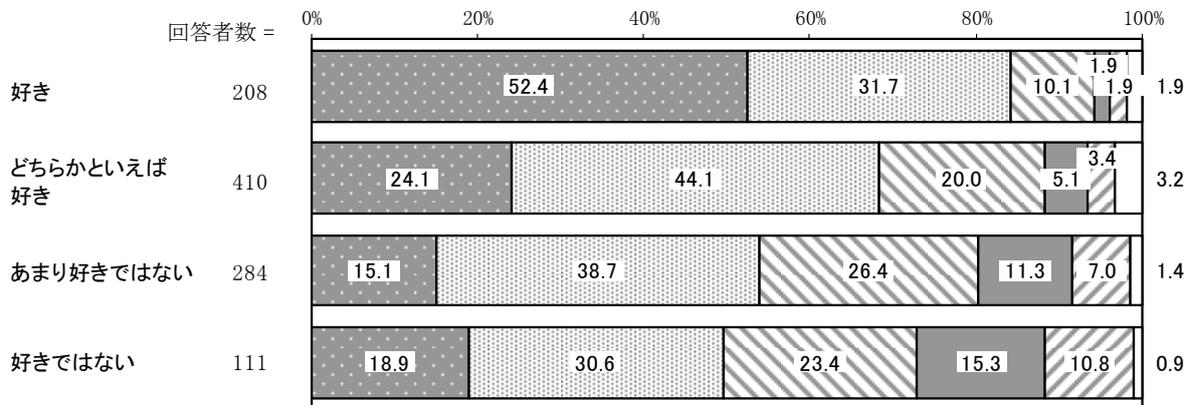
①自分に自信がある

勉強の好き・嫌い別でみると、他に比べ、好きで“そう思う”の割合が高くなっています。



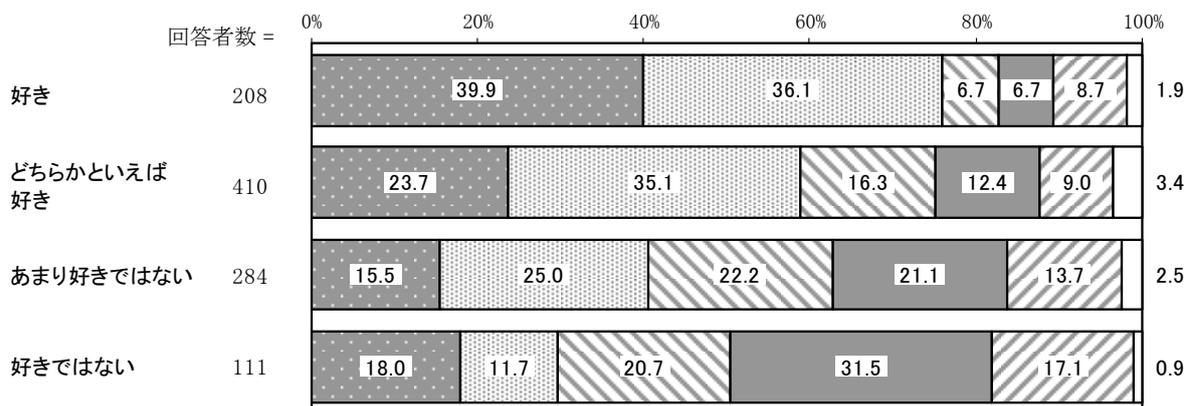
②いろいろなことに積極的に挑戦することができる

勉強の好き・嫌い別でみると、他に比べ、好きで“そう思う”の割合が高くなっています。



③自分のことが好き

勉強の好き・嫌い別でみると、他に比べ、好きで“そう思う”の割合が高くなっています。

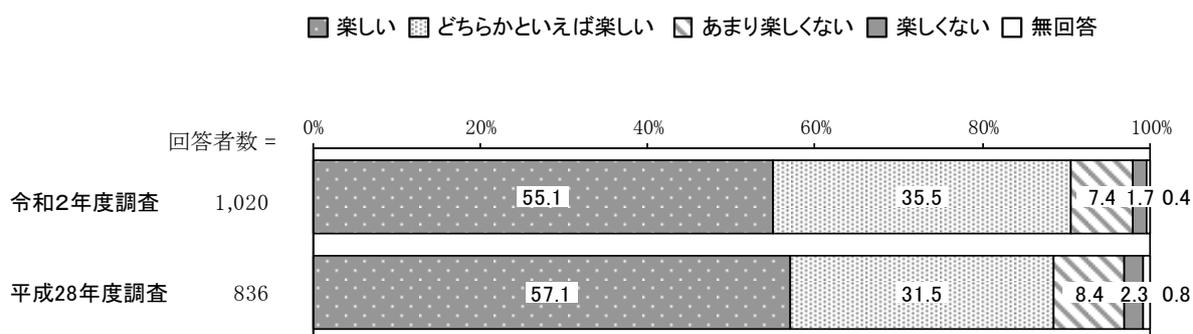


(2) 学校生活について

問4 あなたは、学校が楽しいですか。

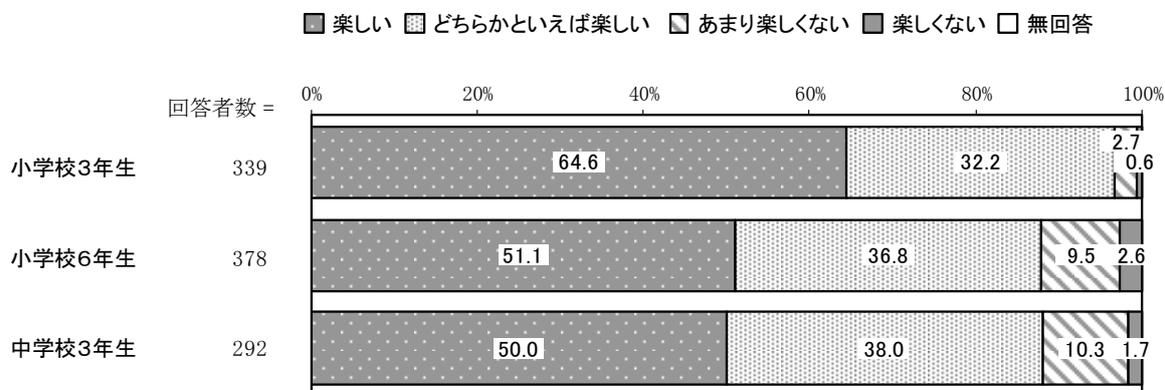
「楽しい」と「どちらかといえば楽しい」をあわせた“楽しい”の割合が90.6%、「あまり楽しくない」と「楽しくない」をあわせた“楽しくない”の割合が9.1%となっています。

平成28年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



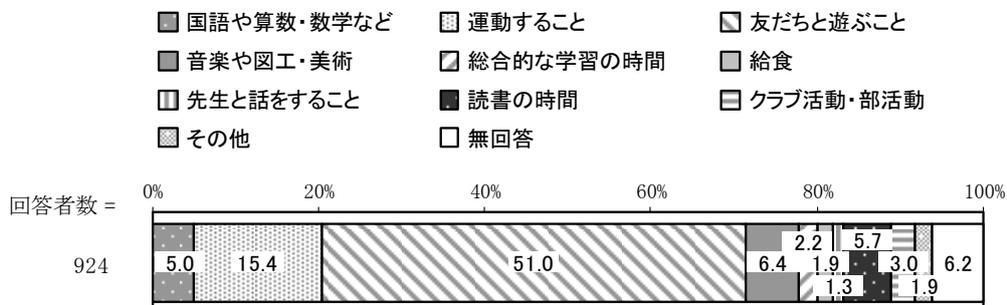
【学年別】

学年別でみると、他に比べ、小学校3年生で“楽しい”の割合が高く、9割半ばとなっています。



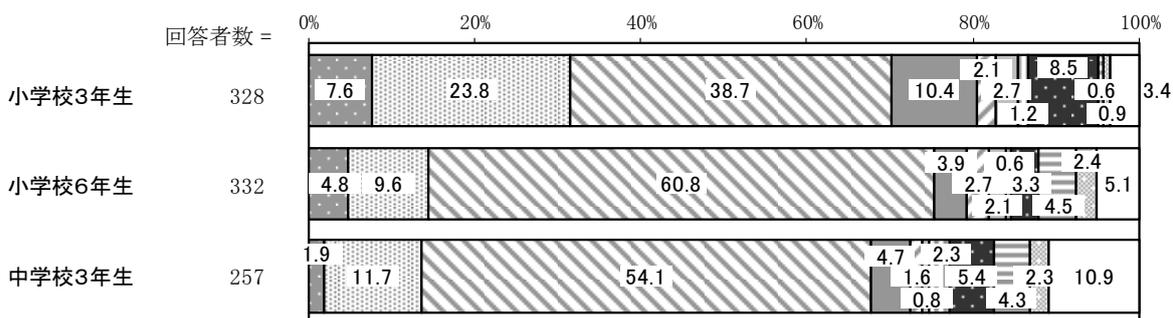
問5 問4で「楽しい」、「どちらかといえば楽しい」と答えた方にお聞きします。学校で何をすることが楽しいですか。（最もあてはまるもの1つに○）

「友だちと遊ぶこと」の割合が51.0%と最も高く、次いで「運動すること」の割合が15.4%となっています。



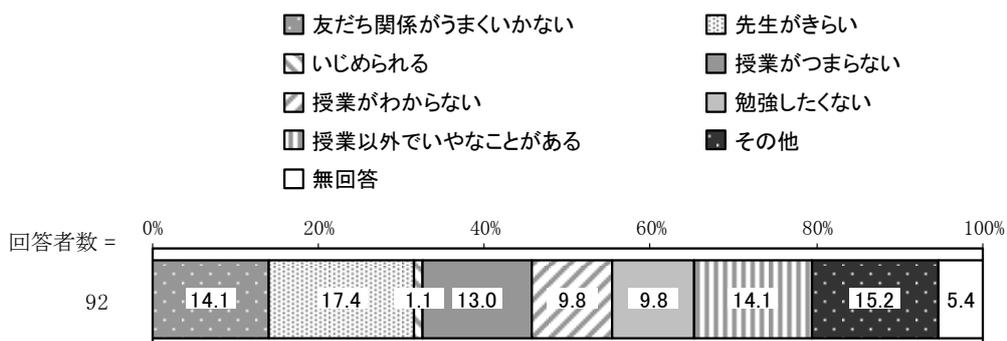
【学年別】

学年別でみると、他に比べ、小学校6年生で「友だちと遊ぶこと」の割合が高く、約6割となっています。また、小学校3年生で「国語や算数・数学など」「運動すること」「音楽や図工・美術」「読書の時間」の割合が高くなっています。一方、他に比べ、小学校3年生で「クラブ活動・部活動」の割合が低くなっています。



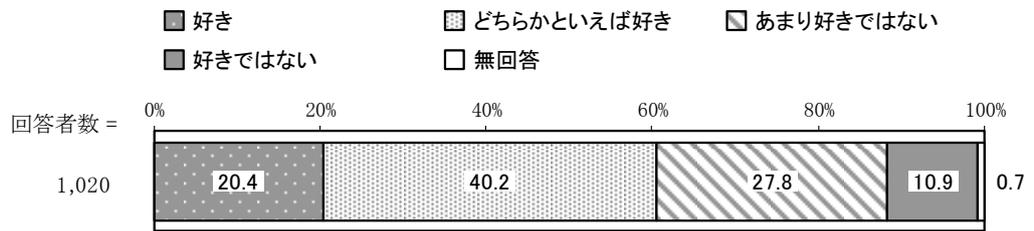
問6 問4で「あまり楽しくない」、「楽しくない」と答えた方にお聞きします。どうして、楽しくないのですか。（最もあてはまるもの1つに○）

「先生がきらい」の割合が17.4%と最も高く、次いで「友だち関係がうまくいかない」、「授業以外でいやなことがある」の割合が14.1%となっています。



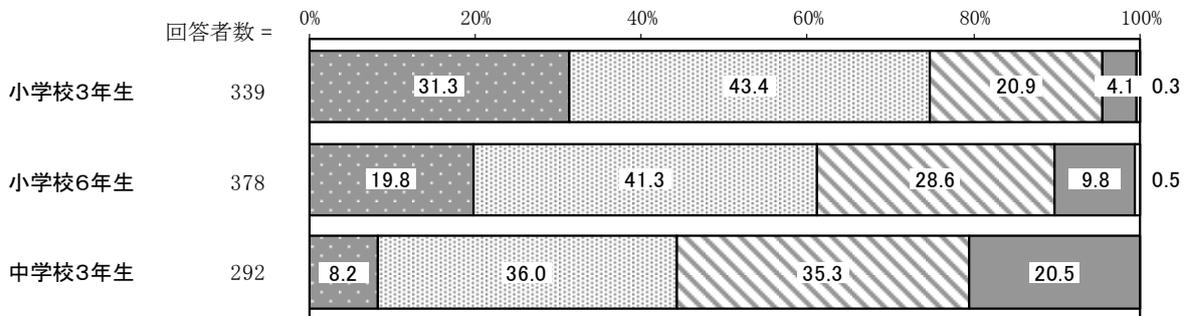
問7 あなたは、勉強することが好きですか。

「好き」と「どちらかといえば好き」をあわせた“好き”の割合が60.6%、「あまり好きではない」と「好きではない」をあわせた“好きではない”の割合が38.7%となっています。



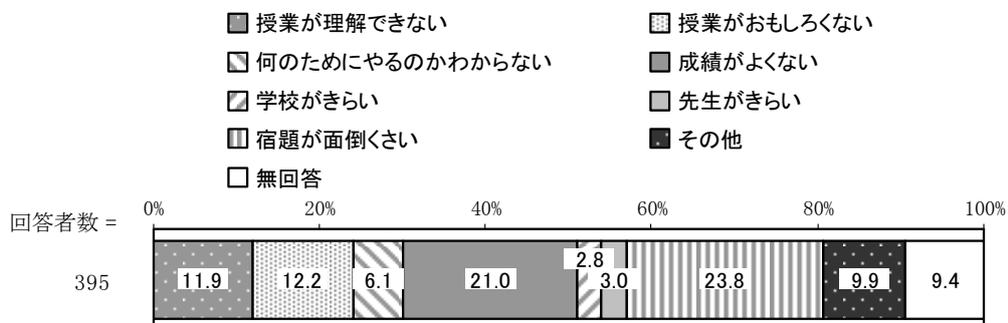
【学年別】

学年別でみると、学年が下がるにつれ“好き”の割合が高くなっており、小学校3年生で7割半ばとなっています。



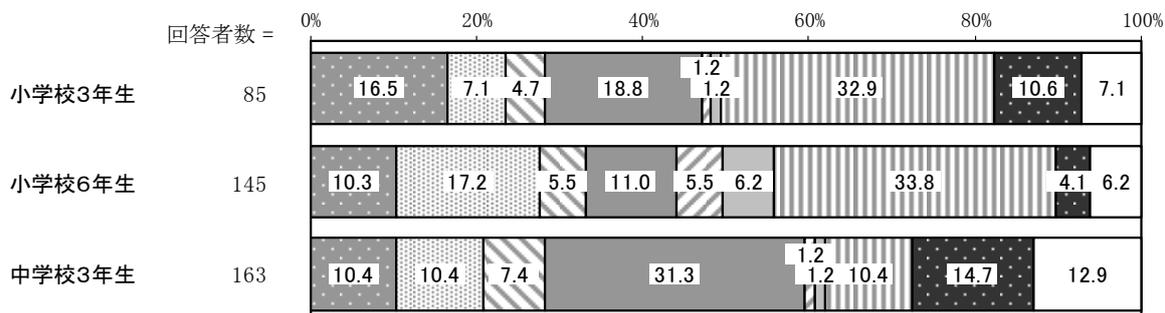
問8 問7で「あまり好きではない」、「好きではない」と答えた方にお聞きします。
 どうして勉強することが好きではないのですか。(最もあてはまるもの1つに○)

「宿題が面倒くさい」の割合が23.8%と最も高く、次いで「成績がよくない」の割合が21.0%、「授業がおもしろくない」の割合が12.2%となっています。



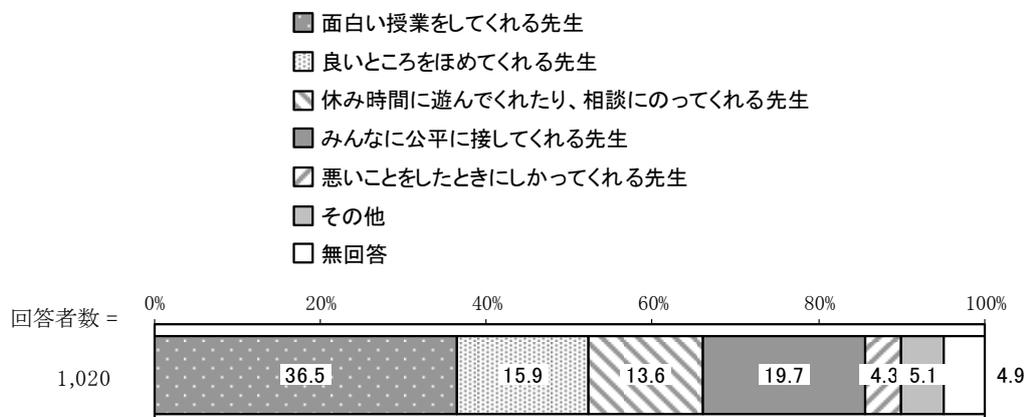
【学年別】

学年別でみると、学年が上がるにつれ「成績がよくない」の割合が、学年が下がるにつれ「宿題が面倒くさい」の割合が高くなる傾向がみられます。また、他に比べ、小学校6年生で「学校がきらい」「先生がきらい」の割合が高くなっています。



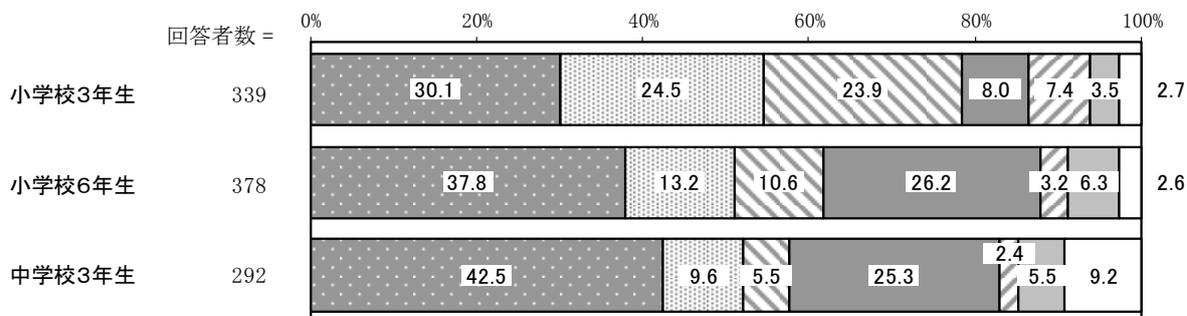
問9 あなたは、どんな先生が好きですか。(最もあてはまるもの1つに○)

「面白い授業をしてくれる先生」の割合が36.5%と最も高く、次いで「みんなに公平に接してくれる先生」の割合が19.7%、「良いところをほめてくれる先生」の割合が15.9%となっています。



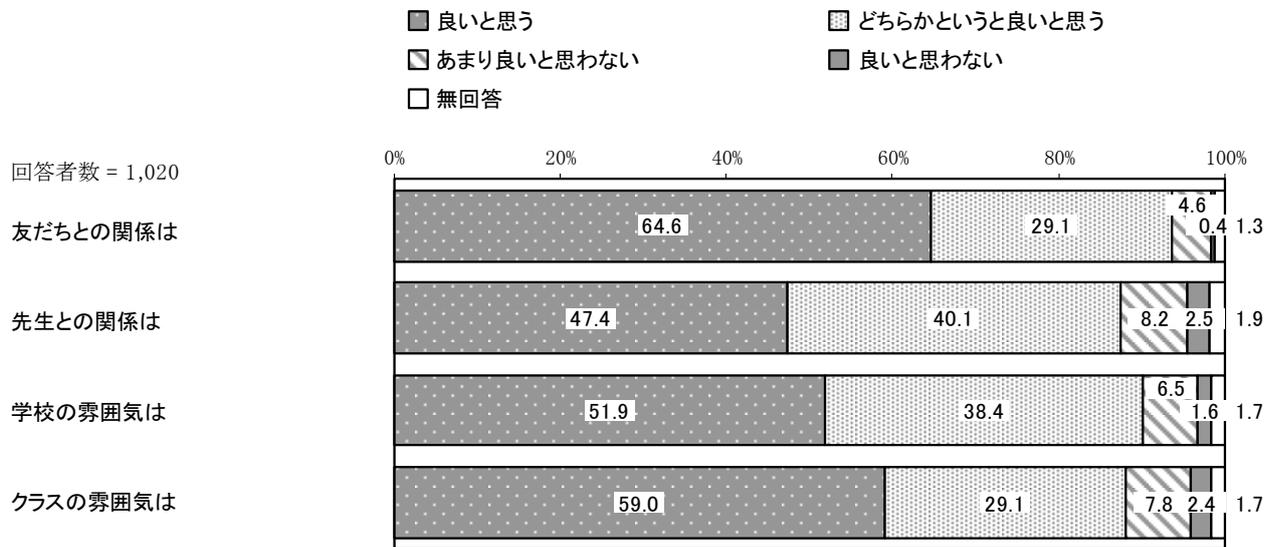
【学年別】

学年別でみると、学年が上がるにつれ「面白い授業をしてくれる先生」の割合が、学年が下がるにつれ「良いところをほめてくれる先生」「休み時間に遊んでくれたり、相談にのってくれる先生」「悪いことをしたときにしかってくれる先生」の割合が高くなっています。また、小学校3年生に比べ、小学校6年生、中学校3年生で「みんなに公平に接してくれる先生」割合が高く、2割半ばとなっています。



問 10 あなたは、次の項目についてどのくらい良いと思いますか。

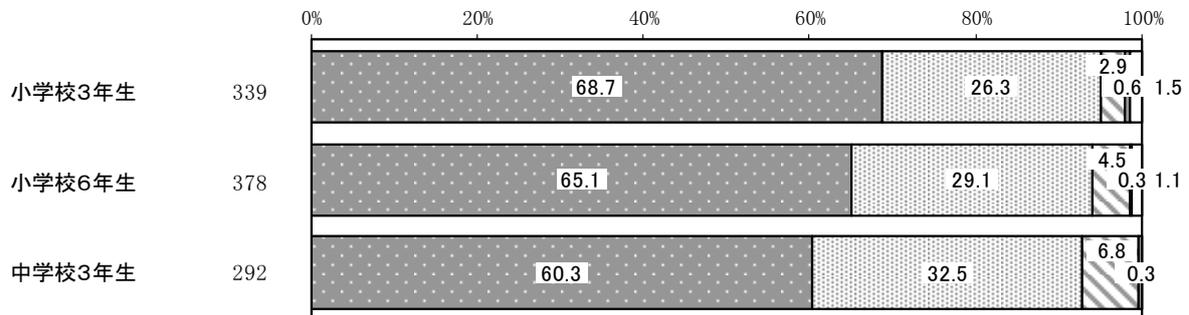
すべての項目で「良いと思う」と「どちらかというと思う」をあわせた“良いと思う”の割合が高く、約9割となっています。



【学年別】

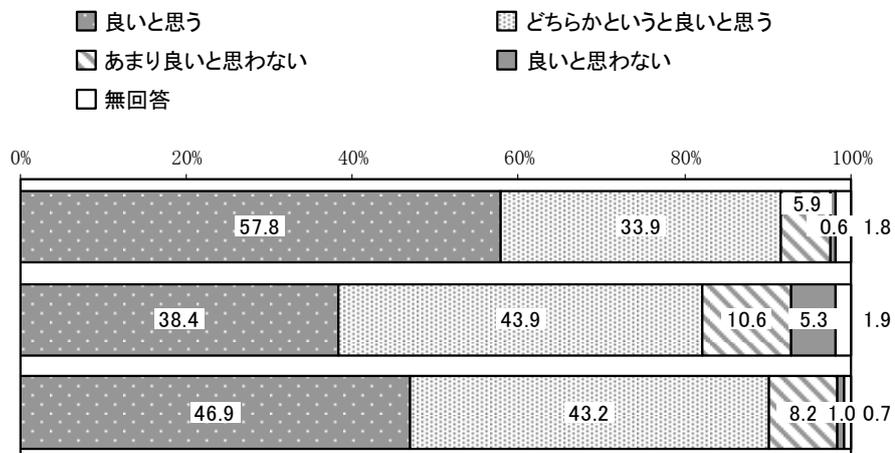
①友だちとの関係

子どもの学年別で見ると、大きな差異はみられません。



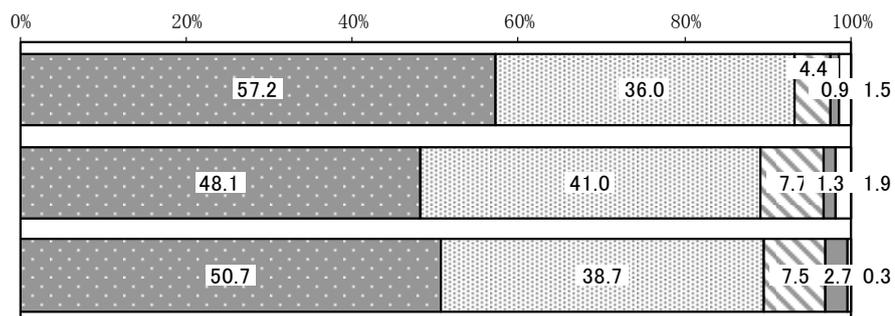
②先生との関係

学年別でみると、他に比べ、小学校6年生で“良いと思わない”の割合が高く、1割半ばとなっています。



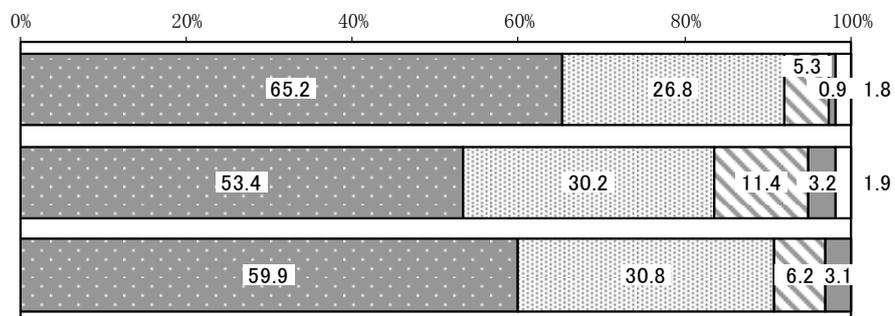
③学校の雰囲気

子どもの学年別でみると、大きな差異はみられません。



④クラスの雰囲気

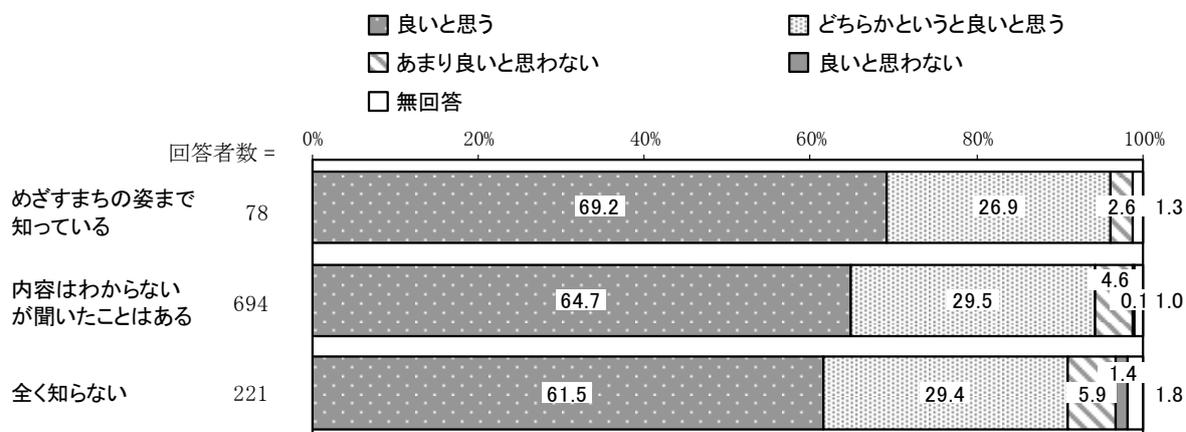
学年別でみると、他に比べ、小学校6年生で“良いと思わない”の割合が高く、1割半ばとなっています。



【保護者の「学都松本」の認知度別】

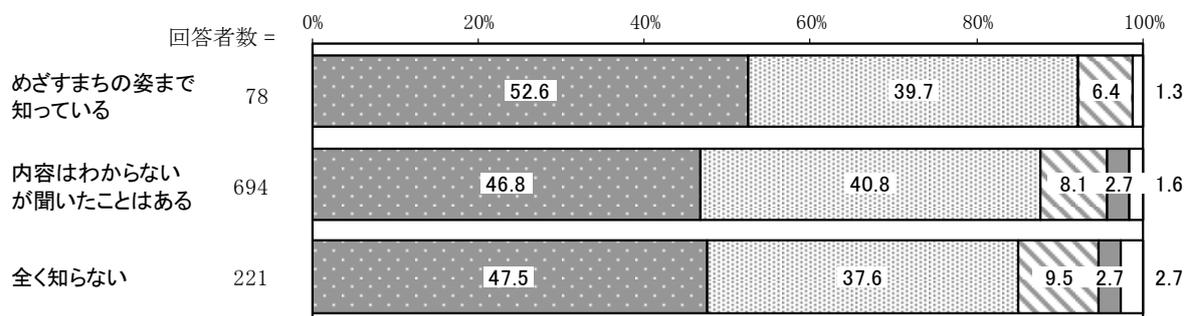
①友だちとの関係は

保護者の「学都松本」の認知度別でみると、他に比べ、めざすまちの姿まで知っているで“良いと思う”の割合が高くなっています。



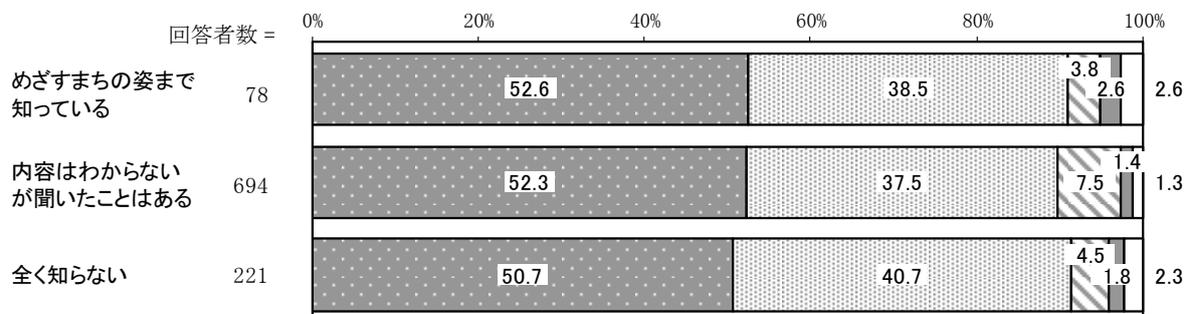
②先生との関係は

保護者の「学都松本」の認知度別でみると、他に比べ、めざすまちの姿まで知っているで“良いと思う”の割合が高くなっています。



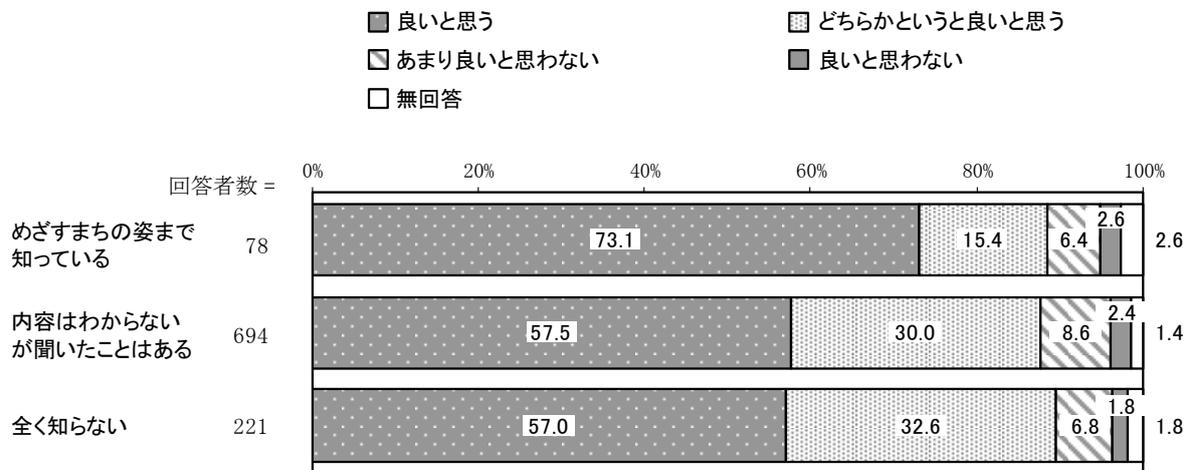
③学校の雰囲気は

保護者の「学都松本」の認知度別でみると、大きな差異はみられません。



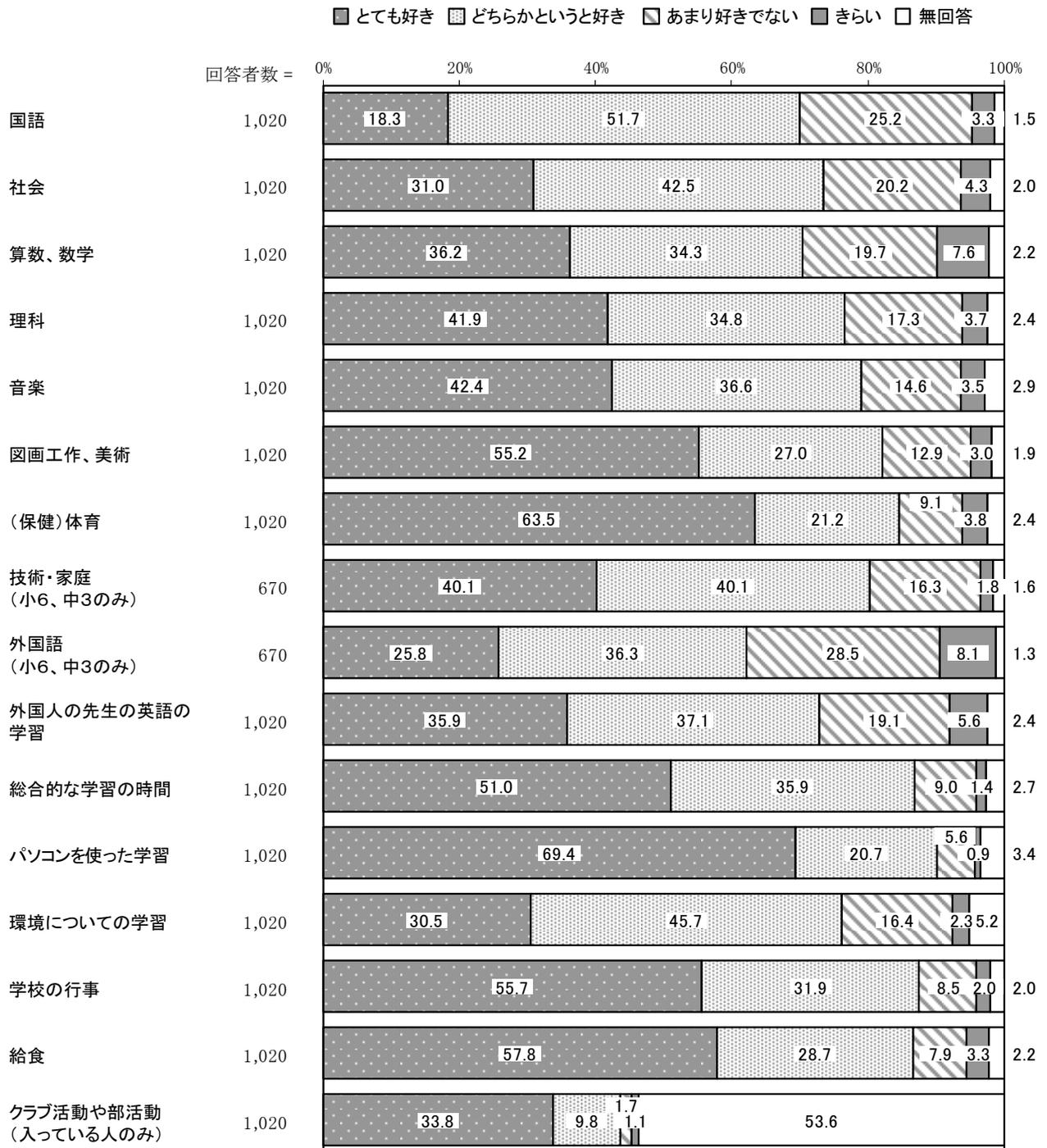
④クラスの雰囲気は

保護者の「学都松本」の認知度別でみると、大きな差異はみられません。



問 11 あなたは、次の項目についてどのくらい好きですか。

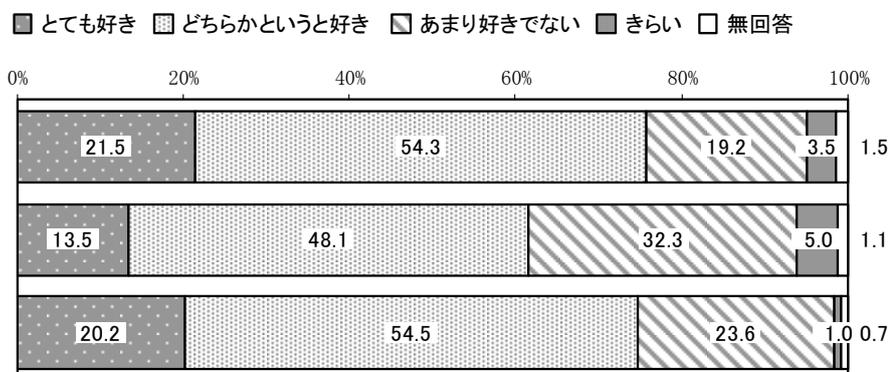
『パソコンを使った学習』『学校の行事』で「とても好き」と「どちらかという好き」をあわせた“好き”の割合が高く、約9割となっています。また、『外国語』で「あまり好きではない」と「きらい」をあわせた“好きではない”の割合が高く、3割半ばとなっています。



【学年別】

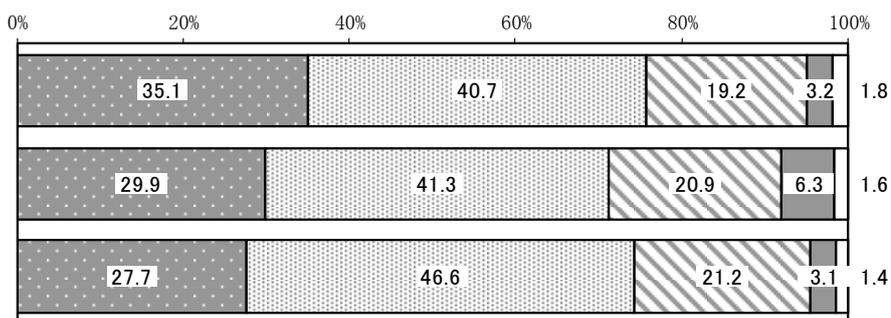
①国語

学年別でみると、他に比べ、小学校6年生で“好きではない”の割合が高く、約4割となっています。



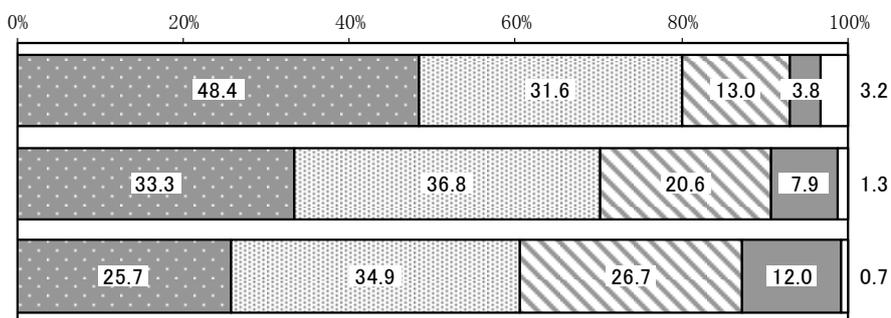
②社会

子どもの学年別でみると、大きな差異はみられません。



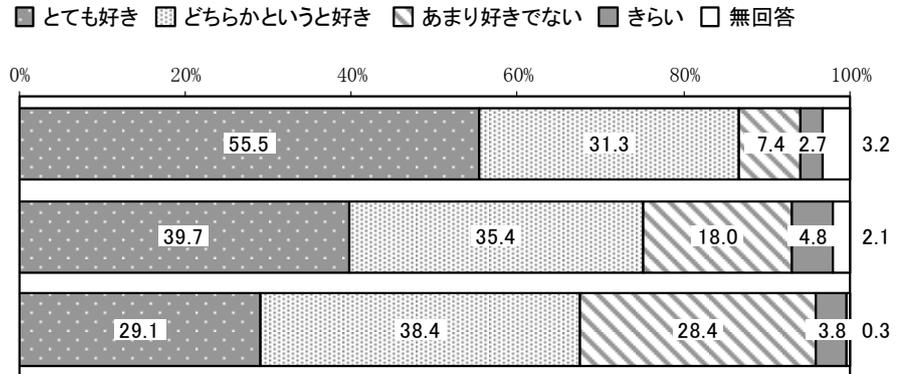
③算数、数学

学年別でみると、学年が上がるにつれ“好きではない”の割合が高くなっており、中学校3年生で約4割となっています。



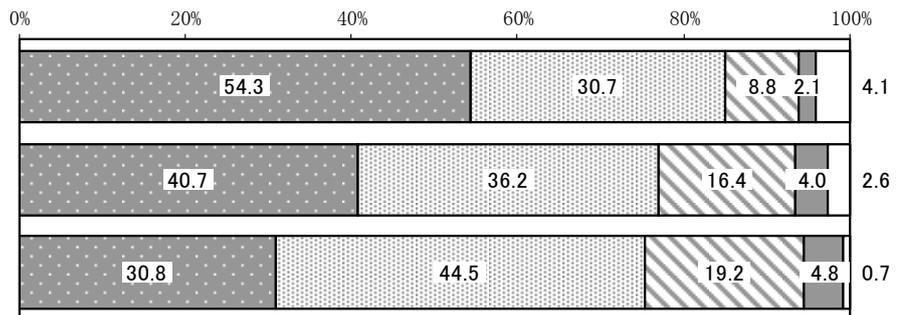
④理科

学年別でみると、学年が上がるにつれ“好きではない”の割合が高くなっており、中学校3年生で約3割となっています。



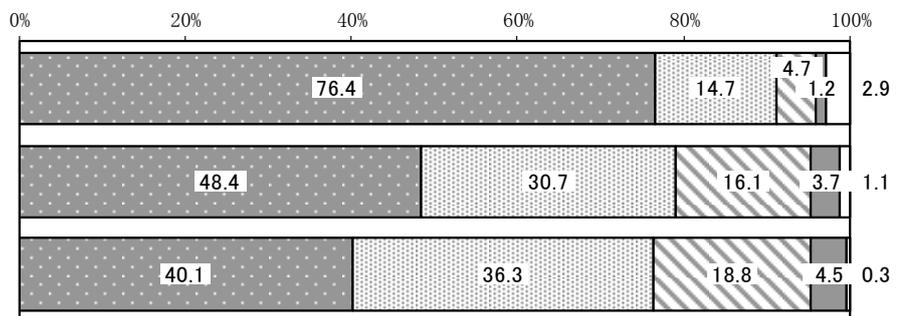
⑤音楽

学年別でみると、学年が上がるにつれ“好きではない”の割合が高くなっており、中学校3年生で2割半ばとなっています。



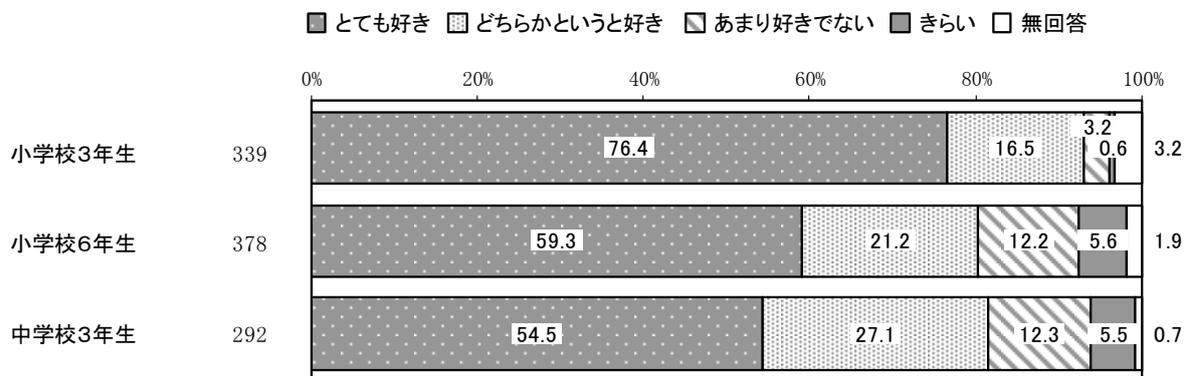
⑥図画工作、美術

学年別でみると、他に比べ、小学校3年生で“好き”の割合が高く、約9割となっています。



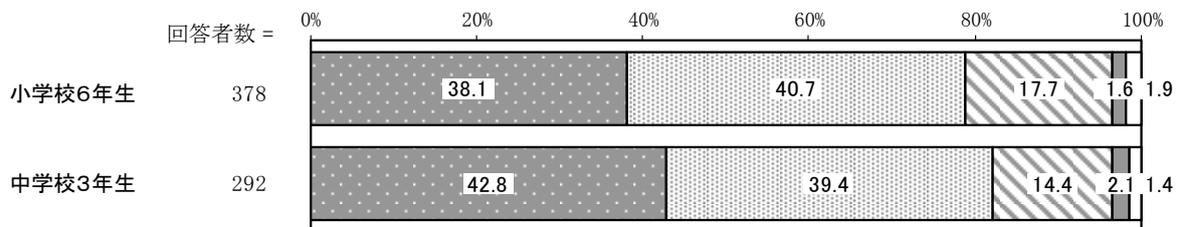
⑦ (保健) 体育

学年別でみると、他に比べ、小学校3年生で“好き”の割合が高く、約9割となっています。



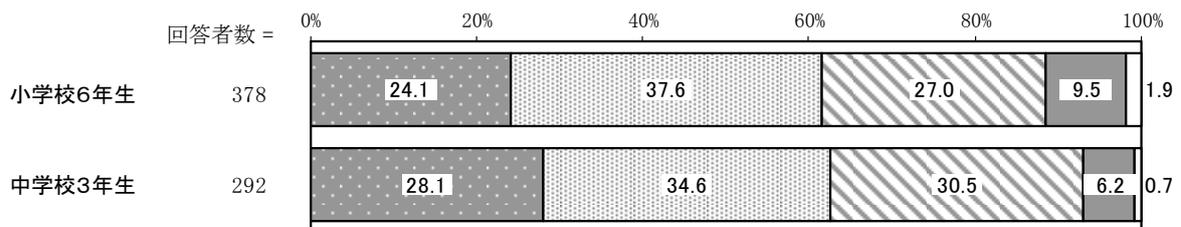
⑧ 技術・家庭 (小6、中3のみ)

学年別でみると、大きな差異はみられません。



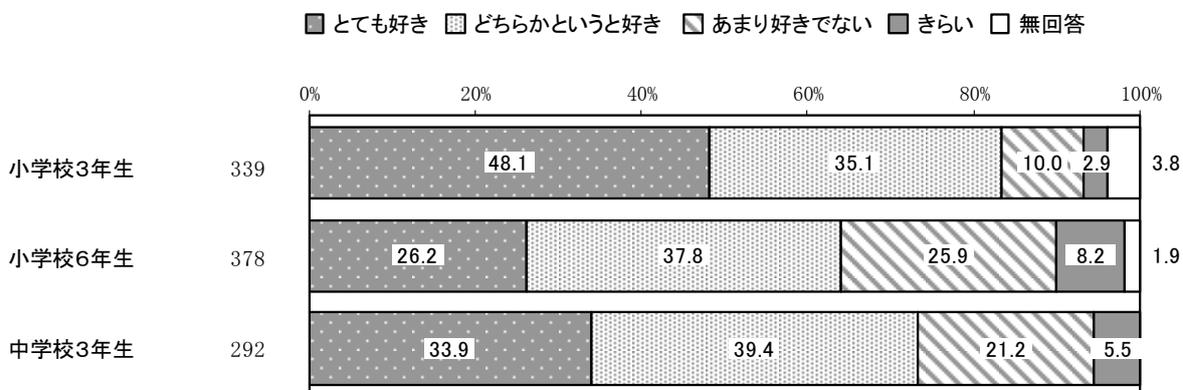
⑨ 外国語 (小6、中3のみ)

学年別でみると、大きな差異はみられません。



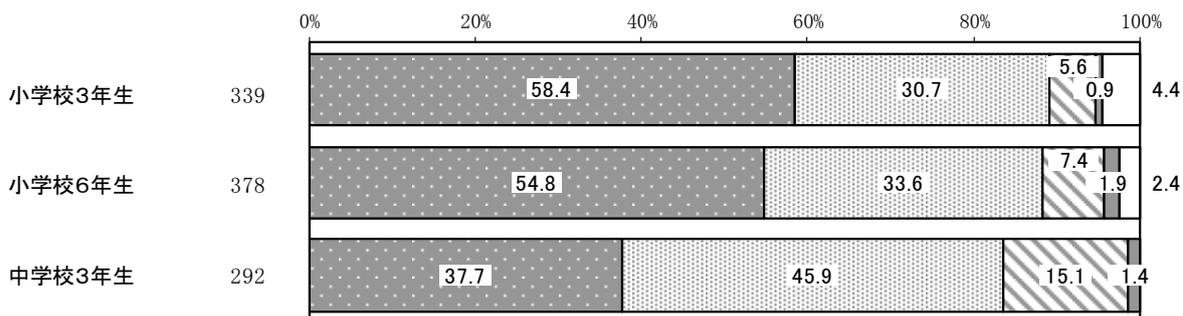
⑩外国人の先生の英語の学習

学年別でみると、他に比べ、小学校3年生で“好き”の割合が高く、約8割となっています。また、小学校6年生で“好きではない”の割合が高く、3割半ばとなっています。



⑪総合的な学習の時間

学年別でみると、学年が上がるにつれ“好きではない”の割合が高くなっており、中学校3年生で1割半ばとなっています。



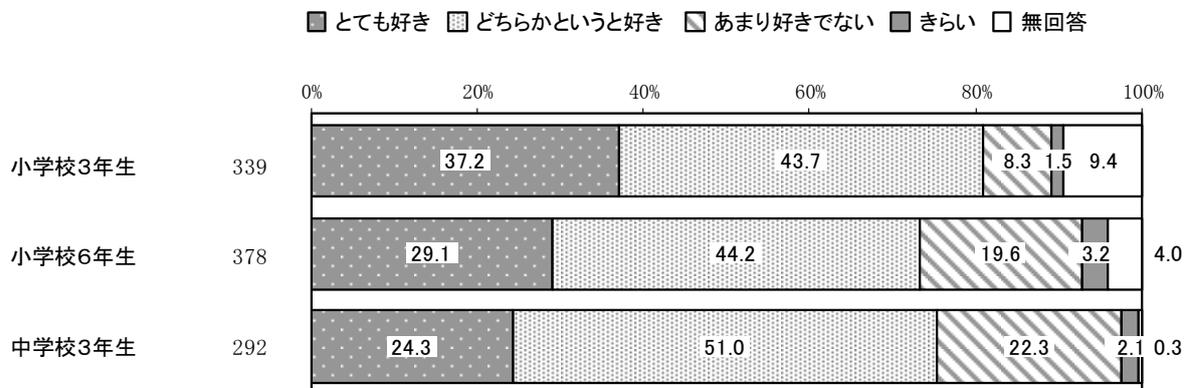
⑫パソコンを使った学習

学年別でみると、学年が上がるにつれ“好きではない”の割合が高くなっており、中学校3年生で約1割となっています。



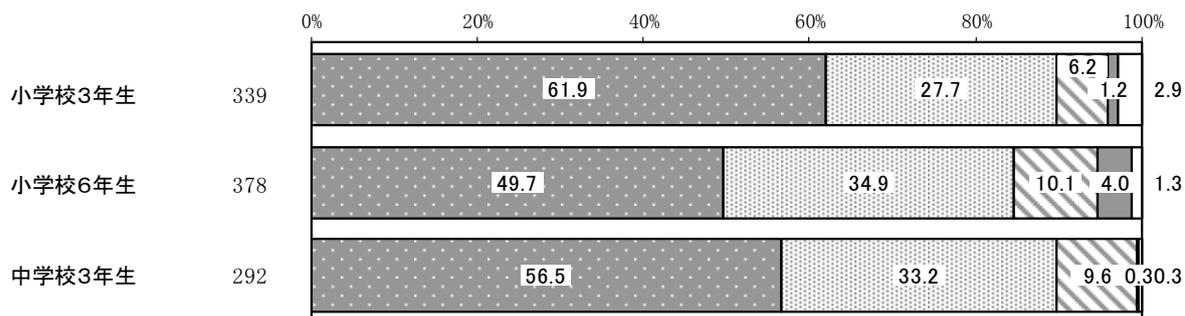
⑬環境についての学習

学年別でみると、学年が上がるにつれ“好きではない”の割合が高くなっており、中学校3年生で2割半ばとなっています。



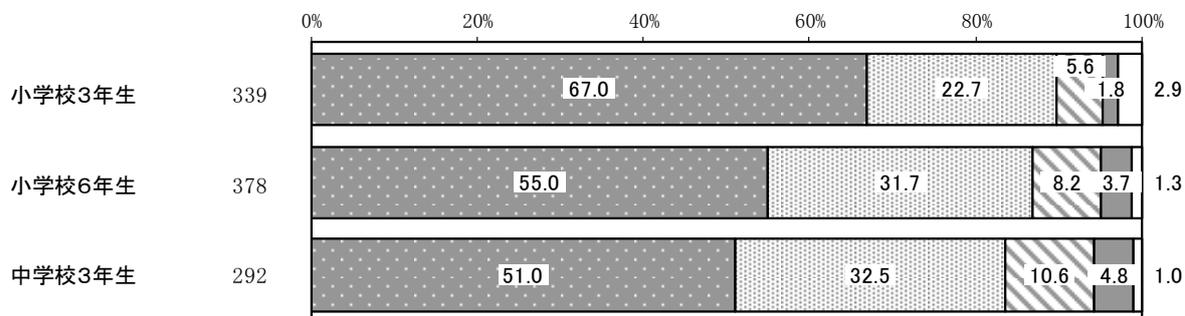
⑭学校の行事

学年別でみると、他に比べ、小学校6年生で“好きではない”の割合が高く、1割半ばとなっています。



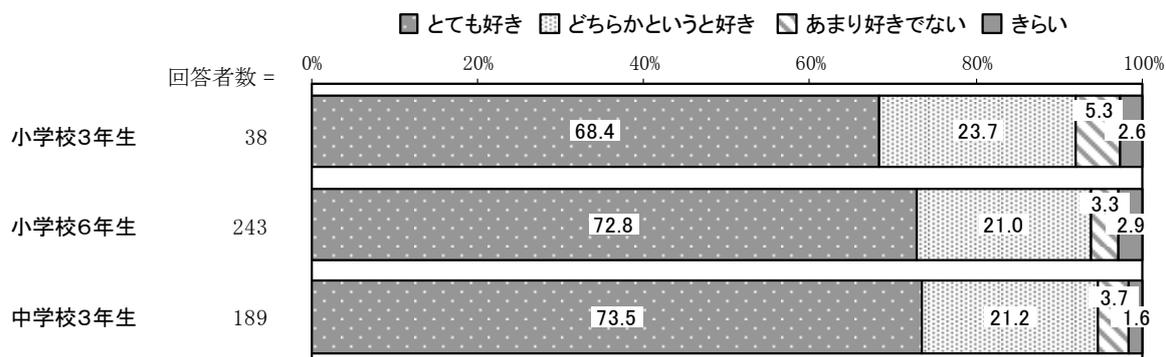
⑮給食

学年別でみると、学年が下がるにつれ“好き”の割合が高くなっており、小学校3年生で約9割となっています。



⑩クラブ活動や部活動（入っている人のみ）

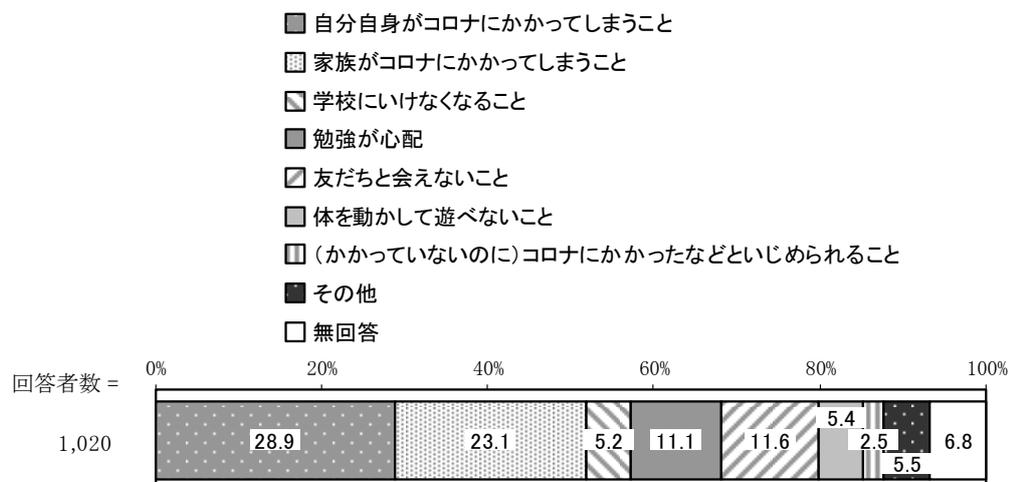
学年別でみると、大きな差異はみられません。



※無回答を除いて集計をしています。

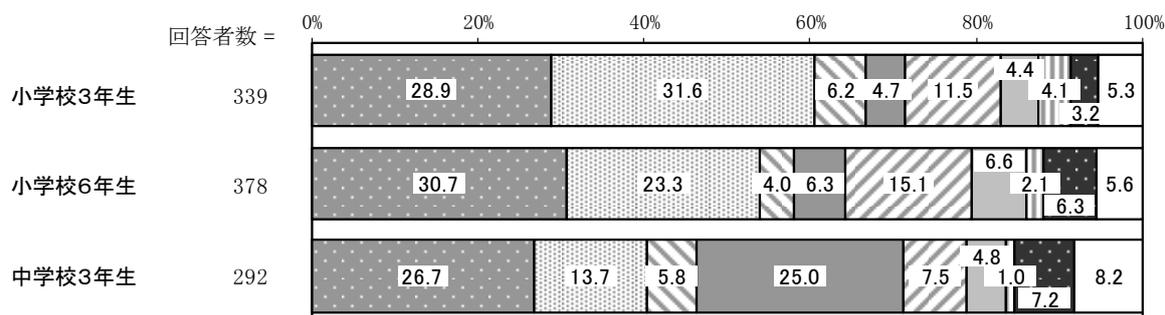
問 12 新型コロナウイルス感染症により不安を感じていることは何ですか。
（最もあてはまるもの1つに○）

「自分自身がコロナにかかってしまうこと」の割合が28.9%と最も高く、次いで「家族がコロナにかかってしまうこと」の割合が23.1%、「友だちと会えないこと」の割合が11.6%となっています。



【学年別】

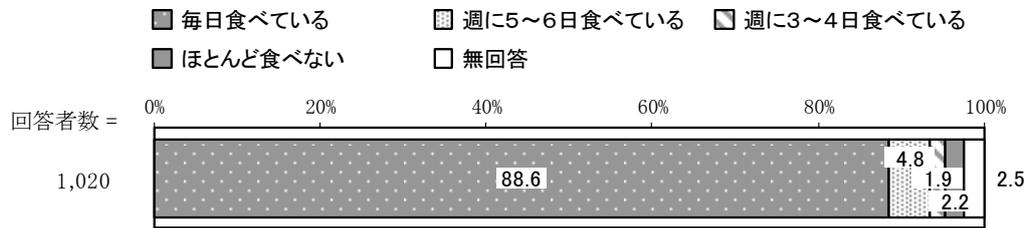
学年別でみると、学年が上がるにつれ「勉強が心配」の割合が、学年が下がるにつれ「家族がコロナにかかってしまうこと」の割合が高くなっています。また、他に比べ、小学校3年生で「(かかっていないのに) コロナにかかったなどといじめられること」の割合が、小学校6年生で「友だちと会えないこと」の割合が高くなっています。



(3) 普段の生活について

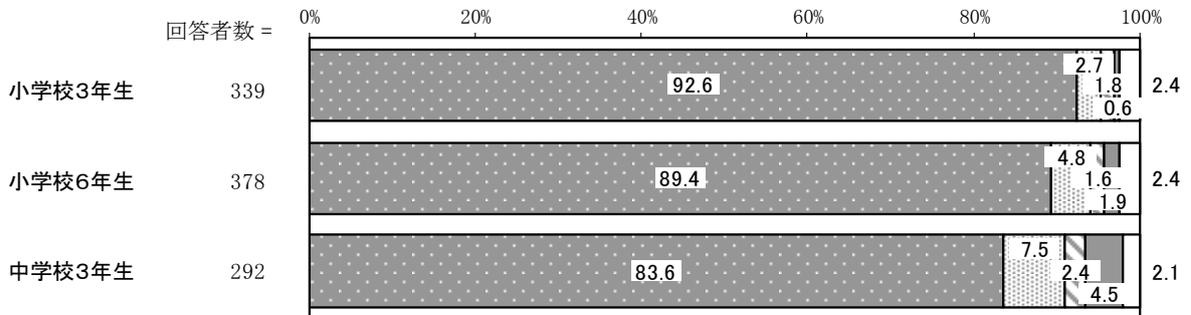
問 13 あなたは、朝食を食べていますか。

「毎日食べている」の割合が88.6%と最も高くなっています。



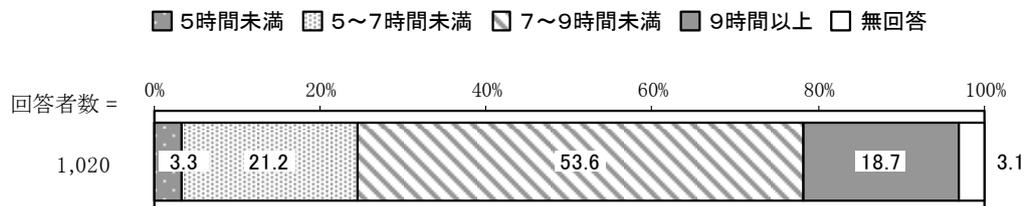
【学年別】

学年別でみると、学年が上がるにつれ「毎日食べている」の割合が低くなっており、中学校3年生で約8割となっています。



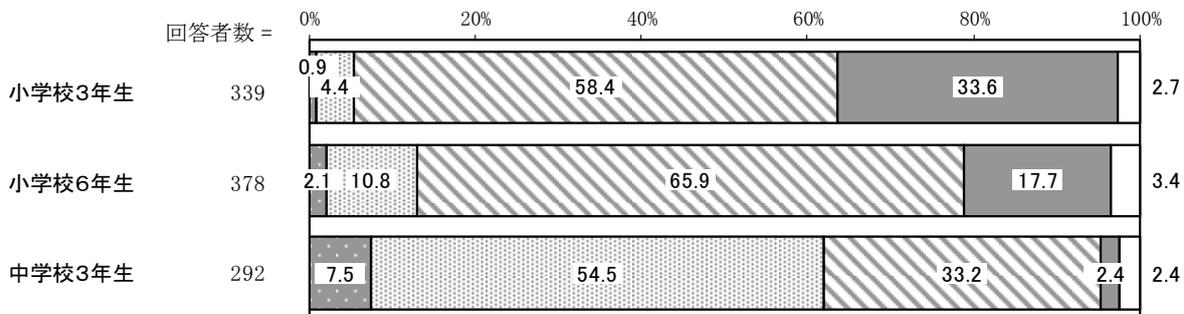
問 14 あなたの睡眠時間は、何時間ですか。

「7～9時間未満」の割合が53.6%と最も高く、次いで「5～7時間未満」の割合が21.2%、「9時間以上」の割合が18.7%となっています。



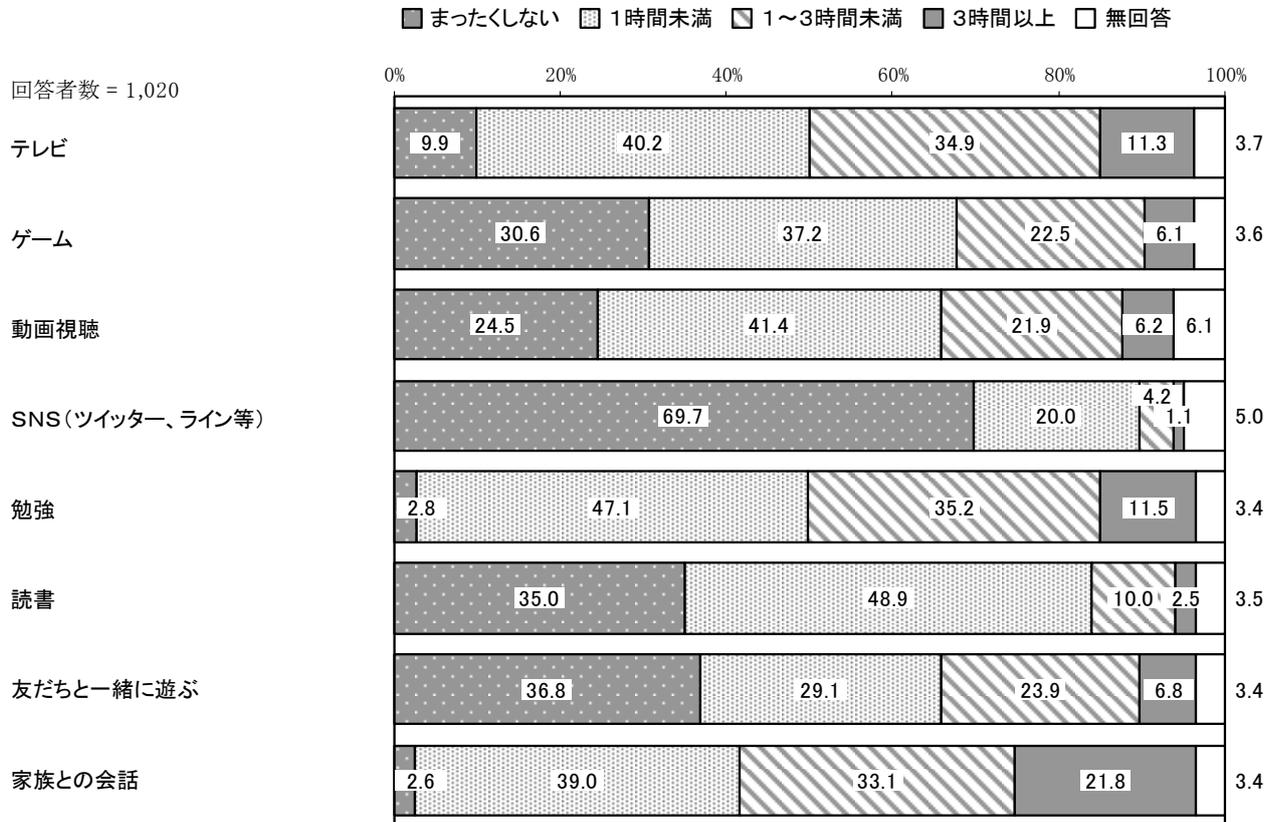
【学年別】

学年別でみると、学年が上がるにつれ「5時間未満」「5～7時間未満」の割合が、学年が下がるにつれ「9時間以上」の割合が高くなっています。また、他に比べ、小学校6年生で「7～9時間未満」の割合が高く、6割半ばとなっています。



問 15 あなたの自宅での過ごし方について、平日の1日あたりどれくらいしていますか。

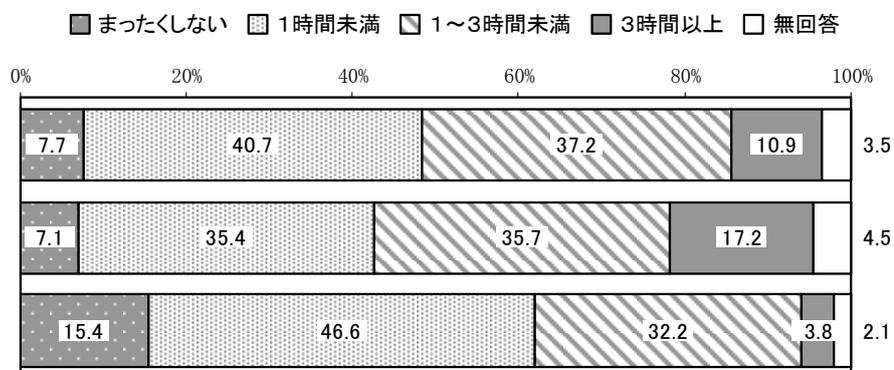
『家族との会話』で「3時間以上」の割合が高く、約2割となっています。また、『SNS（ツイッター、ライン等）』で「まったくしない」の割合が高く、約7割となっています。



【学年別】

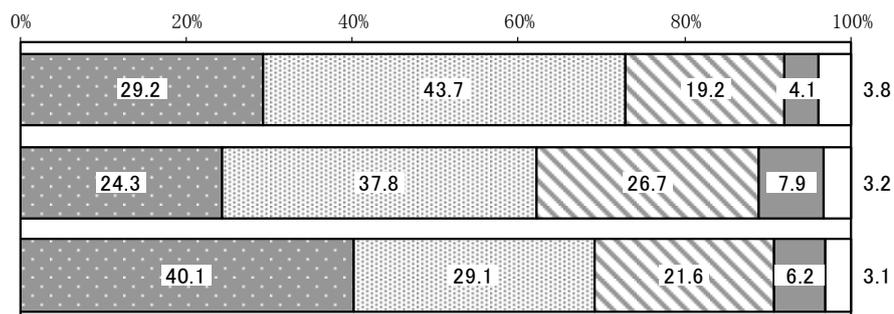
①テレビ

学年別でみると、他に比べ、中学校3年生で「まったくしない」「1時間未満」の割合が高くなっています。また、小学校6年生で「3時間以上」の割合が高く、約2割となっています。



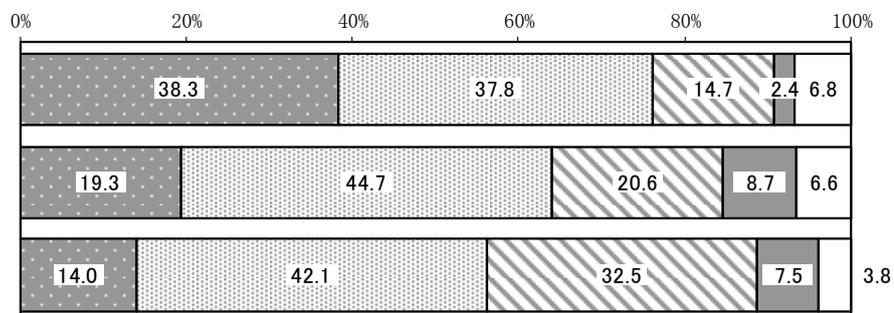
②ゲーム

学年別でみると、他に比べ、中学校3年生で「まったくしない」の割合が高く、約4割となっています。また、小学校3年生で「1時間未満」の割合が高く、4割半ばとなっています。



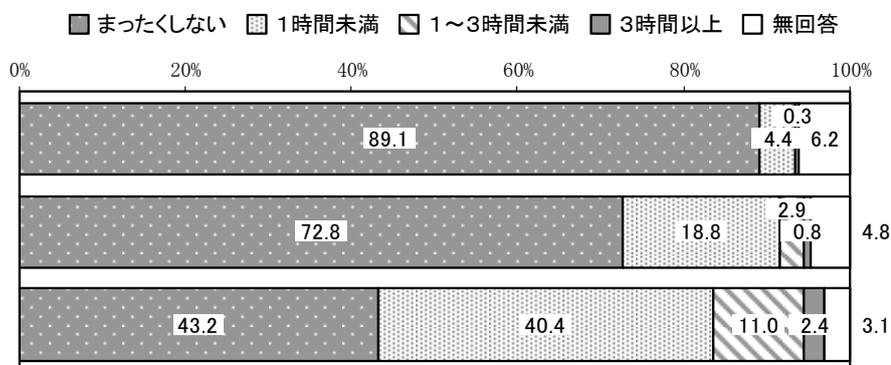
③動画視聴

学年別でみると、他に比べ、小学校3年生で「まったくしない」の割合が高く、約4割となっています。また、中学校3年生で「1~3時間未満」の割合が高く、約3割となっています。



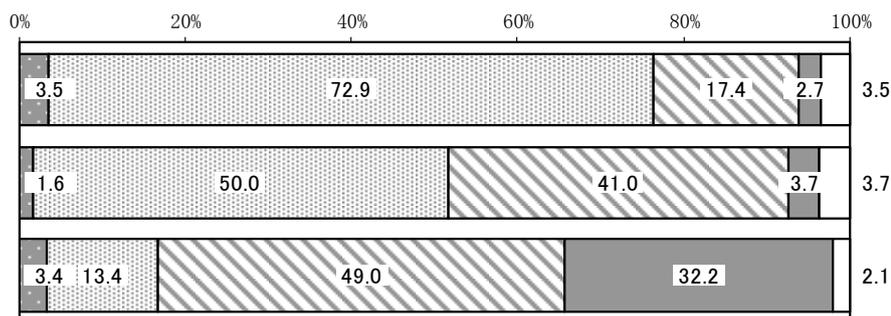
④ SNS（ツイッター、ライン等）

学年別でみると、学年が上がるにつれ「1時間未満」の割合が高くなっており、中学校3年生で約4割となっています。



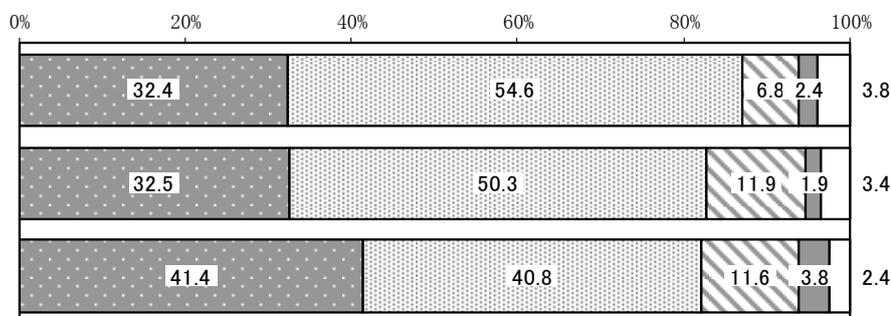
⑤ 勉強

学年別でみると、学年が上がるにつれ「1～3時間未満」の割合が高くなっており、中学校3年生で約5割となっています。また、他に比べ、中学校3年生で「3時間以上」の割合が高く、約3割となっています。



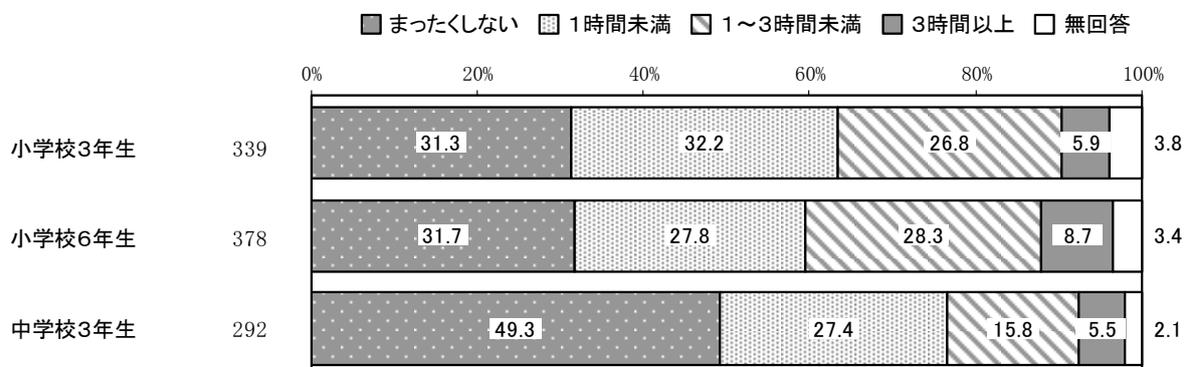
⑥ 読書

学年別でみると、他に比べ、中学校3年生で「まったくしない」の割合が高く、約4割となっています。また、小学校3年生で「1時間未満」の割合が高く、5割半ばとなっています。



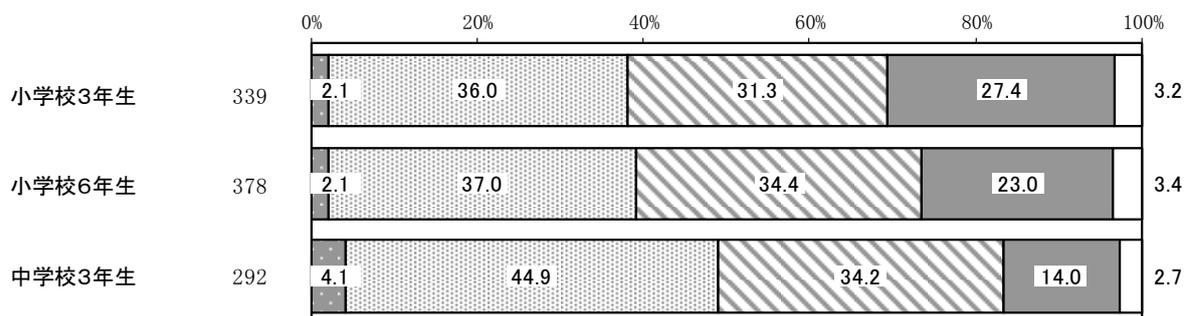
⑦ 友だちと一緒に遊ぶ

学年別で見ると、他に比べ、中学校3年生で「まったくしない」の割合が高く、約5割となっています。また、小学校6年生で「1～3時間未満」の割合が高く、約3割となっています。



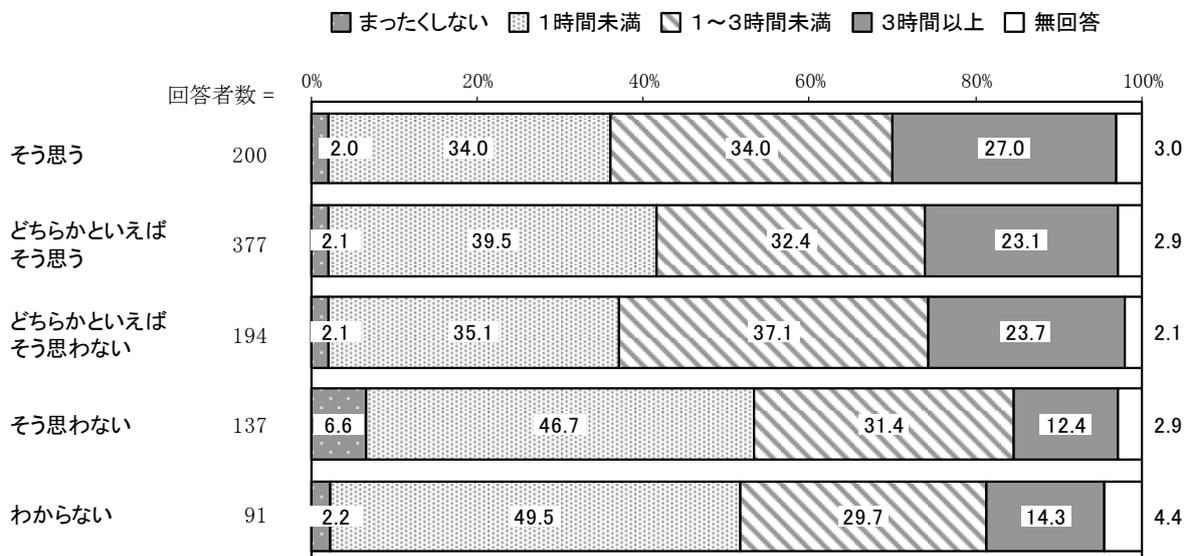
⑧ 家族との会話

学年別で見ると、学年が下がるにつれ「3時間以上」の割合が高くなっており、小学校3年生で約3割となっています。また、中学校3年生で「1時間未満」の割合が高く、4割半ばとなっています。



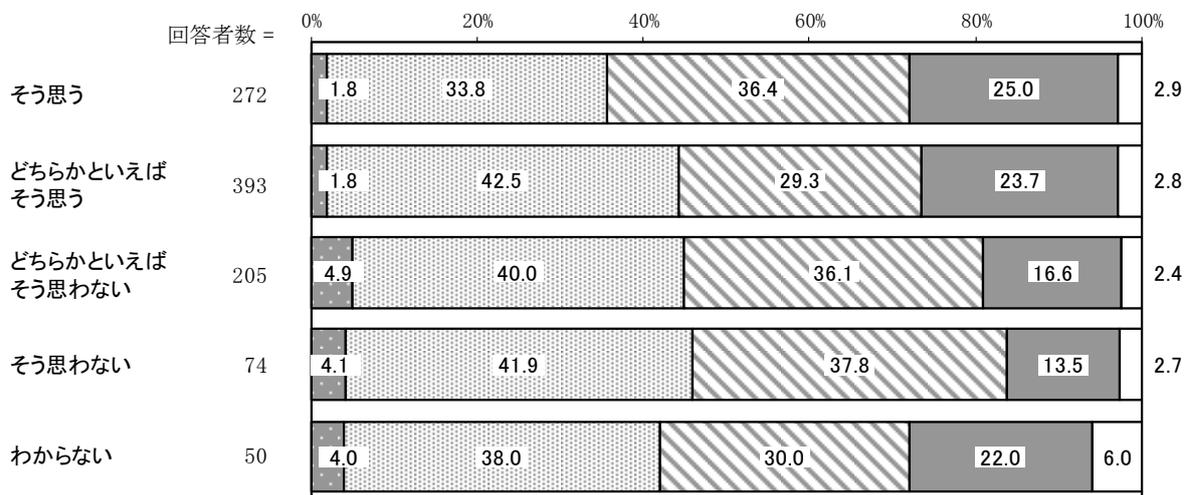
【自分に自信があるか別】

自分に自信があるか別でみると、他に比べ、そう思わないで「3時間以上」の割合が低く、約1割となっています。



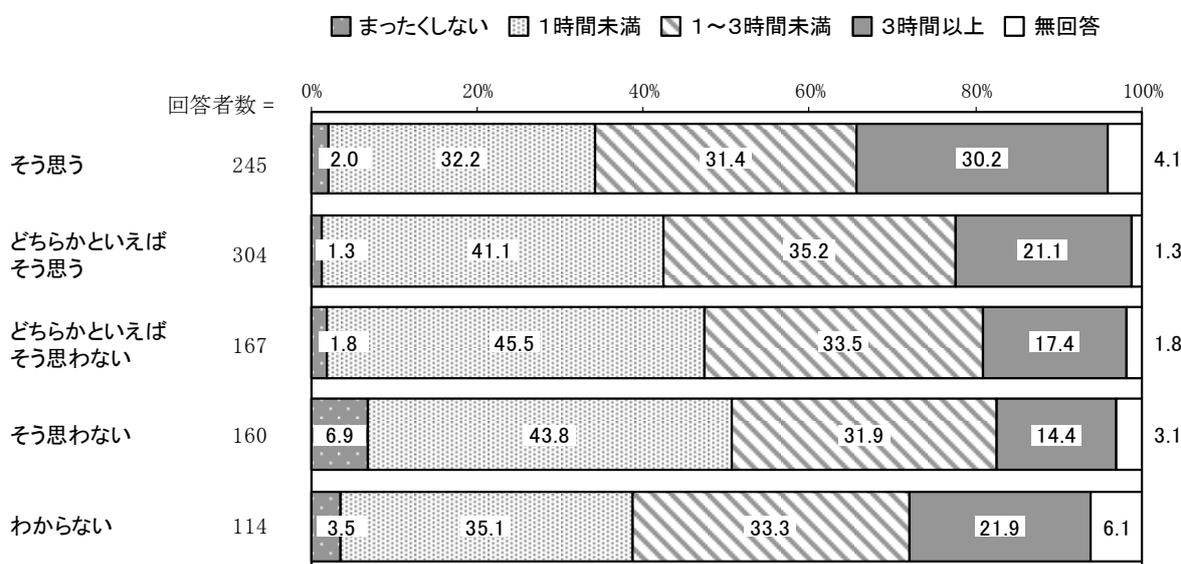
【積極的に挑戦するか別】

積極的に挑戦するか別でみると、他に比べ、どちらかといえばそう思わないで「まったくしない」の割合が高くなっています。



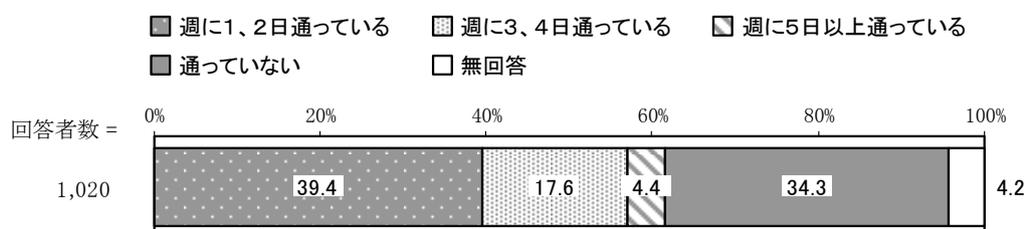
【自分のことが好きか別】

自分のことが好きか別でみると、他に比べ、そう思うで「3時間以上」の割合が高く、約3割となっています。



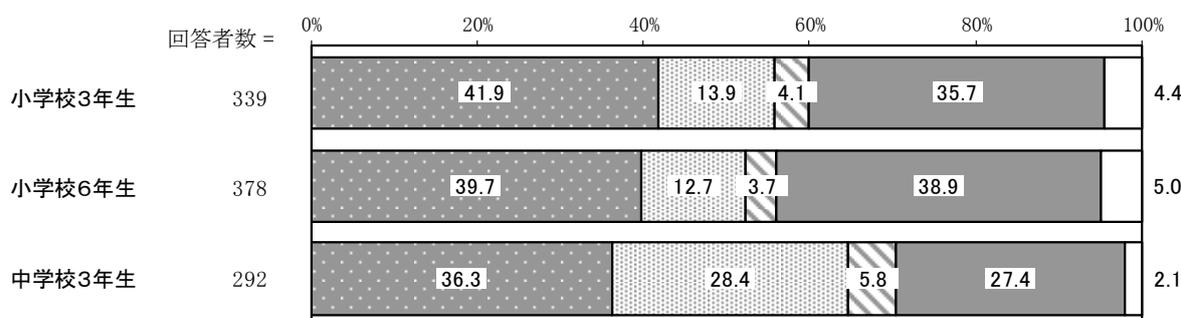
問 16 あなたは、学習塾（家庭教師を含む）や習いごとに通っていますか。

「週に1、2日通っている」の割合が39.4%と最も高く、次いで「通っていない」の割合が34.3%、「週に3、4日通っている」の割合が17.6%となっています。



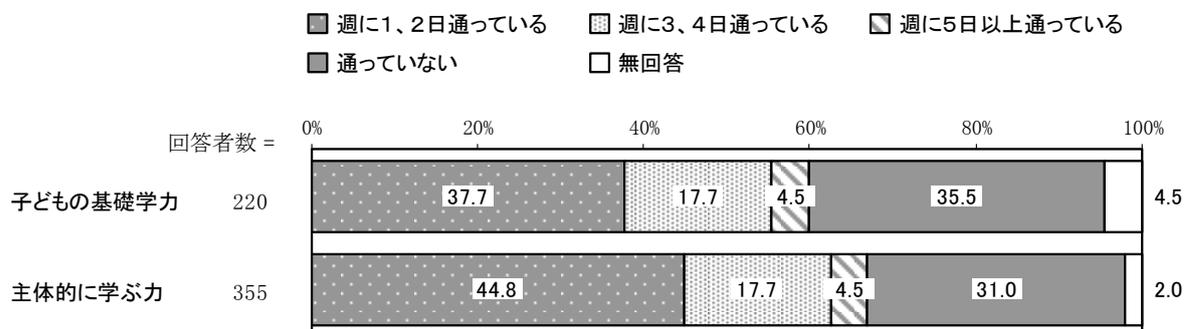
【学年別】

学年別でみると、他に比べ、中学校3年生で「週に3、4日通っている」の割合が高く、約3割となっています。



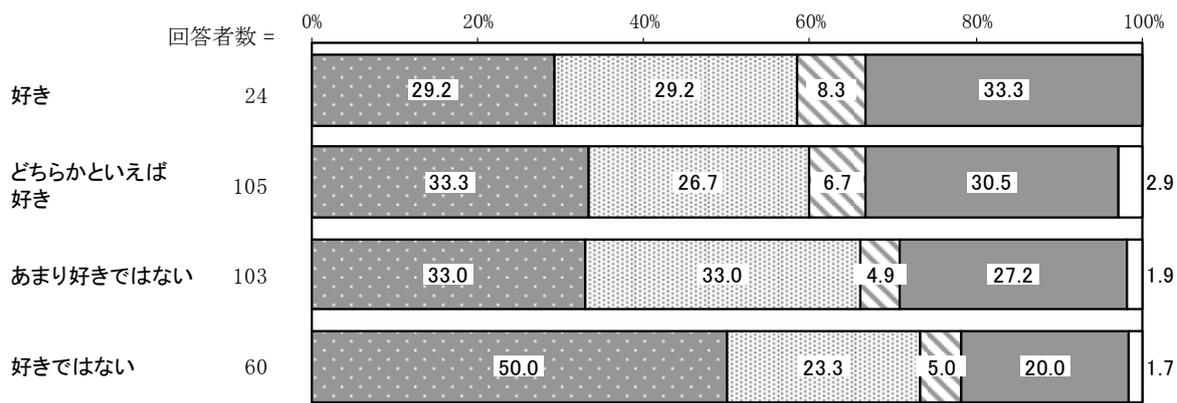
【保護者の子どもの教育について関心のあること別】

保護者の子どもの教育について関心のあること別でみると、子どもの基礎学力に比べ、主体的に学ぶ力で「週に1、2日通っている」の割合が高く、4割半ばとなっています。



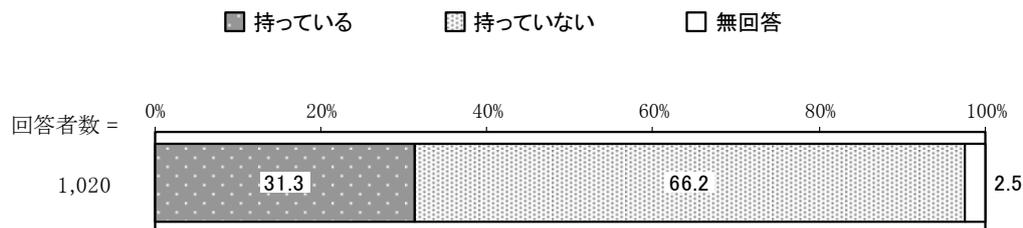
【勉強の好き・嫌い別】

勉強の好き・嫌い別でみると、他に比べ、好きではないで「週に1、2日通っている」の割合が高くなっています。



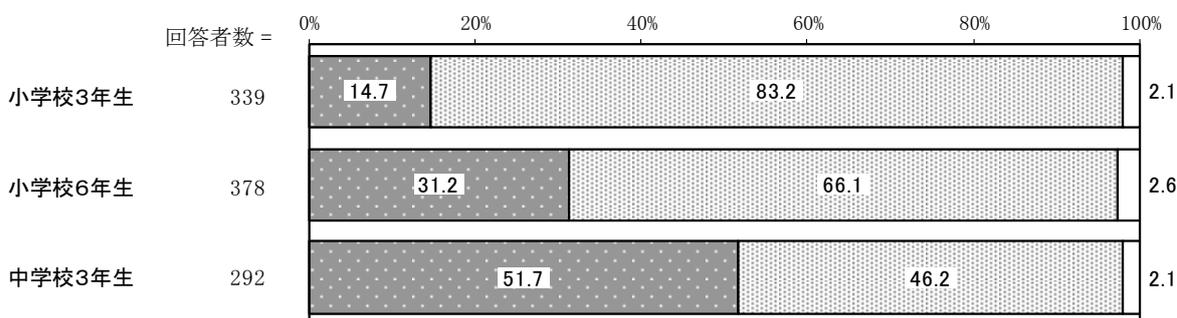
問 17 あなたは、自分の携帯電話やスマホを持っていますか。

「持っている」の割合が 31.3%、「持っていない」の割合が 66.2%となっています。



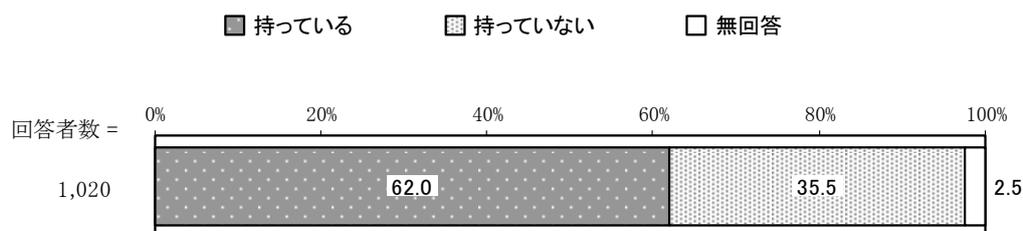
【学年別】

学年別でみると、他に比べ、学年が上がるにつれ「持っている」の割合が高くなっており、中学校3年生で約5割となっています。



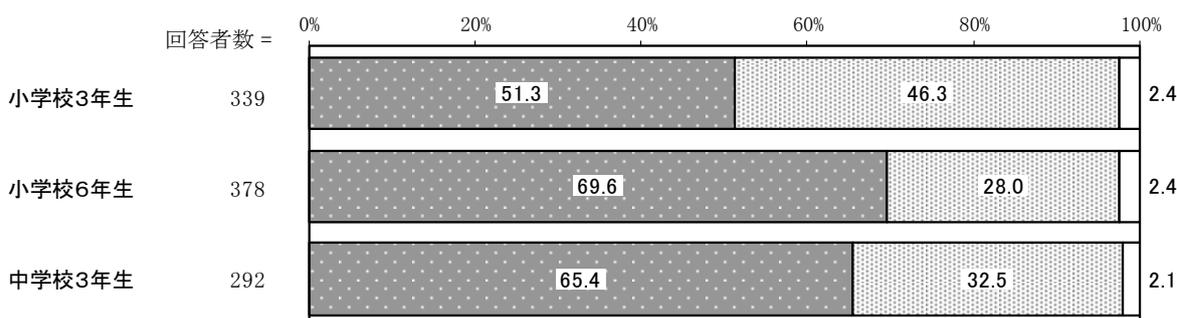
問 18 あなたは、自分のパソコンやタブレット、小型ゲーム機を持っていますか。

「持っている」の割合が 62.0%、「持っていない」の割合が 35.5%となっています。



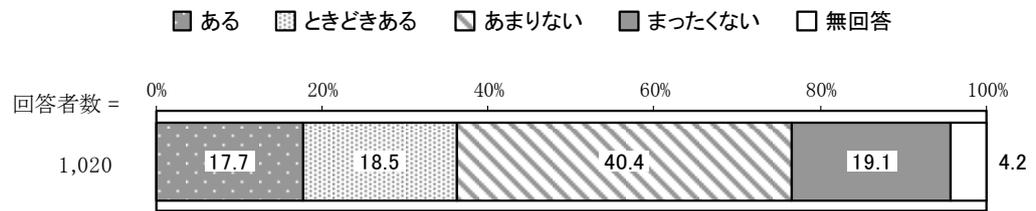
【学年別】

学年別でみると、他に比べ、小学校6年生で「持っている」の割合が高く、約7割となっています。また、小学校3年生で「持っていない」の割合が高く、4割半ばとなっています。



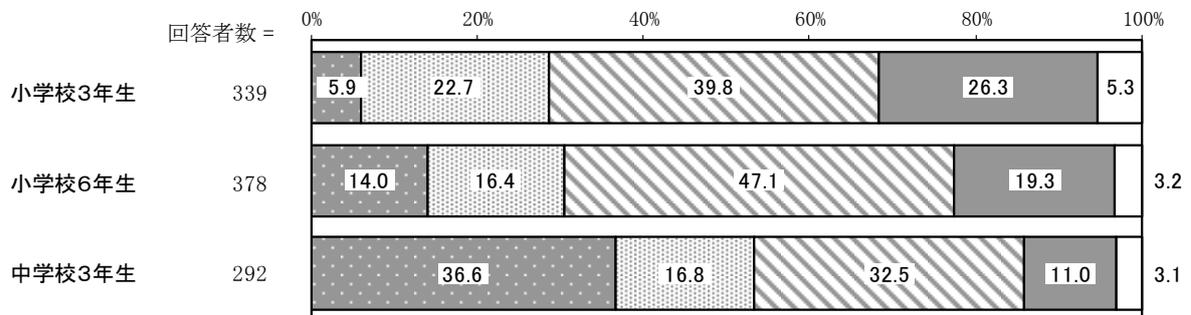
問 19 あなたは、心配ごとがありますか。

「ある」と「ときどきある」をあわせた“ある”の割合が36.2%、「あまりない」と「まったくくない」をあわせた“ない”の割合が59.5%となっています。



【学年別】

学年別でみると、学年が上がるにつれ“ある”の割合が高くなっており、中学校3年生で約5割となっています。

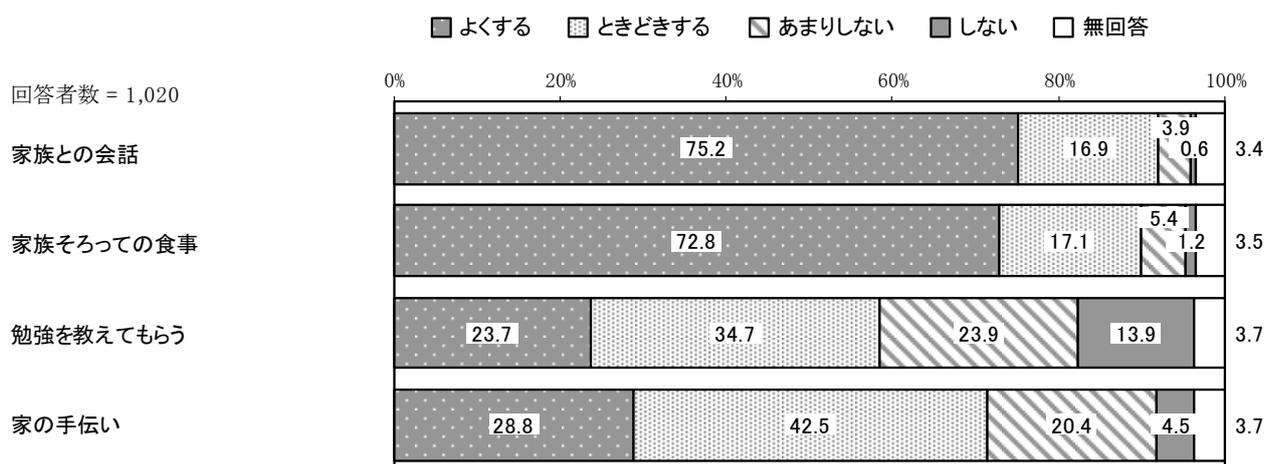


(4) 家庭や地域のことについて

問 21 あなたは、家庭の中で次の項目についてどれくらいしていますか。

『家族との会話』『家族そろっての食事』で「よくする」と「ときどきする」をあわせた“する”の割合が高く、約9割となっています。

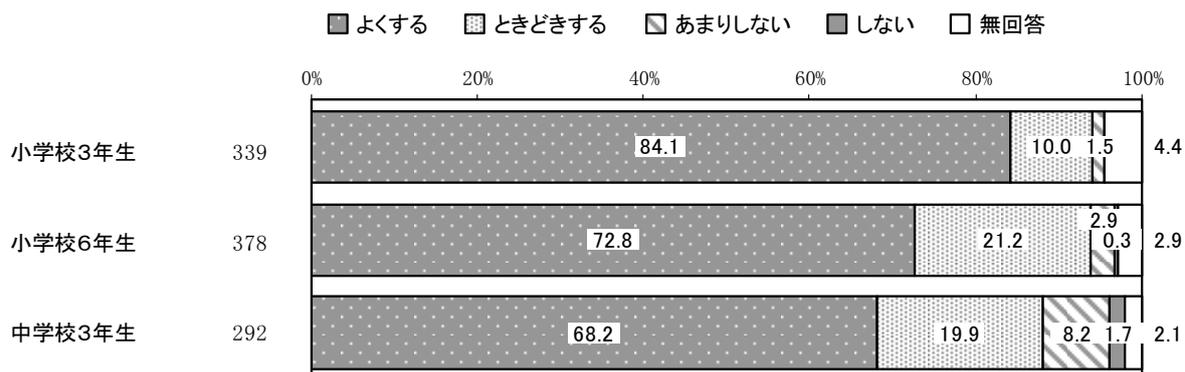
また、『勉強を覚えてもらう』で「あまりしない」と「しない」をあわせた“しない”の割合が高く、約4割となっています。



【学年別】

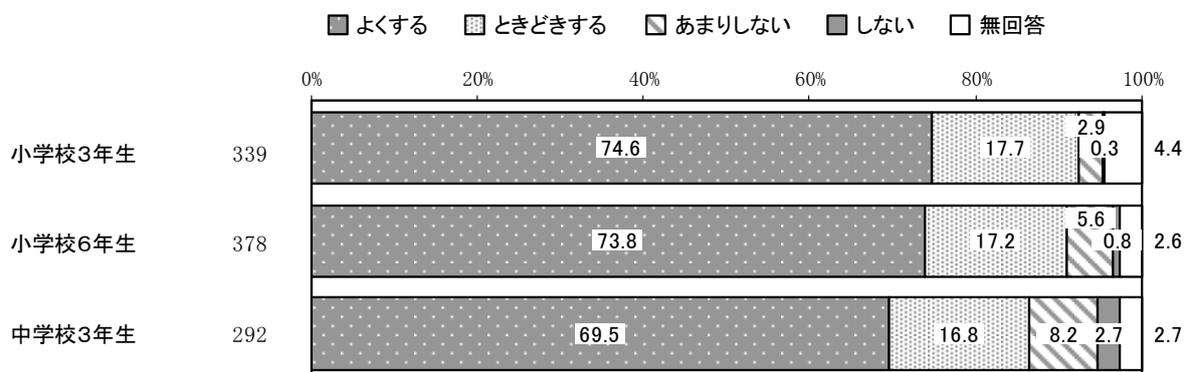
① 家族との会話

学年別でみると、学年が下がるにつれ「よくする」の割合が高くなっており、小学校3年生で8割半ばとなっています。また、他に比べ、中学校3年生で“しない”の割合が高く、約1割となっています。



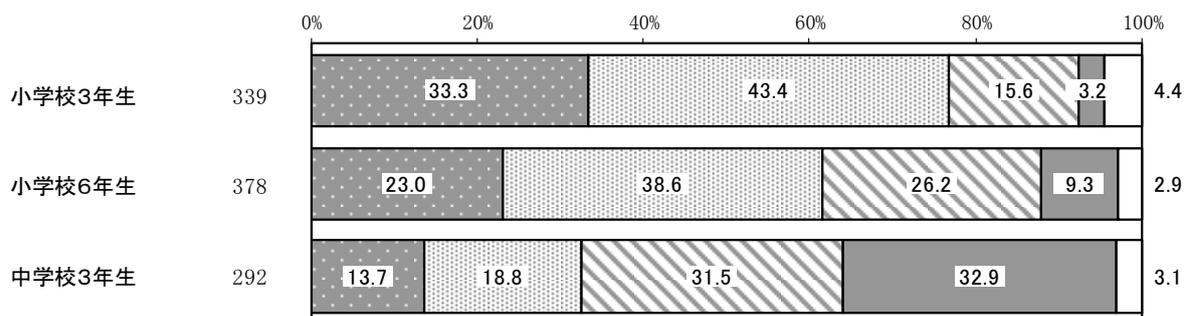
②家族そろっての食事

学年別でみると、他に比べ、中学校3年生で“しない”の割合が高く、約1割となっています。



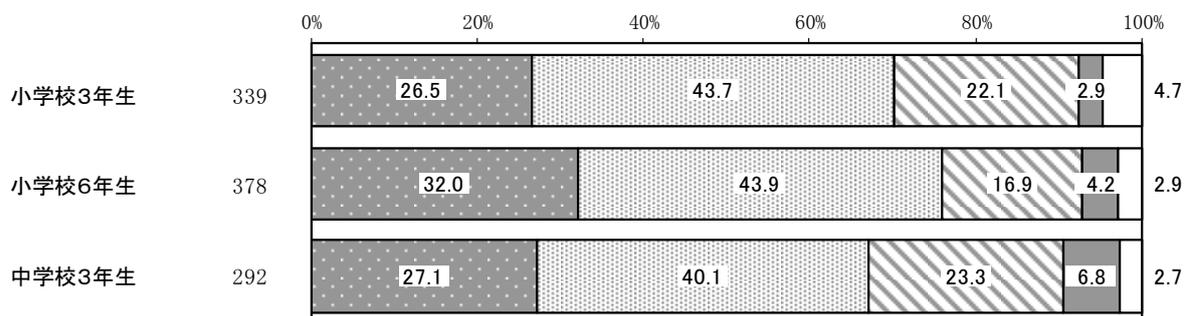
③勉強を教えてもらう

学年別でみると、学年が下がるにつれ“する”の割合が高くなっており、小学校3年生で7割半ばとなっています。



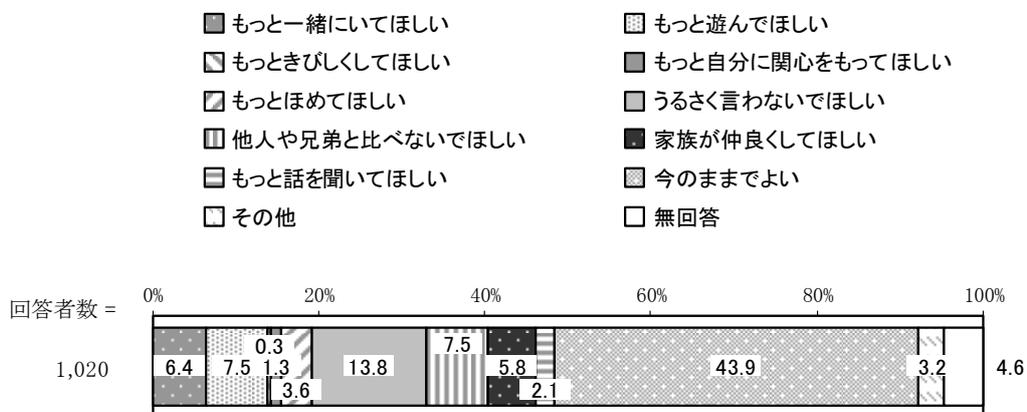
④家の手伝い

学年別でみると、他に比べ、中学校3年生で“しない”の割合が高く、約3割となっています。



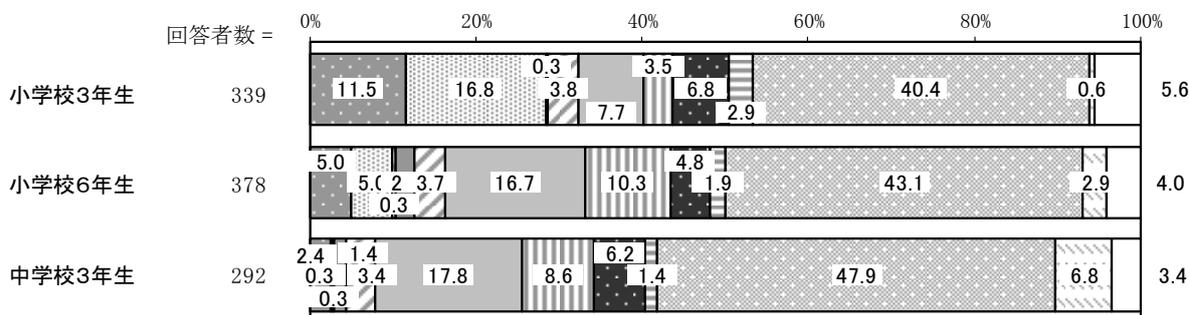
**問 22 あなたの親や家族にしてほしいことは何ですか。
(最もあてはまるもの1つに○)**

「今のままでよい」の割合が43.9%と最も高く、次いで「うるさく言わないでほしい」の割合が13.8%となっています。



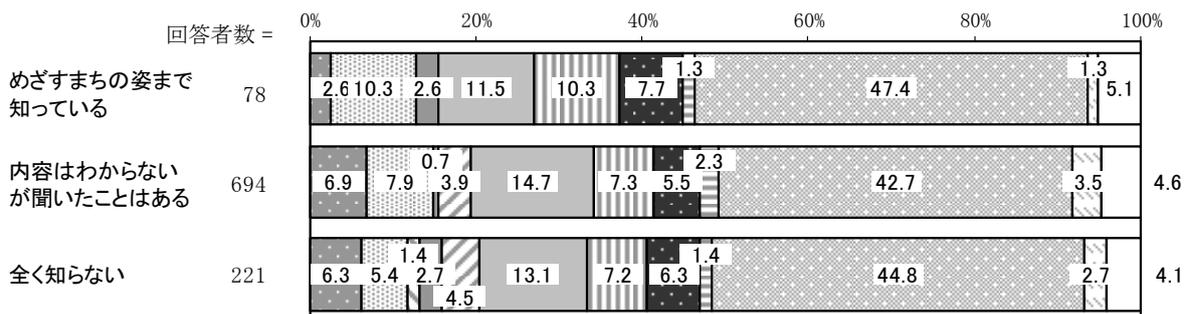
【学年別】

学年別でみると、学年が上がるにつれ「うるさく言わないでほしい」の割合が高くなっています。また、小学校3年生で「もっと一緒にいてほしい」「もっと遊んでほしい」の割合が、小学校6年生で「他人や兄弟と比べないでほしい」の割合が高くなっています。



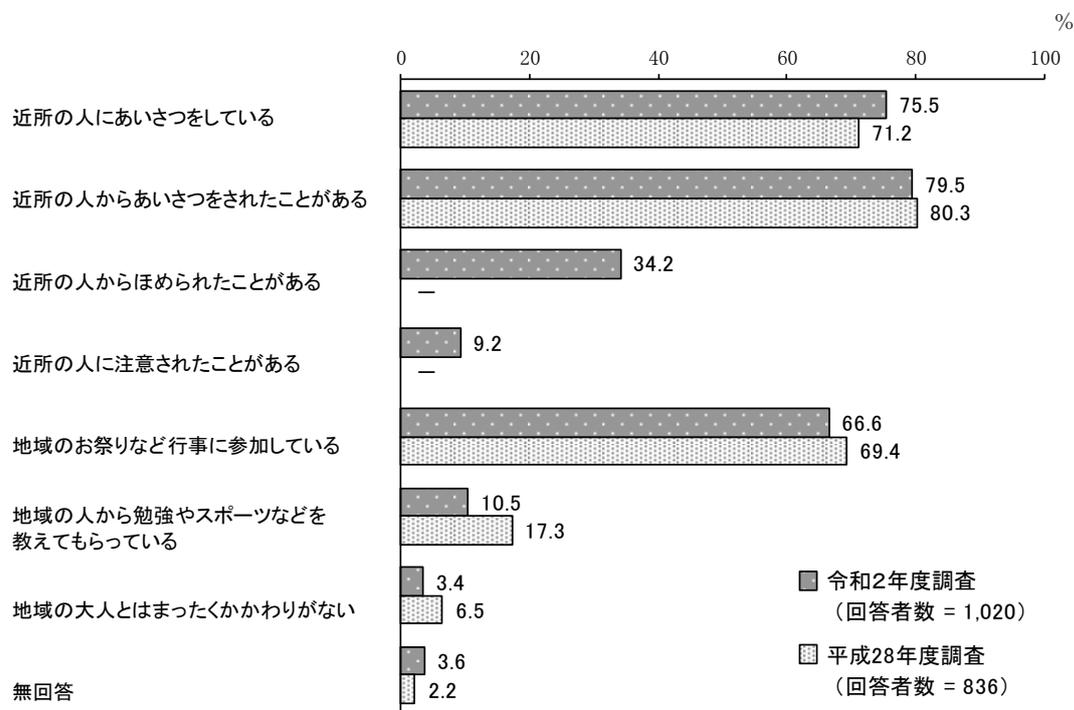
【保護者の「学都松本」の認知度別】

保護者の「学都松本」の認知度別でみると、他に比べ、全く知らないで「もっときびしくしてほしい」の割合が高くなっています。



問 23 あなたは、地域で次のような経験がありますか。(あてはまるものすべてに○)

「近所の人からあいさつをされたことがある」の割合が79.5%と最も高く、次いで「近所の人
にあいさつをしている」の割合が75.5%、「地域のお祭りなど行事に参加している」の割合が
66.6%となっています。



※平成 28 年度調査では「近所の人からほめられたことがある」「近所の人に注意されたことがある」の選択肢がありません。

【学年別】

学年別でみると、学年が下がるにつれ「地域の人から勉強やスポーツなどを教えてもらっている」の割合が高くなっています。また、小学校3年生に比べ、小学校6年生、中学校3年生で「近所の人
にあいさつをしている」の割合が、中学校3年生に比べ、小学校3年生、小学校6年生で
「地域のお祭りなど行事に参加している」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	近所の人にあいさつを している	近所の人からあいさつを されたことがある	近所の人からほめられた ことがある	近所の人に注意された ことがある	地域のお祭りなど行事に 参加している	地域の人から勉強や スポーツなどを教えて もらっている	地域の大人とはまったく かわりがない	無回答
小学校3年生	339	68.7	76.1	32.7	8.3	71.7	14.2	2.9	5.0
小学校6年生	378	79.6	81.5	36.5	11.1	74.3	10.3	2.9	2.9
中学校3年生	292	79.5	82.9	34.2	8.2	51.7	6.5	4.5	2.1

【保護者の「学都松本」の認知度別】

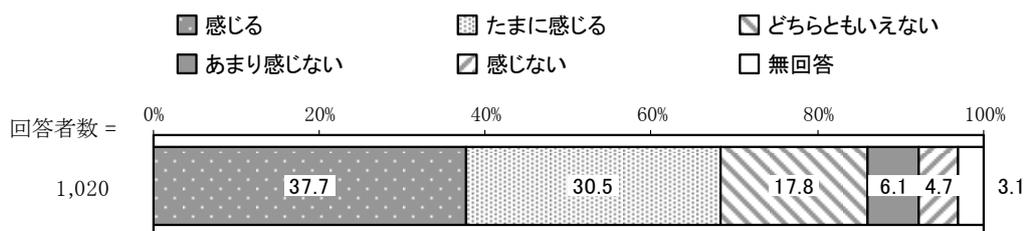
保護者の「学都松本」の認知度別でみると、他に比べ、めざすまちの姿まで知っているで「地域の人から勉強やスポーツなどを教えてもらっている」の割合が、全く知らないで「地域のお祭りなど行事に参加している」の割合が低くなっています。

単位：％

区分	有効回答数(件)	近所の人にあいさつをしている	近所の人からあいさつをされたことがある	近所の人からほめられたことがある	近所の人に注意されたことがある	地域のお祭りなど行事に参加している	地域の人から勉強やスポーツなどを教えてもらっている	地域の大人とはまったくかわりがない	無回答
めざすまちの姿まで知っている	78	71.8	80.8	29.5	5.1	75.6	1.3	5.1	5.1
内容はわからないが聞いたことはある	694	75.5	80.3	35.4	9.2	68.2	11.8	3.2	3.5
全く知らない	221	76.9	78.3	31.7	10.9	59.3	9.5	3.6	3.2

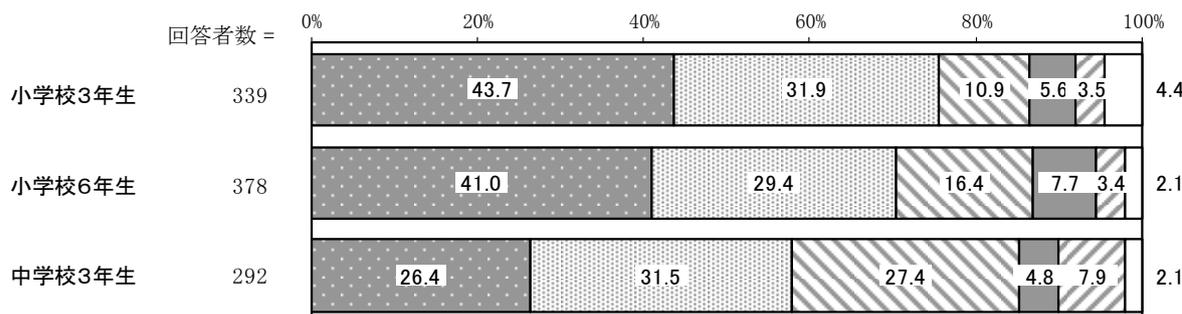
問 24 あなたの住んでいる地域では、地域の大人が自分たちを見守ってくれていると感じますか。

「感じる」と「たまに感じる」をあわせた“感じる”の割合が68.2%、「どちらともいえない」の割合が17.8%、「あまり感じない」と「感じない」をあわせた“感じない”の割合が10.8%となっています。



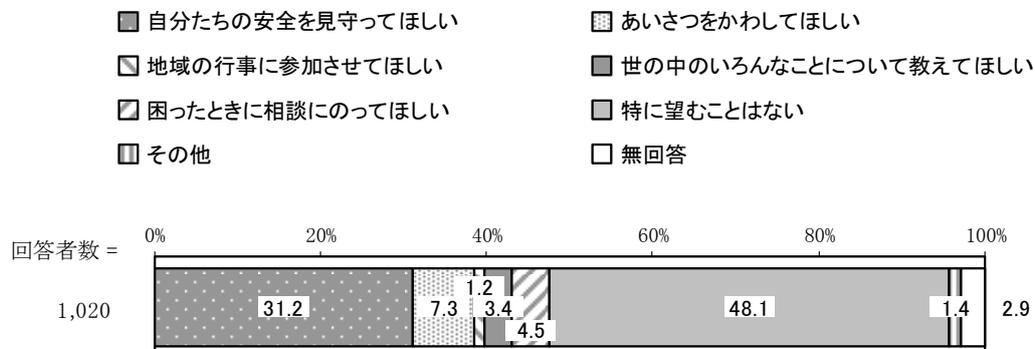
【学年別】

学年別でみると、学年が下がるにつれ“感じる”の割合が高くなっており、小学校3年生で7割半ばとなっています。



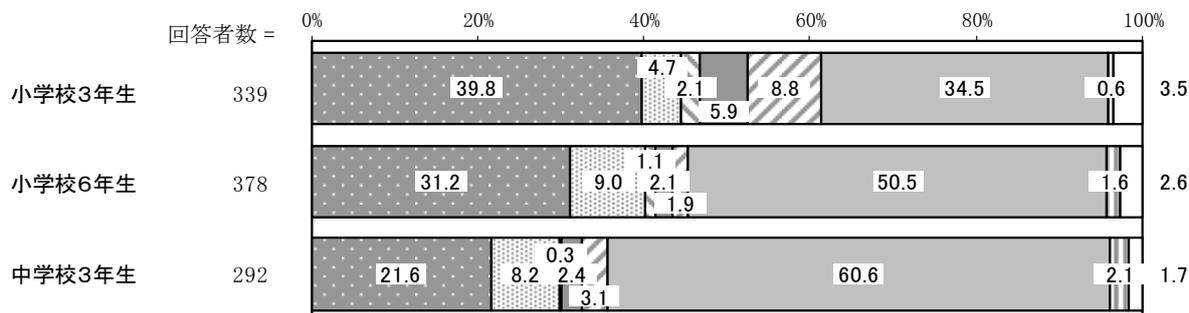
問 25 あなたの住んでいる地域の大人に望むことは何ですか。
(最もあてはまるもの1つに○)

「特に望むことはない」の割合が48.1%と最も高く、次いで「自分たちの安全を見守ってほしい」の割合が31.2%となっています。



【学年別】

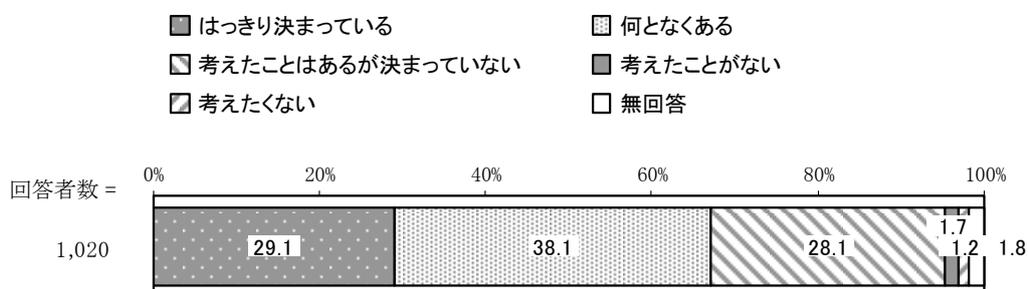
学年別でみると、学年が下がるにつれ「自分たちの安全を見守ってほしい」の割合が高くなっており、小学校3年生で約4割となっています。また、学年が上がるにつれ「特に望むことはない」の割合が高く、約6割となっています。また、他に比べ、小学校3年生で「世の中のいろいろなことについて教えてほしい」「困ったときに相談にのってほしい」の割合が高くなっています。



(5) 将来やその他のことについて

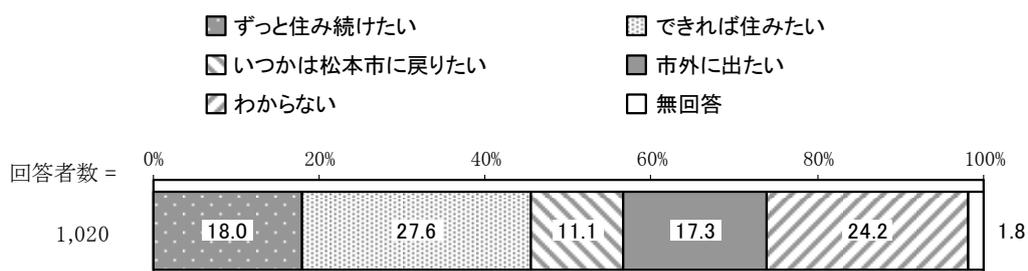
問 26 あなたは、将来なりたい職業がありますか。

「何となくある」の割合が 38.1%と最も高く、次いで「はっきり決まっている」の割合が 29.1%、「考えたことはあるが決まっていない」の割合が 28.1%となっています。



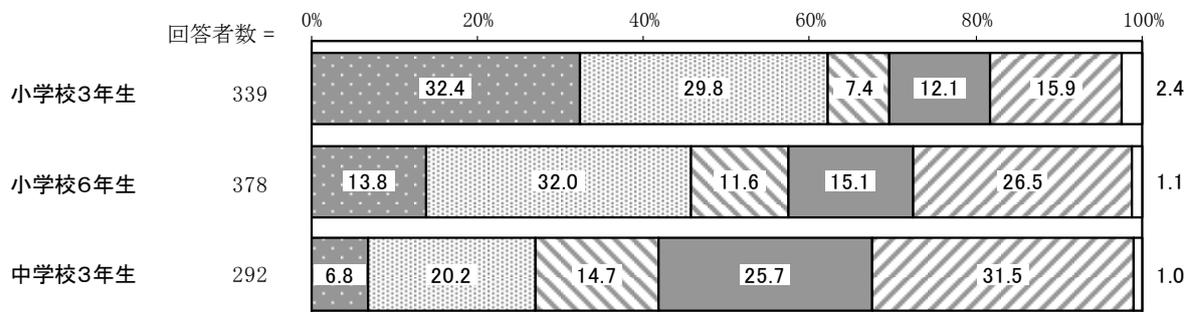
問 27 将来、松本市に住みたいと思いますか。

「できれば住みたい」の割合が 27.6%と最も高く、次いで「わからない」の割合が 24.2%、「ずっと住みたい」の割合が 18.0%となっています。



【学年別】

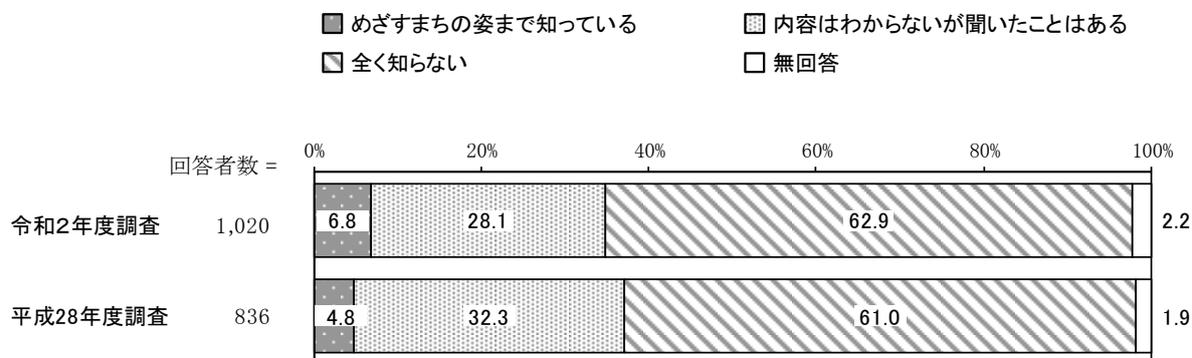
学年別でみると、学年が下がるにつれ「ずっと住みたい」の割合が高くなっており、小学校3年生で約3割となっています。



問 28 松本市が「学都松本」をめざしていることを知っていますか。

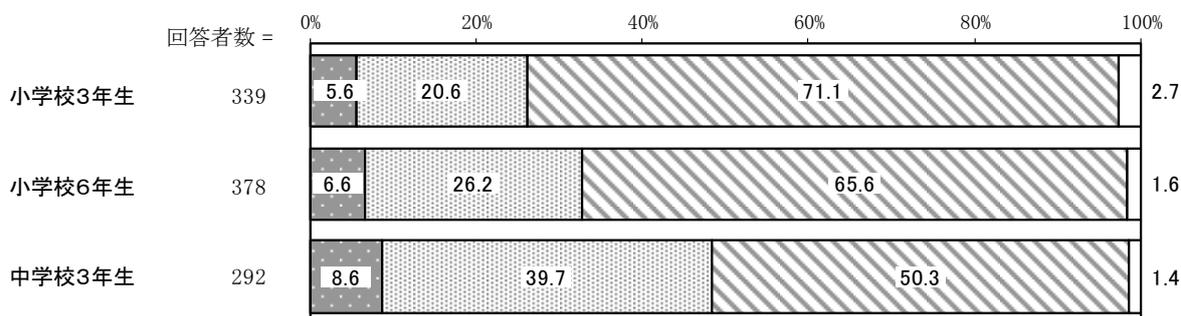
「全く知らない」の割合が 62.9%と最も高く、次いで「内容はわからないが聞いたことはある」の割合が 28.1%となっています。

平成 28 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



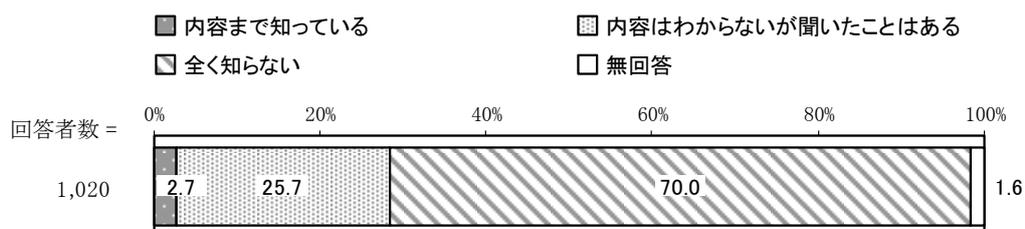
【学年別】

学年別でみると、学年が上がるにつれ「内容はわからないが聞いたことはある」の割合が高く、中学校3年生で約4割となっています。また、学年が下がるにつれ「全く知らない」の割合が高くなっており、小学校3年生で約7割となっています。



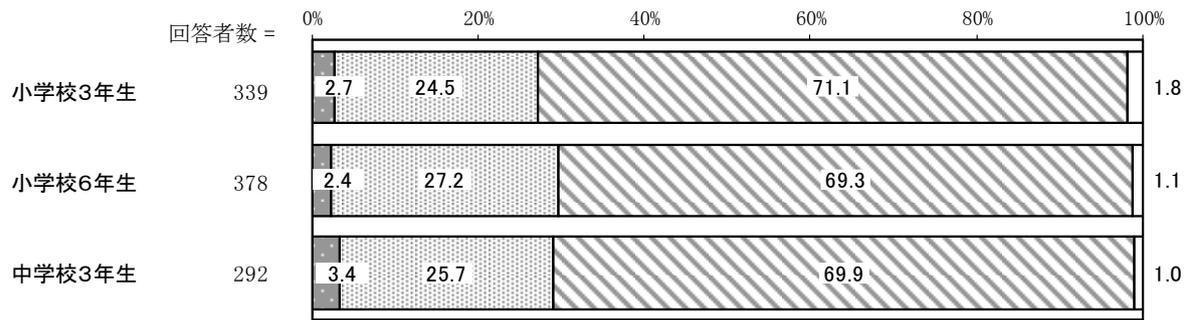
問 29 あなたは、「まつもと市民生きいき活動」を知っていますか。

「全く知らない」の割合が 70.0%と最も高く、次いで「内容はわからないが聞いたことはある」の割合が 25.7%となっています。



【学年別】

学年別でみると、大きな差異はみられません。

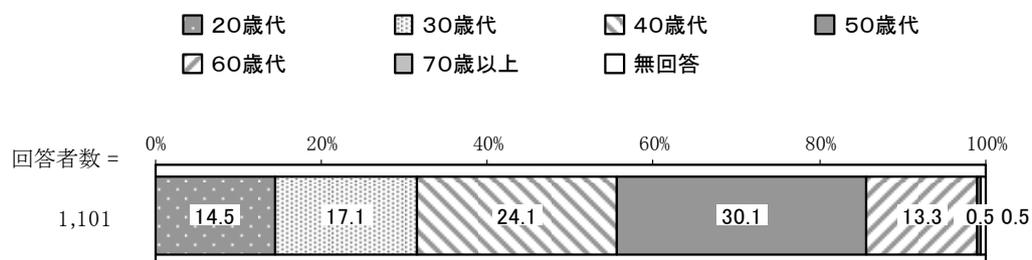


4 教職員・保育士・幼稚園教諭

(1) 回答者属性

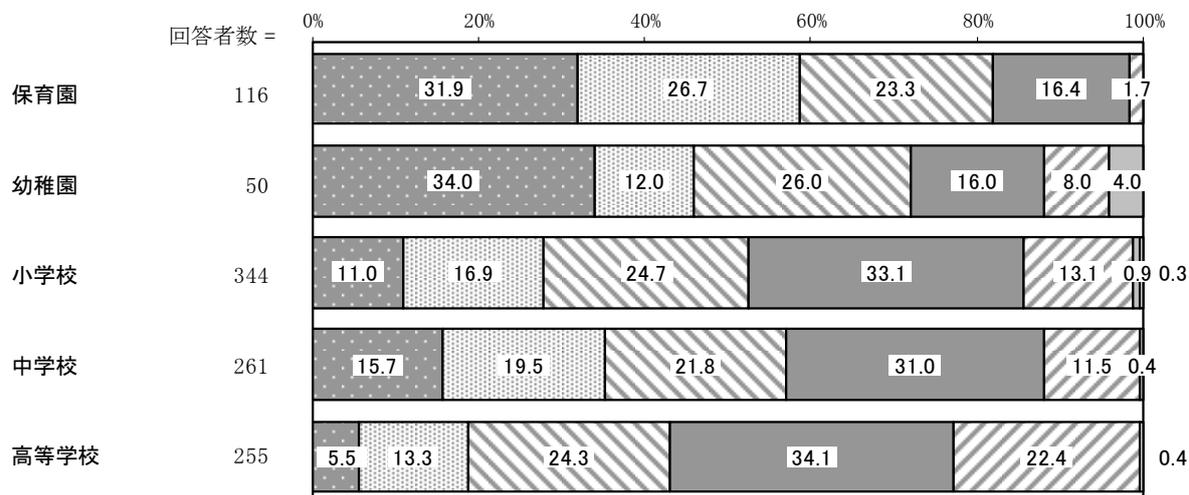
問1 あなたは何歳ですか。

回答結果は、以下の通りとなっています。



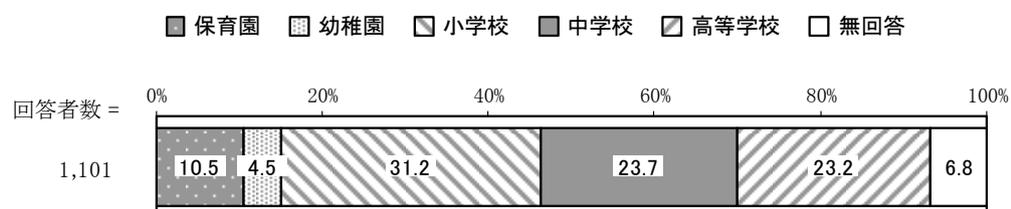
【学校種別】

回答結果は、以下の通りとなっています。



問2 あなたの勤務先は次のうちどれですか。

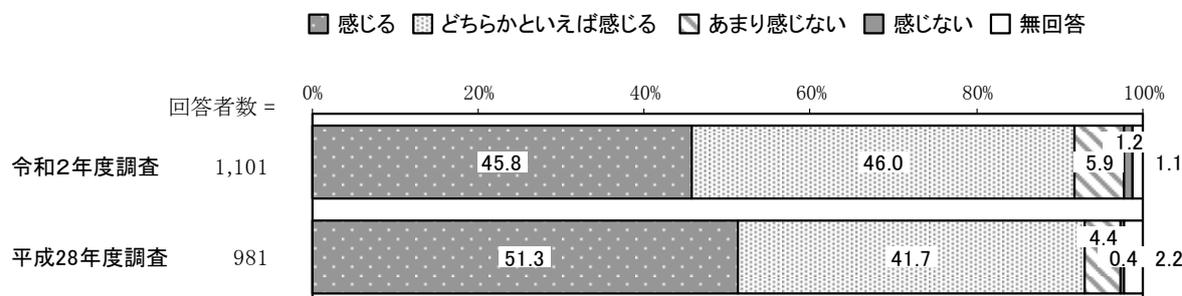
回答結果は、以下の通りとなっています。



問3 あなたは、ご自身の職務に「生きがい」、「やりがい」を感じますか。

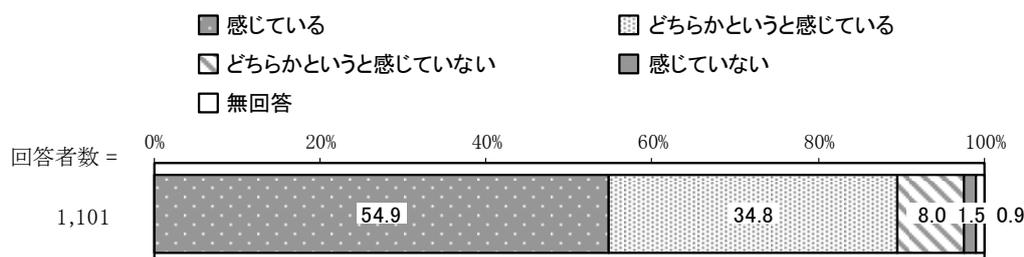
「感じる」と「どちらかといえば感じる」をあわせた“感じる”の割合が91.8%、「あまり感じない」と「感じない」をあわせた“感じない”の割合が7.1%となっています。

平成28年度調査と比較すると、「感じる」の割合が減少しています。



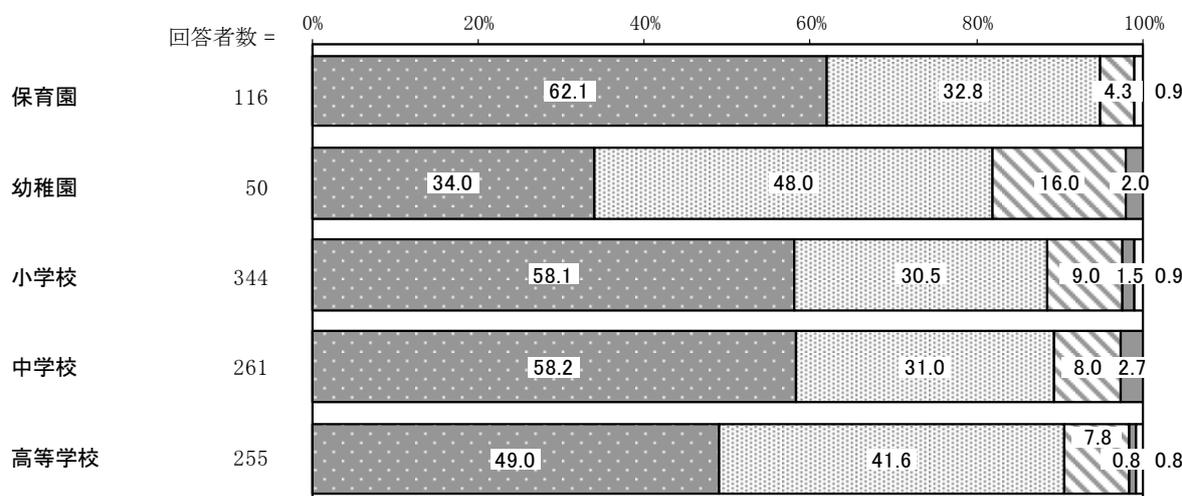
問4 あなたはご自身の職務について忙しいと感じていますか。

「感じている」と「どちらかというと感じている」をあわせた“感じている”の割合が89.7%、「どちらかというと感じていない」と「感じていない」をあわせた“感じていない”の割合が9.5%となっています。



【学校種別】

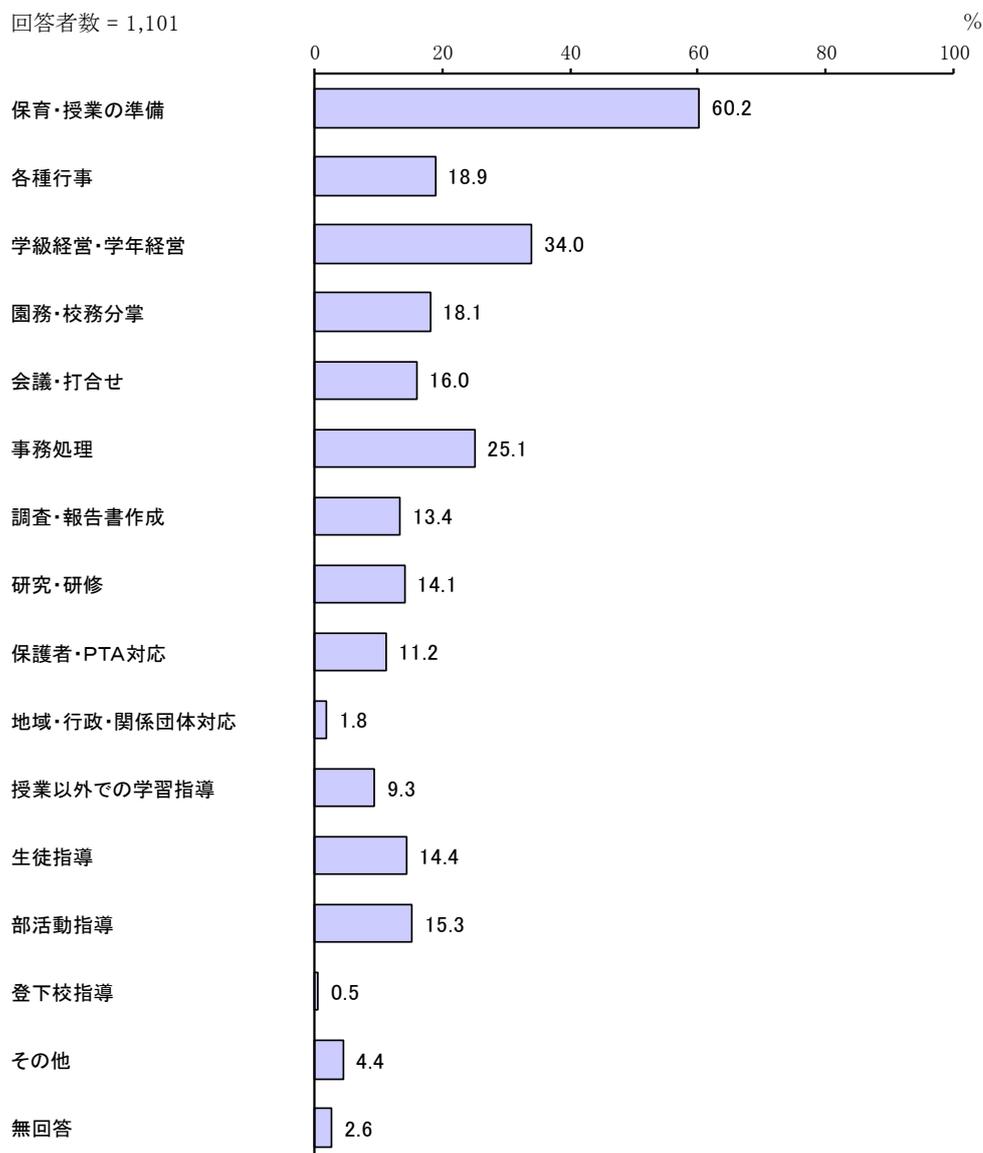
学校種別でみると、他に比べ、幼稚園で“感じていない”の割合が高く、約2割となっています。



問5 仕事をするうえで、あなたが、①時間をかけている業務、②負担感を感じている業務は、どのような業務ですか。(3つ以内の番号を記入)
 (①と②の回答は重複しても構いません)

1. 時間をかけている業務

「保育・授業の準備」の割合が60.2%と最も高く、次いで「学級経営・学年経営」の割合が34.0%、「事務処理」の割合が25.1%となっています。



【学校種別】

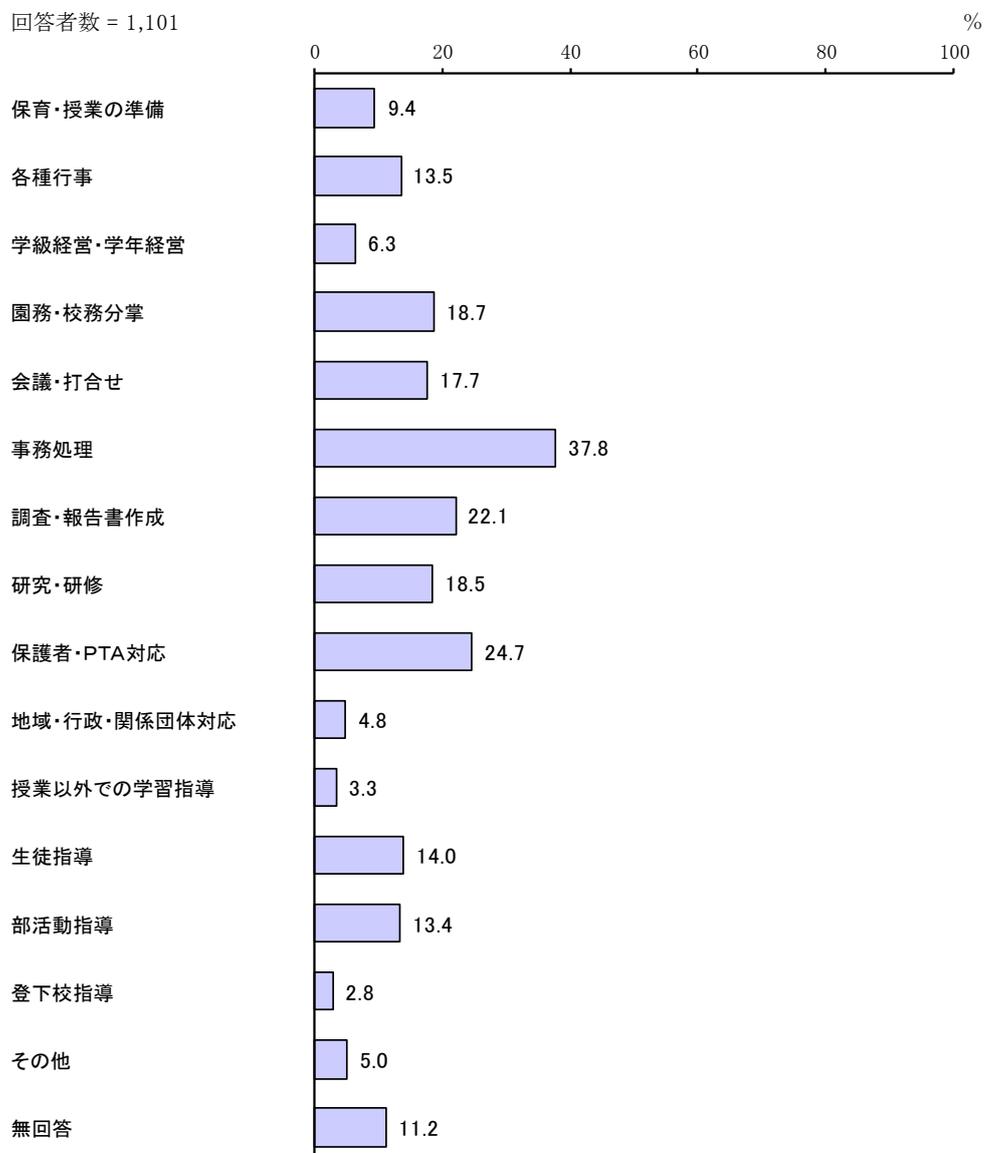
学校種別でみると、他に比べ、保育園で「保育・授業の準備」「各種行事」の割合が高くなっています。また、小学校で「学級経営・学年経営」の割合が、中学校、高等学校で「部活動指導」の割合が高くなっています

単位：％

区分	回答者数(件)	保育・授業の準備	各種行事	学級経営・学年経営	園務・校務分掌	会議・打合せ	事務処理	調査・報告書作成	研究・研修	保護者・PTA対応	地域・行政・関係団体対応	授業以外での学習指導	生徒指導	部活動指導	登下校指導	その他	無回答
保育園	116	69.8	47.4	25.0	8.6	18.1	43.1	13.8	11.2	8.6	—	—	1.7	—	—	6.9	4.3
幼稚園	50	64.0	22.0	20.0	16.0	36.0	16.0	8.0	22.0	12.0	—	—	4.0	—	—	6.0	6.0
小学校	344	56.7	17.4	42.7	16.0	15.7	26.5	14.0	15.7	16.9	1.7	5.2	16.3	3.5	1.2	4.9	2.9
中学校	261	55.6	18.4	32.2	20.7	11.9	23.8	13.8	16.9	9.6	2.7	8.4	18.0	27.2	0.8	4.6	1.5
高等学校	255	61.6	5.9	32.5	23.1	12.5	19.6	12.5	11.0	7.1	2.4	21.6	16.9	32.5	—	2.4	0.4

2. 負担感を感じている業務

「事務処理」の割合が37.8%と最も高く、次いで「保護者・PTA対応」の割合が24.7%、「調査・報告書作成」の割合が22.1%となっています。



【学校種別】

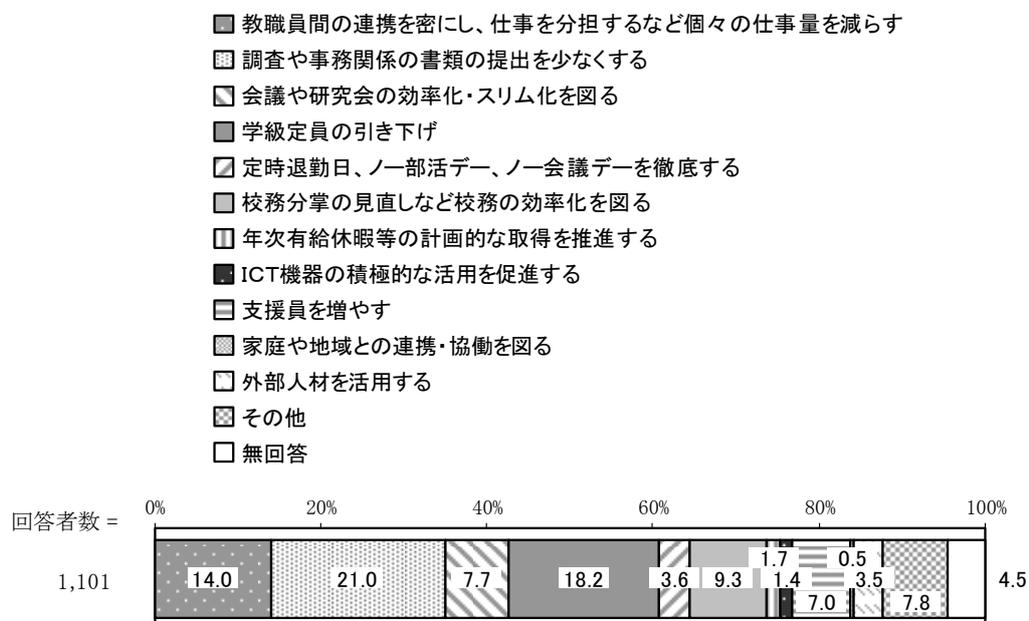
学校種別でみると、他に比べ、保育園で「各種行事」「研究・研修」の割合が、中学校、高等学校で「部活動指導」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	保育・授業の準備	各種行事	学級経営・学年経営	園務・校務分掌	会議・打合せ	事務処理	調査・報告書作成	研究・研修	保護者・PTA対応	地域・行政・関係団体対応	授業以外での学習指導	生徒指導	部活動指導	登下校指導	その他	無回答
保育園	116	16.4	31.9	6.0	8.6	10.3	48.3	20.7	30.2	24.1	1.7	—	2.6	—	—	7.8	12.9
幼稚園	50	22.0	18.0	4.0	6.0	20.0	26.0	8.0	20.0	34.0	—	2.0	6.0	—	—	6.0	18.0
小学校	344	7.0	9.6	3.8	19.8	16.6	38.4	23.0	23.5	28.8	5.5	3.2	15.1	2.3	5.5	4.9	12.8
中学校	261	7.7	13.4	6.9	21.8	16.1	30.3	23.0	22.2	26.4	4.6	3.4	15.7	28.4	3.4	4.2	8.0
高等学校	255	8.6	8.2	10.6	23.9	22.7	40.4	22.0	4.7	18.0	6.3	5.5	20.4	25.1	1.2	3.5	7.8

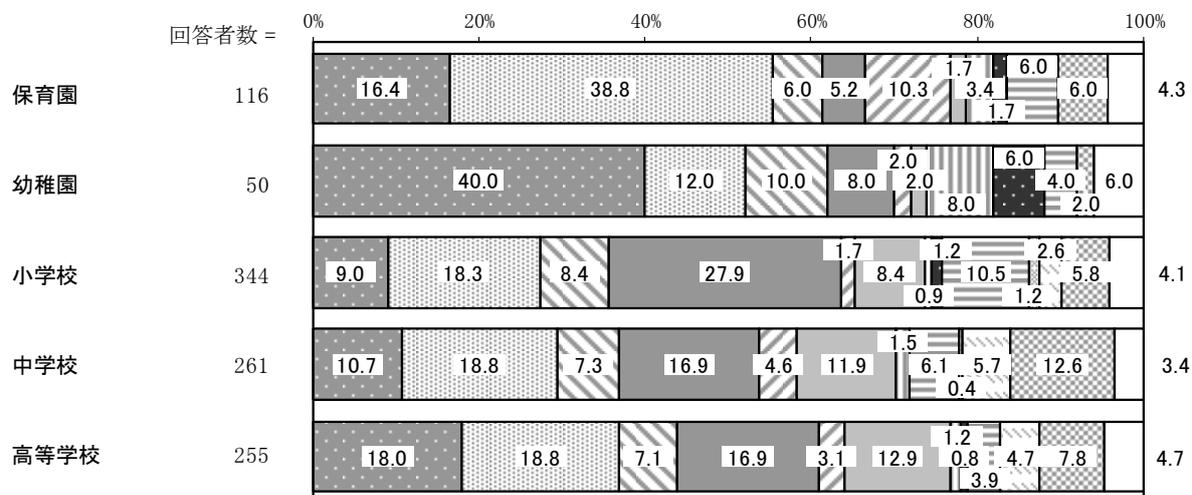
**問6 多忙を解消するために必要なことは何だと思えますか。
(最もあてはまるもの1つに○)**

「調査や事務関係の書類の提出を少なくする」の割合が21.0%と最も高く、次いで「学級定員の引き下げ」の割合が18.2%、「教職員間の連携を密にし、仕事を分担するなど個々の仕事量を減らす」の割合が14.0%となっています。



【学校種別】

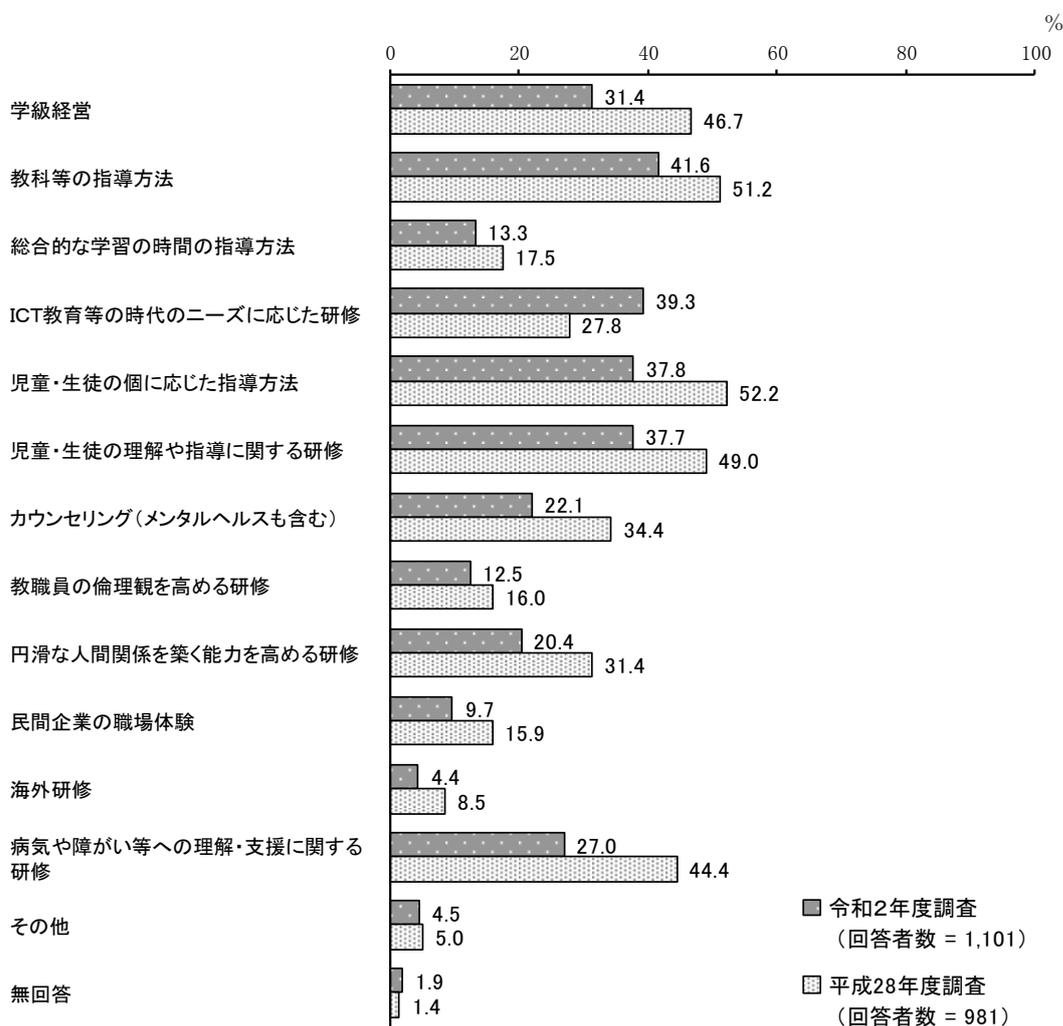
学校種別でみると、他に比べ、保育園で「調査や事務関係の書類の提出を少なくする」の割合が、幼稚園で「教職員間の連携を密にし、仕事を分担するなど個々の仕事量を減らす」の割合が高く、約4割となっています。また、小学校で「学級定員の引き下げ」の割合が高く、約3割となっています。



問7 教職員の資質向上のためにどのような研修が必要だと思いますか。
(あてはまるものすべてに○)

「教科等の指導方法」の割合が41.6%と最も高く、次いで「ICT教育等の時代のニーズに応じた研修」の割合が39.3%、「児童・生徒の個に応じた指導方法」の割合が37.8%となっています。

平成28年度調査と比較すると、「ICT教育等の時代のニーズに応じた研修」の割合が増加しています。一方、「学級経営」「教科等の指導方法」「児童・生徒の個に応じた指導方法」「児童・生徒の理解や指導に関する研修」「カウンセリング(メンタルヘルスも含む)」「円滑な人間関係を築く能力を高める研修」「民間企業の職場体験」「病気や障がい等への理解・支援に関する研修」の割合が減少しています。



【学校種別】

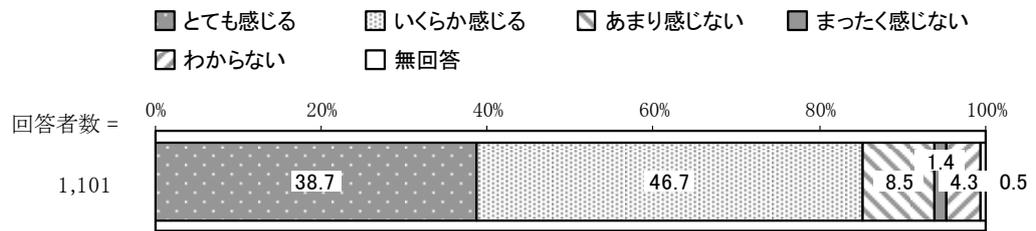
学校種別でみると、他に比べ、幼稚園で「児童・生徒の個に応じた指導方法」「児童・生徒の理解や指導に関する研修」「カウンセリング(メンタルヘルスも含む)」の割合が高くなっています。また、小学校、中学校で「教科等の指導方法」の割合が高く、約5割となっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	学級経営	教科等の指導方法	総合的な学習の時間の指導方法	ICT教育等の時代のニーズに応じた研修	児童・生徒の個に応じた指導方法	児童・生徒の理解や指導に関する研修	カウンセリング(メンタルヘルスも含む)	教職員の倫理観を高める研修	円滑な人間関係を築く能力を高める研修	民間企業の職場体験	海外研修	病気や障がい等への理解・支援に関する研修	その他	無回答
保育園	116	30.2	6.9	0.9	16.4	44.8	37.1	24.1	10.3	25.9	5.2	1.7	31.0	0.9	1.7
幼稚園	50	40.0	16.0	10.0	18.0	56.0	64.0	38.0	14.0	26.0	10.0	2.0	38.0	4.0	—
小学校	344	39.0	50.0	15.4	43.9	41.6	39.2	16.9	11.3	19.8	9.6	4.1	26.5	4.1	1.5
中学校	261	28.7	52.1	14.9	46.7	36.4	40.2	20.3	14.9	20.7	11.5	5.0	23.4	7.3	1.1
高等学校	255	23.9	43.5	16.9	43.5	27.1	26.7	27.5	12.5	20.0	9.4	7.1	21.6	3.5	2.0

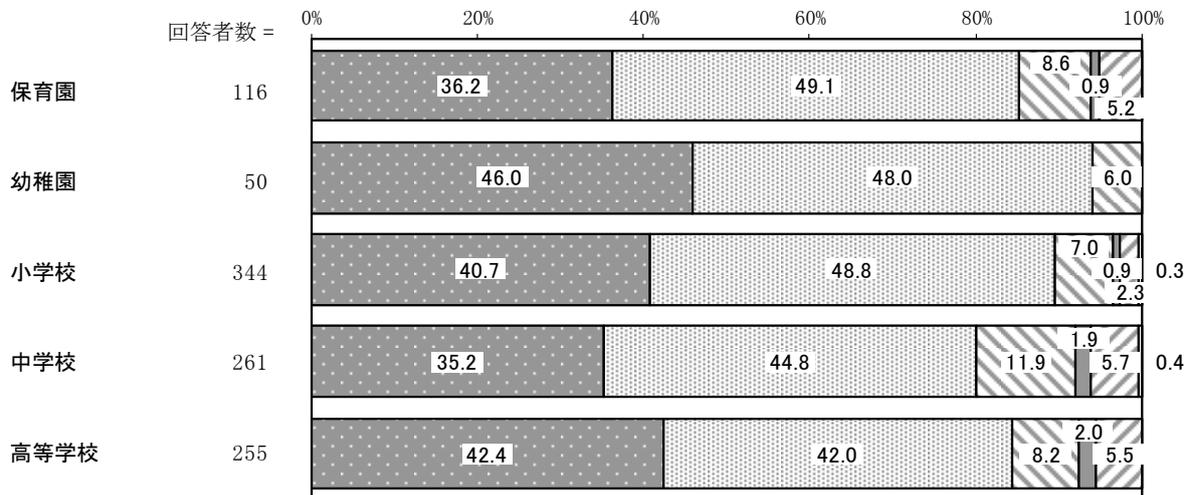
問8 あなたは松本市に親しみや愛着を感じますか。

「とても感じる」と「いくらか感じる」をあわせた“感じる”の割合が85.4%、「あまり感じない」と「まったく感じない」をあわせた“感じない”の割合が9.9%となっています。



【学校種別】

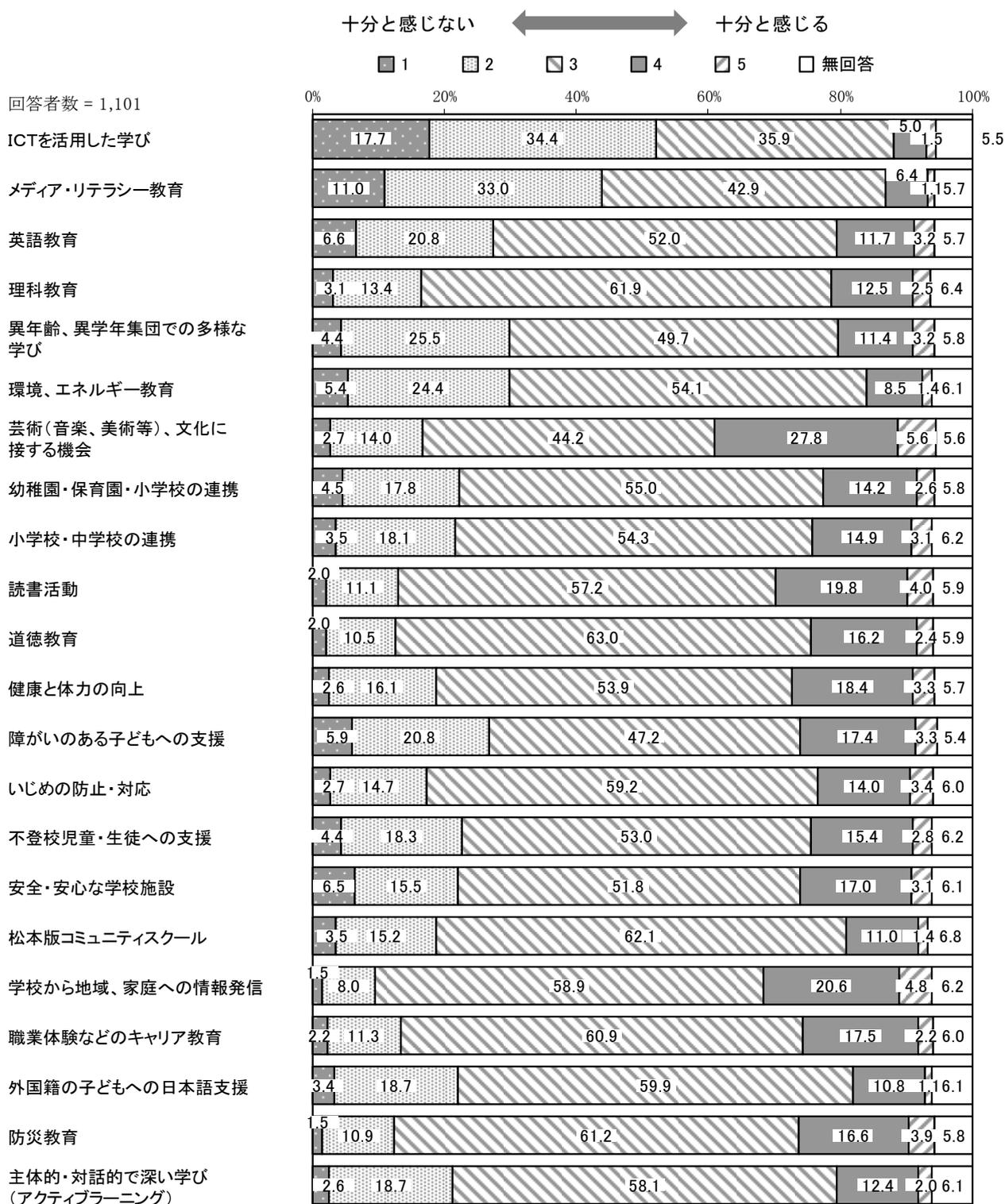
学校種別でみると、他に比べ、中学校で“感じる”の割合が低く、約8割となっています。



問 10 松本市の教育について「現在の状況」と「今後の重要度」について、それぞれ5段階であなたの考えに最も近い番号を1つずつ選んで〇をつけてください。

1. 現在の状況

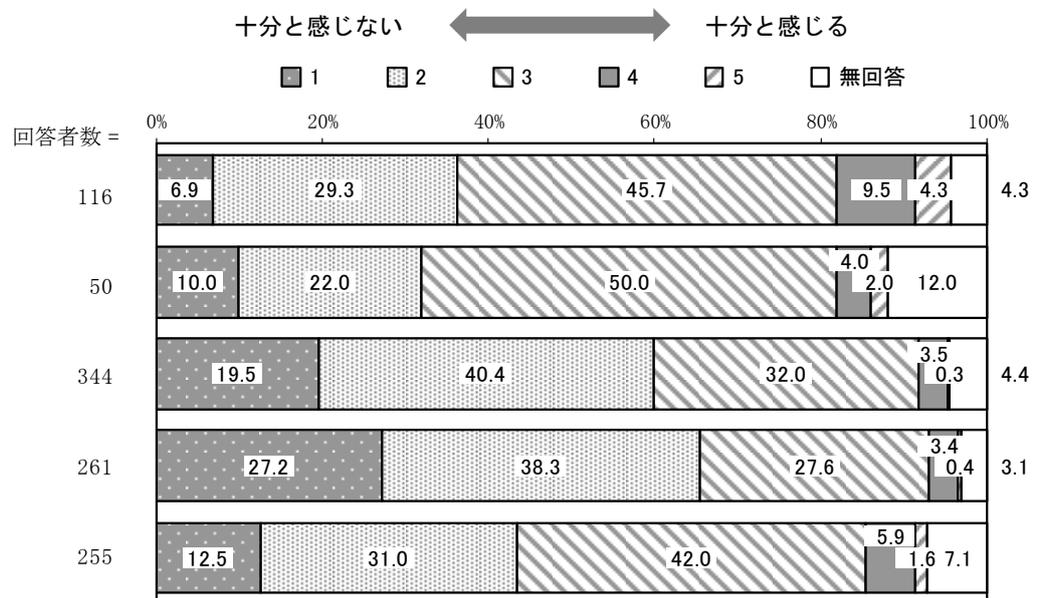
『ICTを活用した学び』で、「1」と「2」をあわせた“十分と感じない”の割合が高く、約5割となっています。また、『芸術（音楽、美術等）、文化に接する機会』で「4」と「5」をあわせた“十分と感じる”の割合が高く、約3割となっています。



【学校種別】

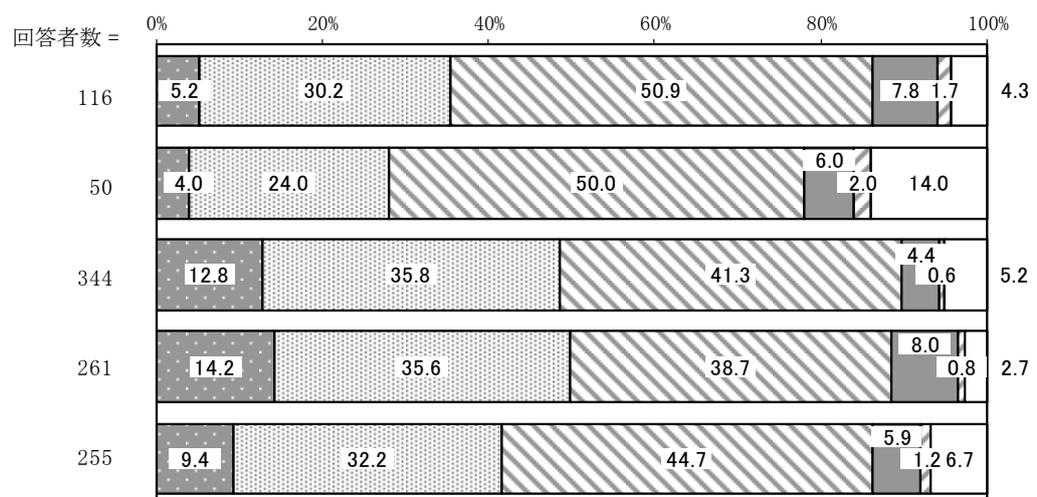
① ICTを活用した学び

学校種別でみると、他に比べ、中学校で“十分と感じない”の割合が高く、6割半ばとなっています。また、保育園で“十分と感じる”の割合が高く、1割を超えています。



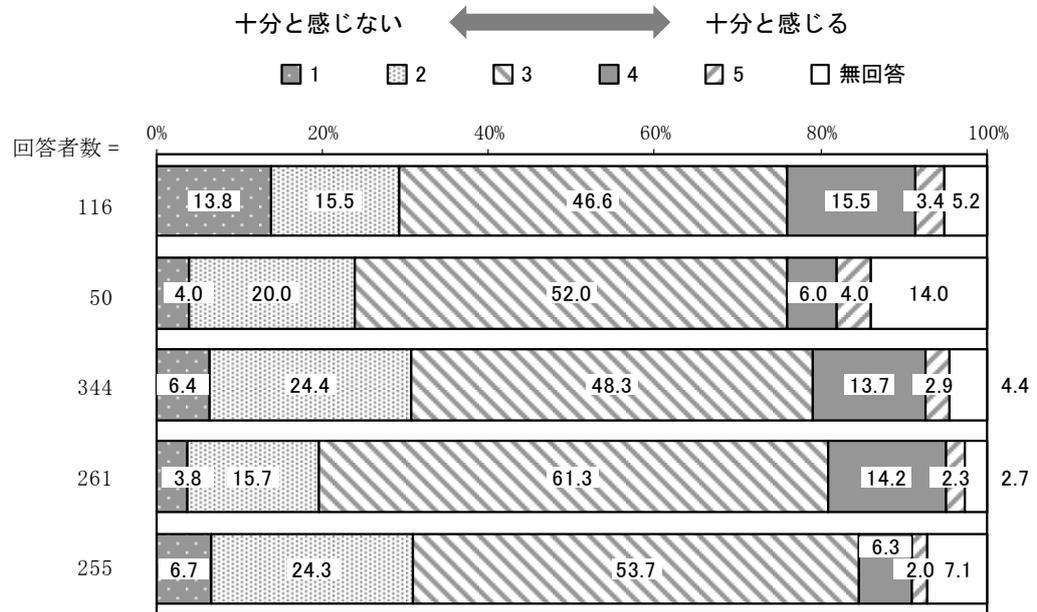
② メディア・リテラシー教育

学校種別でみると、他に比べ、幼稚園で“十分と感じない”の割合が低く、約3割となっています。



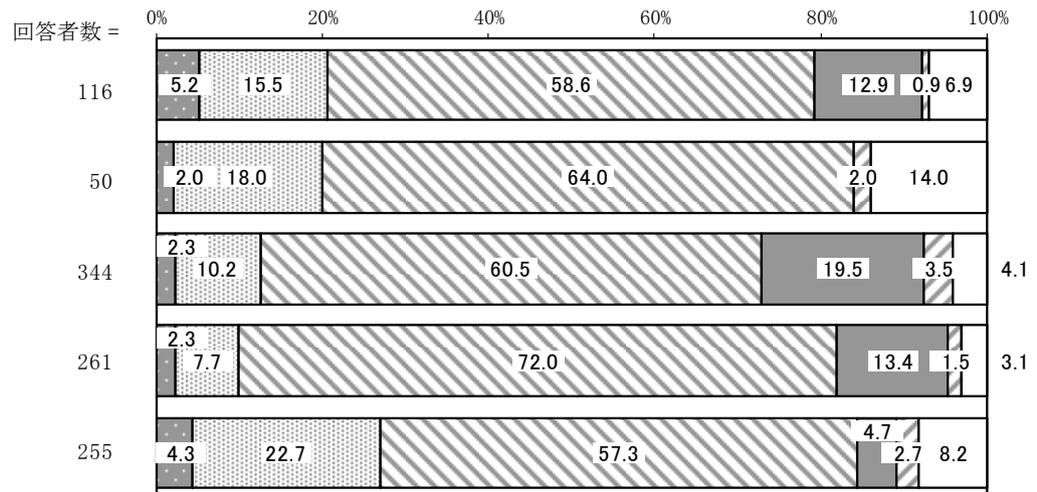
③英語教育

学校種別でみると、他に比べ、中学校で“十分と感じない”の割合が低く、約2割となっています。



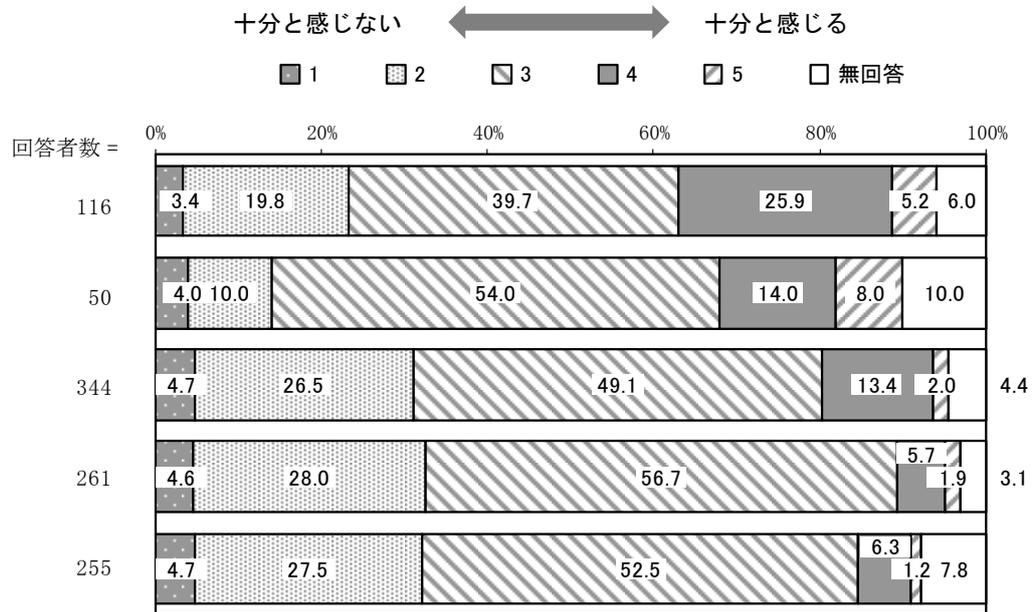
④理科教育

学校種別でみると、他に比べ、高等学校で“十分と感じない”の割合が高く、約3割となっています。また、小学校で“十分と感じる”の割合が高く、約2割となっています。



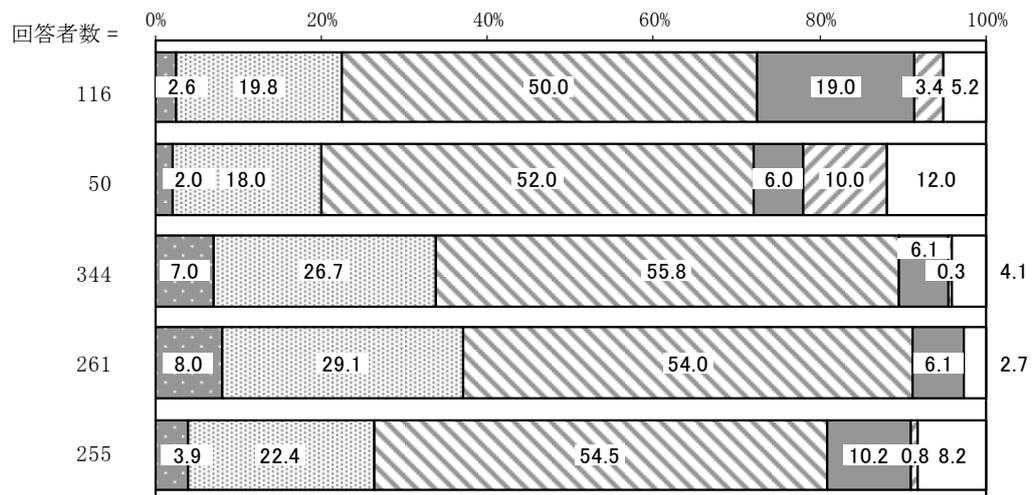
⑤異年齢、異学年集団での多様な学び

学校種別でみると、他に比べ、幼稚園で“十分と感じない”の割合が低く、1割半ばとなっています。また、保育園で“十分と感じる”の割合が高く、約3割となっています。



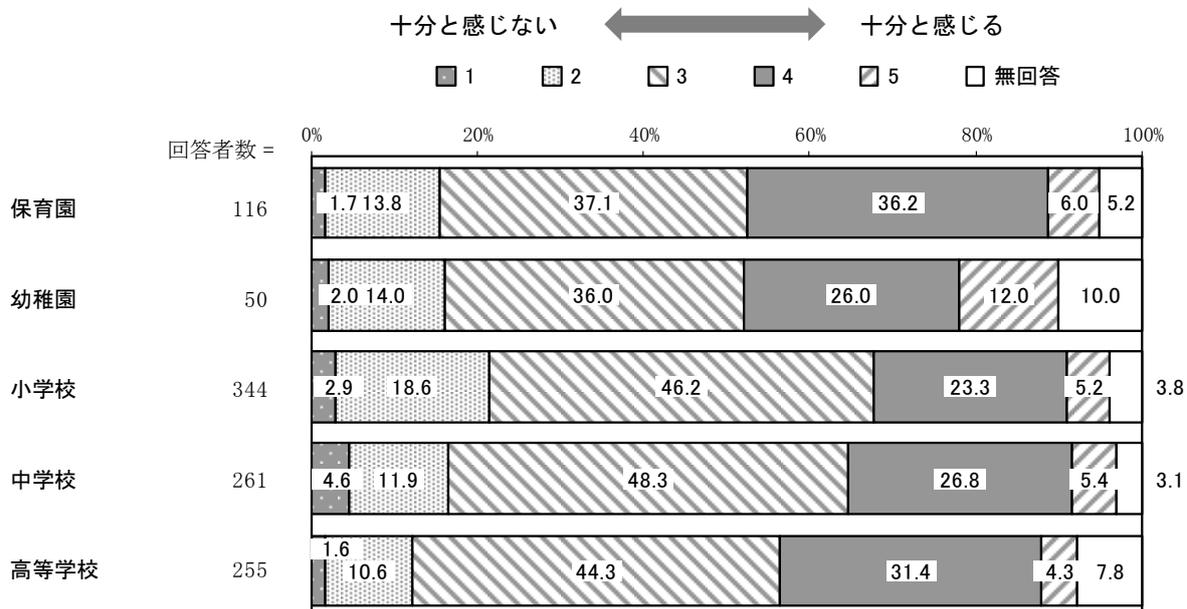
⑥環境、エネルギー教育

学校種別でみると、他に比べ、中学校で“十分と感じない”の割合が高く、約4割となっています。また、保育園で“十分と感じる”の割合が高く、約2割となっています。



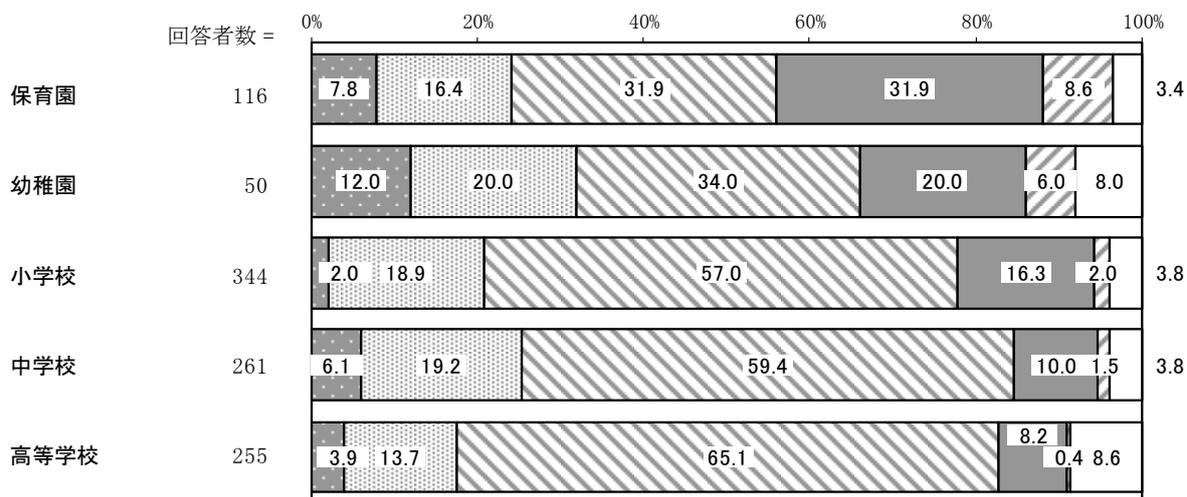
⑦芸術（音楽、美術等）、文化に接する機会

学校種別でみると、他に比べ、小学校で“十分と感じない”の割合が高く、約2割となっています。また、保育園で“十分と感じる”の割合が高く、約4割となっています。



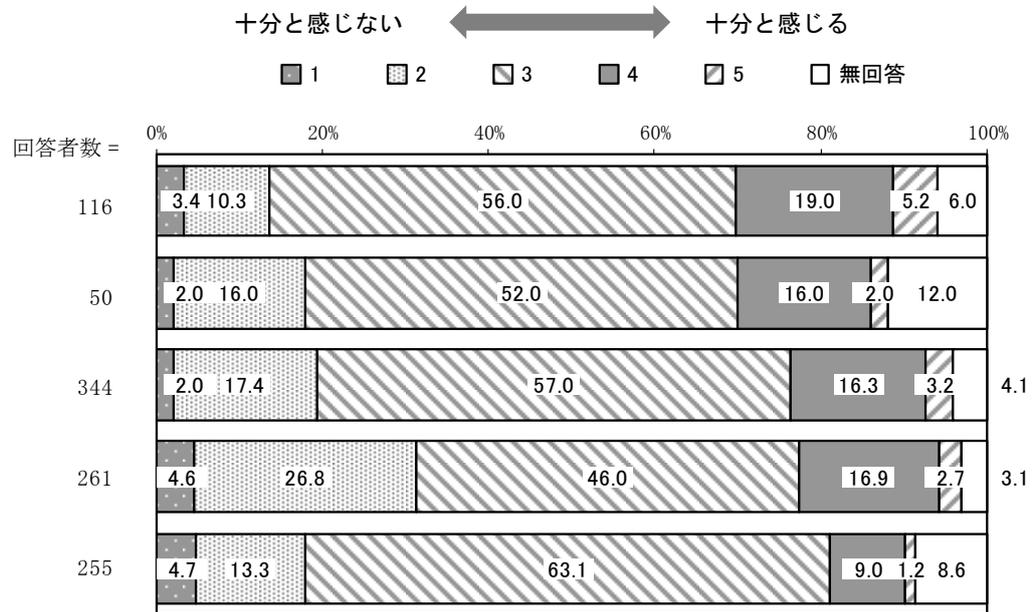
⑧幼稚園・保育園・小学校の連携

学校種別でみると、他に比べ、保育園で“十分と感じる”の割合が高く、約4割となっています。



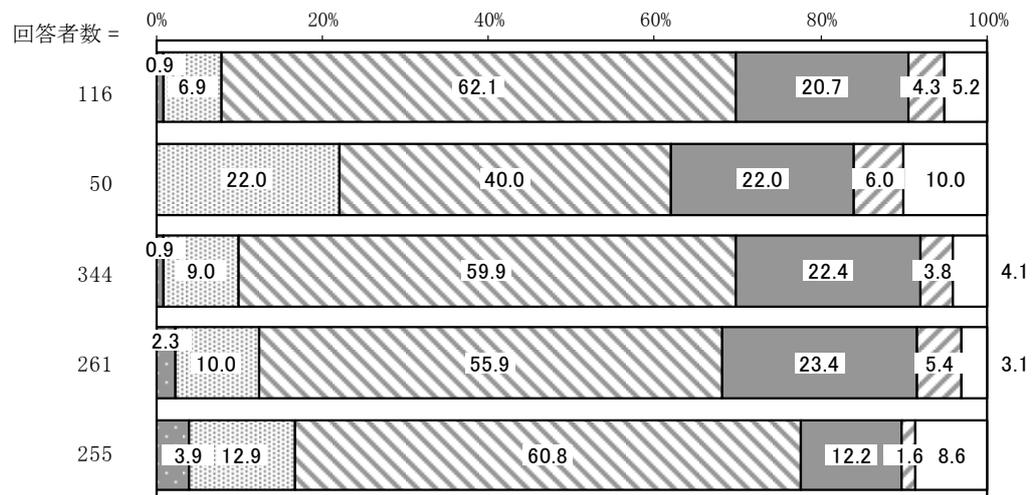
⑨小学校・中学校の連携

学校種別でみると、他に比べ、中学校で“十分と感じない”の割合が高く、約3割となっています。



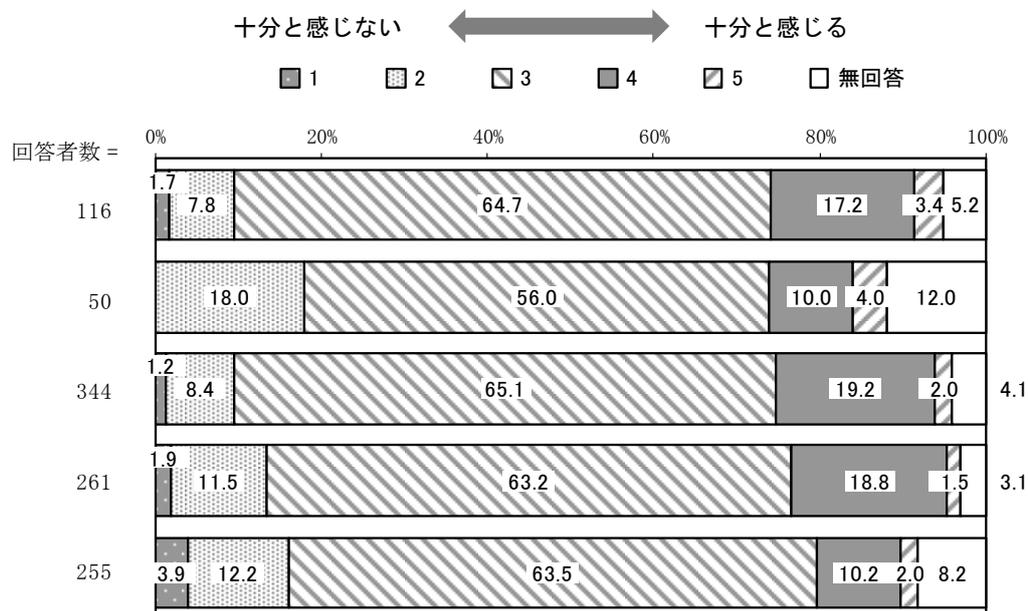
⑩読書活動

学校種別でみると、他に比べ、高等学校で“十分と感じる”の割合が低く、1割半ばとなっています。



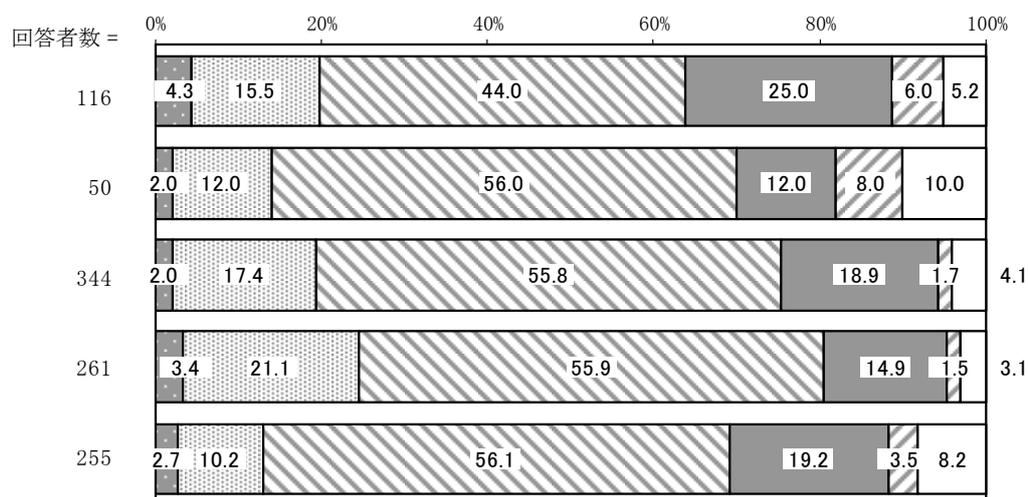
⑪ 道徳教育

学校種別で見ると、他に比べ、高等学校で“十分と感じる”の割合が低く、約1割となっています。



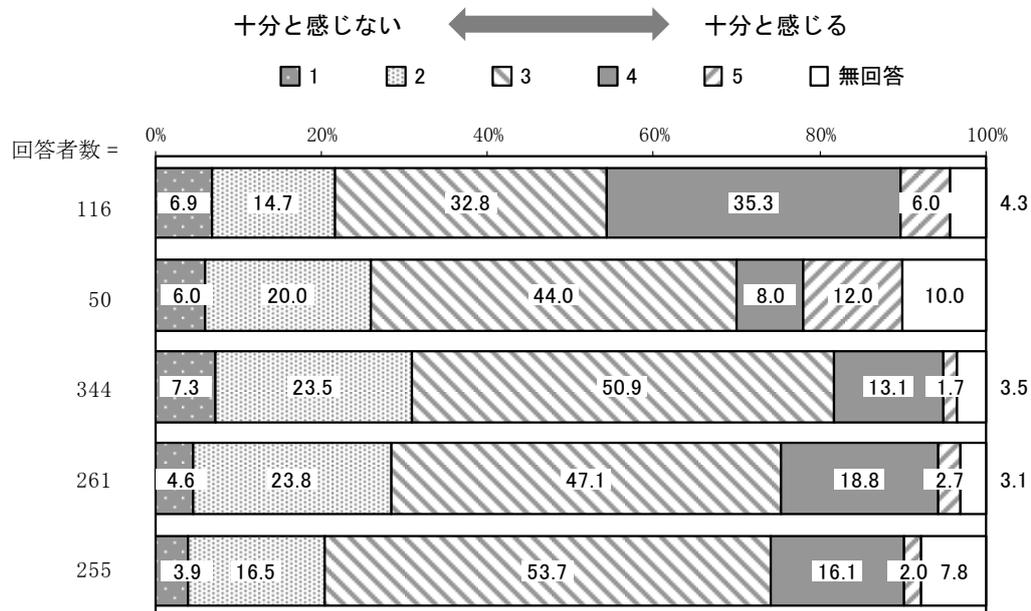
⑫ 健康と体力の向上

学校種別で見ると、他に比べ、中学校で“十分と感じない”の割合が高く、2割半ばとなっています。また、保育園で“十分と感じる”の割合が高く、約3割となっています。



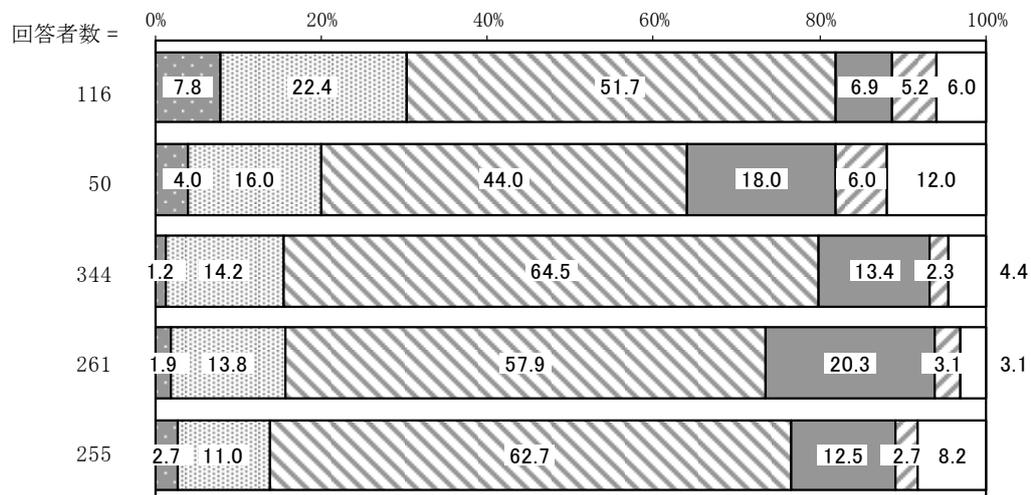
⑬障がいのある子どもへの支援

学校種別でみると、他に比べ、保育園で“十分と感じる”の割合が高く、約4割となっています。



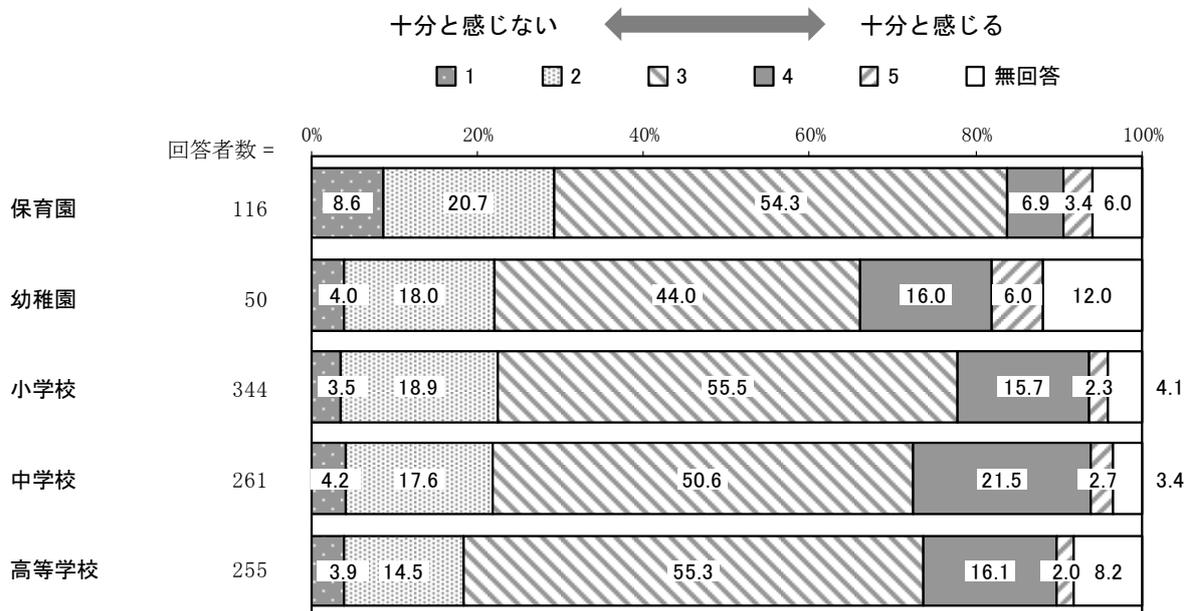
⑭いじめの防止・対応

学校種別でみると、他に比べ、保育園で“十分と感じない”の割合が高く、約3割となっています。



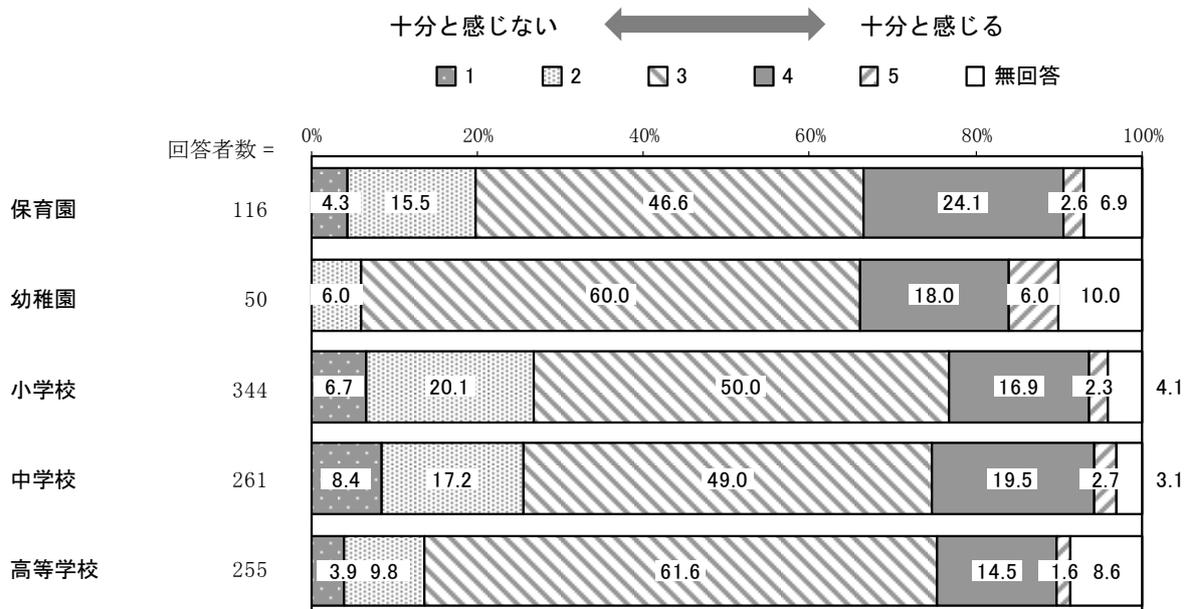
⑮不登校児童・生徒への支援

学校種別でみると、他に比べ、中学校で“十分と感じる”の割合が高く、2割半ばとなっています。



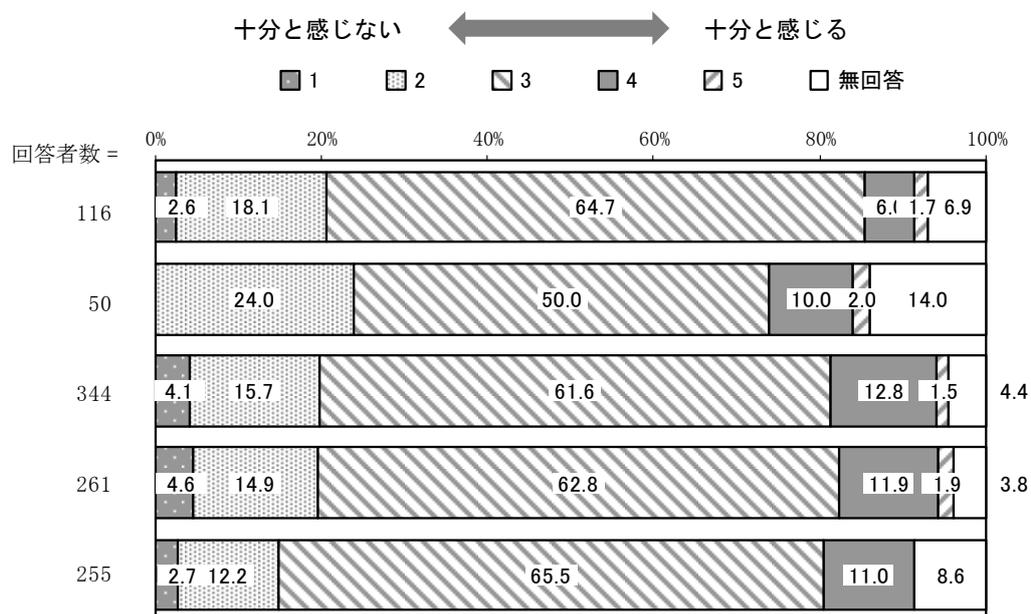
⑯安全・安心な学校施設

学校種別でみると、他に比べ、小学校で“十分と感じない”の割合が高く、2割半ばとなっています。



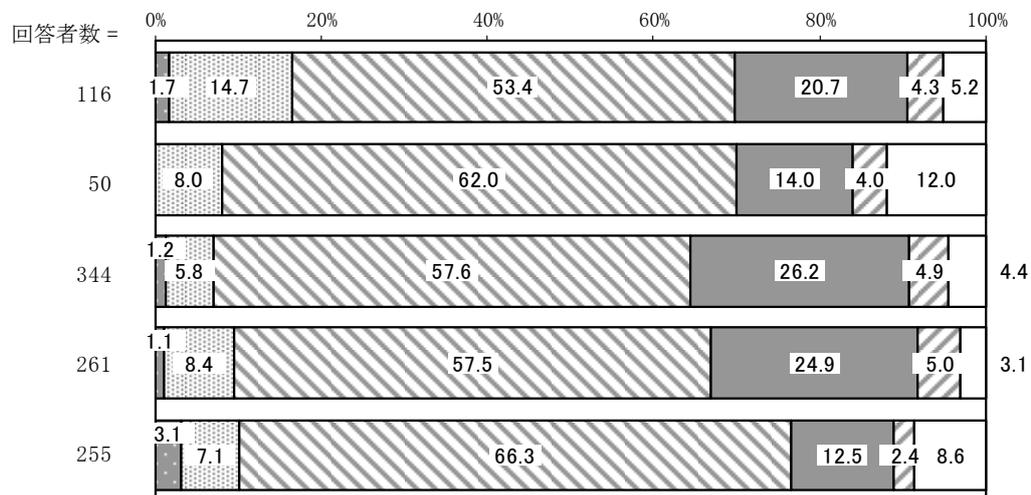
⑰松本版コミュニティスクール

学校種別でみると、大きな差異はみられません。



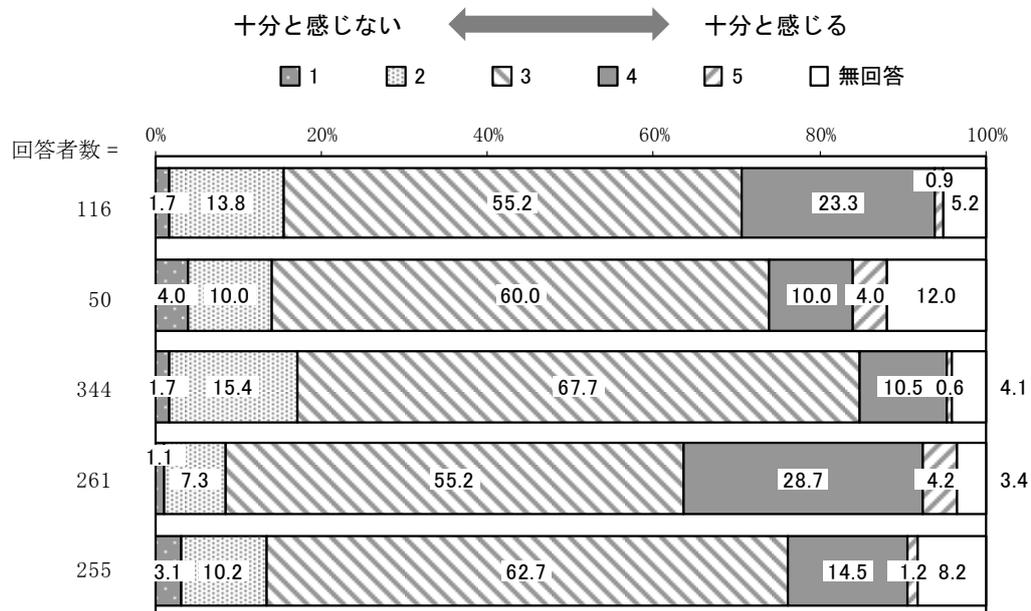
⑱学校から地域、家庭への情報発信

学校種別でみると、他に比べ、保育園で“十分と感じない”の割合が高く、1割半ばとなっています。また、小学校で“十分と感じる”の割合が高く、3割を超えています。



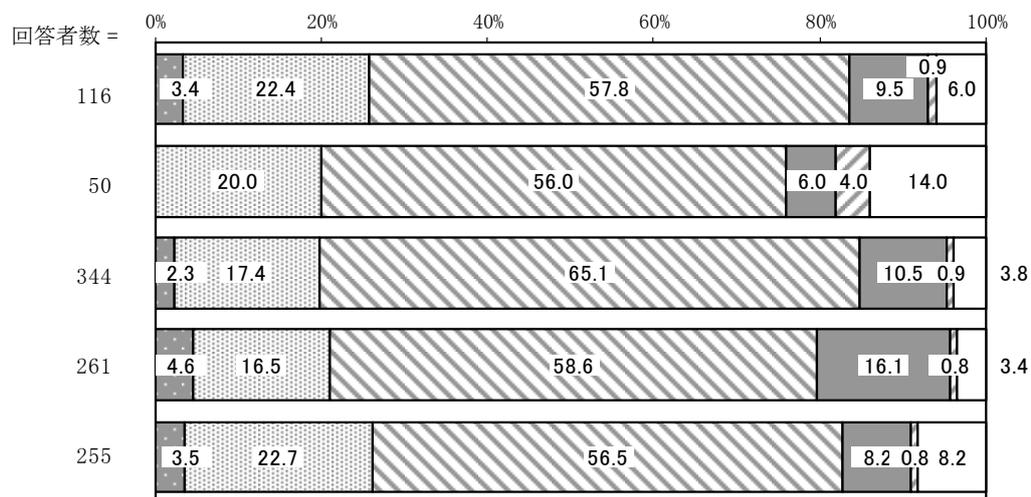
⑱職業体験などのキャリア教育

学校種別でみると、他に比べ、中学校で“十分と感じる”の割合が高く、約3割となっています。



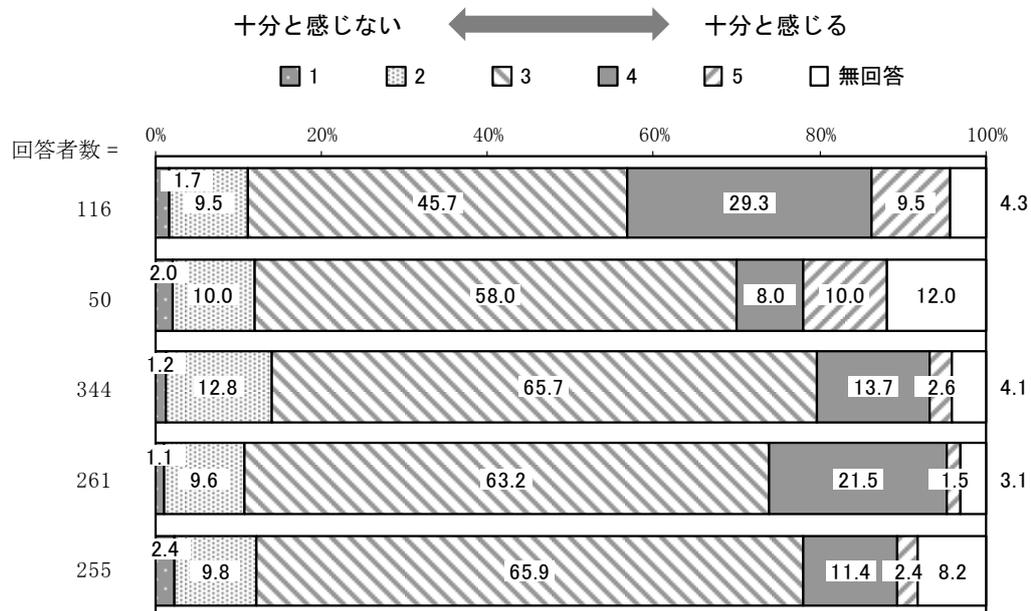
⑳外国籍の子どもへの日本語支援

学校種別でみると、他に比べ、中学校で“十分と感じる”の割合が高く、1割半ばとなっています。



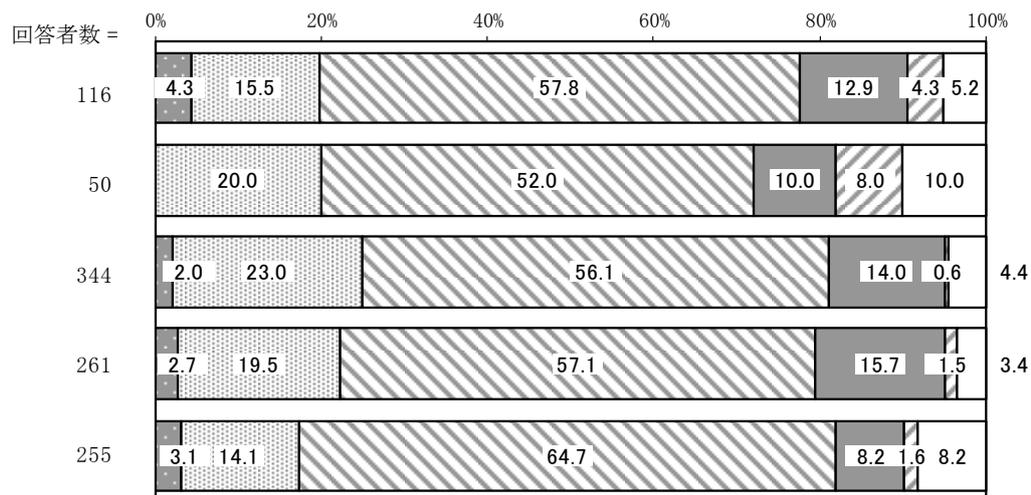
㉑防災教育

学校種別でみると、他に比べ、保育園で“十分と感じる”の割合が高く、約4割となっています。



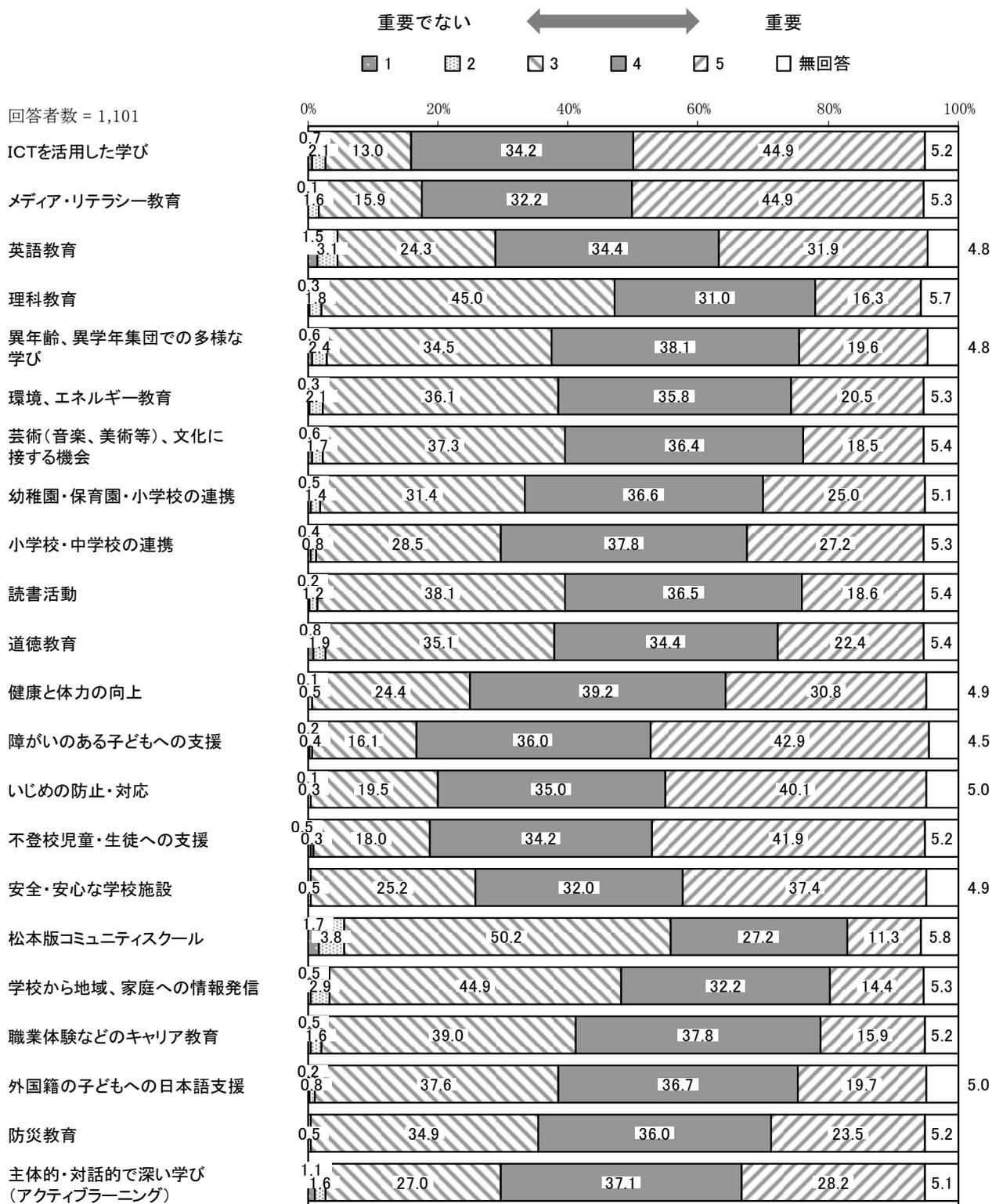
㉒主体的・対話的で深い学び（アクティブラーニング）

学校種別でみると、他に比べ、高等学校で“十分と感じる”の割合が低く、約1割となっています。



2. 今後の重要度

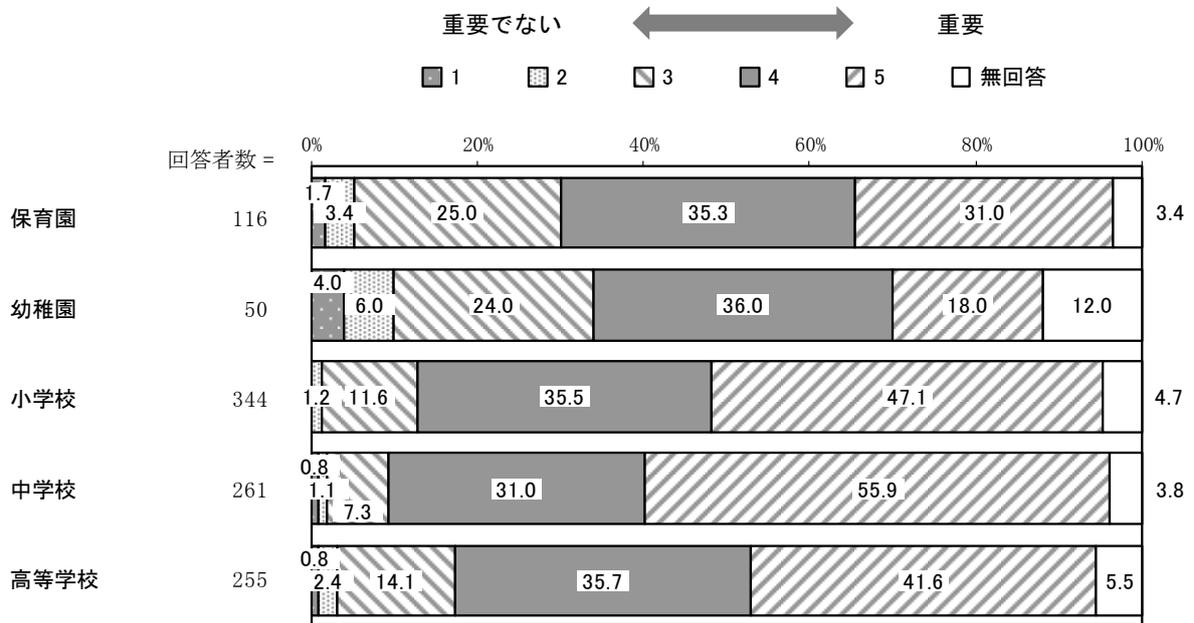
『ICTを活用した学び』『メディア・リテラシー教育』『障がいのある子どもへの支援』で「4」と「5」をあわせた“重要”の割合が高く、約8割となっています。また、『松本版コミュニティスクール』で“重要”の割合が低く、約4割となっています。



【学校種別】

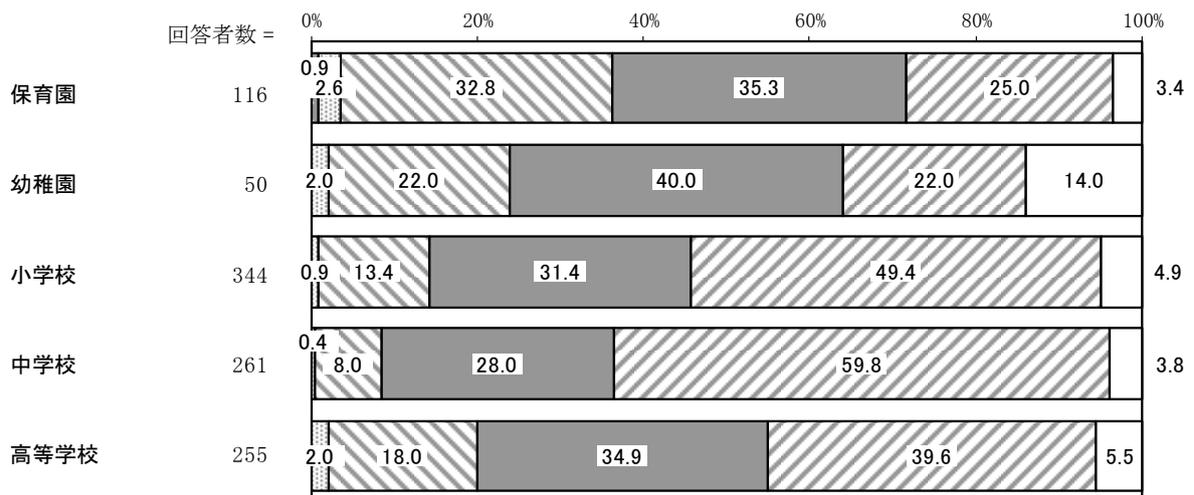
① ICTを活用した学び

学校種別でみると、他に比べ、幼稚園で“重要でない”の割合が高く、1割となっています。また、中学校で“重要”の割合が高く、8割半ばとなっています。



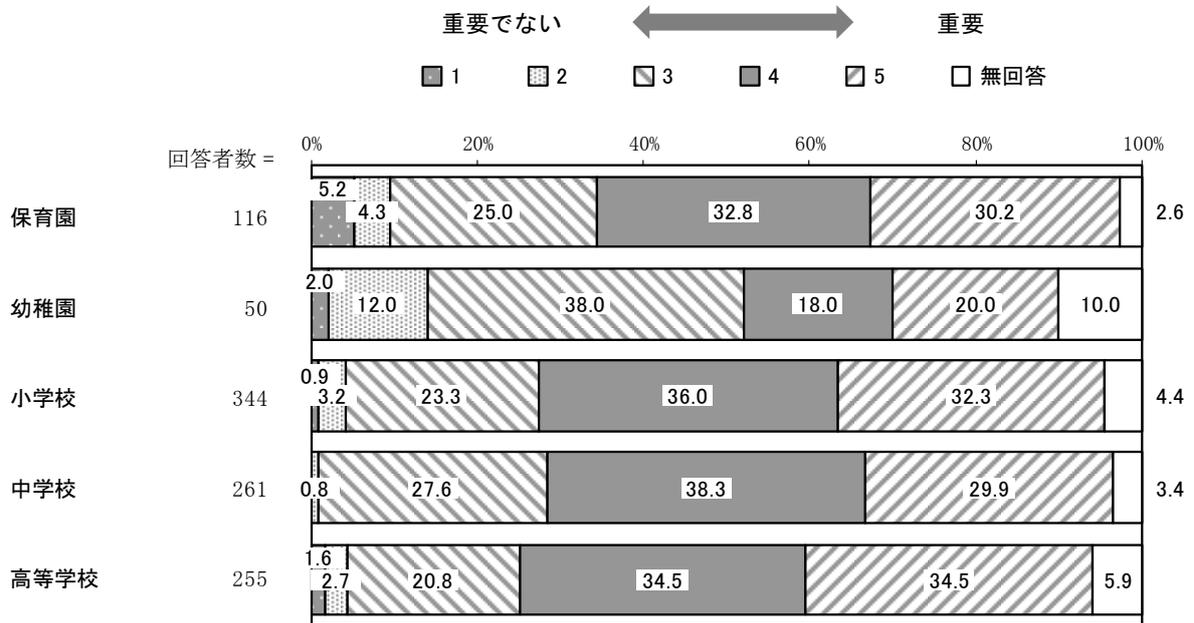
②メディア・リテラシー教育

学校種別でみると、他に比べ、中学校で“重要”の割合が高く、約9割となっています。



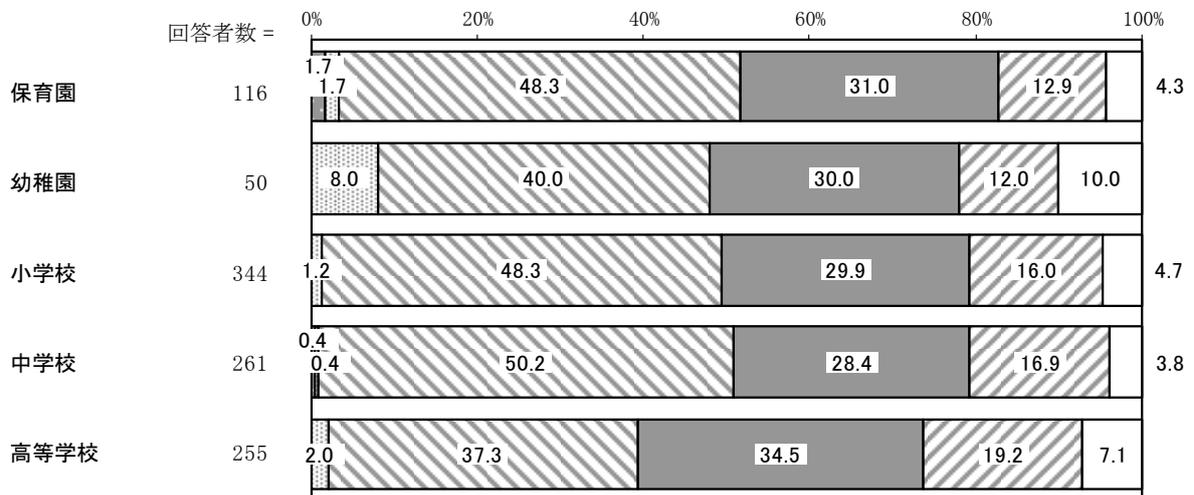
③英語教育

学校種別でみると、他に比べ、幼稚園で“重要でない”の割合が高く、1割半ばとなっています。



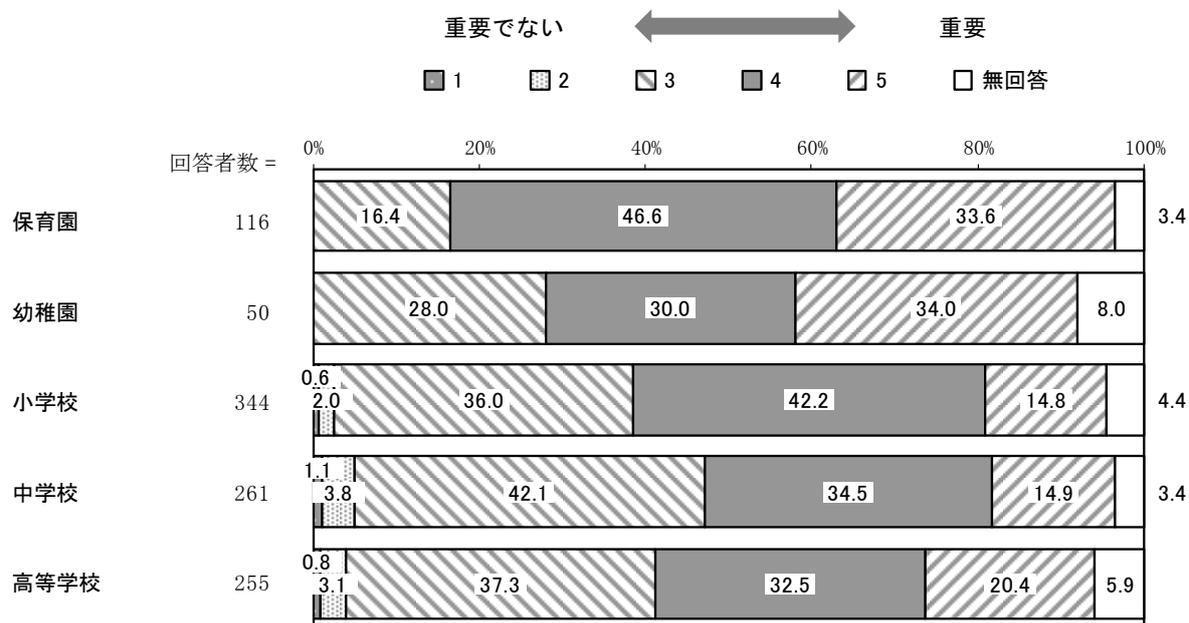
④理科教育

学校種別でみると、他に比べ、高等学校で“重要”の割合が高く、約5割となっています。



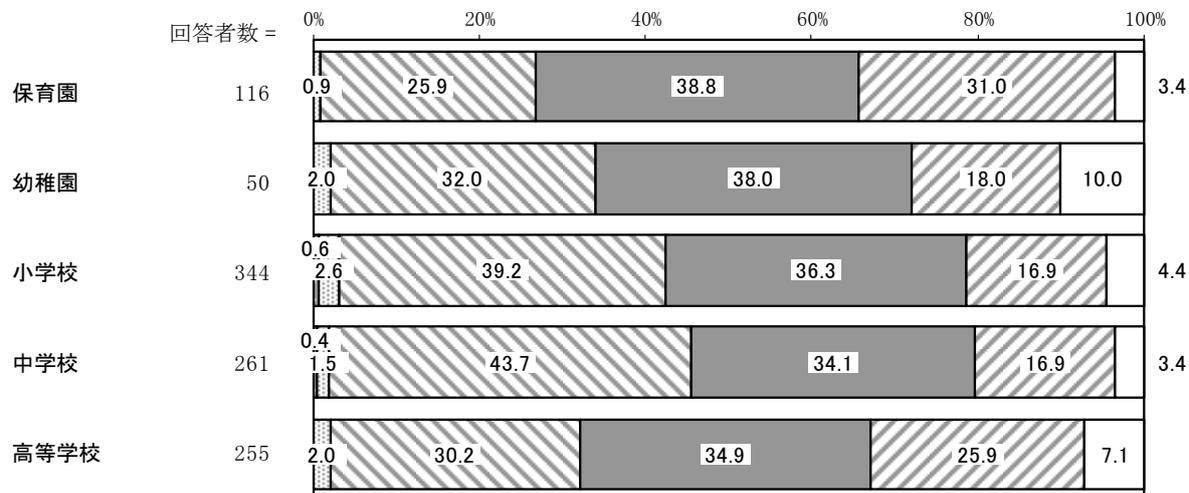
⑤異年齢、異学年集団での多様な学び

学校種別でみると、他に比べ、保育園で“重要”の割合が高く、約8割となっています。



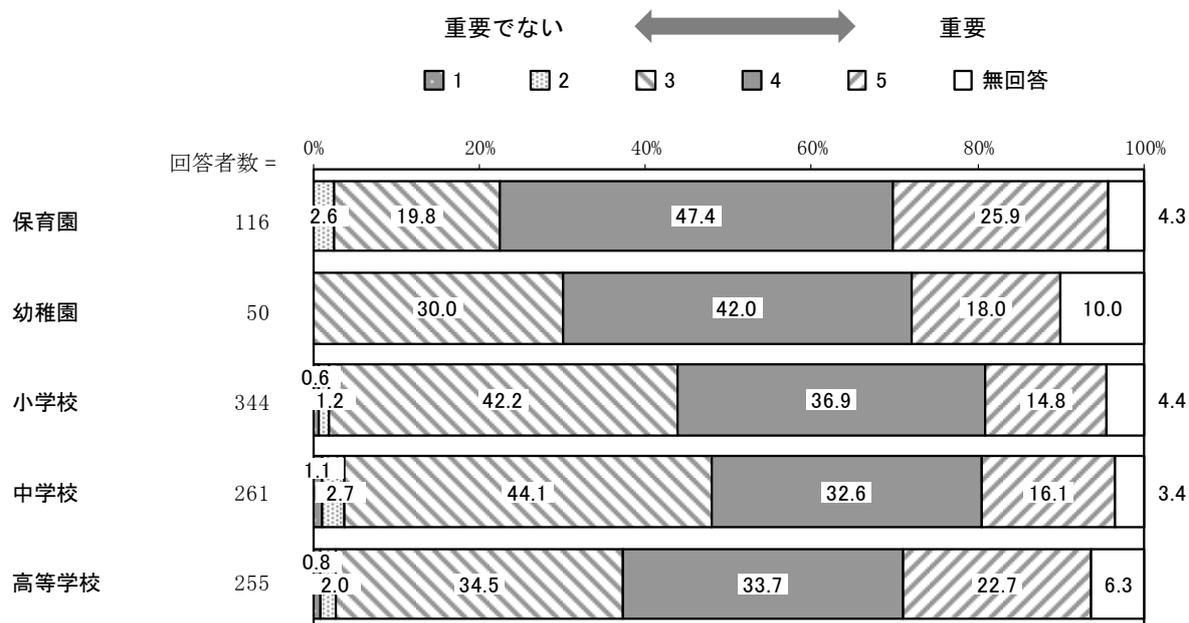
⑥環境、エネルギー教育

学校種別でみると、他に比べ、保育園で“重要”の割合が高く、約7割となっています。



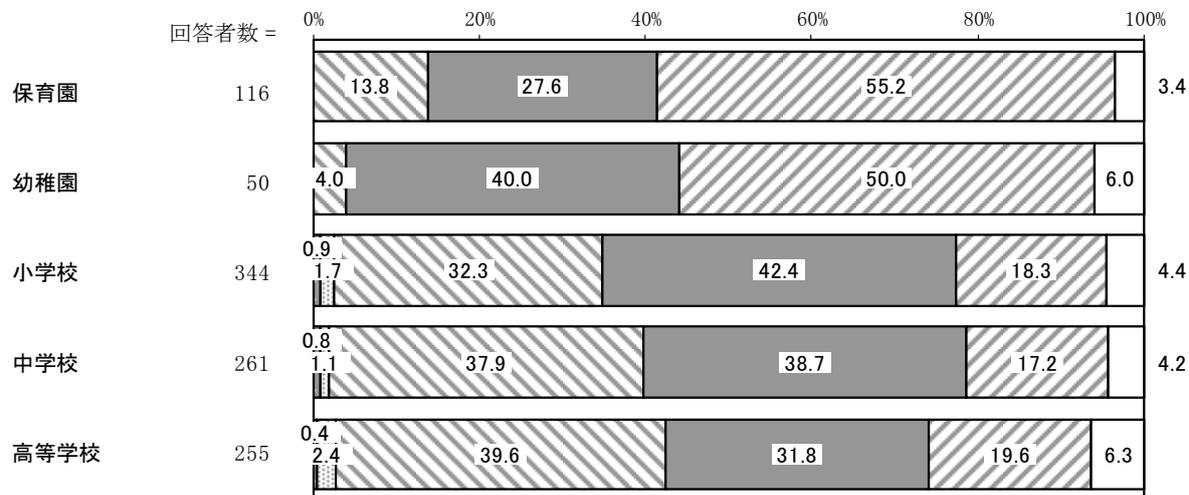
⑦芸術（音楽、美術等）、文化に接する機会

学校種別でみると、他に比べ、保育園で“重要”の割合が高く、約7割となっています。



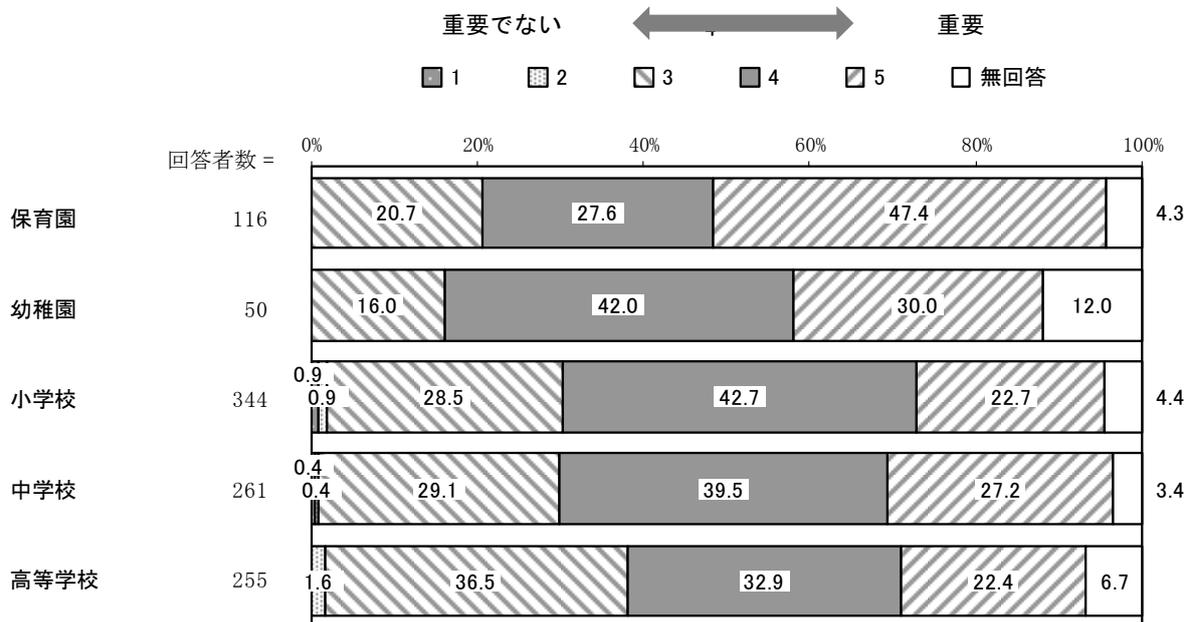
⑧幼稚園・保育園・小学校の連携

学校種別でみると、他に比べ、幼稚園で“重要”の割合が高く、9割となっています。



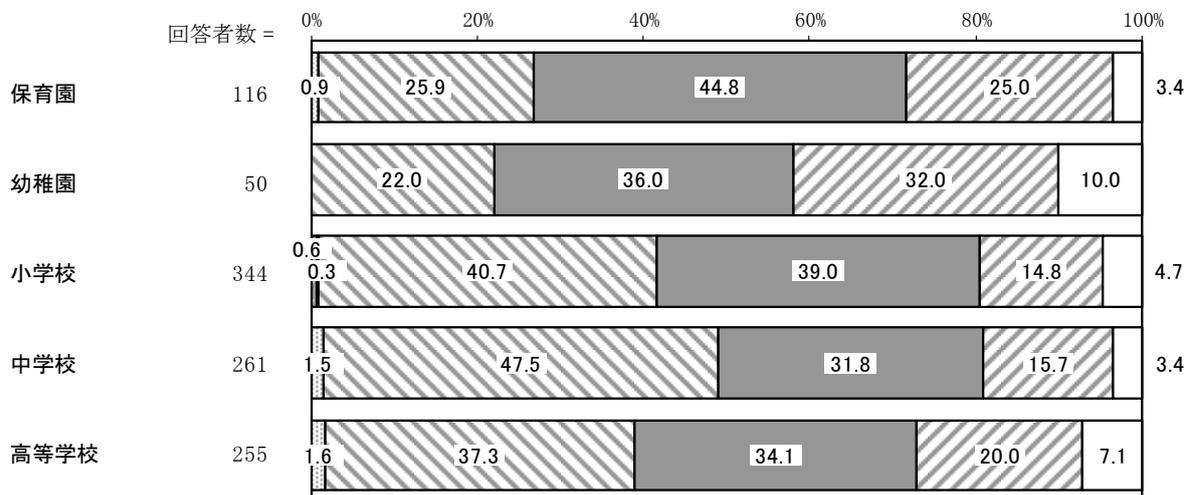
⑨小学校・中学校の連携

学校種別でみると、他に比べ、保育園で“重要”の割合が高く、7割半ばとなっています。



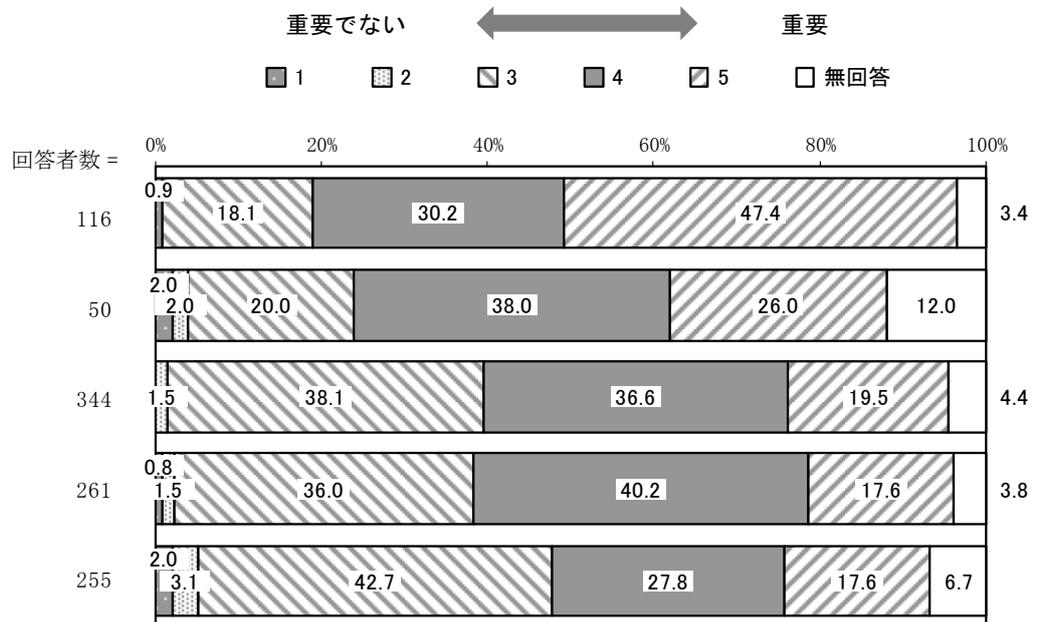
⑩読書活動

学校種別でみると、他に比べ、保育園で“重要”の割合が高く、約7割となっています。



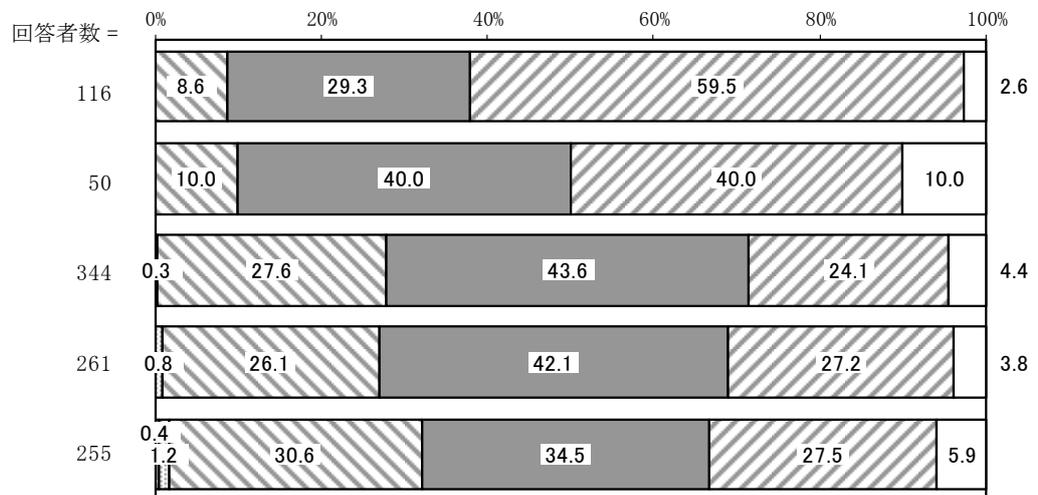
⑪ 道徳教育

学校種別で見ると、他に比べ、保育園で“重要”の割合が高く、約8割となっています。



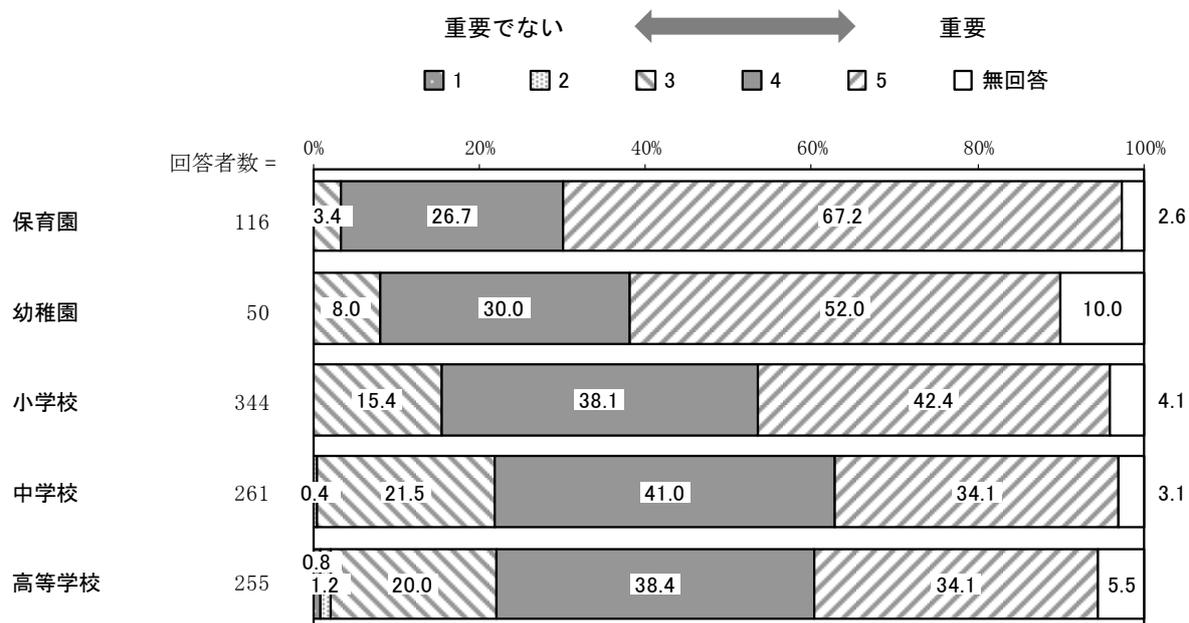
⑫ 健康と体力の向上

学校種別で見ると、他に比べ、保育園で“重要”の割合が高く、約9割となっています。



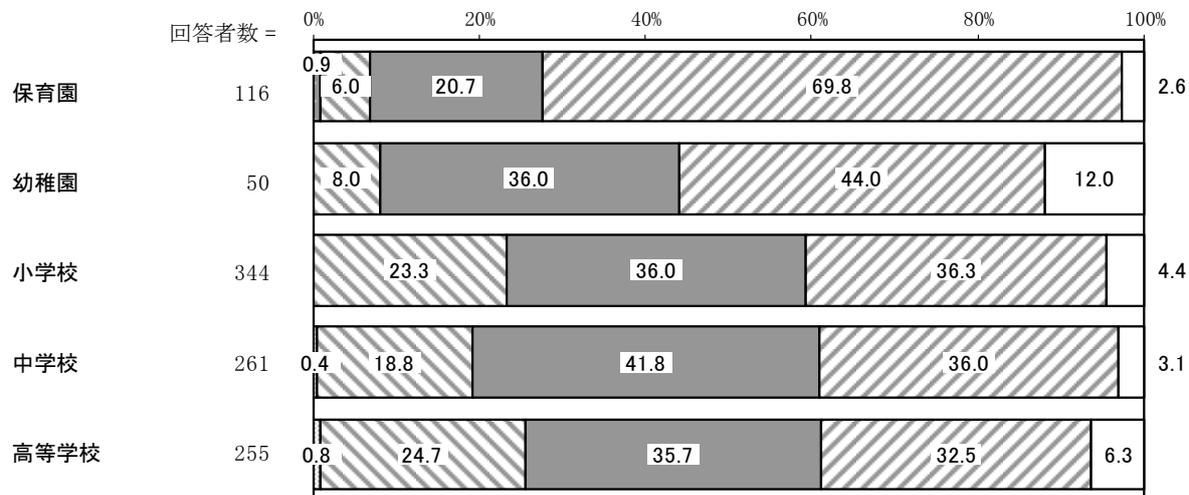
⑬障がいのある子どもへの支援

学校種別でみると、他に比べ、保育園で“重要”の割合が高く、約9割となっています。



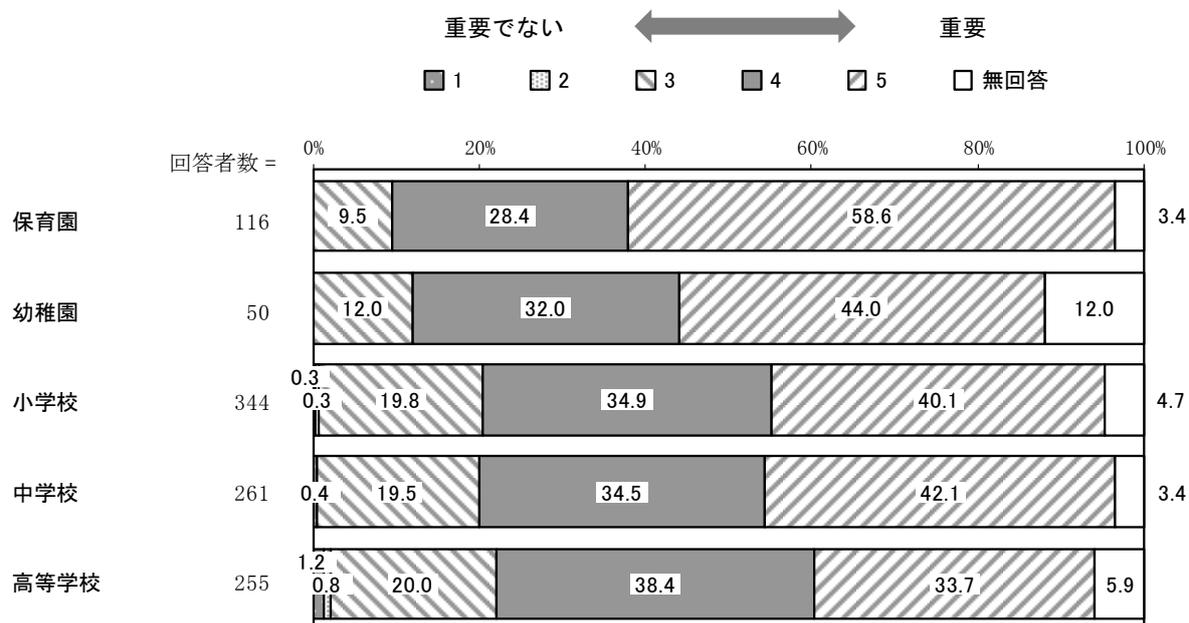
⑭いじめの防止・対応

学校種別でみると、他に比べ、保育園で“重要”の割合が高く、約9割となっています。



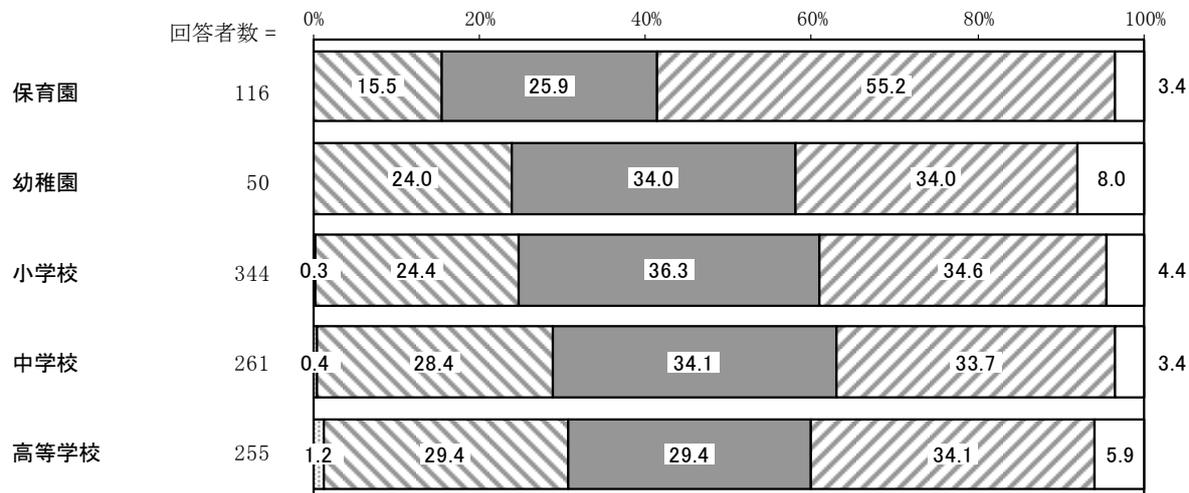
⑮不登校児童・生徒への支援

学校種別でみると、他に比べ、保育園で“重要”の割合が高く、約9割となっています。



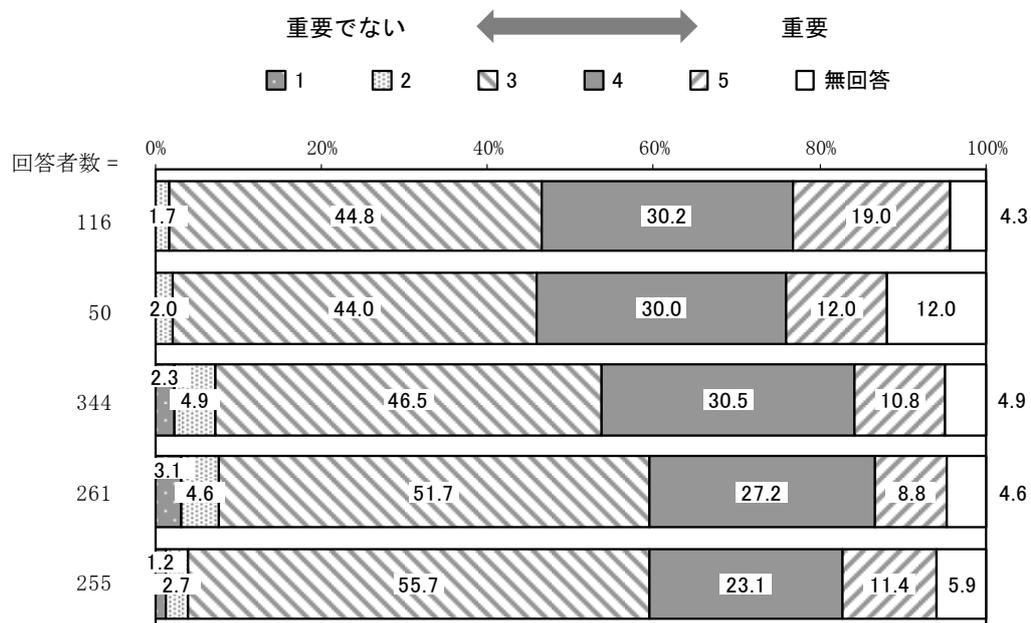
⑯安全・安心な学校施設

学校種別でみると、他に比べ、保育園で“重要”の割合が高く、約9割となっています。



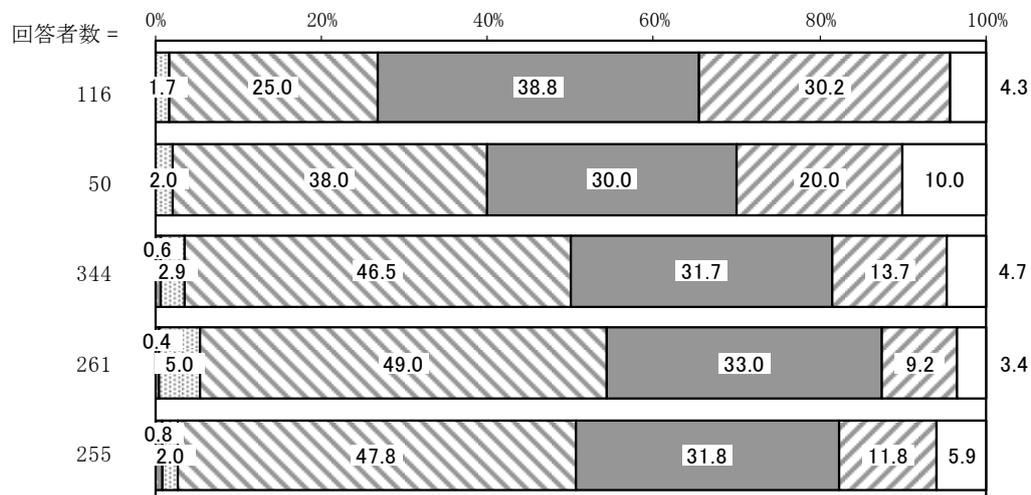
⑰松本版コミュニティスクール

学校種別でみると、他に比べ、保育園で“重要”の割合が高く、約5割となっています。



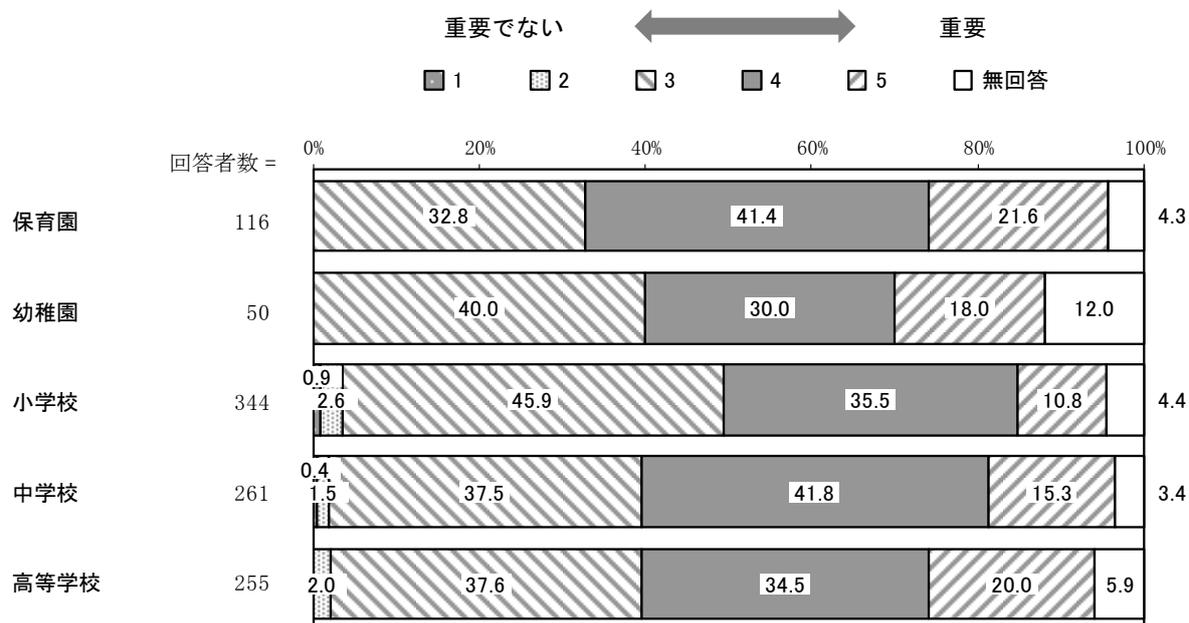
⑱学校から地域、家庭への情報発信

学校種別でみると、他に比べ、保育園で“重要”の割合が高く、約7割となっています。



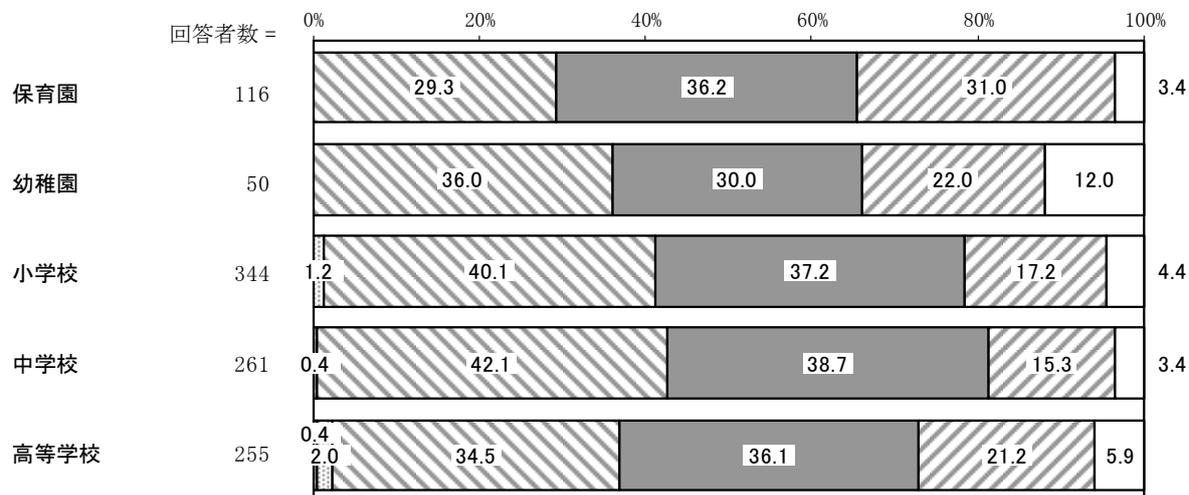
⑱職業体験などのキャリア教育

学校種別でみると、他に比べ、保育園で“重要”の割合が高く、約6割となっています。



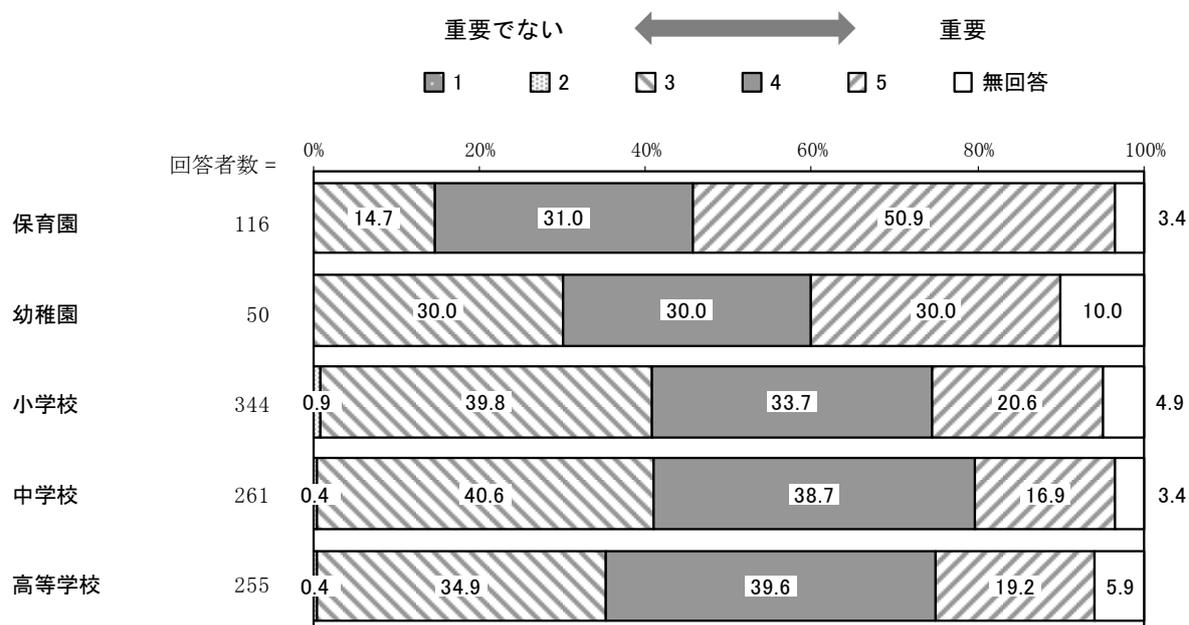
⑳外国籍の子どもへの日本語支援

学校種別でみると、他に比べ、保育園で“重要”の割合が高く、約7割となっています。



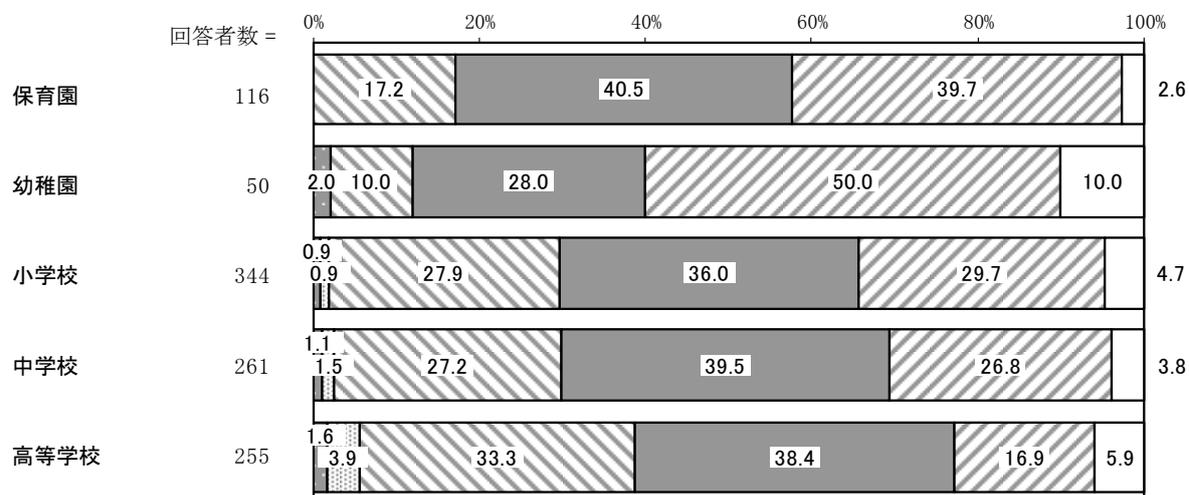
⑪防災教育

学校種別でみると、他に比べ、保育園で“重要”の割合が高く、約8割となっています。



⑫主体的・対話的で深い学び（アクティブラーニング）

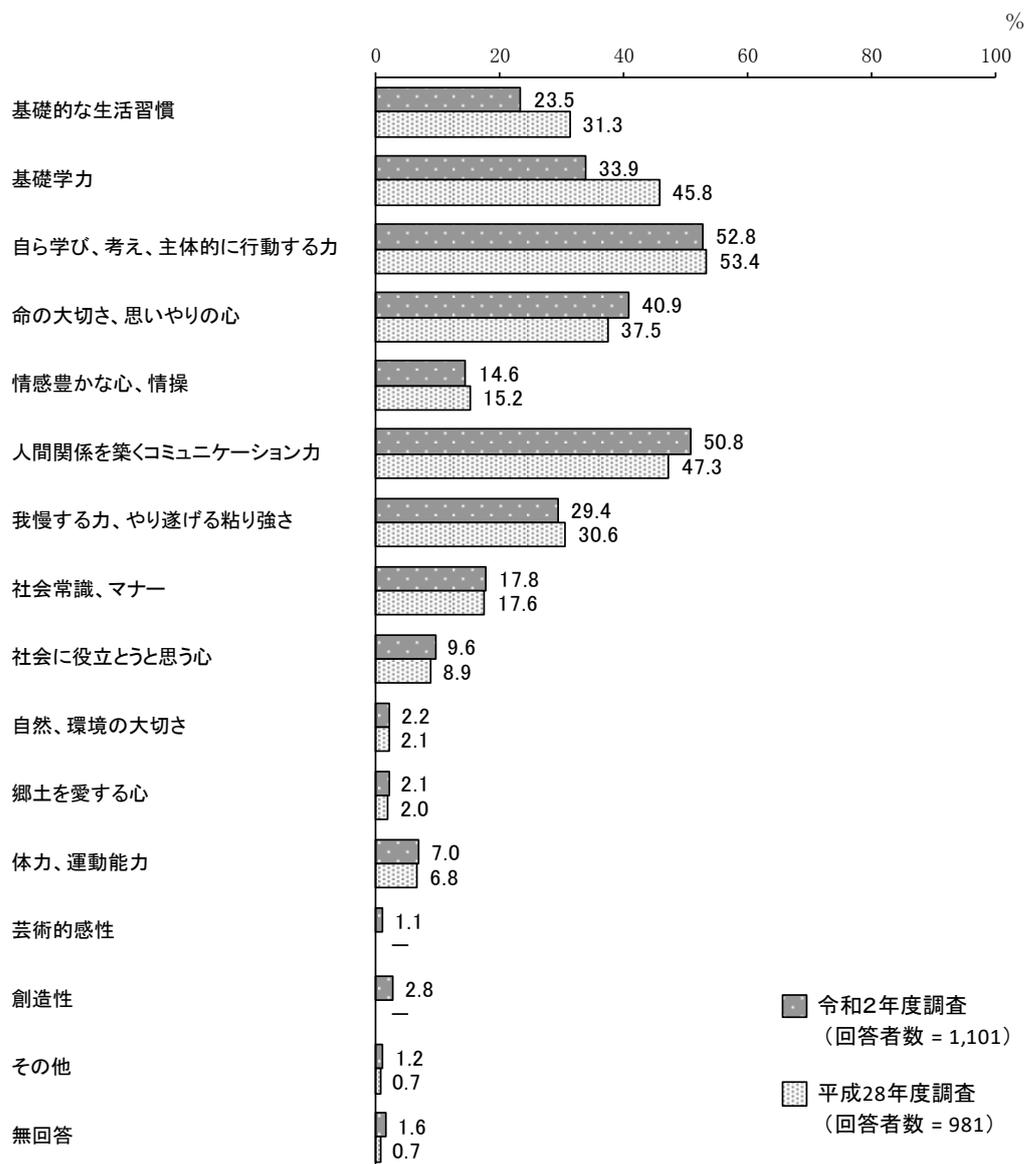
学校種別でみると、他に比べ、保育園で“重要”の割合が高く、約8割となっています。



問 11 あなたが、学校教育等で特に子どもたちに学んでほしいこと3つ以内を選んでください。

「自ら学び、考え、主体的に行動する力」の割合が52.8%と最も高く、次いで「人間関係を築くコミュニケーション力」の割合が50.8%、「命の大切さ、思いやりの心」の割合が40.9%となっています。

平成28年度調査と比較すると、「基礎的な生活習慣」「基礎学力」の割合が減少しています。



※平成28年度調査では「芸術的感性」「創造性」の選択肢がありません。

【学校種別】

学校種別でみると、他に比べ、幼稚園で「自ら学び、考え、主体的に行動する力」の割合が高く、約9割となっています。

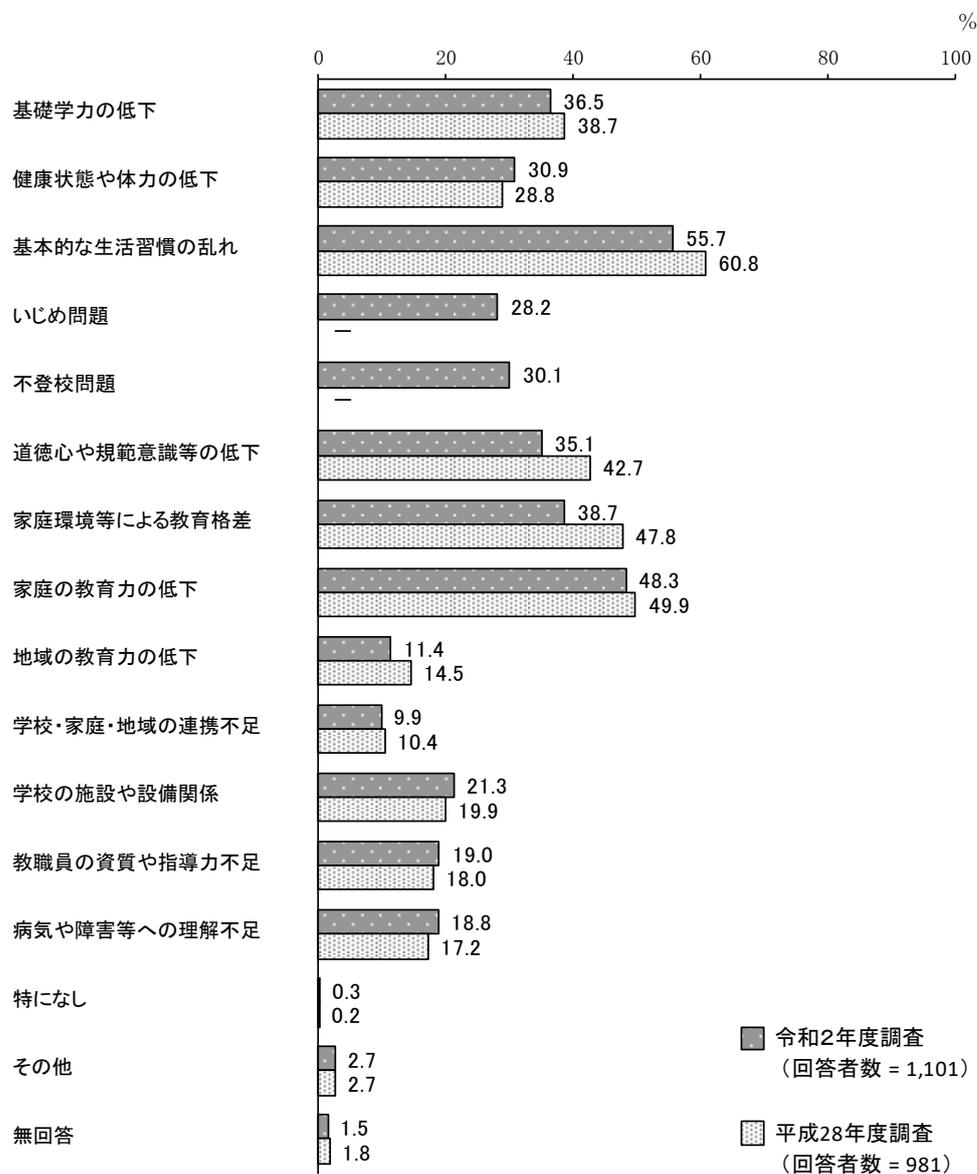
単位：%

区分	回答者数(件)	基礎的な生活習慣	基礎学力	自ら学び、考え、主体的に行動する力	命の大切さ、思いやりの心	情感豊かな心、情操	人間関係を築くコミュニケーション力	我慢する力、やり遂げる粘り強さ	社会常識、マナー	社会に役立つと思う心	自然、環境の大切さ	郷土を愛する心	体力、運動能力	芸術的感性	創造性	その他	無回答
保育園	116	24.1	25.0	59.5	53.4	12.9	48.3	31.9	24.1	1.7	2.6	1.7	7.8	—	3.4	—	—
幼稚園	50	24.0	12.0	88.0	30.0	36.0	56.0	24.0	6.0	—	2.0	4.0	10.0	—	—	2.0	—
小学校	344	21.2	36.9	52.9	41.9	15.7	54.4	31.1	15.4	10.5	0.9	2.3	4.9	0.6	2.0	1.5	1.2
中学校	261	20.3	31.4	51.0	41.0	12.6	55.2	34.1	16.9	10.0	1.5	1.5	7.3	0.8	3.1	1.1	1.9
高等学校	255	30.2	42.4	43.5	37.6	11.0	42.0	22.7	22.4	12.5	4.7	2.7	7.1	2.4	4.3	1.6	2.0

問 12 子どもの教育に関して課題は何だと思えますか。(あてはまるものすべてに○)

「基本的な生活習慣の乱れ」の割合が 55.7%と最も高く、次いで「家庭の教育力の低下」の割合が 48.3%、「家庭環境等による教育格差」の割合が 38.7%となっています。

平成 28 年度調査と比較すると、「基本的な生活習慣の乱れ」「道徳心や規範意識等の低下」「家庭環境等による教育格差」の割合が減少しています。



※平成 28 年度調査では「いじめ問題」「不登校問題」の選択肢がありません。

【学校種別】

学校種別でみると、他に比べ、中学校で「家庭の教育力の低下」の割合が高く、5割半ばとなっています。また、保育園で「いじめ問題」の割合が、中学校、高等学校で「基礎学力の低下」の割合が高くなっています。

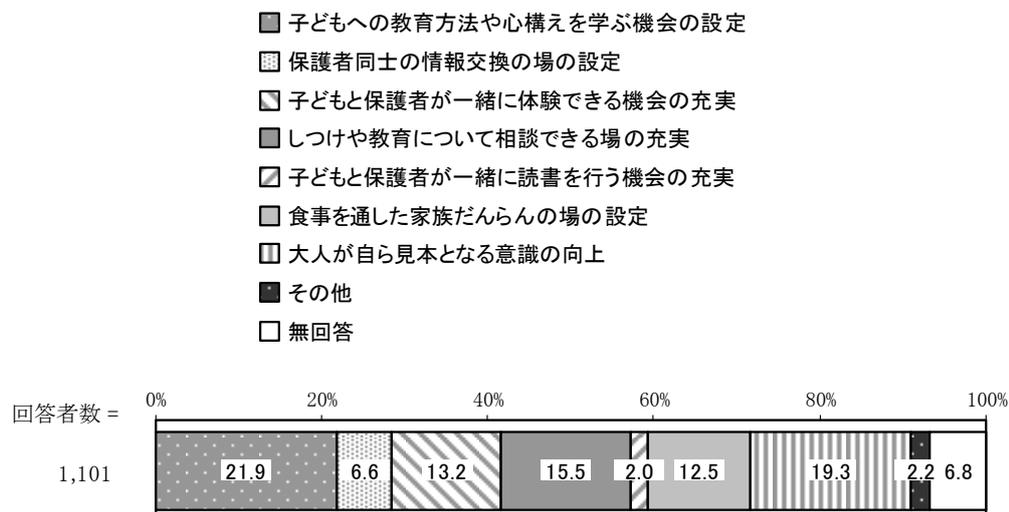
単位：％

区分	回答者数(件)	基礎学力の低下	健康状態や体力の低下	基本的な生活習慣の乱れ	いじめ問題	不登校問題	道徳心や規範意識等の低下	家庭環境等による教育格差	家庭の教育力の低下	地域の教育力の低下	学校・家庭・地域の連携不足	学校の施設や設備関係	教職員の資質や指導力不足	病気や障害等への理解不足	特になし	その他	無回答
保育園	116	27.6	40.5	61.2	50.0	24.1	33.6	34.5	33.6	6.0	12.9	6.0	18.1	21.6	0.9	1.7	—
幼稚園	50	16.0	32.0	68.0	34.0	20.0	40.0	28.0	40.0	18.0	16.0	4.0	18.0	22.0	—	4.0	2.0
小学校	344	32.0	32.8	58.7	23.0	28.8	39.5	41.0	52.0	11.6	8.7	25.6	18.3	16.3	—	3.2	1.2
中学校	261	42.5	27.6	51.7	28.0	37.2	35.6	37.5	56.3	10.7	7.3	27.2	17.2	17.6	0.4	3.8	1.1
高等学校	255	46.3	27.5	49.8	25.5	31.4	27.1	40.4	47.5	13.7	11.4	20.8	20.8	16.9	0.4	2.0	1.6

(3) 家庭や地域の教育について

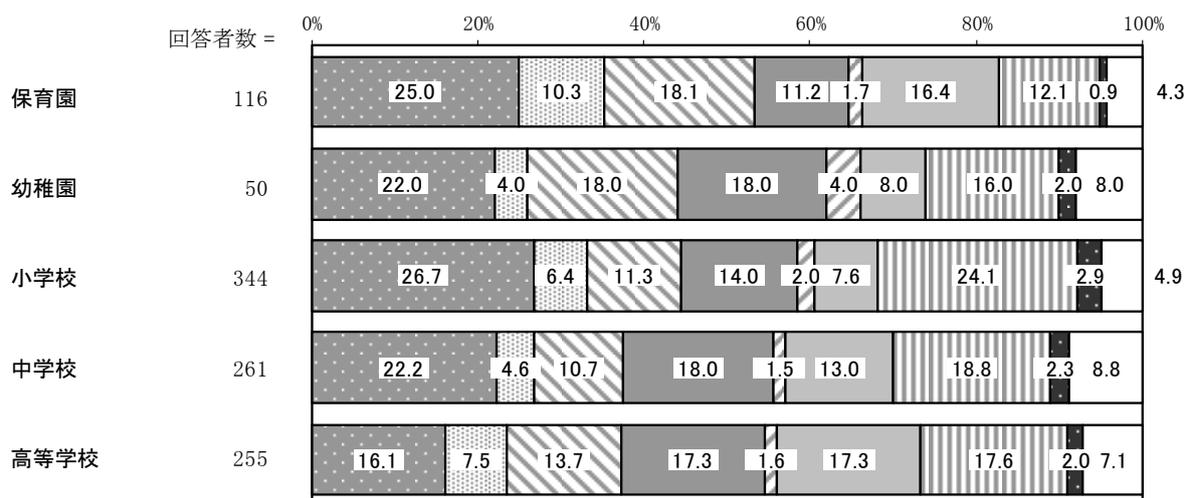
問 13 あなたは、家庭での教育力向上にどのような取組みが必要だと思いますか。
(最もあてはまるもの1つに○)

「子どもへの教育方法や心構えを学ぶ機会の設定」の割合が21.9%と最も高く、次いで「大人が自ら見本となる意識の向上」の割合が19.3%、「しつけや教育について相談できる場の充実」の割合が15.5%となっています。



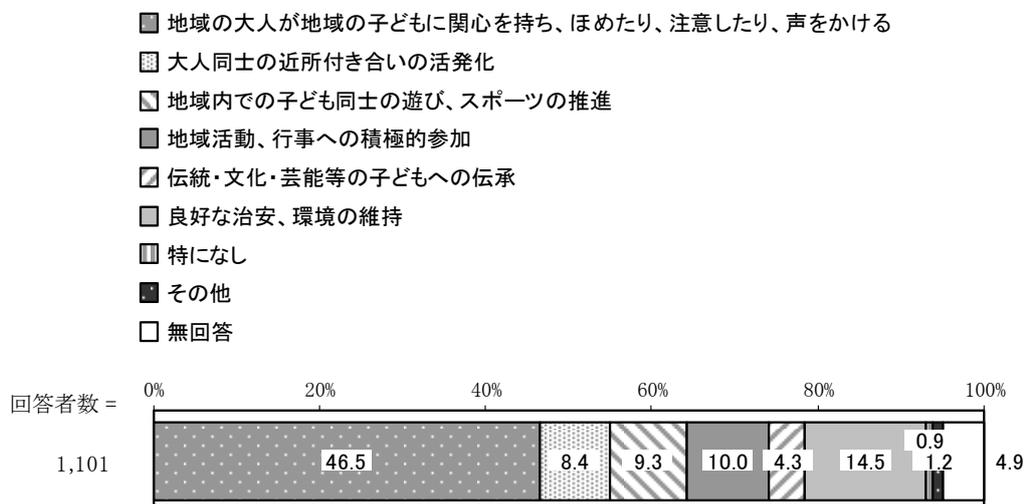
【学校種別】

学校種別でみると、他に比べ、小学校で「大人が自ら見本となる意識の向上」の割合が高く、2割半ばとなっています。



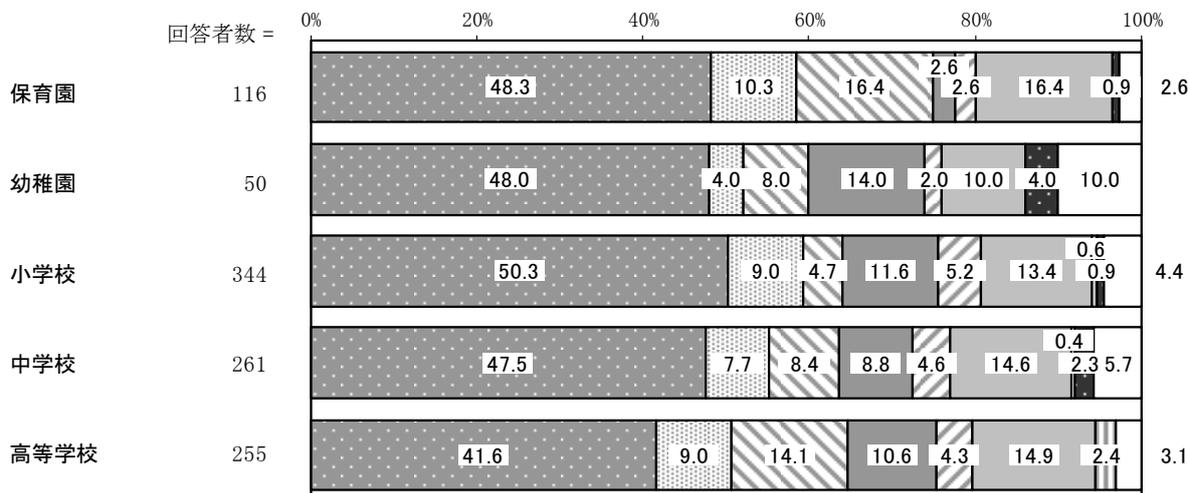
問 14 あなたは、地域で子どもを育てるためにはどのような取り組みが必要だと思いますか。(最もあてはまるもの1つに○)

「地域の大人が地域の子どもの関心を持ち、ほめたり、注意したり、声をかける」の割合が46.5%と最も高く、次いで「良好な治安、環境の維持」の割合が14.5%、「地域活動、行事への積極的参加」の割合が10.0%となっています。



【学校種別】

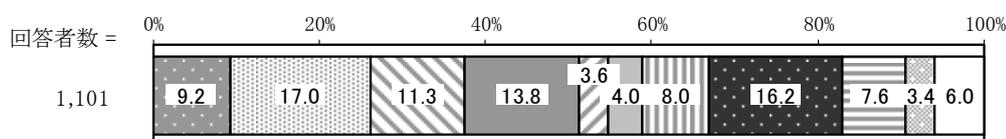
学校種別でみると、他に比べ、保育園、高等学校で「地域内での子ども同士の遊び、スポーツの推進」の割合が高く、1割半ばとなっています。



問 15 あなたは、学校、家庭、地域が連携協力するためには何が重要だと思いますか。
(最もあてはまるもの1つに○)

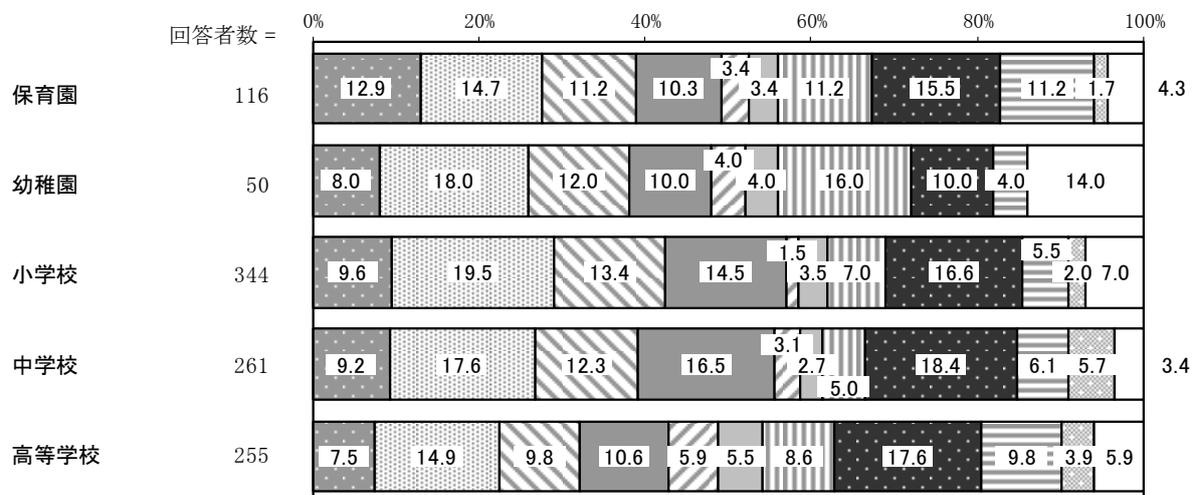
「子どもの地域行事等への積極的な参加」の割合が17.0%と最も高く、次いで「保護者の参画意識の向上」の割合が16.2%、「学校の授業への地域住民の協力」の割合が13.8%となっています。

- 運動会等の学校行事に保護者や地域住民の協力
- 子どもの地域行事等への積極的な参加
- 学校、保護者、地域住民の話し合いの機会
- 学校の授業への地域住民の協力
- 学校施設の地域への開放
- 学校開放日等の設置による地域の人々の学校参観
- 学校から保護者や地域への情報提供
- 保護者の参画意識の向上
- 地域行事に参加できるような工夫
- その他
- 無回答



【学校種別】

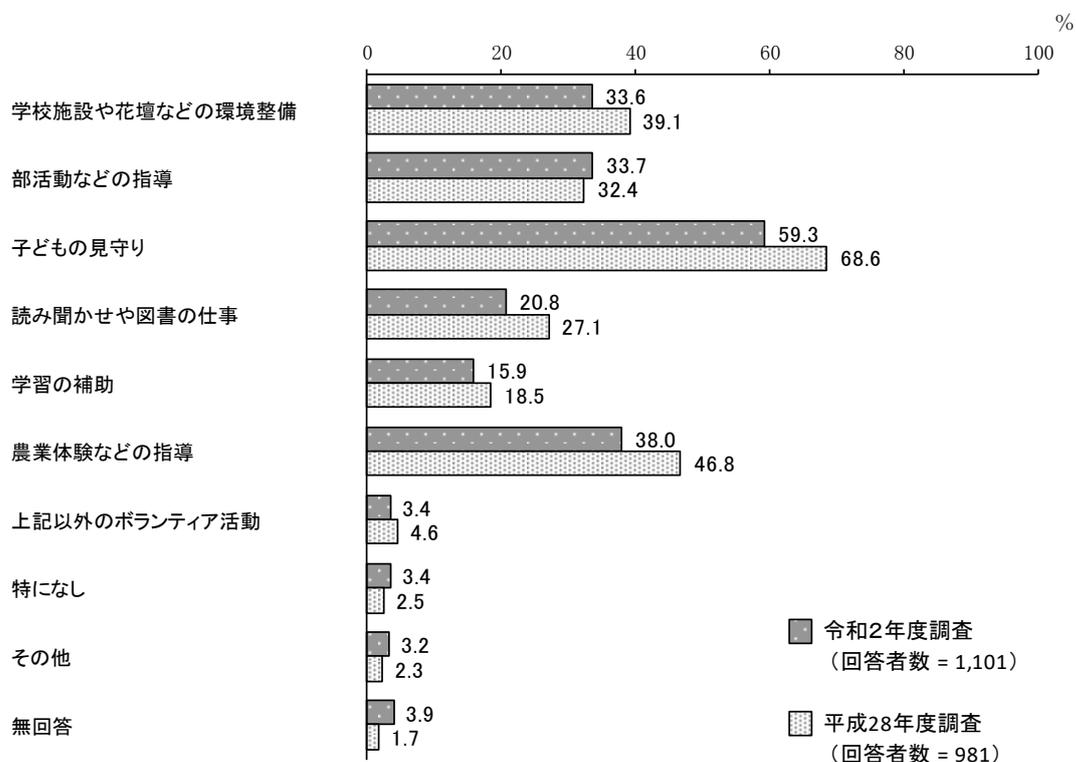
学校種別でみると、他に比べ、幼稚園で「学校から保護者や地域への情報提供」の割合が高く、1割半ばとなっています。



問 16 学校等が、地域に協力してもらいたいことがありますか。
(あてはまるものすべてに○)

「子どもの見守り」の割合が59.3%と最も高く、次いで「農業体験などの指導」の割合が38.0%、「部活動などの指導」の割合が33.7%となっています。

平成28年度調査と比較すると、「学校施設や花壇などの環境整備」「子どもの見守り」「読み聞かせや図書の仕事」「農業体験などの指導」の割合が減少しています。



【学校種別】

学校種別で見ると、他に比べ、保育園で「子どもの見守り」の割合が高く、7割半ばとなっています。また、幼稚園で「農業体験などの指導」の割合が、中学校で「部活動などの指導」の割合が高く、5割半ばとなっています。

単位：%

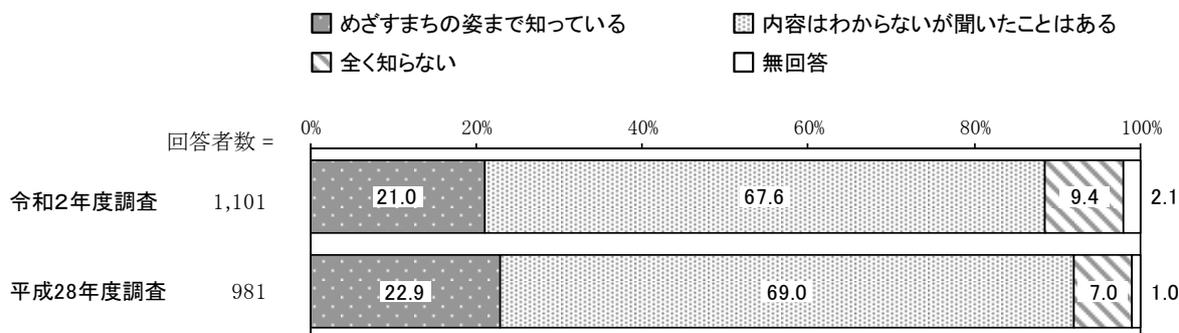
区分	回答者数(件)	学校施設や花壇などの環境整備	部活動などの指導	子どもの見守り	読み聞かせや図書の仕事	学習の補助	農業体験などの指導	上記以外のボランティア活動	特になし	その他	無回答
保育園	116	34.5	9.5	73.3	17.2	4.3	46.6	1.7	2.6	—	1.7
幼稚園	50	22.0	8.0	58.0	18.0	8.0	56.0	2.0	—	2.0	12.0
小学校	344	43.0	27.6	71.2	33.4	20.3	48.0	4.7	2.0	2.3	3.2
中学校	261	41.0	55.2	55.2	19.9	24.9	32.2	3.1	2.3	4.6	2.7
高等学校	255	14.5	37.6	45.5	6.3	8.2	21.6	2.7	7.1	5.1	4.7

(4) その他

問 17 松本市が「学都松本」をめざしていることを知っていますか。

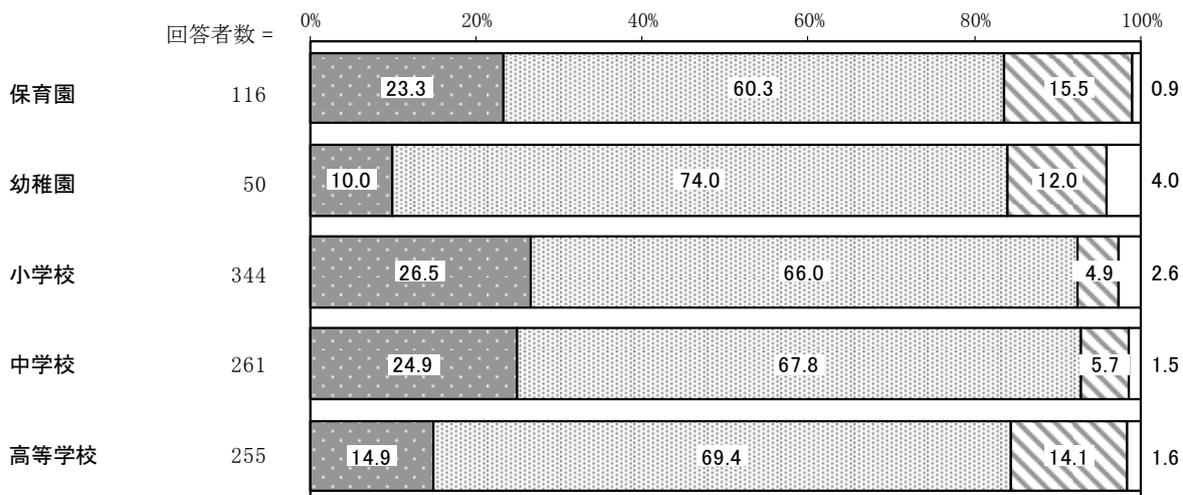
「内容はわからないが聞いたことはある」の割合が 67.6%と最も高く、次いで「めざすまちの姿まで知っている」の割合が 21.0%となっています。

平成 28 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



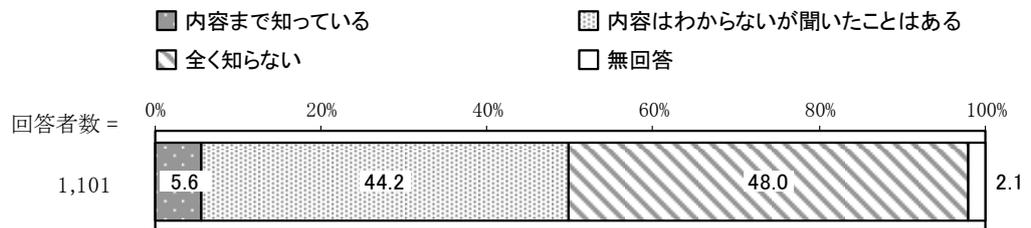
【学校種別】

学校種別でみると、他に比べ、保育園、高等学校で「全く知らない」の割合が高く、1割半ばとなっています。



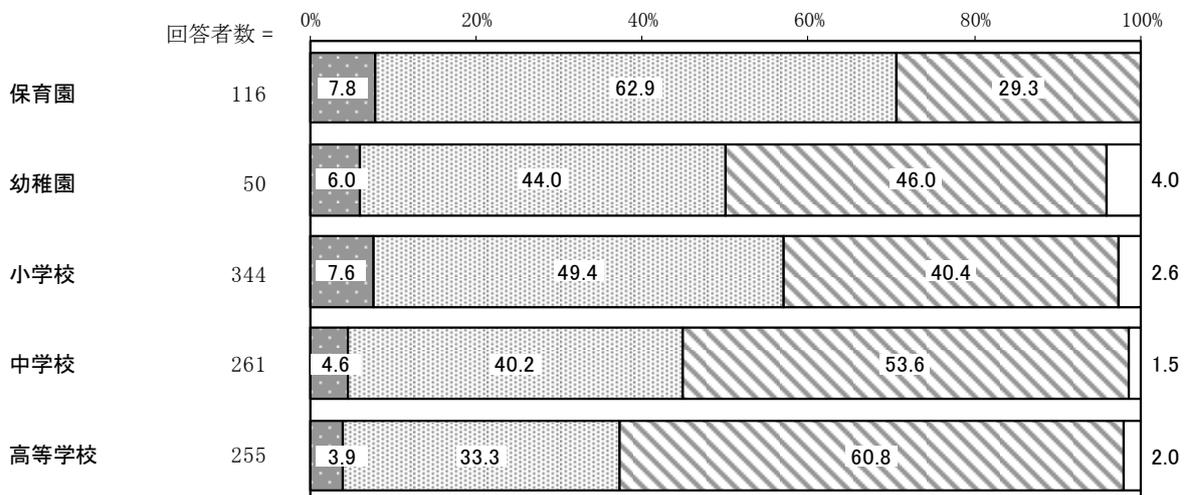
問 18 あなたは、「まつもと市民生きいき活動」を知っていますか。

「全く知らない」の割合が 48.0%と最も高く、次いで「内容はわからないが聞いたことはある」の割合が 44.2%となっています。



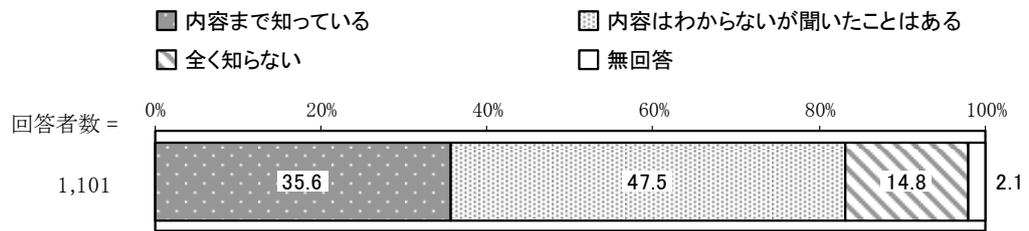
【学校種別】

学校種別でみると、他に比べ、保育園で「内容はわからないが聞いたことはある」の割合が、高等学校で「全く知らない」の割合が高く、約6割となっています。



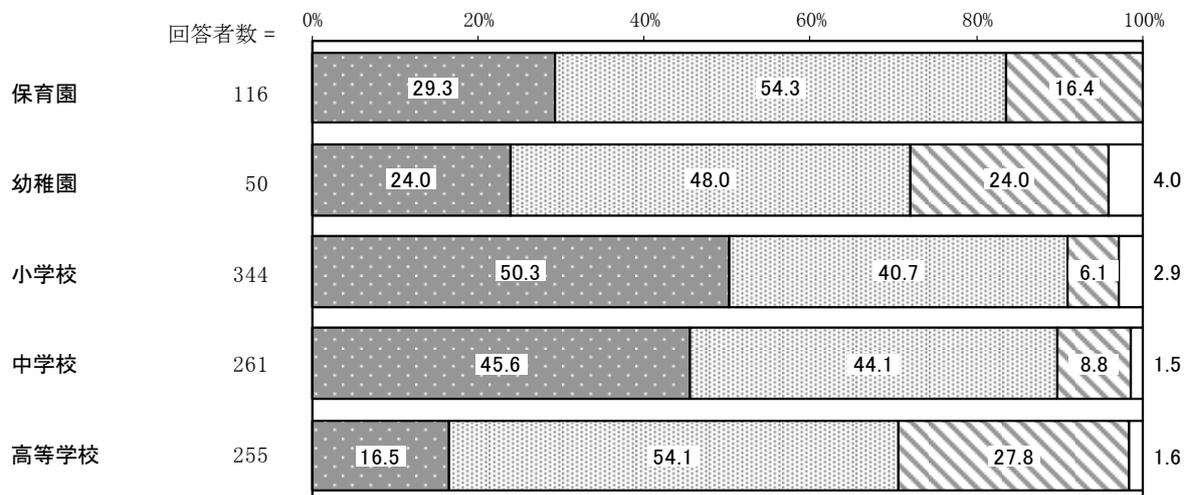
問 19 あなたは、「松本市子どもの権利に関する条例」を知っていますか。

「内容はわからないが聞いたことはある」の割合が 47.5%と最も高く、次いで「内容まで知っている」の割合が 35.6%、「全く知らない」の割合が 14.8%となっています。



【学校種別】

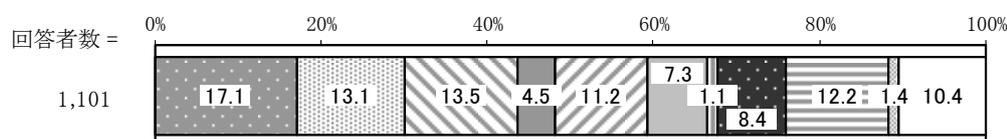
学校種別でみると、他に比べ、小学校で「内容まで知っている」の割合が高く、約5割となっています。また、高等学校で「全く知らない」の割合が高く、約3割となっています。



問 20 新型コロナウイルス感染症が今後も子どもたちの教育に大きな影響を及ぼす可能性があります。現在の状況下における松本市の子どもたちの教育について不安を感じていることは何ですか。（最もあてはまるもの1つに○）

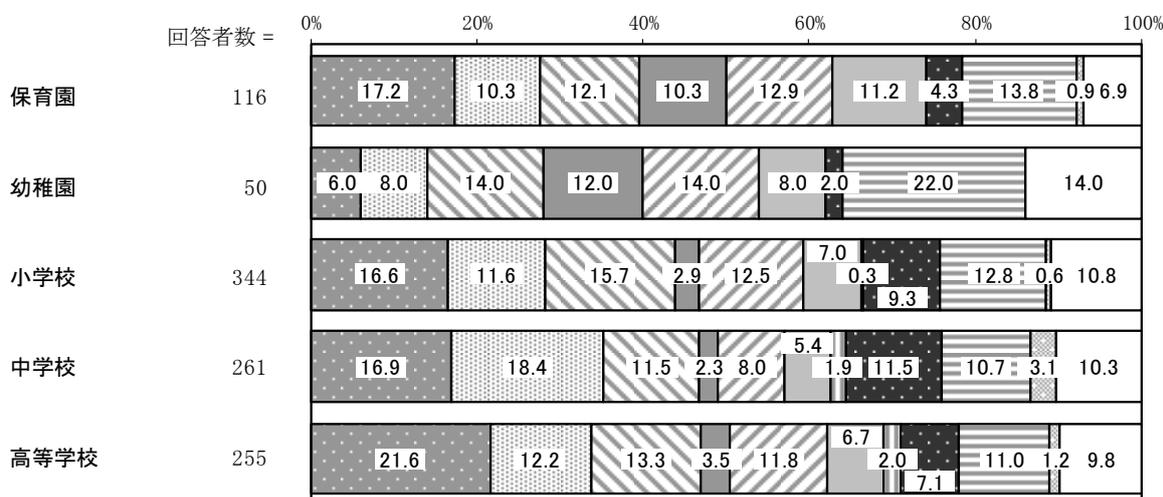
「学習保障に関すること」の割合が17.1%と最も高く、次いで「心のケアに関すること」の割合が13.5%、「学校での感染症対策に関すること」の割合が13.1%となっています。

- 学習保障に関すること
- 心のケアに関すること
- 生活習慣のみだれに関すること
- 部活動に関すること
- 対面によるコミュニケーションの機会減少に関すること
- 無回答
- 学校での感染症対策に関すること
- 運動不足・体力の低下に関すること
- 学校行事に関すること
- ICT 環境整備・オンライン指導に関すること
- その他



【学校種別】

学校種別でみると、他に比べ、高等学校で「学習保障に関すること」の割合が、中学校で「学校での感染症対策に関すること」の割合が、幼稚園で「対面によるコミュニケーションの機会減少に関すること」の割合が高く、約2割となっています。



問 21 松本市の学校教育について、ご意見があればお書きください。

今回の調査で自由な意見・要望を聞いたところ、延べ 309 件の意見が得られました。内訳は以下のとおりになっています。

項 目	件数
1. 子どもの学び、育ちについて	41
2. 教職員、教育環境等について	124
3. 子どもの教育について	35
4. 親の責務について	3
5. コミュニケーションについて	3
6. モラルについて	1
7. 安全対策について	6
8. 文化活動や地域行事などについて	4
9. 教育施設等について	5
10. その他	87
合 計	309

問 22 松本市の生涯学習、社会教育について、ご意見があればお書きください。

今回の調査で自由な意見・要望を聞いたところ、延べ 91 件の意見が得られました。内訳は以下のとおりになっています。

項 目	件数
1. 生涯学習活動について	18
2. 市が実施している生涯学習事業について	4
3. 人材について	4
4. 知能や技能の活用について	1
5. 家庭環境について	3
6. 参加したい生涯学習教室の内容について	16
7. 情報について	6
8. 学び直しについて	1
9. 公民館活動について	4
10. その他の施設について	4
11. その他	30
合 計	91

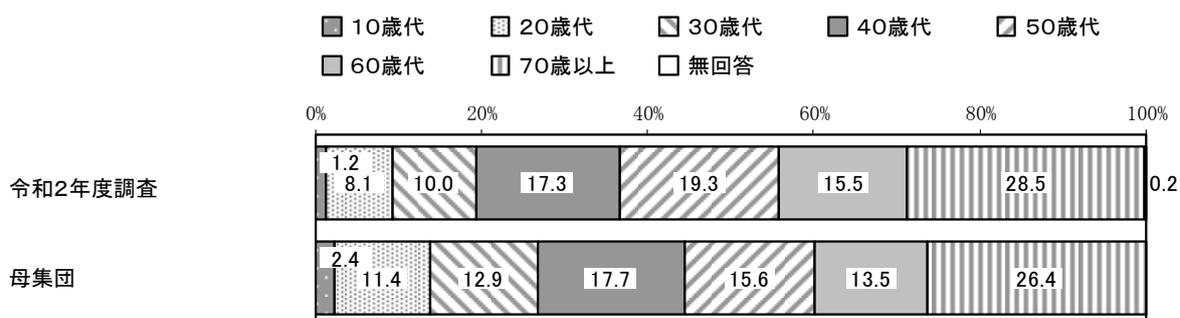
5 一般調査

(1) 回答者属性

問1 あなたは何歳ですか。

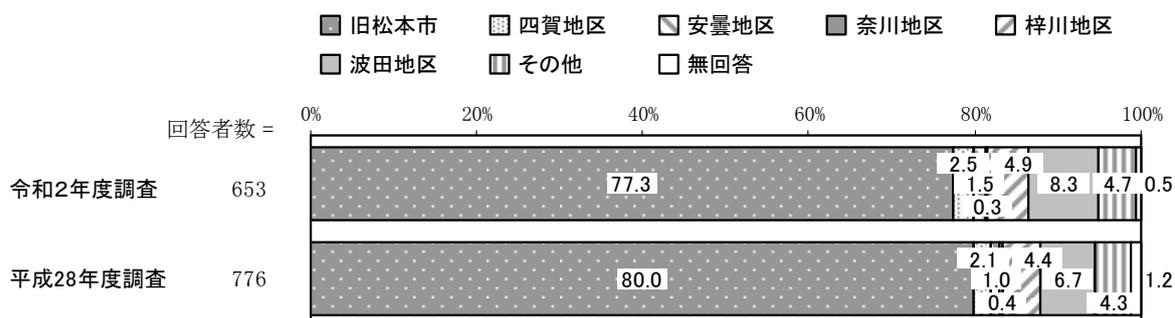
回答結果は、以下の通りとなっています。

母集団と比較すると、「20歳代」「30歳代」の割合が低く、「50歳代」「60歳代」「70歳以上」の割合が高くなっています。



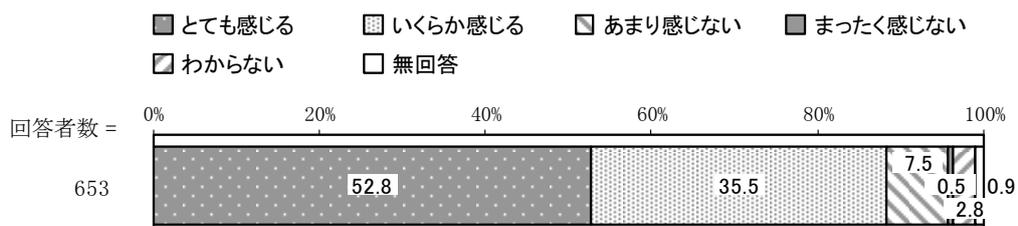
問2 あなたがお住まいの地区はどこですか。

回答結果は、以下の通りとなっています。



問3 あなたは松本市に親しみや愛着を感じますか。

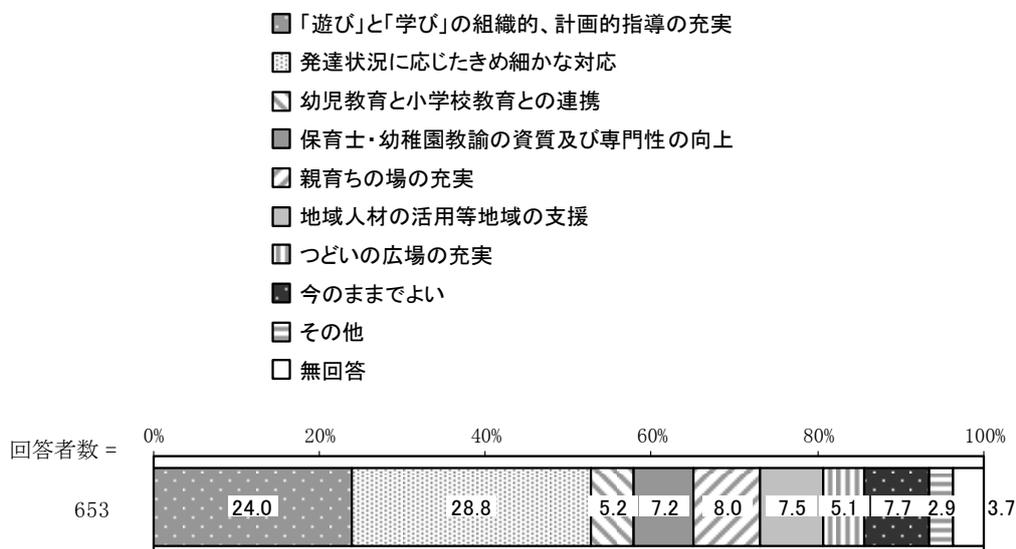
「とても感じる」と「いくらか感じる」をあわせた“愛着を感じる”の割合が88.3%、「あまり感じない」と「まったく感じない」をあわせた“愛着を感じない”の割合が8.0%となっています。



(2) 子どもの教育について

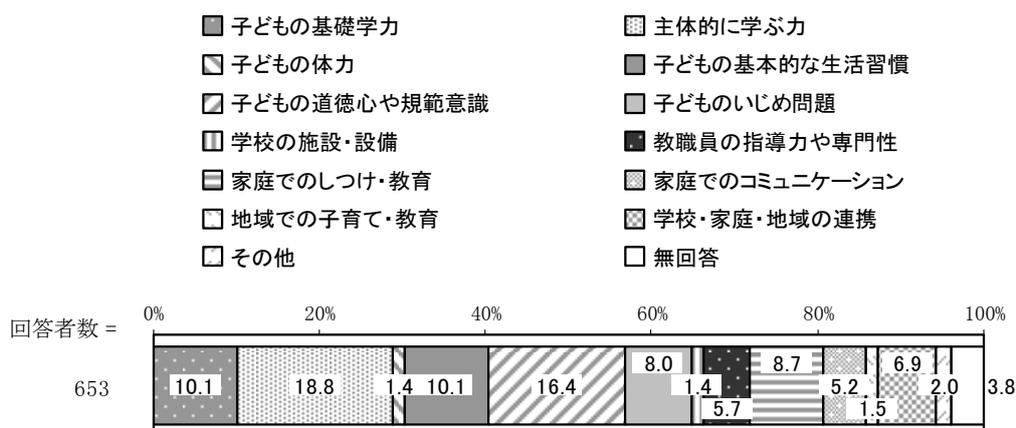
問4 幼児教育の充実には、どのような取り組みが必要だと思いますか。
(最もあてはまるもの1つに○)

「発達状況に応じたきめ細かな対応」の割合が28.8%と最も高く、次いで「遊び」と「学び」の組織的、計画的指導の充実」の割合が24.0%となっています。



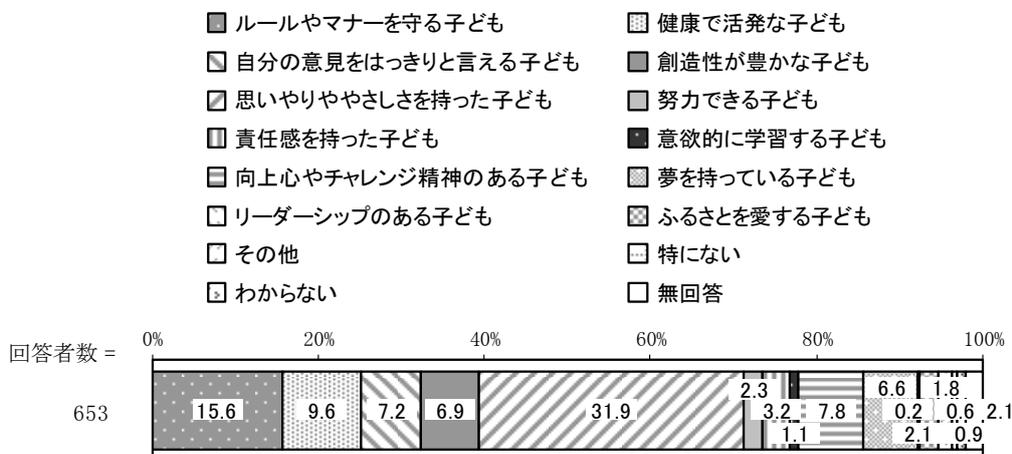
問5 子どもの教育について、あなたが関心のあることは何ですか。
(最もあてはまるもの1つに○)

「主体的に学ぶ力」の割合が18.8%と最も高く、次いで「子どもの道徳心や規範意識」の割合が16.4%、「子どもの基礎学力」の割合が10.1%となっています。



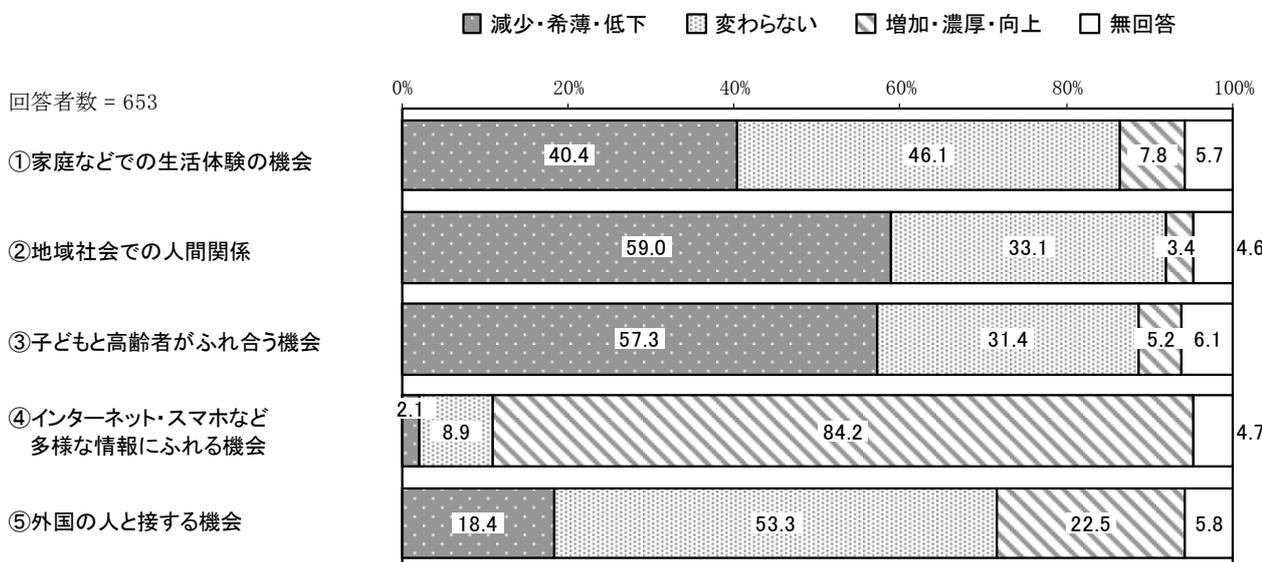
問6 あなたは、松本市の子どもたちに、どのような子どもになってほしいと思いますか。（最もあてはまるもの1つに○）

「思いやりやさしさを持った子ども」の割合が31.9%と最も高く、次いで「ルールやマナーを守る子ども」の割合が15.6%となっています。



問7 子どもたちを取り巻く環境は、この数年、どのように変化してきたと思いますか。（○は①～⑤ごとに1つ）

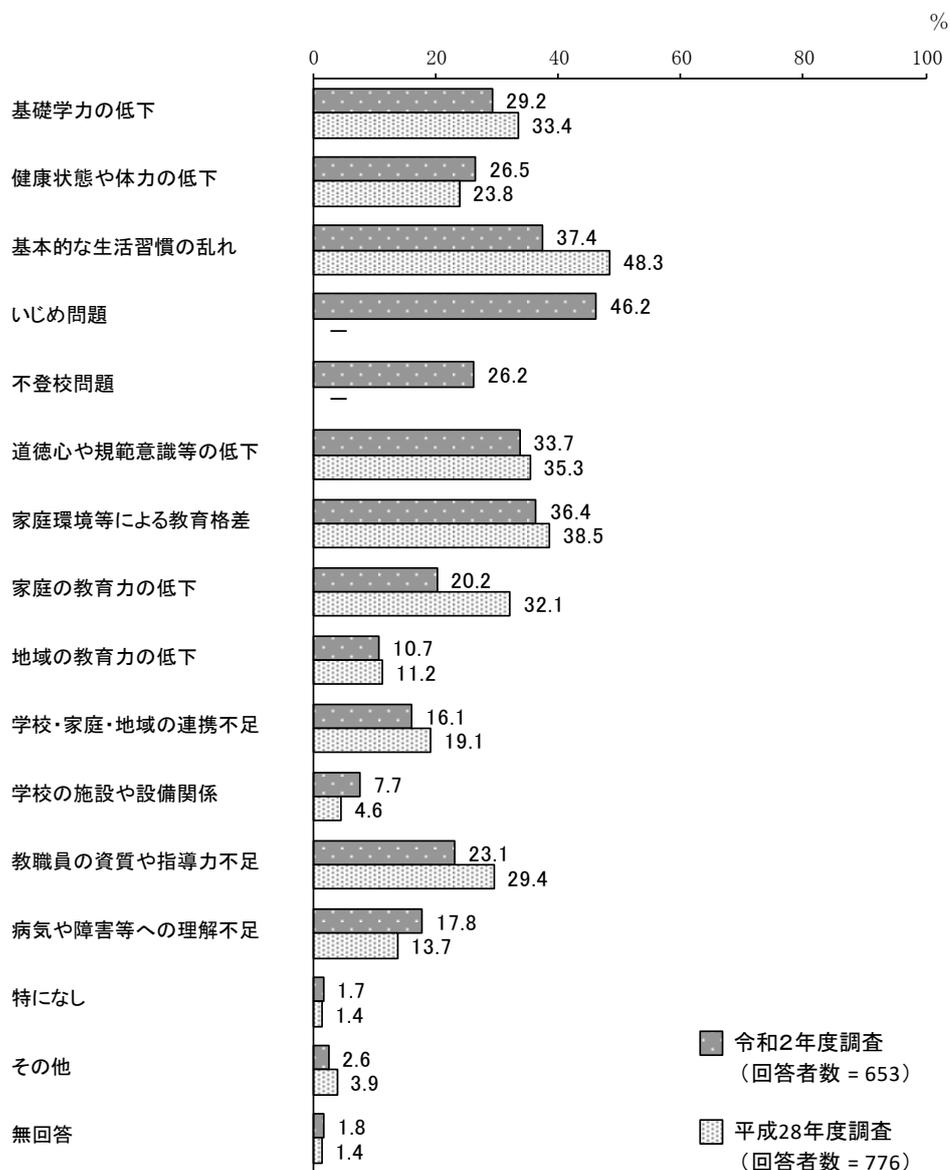
『②地域社会での人間関係』『③子どもと高齢者がふれ合う機会』で「減少・希薄・低下」の割合が高く、約6割となっています。また、『④インターネット・スマホなど多様な情報にふれる機会』で「増加・濃厚・向上」の割合が高く、8割半ばとなっています。



問8 子どもの教育に関して課題は何だと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

「いじめ問題」の割合が46.2%と最も高く、次いで「基本的な生活習慣の乱れ」の割合が37.4%、「家庭環境等による教育格差」の割合が36.4%となっています。

平成28年度調査と比較すると、「基本的な生活習慣の乱れ」「家庭の教育力の低下」「教職員の資質や指導力不足」の割合が減少しています。

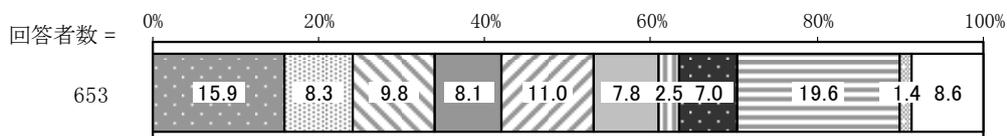


※※平成28年度調査では「いじめ問題」「不登校問題」の選択肢がありません。

問9 新型コロナウイルス感染症が今後も子どもたちの教育に大きな影響を及ぼす可能性があります。現在の状況下における松本市の子どもたちの教育について不安を感じていることは何ですか。(最もあてはまるもの1つに○)

「対面によるコミュニケーションの機会減少に関すること」の割合が19.6%と最も高く、次いで「学習保障に関すること」の割合が15.9%、「生活習慣のみだれに関すること」の割合が11.0%となっています。

- 学習保障に関すること
- 心のケアに関すること
- 生活習慣のみだれに関すること
- 部活動に関すること
- 対面によるコミュニケーションの機会減少に関すること
- 無回答
- 学校での感染症対策に関すること
- 運動不足・体力の低下に関すること
- 学校行事に関すること
- ICT 環境整備・オンライン指導に関すること
- その他



問 10 松本市の教育について「現在の状況」と「今後の重要度」について、それぞれ5段階であなたの考えに最も近い番号を1つずつ選んで○をつけてください。

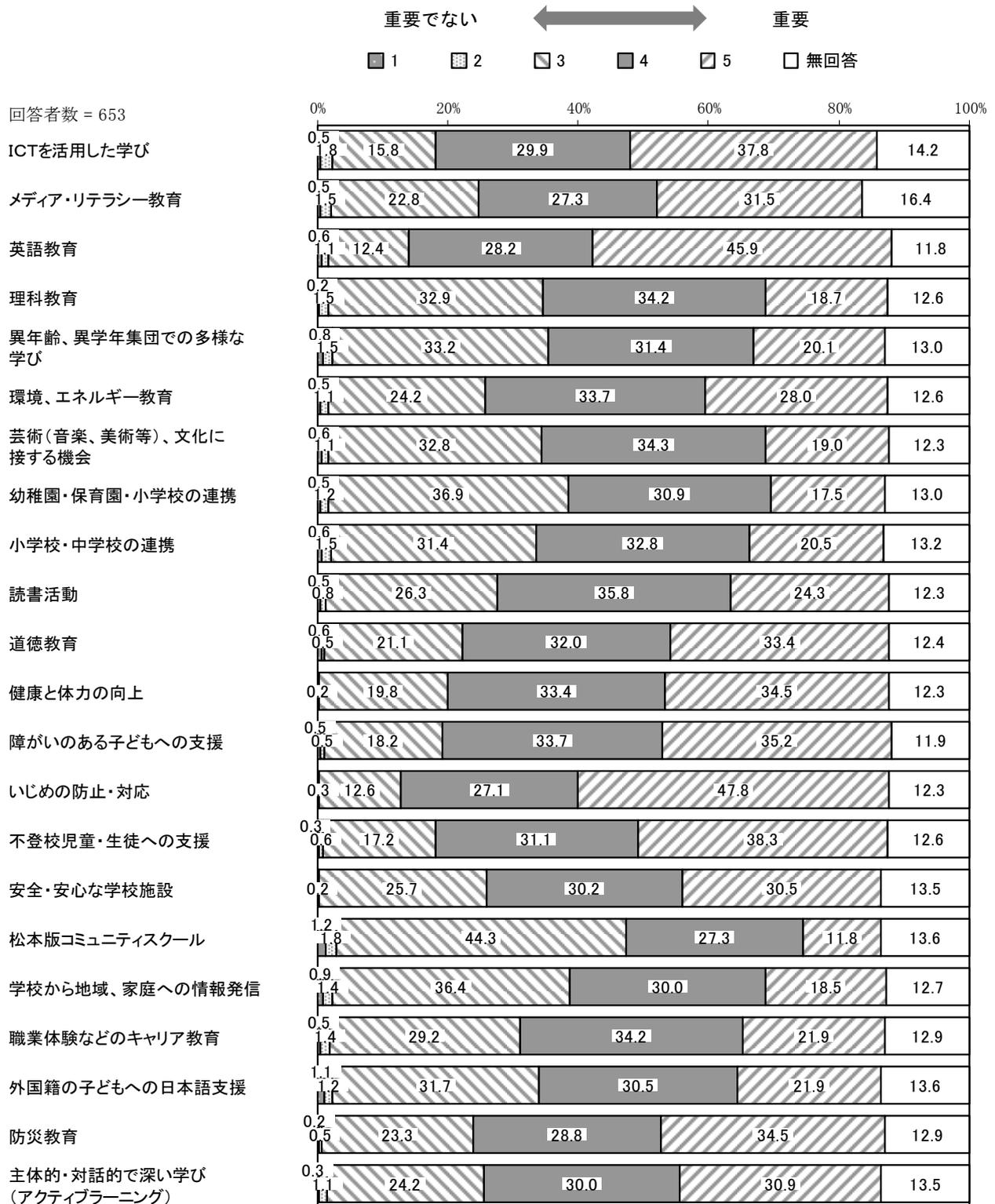
1. 現在の状況

『ICTを活用した学び』『英語教育』『いじめの防止・対応』で「1」と「2」をあわせた“十分と感じない”の割合が高く、約4割となっています。また、『芸術（音楽、美術等）、文化に接する機会』『安全・安心な学校施設』で「4」と「5」をあわせた“十分と感じる”の割合が高く、約2割となっています。



2. 今後の重要度

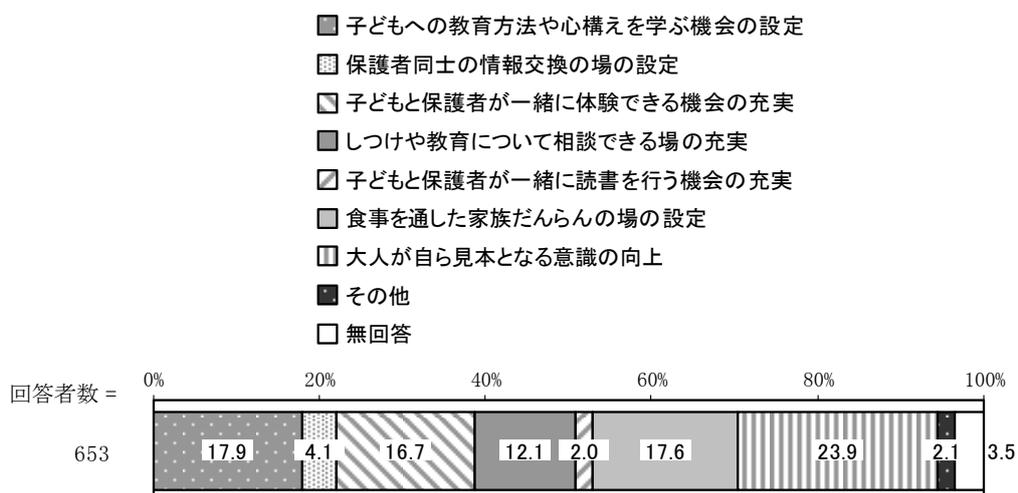
『英語教育』『いじめの防止・対応』で「4」と「5」をあわせた“重要”の割合が高く、7割半ばとなっています。



(3) 家庭や地域での教育について

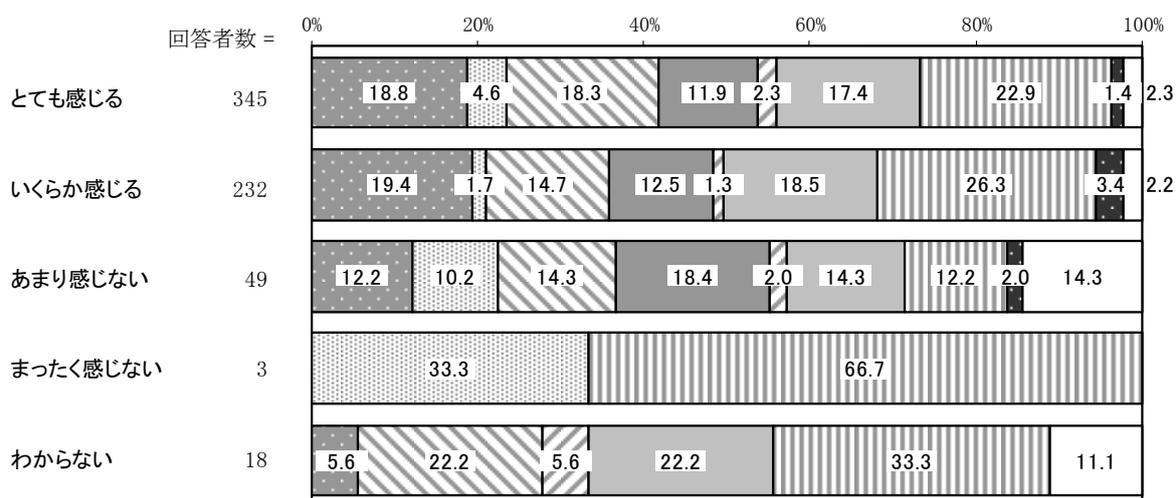
問11 あなたは、家庭での教育力向上にどのような取組みが必要だと思いますか。
(最もあてはまるもの1つに○)

「大人が自ら見本となる意識の向上」の割合が23.9%と最も高く、次いで「子どもへの教育方法や心構えを学ぶ機会の設定」の割合が17.9%、「子どもへの教育方法や心構えを学ぶ機会の設定」の割合が17.9%、「食事を通した家族だんらんの場の設定」の割合が17.6%となっています。



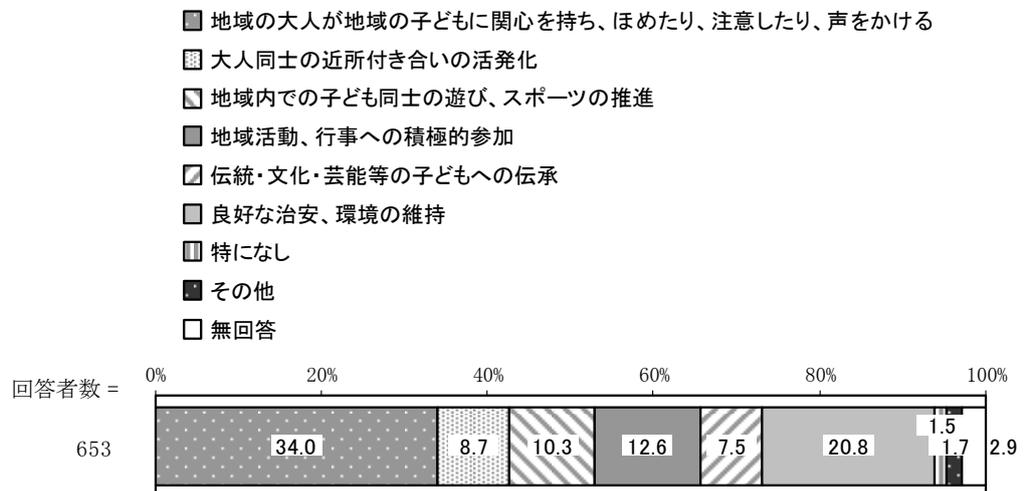
【愛着の有無別】

愛着の有無別で見ると、他に比べ、あまり感じないで「保護者同士の情報交換の場の設定」の割合が高くなっています。



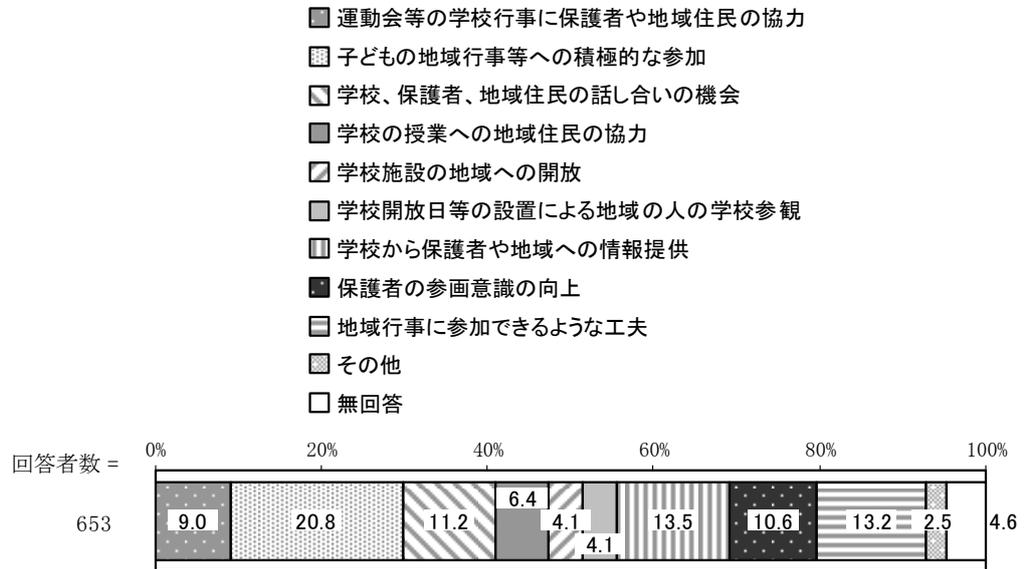
問 12 あなたは、地域で子どもを育てるためにはどのような取り組みが必要だと思いますか。(最もあてはまるもの1つに○)

「地域の大人が地域の子どもの関心を持ち、ほめたり、注意したり、声をかける」の割合が34.0%と最も高く、次いで「良好な治安、環境の維持」の割合が20.8%、「地域活動、行事への積極的参加」の割合が12.6%となっています。



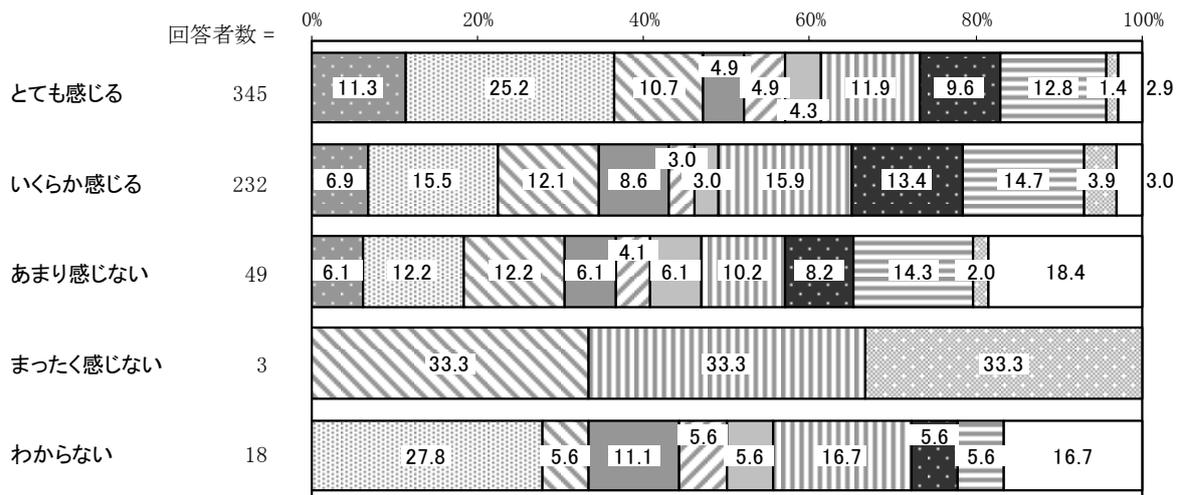
問 13 あなたは、学校、家庭、地域が連携協力するためには何が重要だと思いますか。
(最もあてはまるもの1つに○)

「子どもの地域行事等への積極的な参加」の割合が20.8%と最も高く、次いで「学校から保護者や地域への情報提供」の割合が13.5%、「地域行事に参加できるような工夫」の割合が13.2%となっています。



【愛着の有無別】

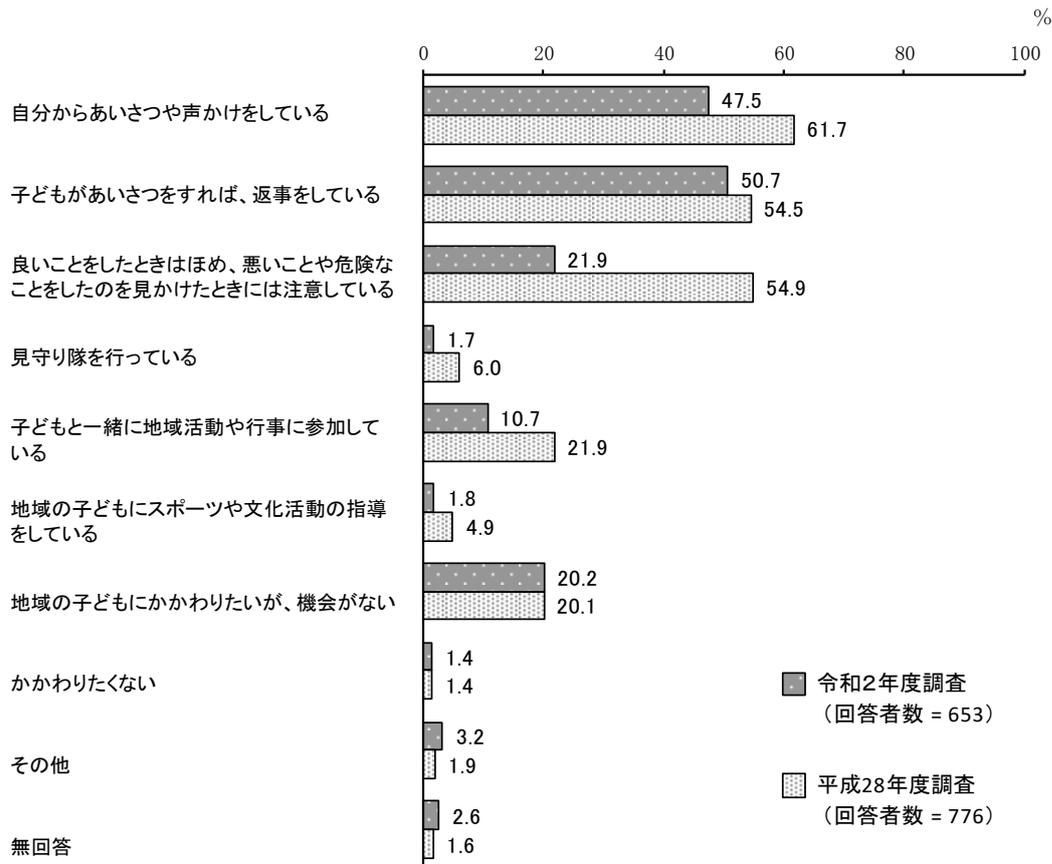
愛着の有無別で見ると、他に比べ、とても感じるで「子どもの地域行事等への積極的な参加」の割合が高くなっています。



問 14 あなたは、ふだん、地域でどのように子どもに接していますか。
(あてはまるものすべてに○)

「子どもがあいさつをすれば、返事をしている」の割合が 50.7%と最も高く、次いで「自分からあいさつや声かけをしている」の割合が 47.5%、「良いことをしたときはほめ、悪いことや危険なことをしたのを見かけたときには注意している」の割合が 21.9%となっています。

平成 28 年度調査と比較すると、「自分からあいさつや声かけをしている」「良いことをしたときはほめ、悪いことや危険なことをしたのを見かけたときには注意している」「子どもと一緒に地域活動や行事に参加している」の割合が減少しています。



【愛着の有無別】

愛着の有無別で見ると、他に比べ、とても感じるで「子どもがあいさつをすれば、返事をしている」の割合が高くなっています。

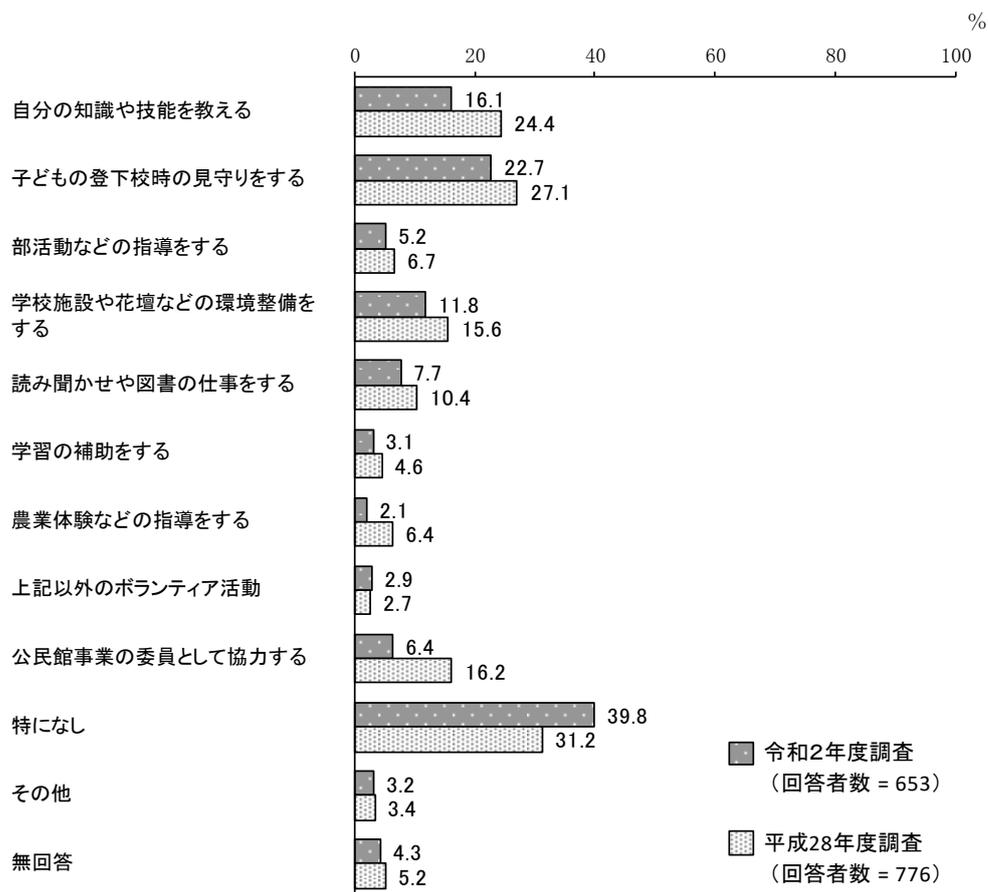
単位：％

区分	有効回答数(件)	自分からあいさつや声かけをしている	子どもがあいさつをすれば、返事をしている	見かけたときには注意している	良いことをしたときはほめ、悪いことや危険なことをしたのを見かけたときには注意している	見守り隊を行っている	子どもと一緒に地域活動や行事に参加している	地域の子どもにスポーツや文化活動の指導をしている	地域の子どもにかかわりたいが、機会がない	かかわりたくない	その他	無回答
とても感じる	345	50.7	56.5	29.0	2.0	13.0	2.3	19.1	0.6	2.9	1.7	
いづらか感じる	232	42.2	43.5	13.4	1.3	8.2	1.7	22.4	2.2	3.9	2.2	
あまり感じない	49	55.1	42.9	16.3	—	10.2	—	16.3	4.1	2.0	4.1	
まったく感じない	3	66.7	66.7	—	33.3	—	—	33.3	—	—	—	
わからない	18	22.2	61.1	5.6	—	—	—	22.2	—	—	16.7	

問 15 あなたは、地域や学校に協力できることがありますか。
(あてはまるものすべてに○)

「特になし」の割合が39.8%と最も高く、次いで「子どもの登下校時の見守りをする」の割合が22.7%、「自分の知識や技能を教える」の割合が16.1%となっています。

平成28年度調査と比較すると、「特になし」の割合が増加しています。一方、「自分の知識や技能を教える」「公民館事業の委員として協力する」の割合が減少しています。



【年代別】

年代別でみると、他に比べ、30歳代で「自分の知識や技能を教える」の割合が、40歳代で「学校施設や花壇などの環境整備をする」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数(件)	自分の知識や技能を教える	子どもの登下校時の見守りをする	部活動などの指導をする	学校施設や花壇などの環境整備をする	読み聞かせや図書の仕事を	学習の補助をする	農業体験などの指導をする	上記以外のボランティア活動	公民館事業の委員として協力する	特になし	その他	無回答
10歳代	8	25.0	25.0	—	—	12.5	—	—	—	—	50.0	—	—
20歳代	53	17.0	17.0	11.3	1.9	7.5	9.4	3.8	1.9	—	39.6	3.8	5.7
30歳代	65	26.2	13.8	7.7	4.6	7.7	3.1	—	—	1.5	41.5	6.2	3.1
40歳代	113	15.9	23.0	7.1	18.6	10.6	2.7	1.8	6.2	7.1	38.9	0.9	0.9
50歳代	126	12.7	23.0	4.8	15.1	9.5	3.2	0.8	2.4	5.6	43.7	2.4	—
60歳代	101	19.8	23.8	2.0	14.9	4.0	2.0	5.0	1.0	6.9	39.6	2.0	5.9
70歳以上	186	12.4	26.3	3.8	9.7	6.5	2.2	2.2	3.8	10.2	36.6	4.8	8.6

【地区別】

地区別でみると、他に比べ、四賀地区で「学校施設や花壇などの環境整備をする」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数(件)	自分の知識や技能を教える	子どもの登下校時の見守りをする	部活動などの指導をする	学校施設や花壇などの環境整備をする	読み聞かせや図書の仕事を	学習の補助をする	農業体験などの指導をする	上記以外のボランティア活動	公民館事業の委員として協力する	特になし	その他	無回答
旧松本市	505	16.6	23.2	5.0	10.7	7.1	3.2	2.0	2.2	6.3	40.0	3.2	4.2
四賀地区	16	6.3	25.0	—	31.3	—	—	6.3	—	—	43.8	6.3	—
安曇地区	10	20.0	10.0	—	30.0	—	—	—	10.0	20.0	30.0	—	10.0
奈川地区	2	—	—	—	—	—	—	—	—	50.0	50.0	—	—
梓川地区	32	9.4	18.8	6.3	9.4	15.6	6.3	6.3	6.3	9.4	40.6	3.1	3.1
波田地区	54	11.1	29.6	7.4	16.7	7.4	3.7	—	7.4	7.4	35.2	5.6	5.6
その他	31	29.0	12.9	9.7	9.7	16.1	—	3.2	3.2	—	38.7	—	6.5

【愛着の有無別】

愛着の有無別で見ると、他に比べ、とても感じるで「自分の知識や技能を教える」の割合が高くなっています。

単位：％

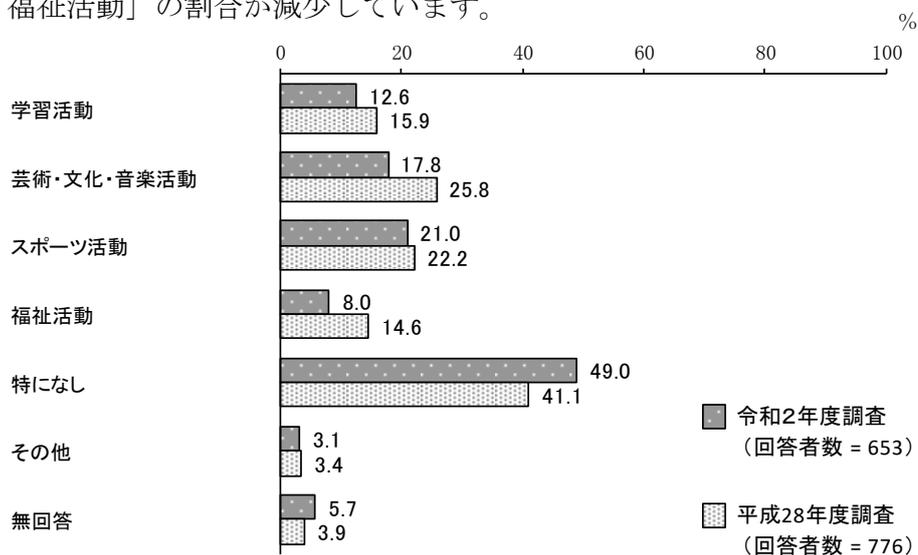
区分	有効回答数(件)	自分の知識や技能を教える	子どもの登下校時の見守りをする	部活動などの指導をする	学校施設や花壇などの環境整備をする	読み聞かせや図書の仕事を	学習の補助をする	農業体験などの指導をする	上記以外のボランティア活動	公民館事業の委員として協力する	特になし	その他	無回答
とても感じる	345	20.0	25.5	6.7	12.5	8.1	3.8	1.2	2.9	6.4	36.8	2.6	3.5
いづらか感じる	232	11.2	19.0	3.9	10.3	6.5	2.6	3.9	3.0	6.9	43.1	3.9	3.9
あまり感じない	49	16.3	20.4	2.0	10.2	8.2	2.0	2.0	2.0	4.1	46.9	2.0	6.1
まったく感じない	3	—	33.3	—	—	—	—	—	—	—	—	66.7	—
わからない	18	11.1	16.7	5.6	22.2	5.6	—	—	—	11.1	44.4	—	16.7

(4) 生涯学習について

問 16 あなたは、どんな生涯学習活動をしていますか。(あてはまるものすべてに○)

「特になし」の割合が49.0%と最も高く、次いで「スポーツ活動」の割合が21.0%、「芸術・文化・音楽活動」の割合が17.8%となっています。

平成28年度調査と比較すると、「特になし」の割合が増加しています。一方、「芸術・文化・音楽活動」「福祉活動」の割合が減少しています。



【年代別】

年代別でみると、他に比べ、20歳代で「学習活動」の割合が高くなっています。また、70歳以上で「福祉活動」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	有効回答数(件)	学習活動	芸術・文化・音楽活動	スポーツ活動	福祉活動	特になし	その他	無回答
10歳代	8	25.0	12.5	12.5	—	50.0	—	—
20歳代	53	24.5	22.6	17.0	3.8	45.3	3.8	5.7
30歳代	65	20.0	7.7	20.0	3.1	56.9	4.6	3.1
40歳代	113	9.7	13.3	20.4	5.3	65.5	0.9	—
50歳代	126	11.1	18.3	23.8	5.6	51.6	3.2	1.6
60歳代	101	13.9	22.8	21.8	8.9	46.5	2.0	5.9
70歳以上	186	8.1	19.9	21.0	14.0	36.6	4.3	12.9

【愛着の有無別】

愛着の有無別で見ると、他に比べ、とても感じるで「芸術・文化・音楽活動」の割合が高くなっています。

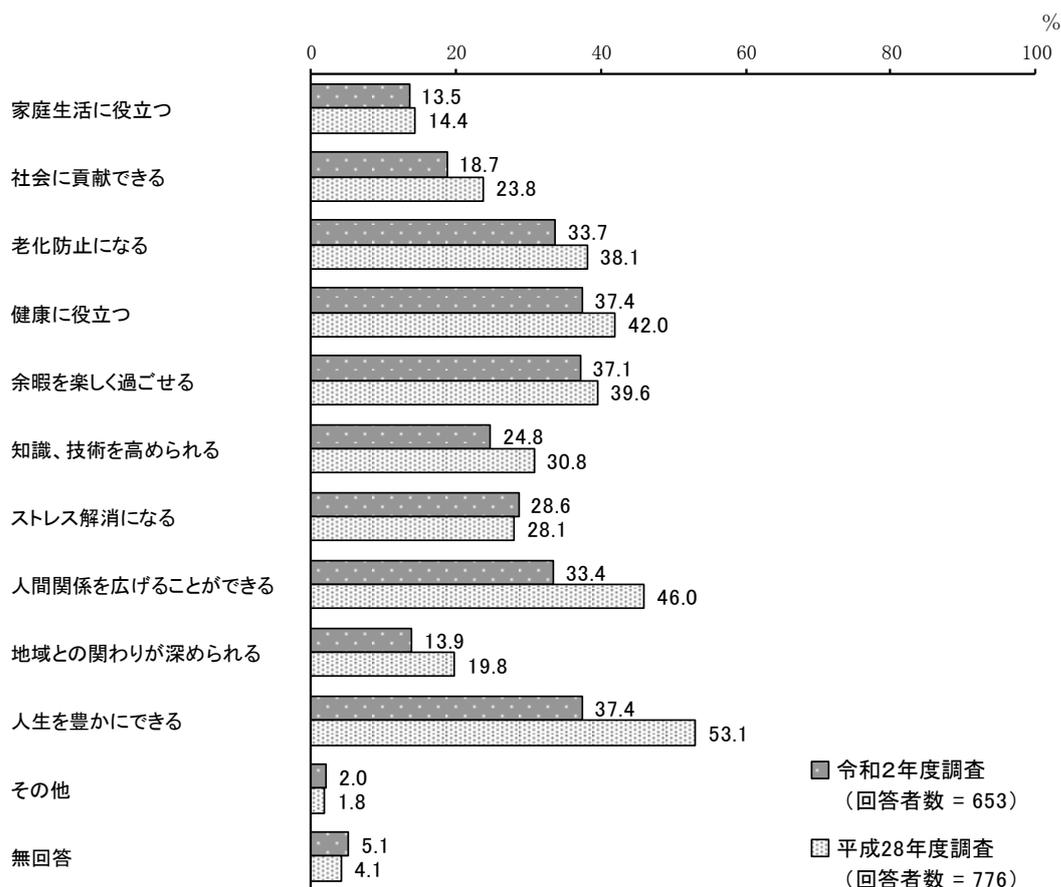
単位：％

区分	有効回答数 (件)	学習活動	芸術・文化・ 音楽活動	スポーツ活動	福祉活動	特になし	その他	無回答
とても感じる	345	14.5	23.5	23.2	7.2	43.2	3.2	5.5
いづらか感じる	232	10.8	10.8	20.7	8.2	55.2	2.6	4.3
あまり感じない	49	8.2	12.2	14.3	8.2	63.3	2.0	4.1
まったく感じない	3	—	—	—	—	33.3	66.7	—
わからない	18	5.6	16.7	11.1	11.1	55.6	—	22.2

問 17 あなたは生涯学習活動をする場合、どんな理由から始めますか。
(あてはまるものすべてに○)

「健康に役立つ」、「人生を豊かにできる」の割合が 37.4%と最も高く、次いで「余暇を楽しく過ごせる」の割合が 37.1%となっています。

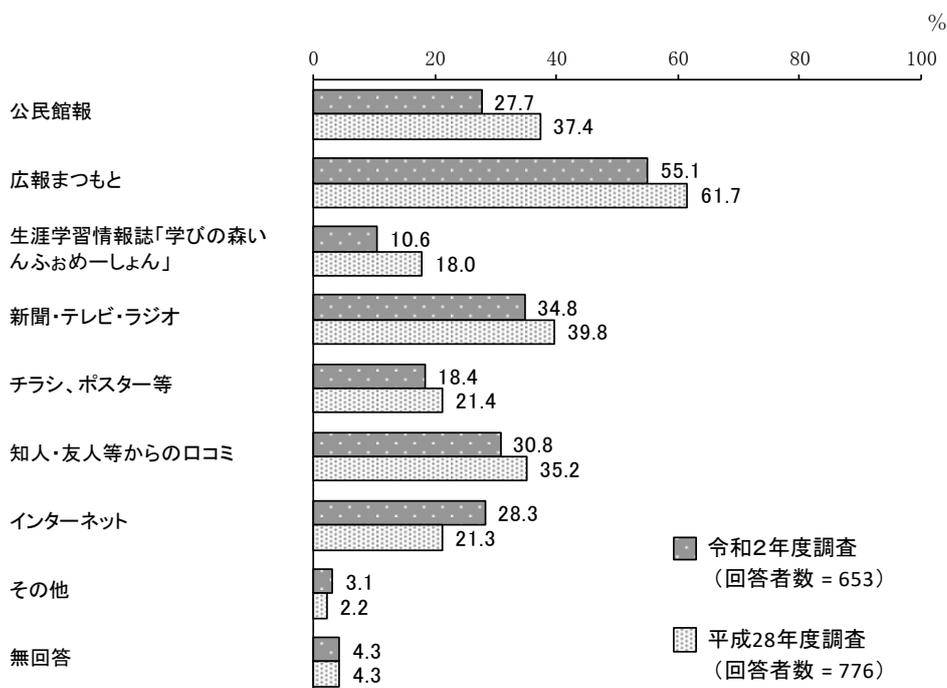
平成 28 年度調査と比較すると、「社会に貢献できる」「知識、技術を高められる」「人間関係を広げることができる」「地域との関わりが深められる」「人生を豊かにできる」の割合が減少しています。



問 18 あなたは、学習情報やサークル情報をどのように知りますか。
(あてはまるものすべてに○)

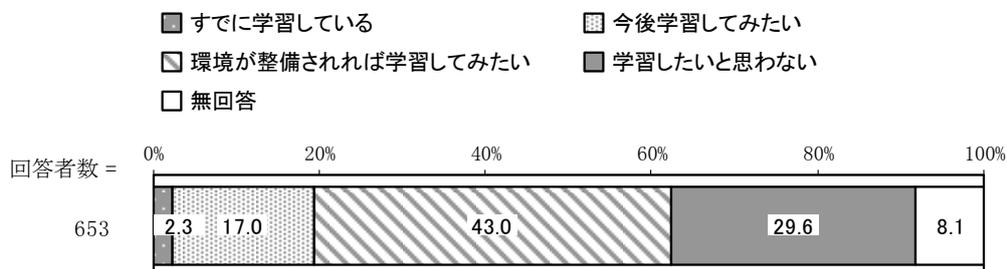
「広報まつもと」の割合が 55.1%と最も高く、次いで「新聞・テレビ・ラジオ」の割合が 34.8%、「知人・友人等からの口コミ」の割合が 30.8%となっています。

平成 28 年度調査と比較すると、「インターネット」の割合が増加しています。一方、「公民館報」「広報まつもと」「生涯学習情報誌「学びの森いんふおめーしょん」」の割合が減少しています。



問 19 リカレント教育や社会人の学び直しが注目されていますが、あなたは今後、教育機関等で学習したいと思いますか。

「環境が整備されれば学習してみたい」の割合が 43.0%と最も高く、次いで「学習したいと思わない」の割合が 29.6%、「今後学習してみたい」の割合が 17.0%となっています。

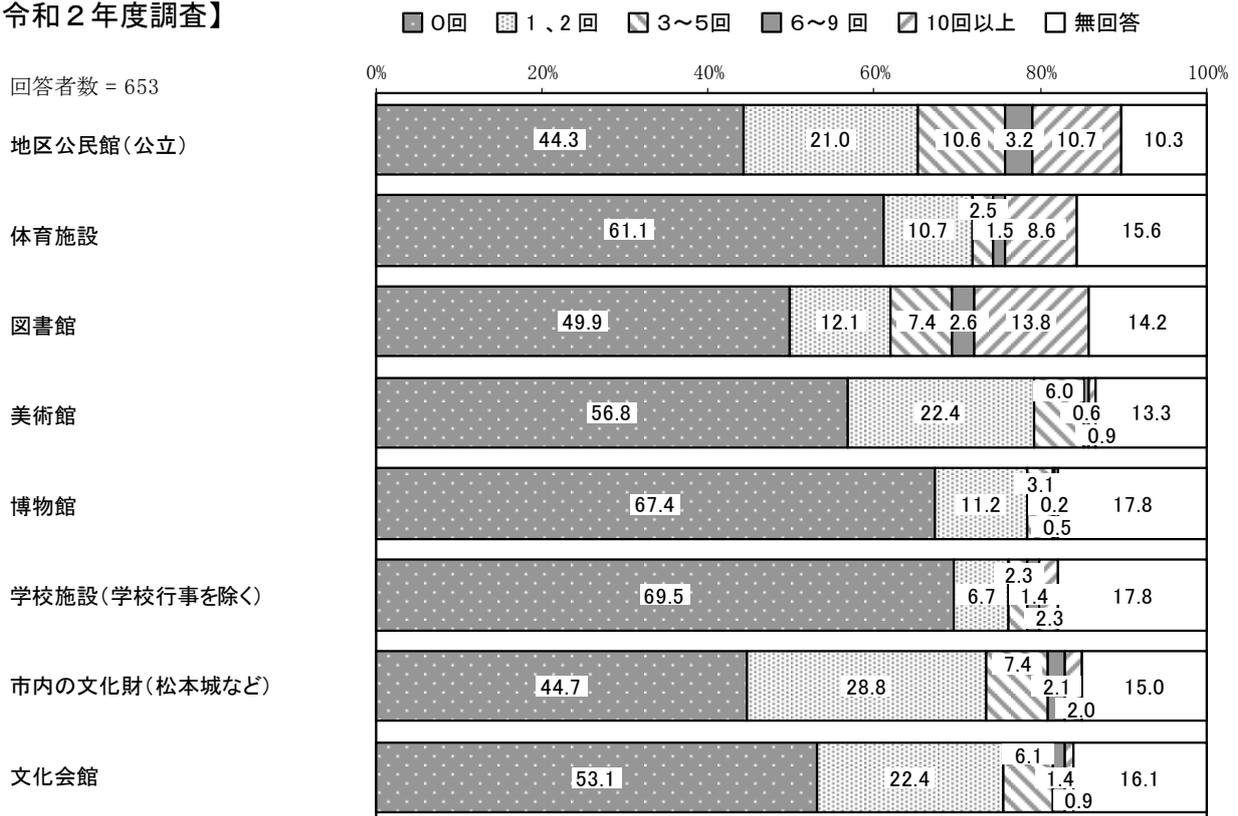


問 20 あなたは、昨年1年間に市内の次の施設をどのくらい利用しましたか。

『博物館』『学校施設（学校行事を除く）』で「0回」の割合が高く、約7割となっています。また、『地区公民館（公立）』『体育施設』『図書館』で「10回以上」の割合が高く、約1割となっています。

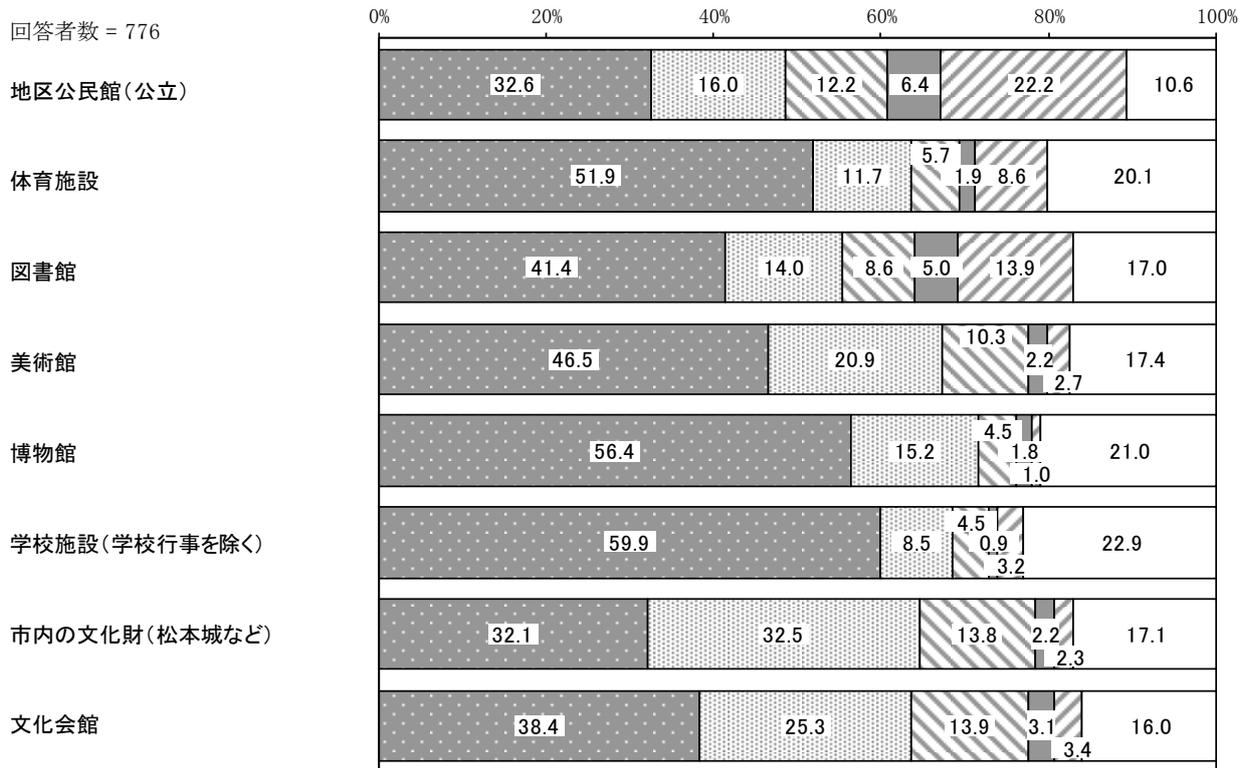
平成28年度調査と比較すると、すべての項目で「0回」の割合が増加しています。一方、『地区公民館（公立）』で「10回以上」の割合が、『市内の文化財（松本城など）』『文化会館』で「3～5回」の割合が減少しています。

【令和2年度調査】



【平成 28 年度調査】

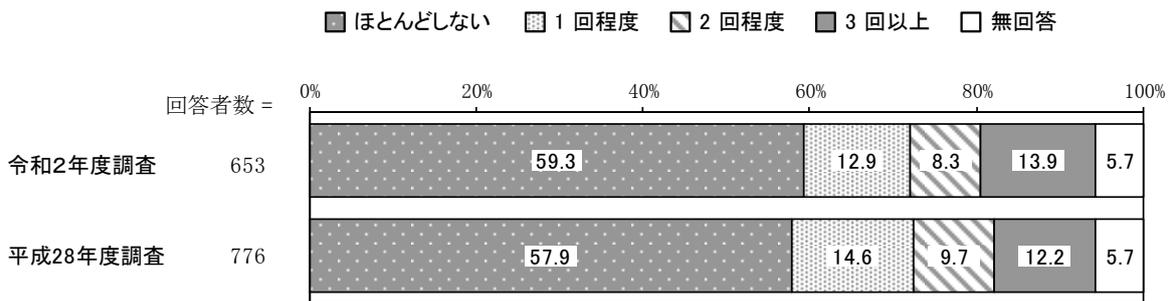
回答者数 = 776



問 21 あなたは、週に何回、どんなスポーツを行っていますか。

「ほとんどしない」の割合が 59.3%と最も高く、次いで「3 回以上」の割合が 13.9%、「1 回程度」の割合が 12.9%となっています。

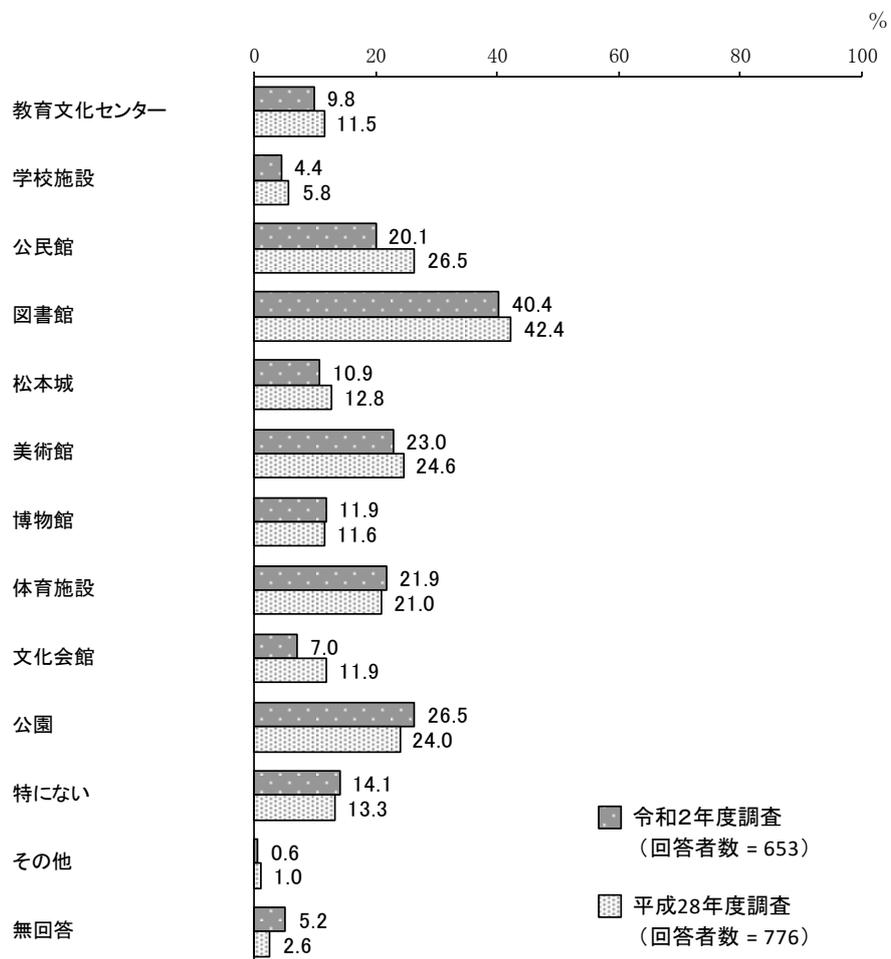
平成 28 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問 22 あなたがもっと活用したい又は皆に活用してほしいと思う施設はどれですか。
(3つ以内に○)

「図書館」の割合が40.4%と最も高く、次いで「公園」の割合が26.5%、「美術館」の割合が23.0%となっています。

平成28年度調査と比較すると、「公民館」の割合が減少しています。



【年代別】

年代別でみると、他に比べ、20歳代で「博物館」の割合が、70歳以上で「公民館」の割合が高くなっています。

単位：％

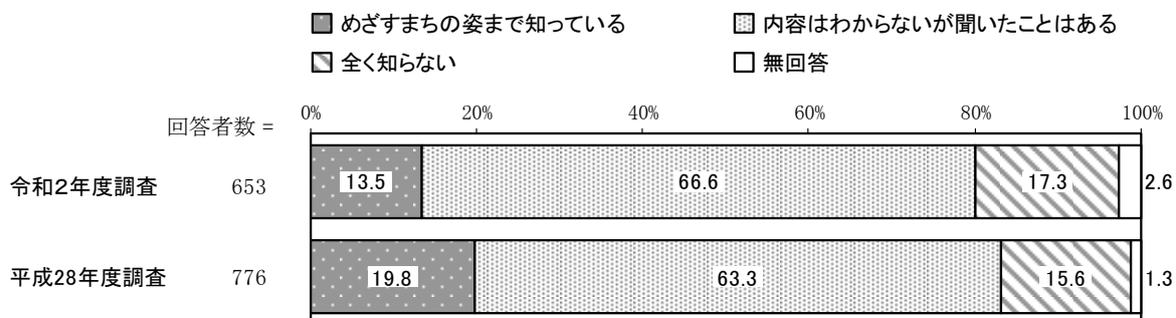
区分	有効回答数 (件)	教育文化センター	学校施設	公民館	図書館	松本城	美術館	博物館	体育施設	文化会館	公園	特にない	その他	無回答
10歳代	8	—	—	—	37.5	—	—	—	25.0	—	12.5	25.0	—	12.5
20歳代	53	5.7	5.7	7.5	47.2	11.3	26.4	26.4	20.8	3.8	35.8	5.7	3.8	1.9
30歳代	65	13.8	4.6	15.4	47.7	12.3	23.1	9.2	26.2	3.1	30.8	12.3	—	10.8
40歳代	113	9.7	3.5	13.3	46.9	16.8	23.0	19.5	27.4	6.2	29.2	10.6	0.9	1.8
50歳代	126	9.5	6.3	16.7	43.7	11.1	27.0	13.5	24.6	8.7	20.6	11.9	—	3.2
60歳代	101	10.9	4.0	17.8	37.6	12.9	22.8	6.9	14.9	11.9	30.7	16.8	1.0	3.0
70歳以上	186	9.7	3.8	33.9	31.7	5.9	20.4	6.5	19.4	6.5	23.1	18.3	—	8.6

(5) その他

問 24 松本市が「学都松本」をめざしていることを知っていますか。

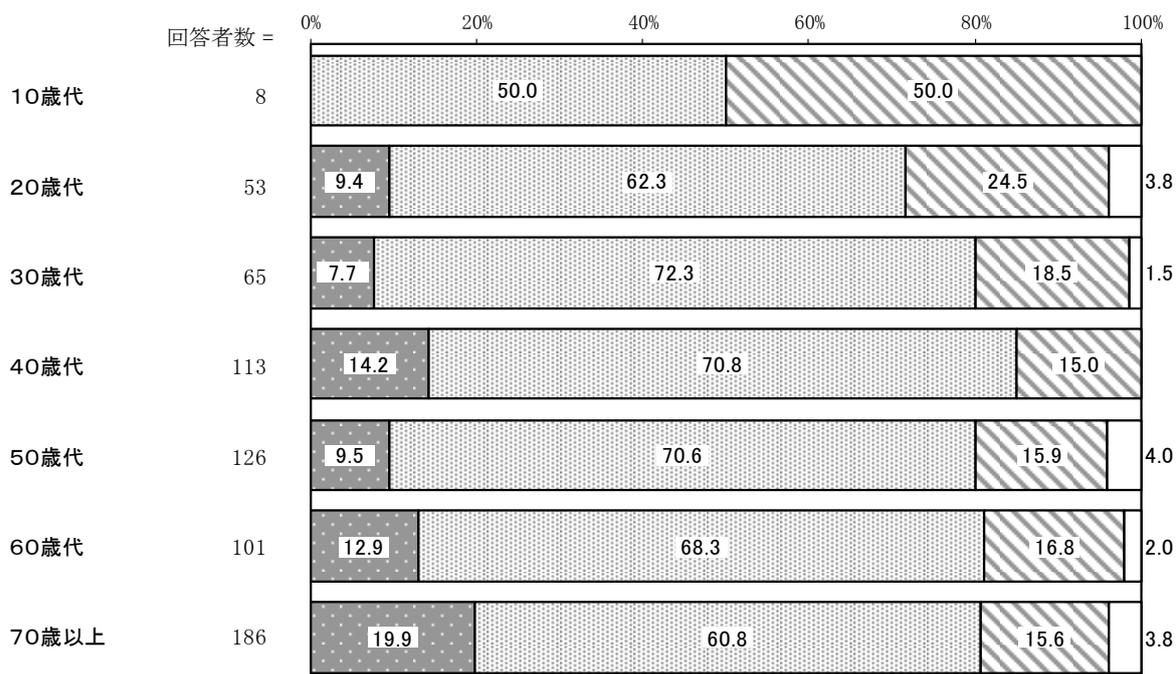
「内容はわからないが聞いたことはある」の割合が 66.6%と最も高く、次いで「全く知らない」の割合が 17.3%、「めざすまちの姿まで知っている」の割合が 13.5%となっています。

平成 28 年度調査と比較すると、「めざすまちの姿まで知っている」の割合が減少しています。



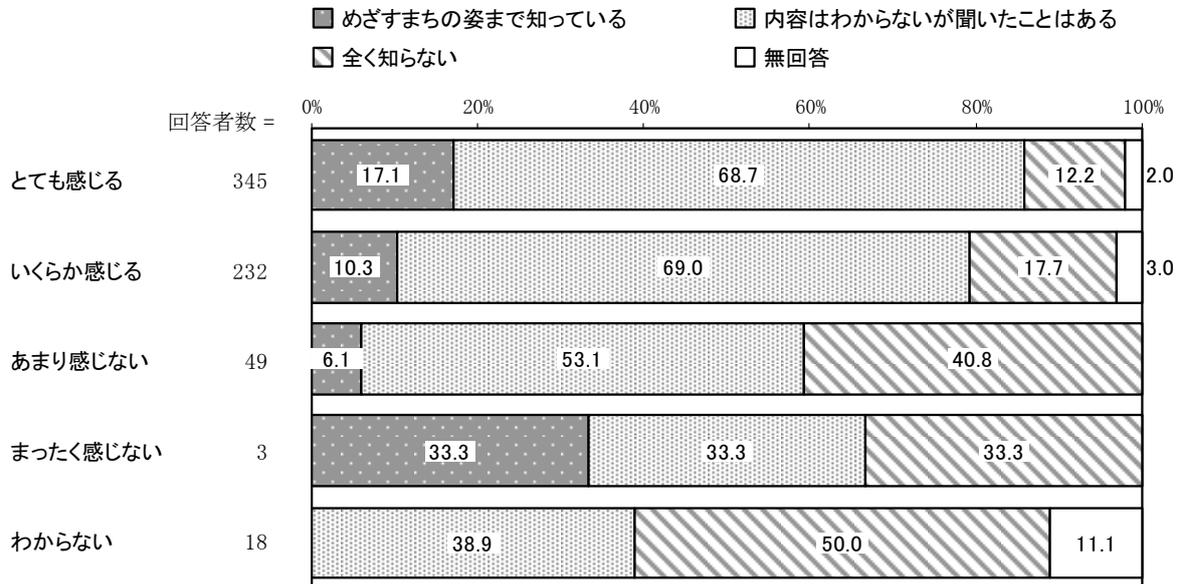
【年代別】

年代別でみると、他に比べ、70歳以上で「めざすまちの姿まで知っている」の割合が高くなっています。



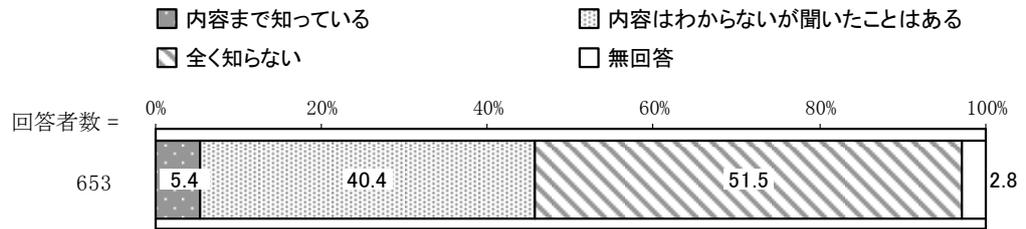
【愛着の有無別】

愛着の有無別で見ると、愛着を感じている人ほど「めざすまちの姿まで知っている」の割合が高くなっています。また、あまり感じないで「全く知らない」の割合が高くなっています。



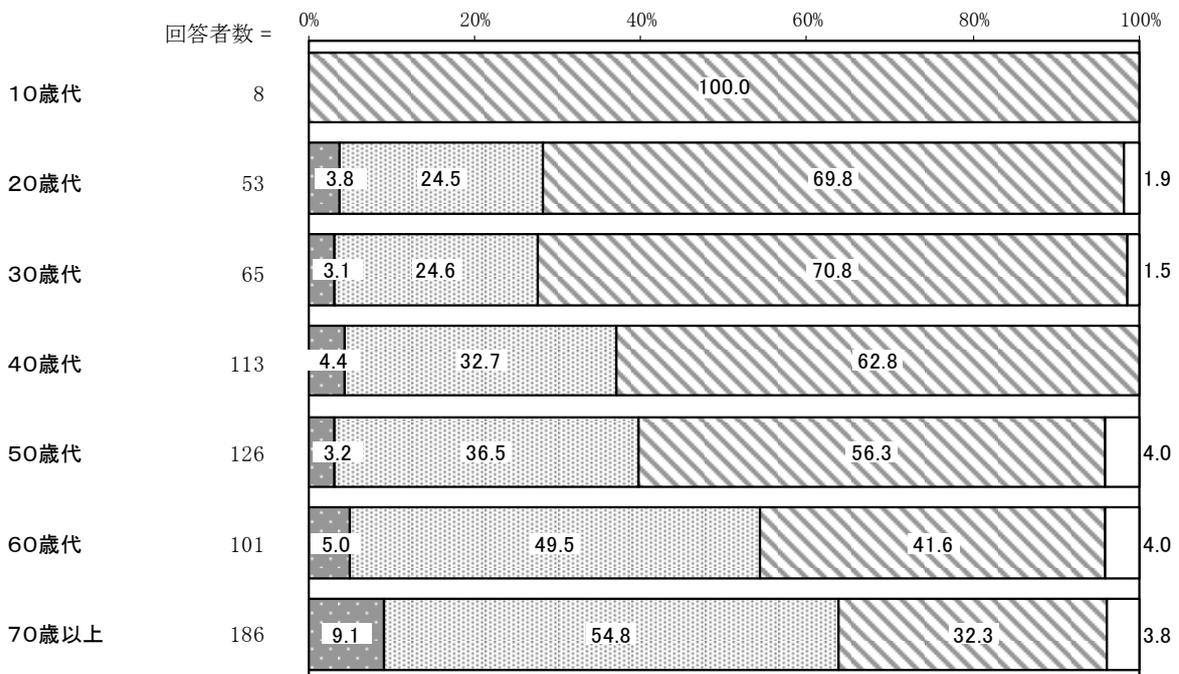
問 25 あなたは、「まつもと市民生きいき活動」を知っていますか。

「全く知らない」の割合が 51.5%と最も高く、次いで「内容はわからないが聞いたことはある」の割合が 40.4%となっています。



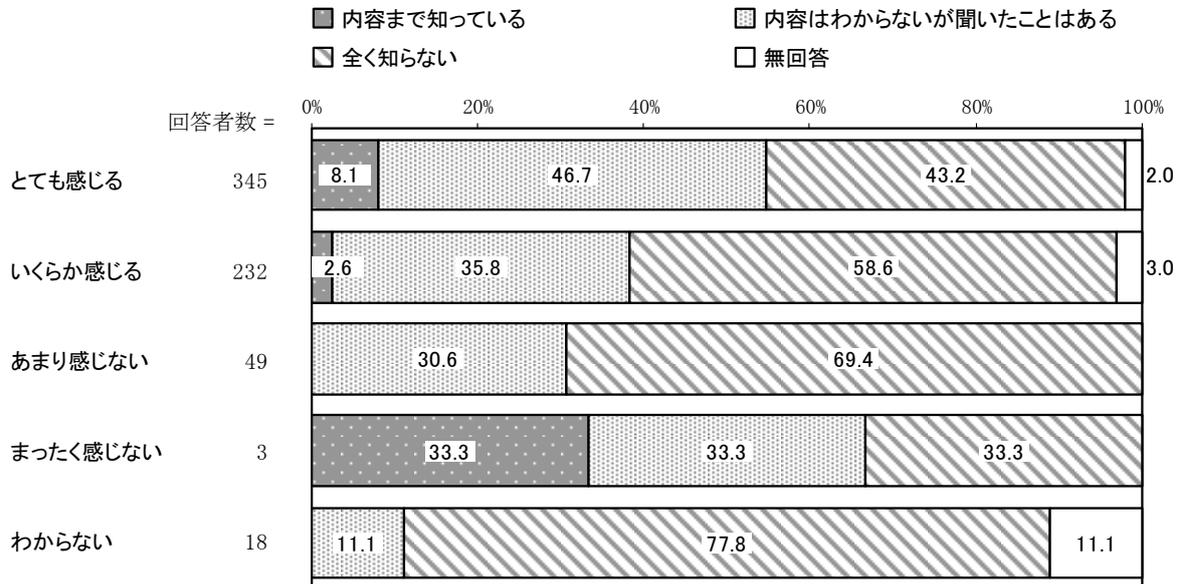
【年代別】

年代別でみると、他に比べ、20歳代、30歳代で「全く知らない」の割合が高くなっています。



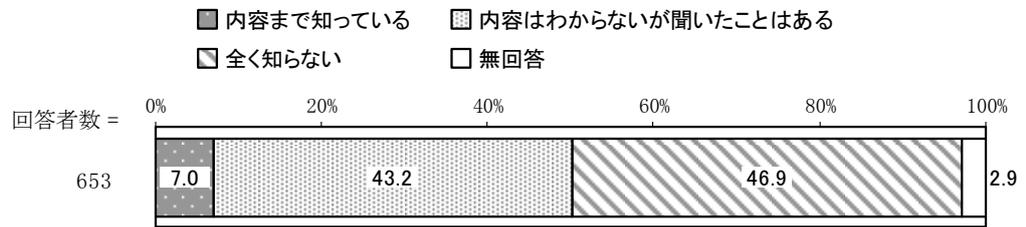
【愛着の有無別】

愛着の有無別で見ると、愛着を感じていない人ほど「全く知らない」の割合が高くなっています。



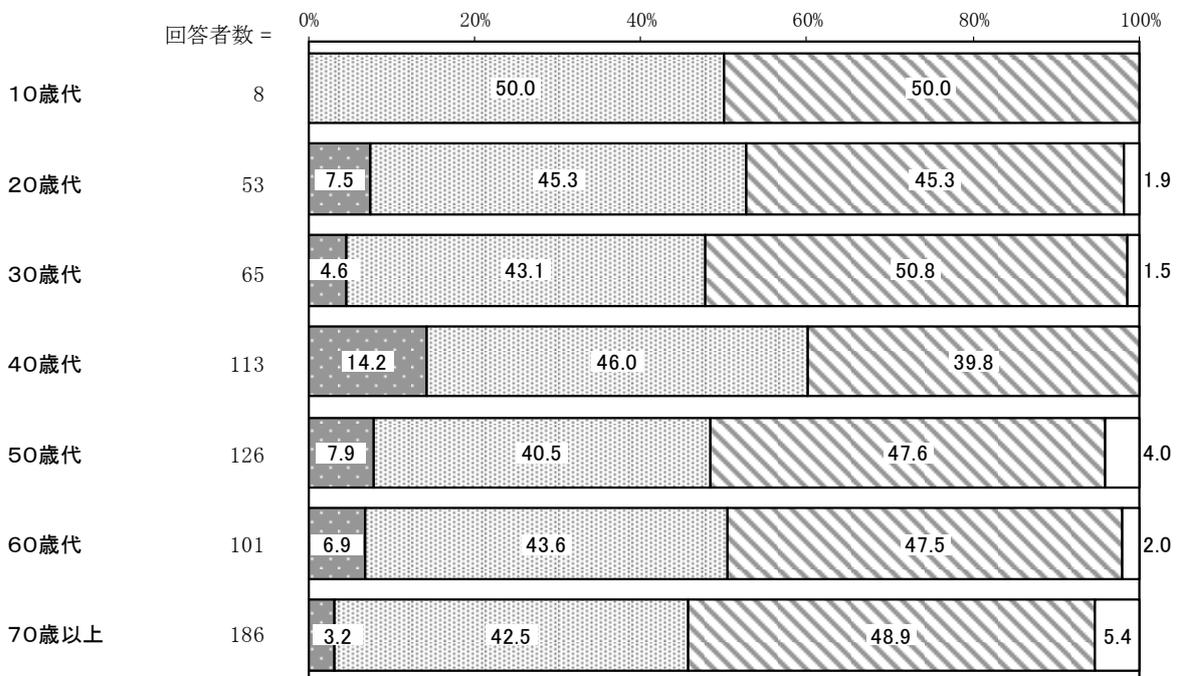
問 26 あなたは、「松本市子どもの権利に関する条例」を知っていますか。

「全く知らない」の割合が 46.9%と最も高く、次いで「内容はわからないが聞いたことはある」の割合が 43.2%となっています。



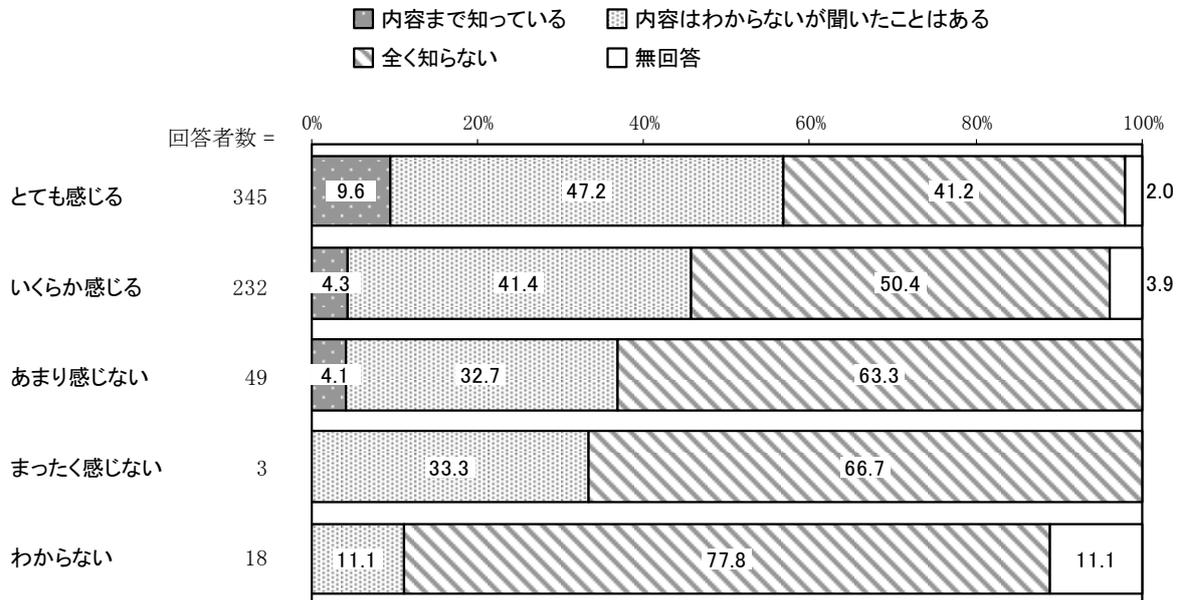
【年代別】

年代別でみると、他に比べ、40歳代で「内容まで知っている」の割合が高くなっています。



【愛着の有無別】

愛着の有無別でみると、愛着を感じていない人ほど「全く知らない」の割合が高くなっています。



問 27 松本市の学校教育について、ご意見があればお書きください。

今回の調査で自由な意見・要望を聞いたところ、延べ 199 件の意見が得られました。内訳は以下のとおりになっています。

項 目	件数
1. 子どもの学び、育ちについて	34
2. 教職員、教育環境等について	30
3. 子どもの教育について	61
4. 親の責務について	6
5. コミュニケーションについて	5
6. モラルについて	5
7. 安全対策について	3
8. 文化活動や地域行事などについて	6
9. 教育施設等について	1
10. その他	48
合 計	199

問 28 松本市の生涯学習、社会教育について、ご意見があればお書きください。

今回の調査で自由な意見・要望を聞いたところ、延べ 114 件の意見が得られました。内訳は以下のとおりになっています。

項 目	件数
1. 余暇時間について	2
2. 生涯学習活動について	22
3. 市が実施している生涯学習事業について	6
4. 人材について	5
5. 知能や技能の活用について	5
6. 家庭環境について	2
7. 参加したい生涯学習教室の内容について	14
8. 情報について	16
9. 学び直しについて	4
10. 公民館活動について	3
11. その他の施設について	7
12. その他	28
合 計	114

松本市の
教育に関するアンケート調査
自由記述に関する分析

令和3年5月
松本市教育委員会

自由記述分析

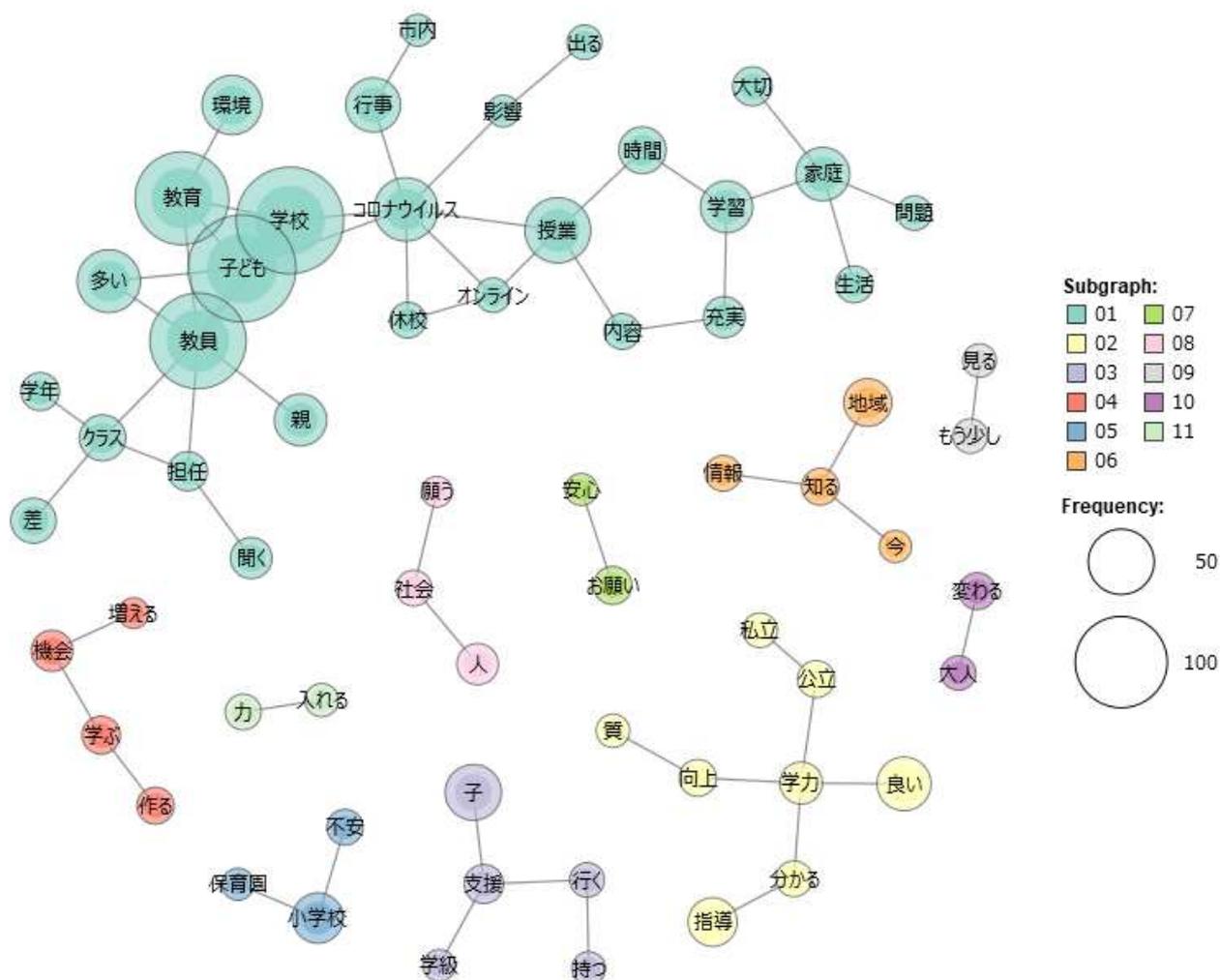
今回のアンケート調査で各調査対象に「学校教育に関して」「生涯学習、社会教育に関して」等に関する自由記述質問を設けたため、回収されたテキストから共起ネットワーク（同じ文章内によく一緒に出現する語のつながり）図を作成しその傾向を分析しました。分析の手法は下記のとおりです。

- ・ 自由記述部分のデータクリーニング：「子ども」「子供」など表記の揺れを統一
- ・ テキストデータをKHCoder で前処理、頻出語のリストを作成する。
- ・ 共起ネットワークを作成し、強く結びついた部分ごとにグループ分けを行う。
- ・ 円が大きな単語は出現頻度が高いもの、実線で結ばれているものは強い関係性があるもの。（円同士の距離等は関係性に影響しない。）

KHCoder：立命館大学産業社会学部教授 樋口耕一氏作成のテキストマイニング用フリーツール

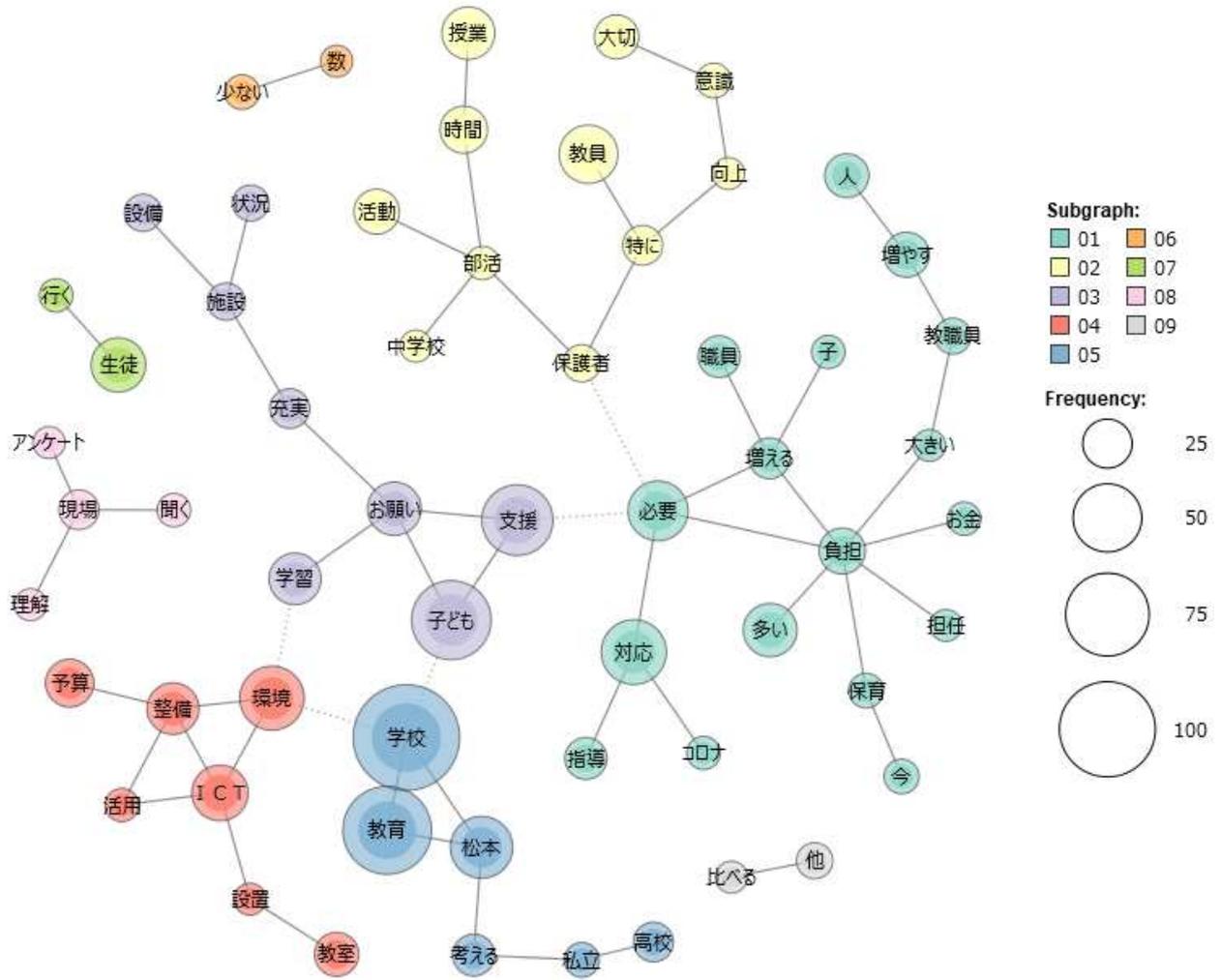
(1) 保護者

問24 松本市の学校教育について、ご意見があればお書きください。



(3) 教職員

問 21 松本市の学校教育について、ご意見があればお書きください。



問 22 松本市の生涯学習、社会教育について、ご意見があればお書きください。

